

現場説明事項

工事名称 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事（第3期工事）（ゼロ債務）

担当部署 総合政策部 管財課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、校舎の老朽化に伴い北棟（中央棟・南棟の一部含む）の建築改造工事を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書等による。

3. 工事範囲

本工書の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。
- 3) 足場設置30日前までに建設物機械等設置届を労働基準監督署に提出すること。
- 4) 仮設については、学校・学校関係者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、学校と協議し設置し、定例会議を開催できるスペースも含むこと。
- 5) 工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に違法駐車しないこと。
- 6) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 7) 勝瀬小学校の学校環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、児童の授業等に支障となる外壁石綿含有塗材の除去、騒音、振動、異臭等が伴う工事は、原則、学校休業日に行うこと。
- 8) 主な工事の施工期間は、別紙計画工程表及び工事計画図のとおりとし、監督員・教育委員会・学校関係者と十分協議をし、工事を進めること。
※降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 9) ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、MSDS（化学物質安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。
- 10) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2に基づき、受注者は特別管理産業廃棄物管理責任者を選任すること。
- 11) 竣工図は、監督員と協議の上、CADデータから作成すること。
- 12) 提出書類については、富士見市様式で遅滞無く提出すること。
- 13) 同施設において、「市立勝瀬小学校大規模改造電気設備工事（第3期工事）」「市立勝瀬小学校大規模改造機械設備工事(第3期工事)」を予定しているため、当該工事受注者と十分協議し、工事を進めること。

- 1 4) コロナウイルス感染拡大防止のため、夏季休業が短縮となった場合、工事を縮小する
場合がある。

計 画 工 程 表 (建 築)

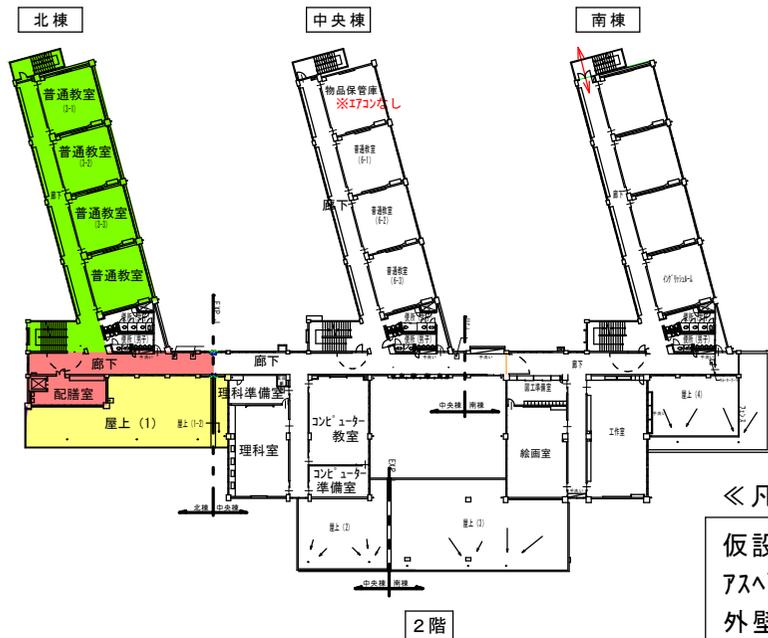
市立勝瀬小学校大規模改造工事(第3期工事)

工事施工期間:令和3年6月～11月中旬

工 事 場 所	6月	7月	8月	9月	10月	11月
学校			夏季休業 <hr style="border: 1px solid red;"/>			
		体育館仮置場利用可能期間 <hr style="border: 1px solid black;"/>				
		6/中～10/中				
仮設工事	仮囲・敷鉄板					仮囲等撤去
直接仮設工事	内部仮設・足場設置					足場解体
【アスベスト材除去工事】	協議・申請・養生等	昇降口周りから ※塔屋は電気設備撤去後				
【外壁改修工事】			昇降口周りから			
【内装改修工事】			使用前検査			
普通教室・廊下						
保健室						
配膳室・廊下						
第1昇降口						
【防水改修工事】	屋上(1)(下屋)から					
【外構改修工事】						
昇降口前						
正門・渡り廊下・駐輪場等						

備考 ※足場設置30日前までに、建設物機械等設置届を労働基準監督署へ提出すること。

- ※調査(内部・外部共)、仮設工事、及び校舎内一部の解体は、学校と協議の上、夏季休業前に施工可能とする。
- ※普通教室は、10月30日までに現場使用前検査(室内濃度測定含む)を受け、引き渡しをすること。
- ※保健室は、夏季休業中までの作業とし、8月20日までに現場使用前検査(室内濃度測定含む)を受け、引き渡しをすること。(夏季休業前の2週間の土日から作業可)
- ※配膳室・1～3階廊下・正門・渡り廊下・駐輪場等は、夏季休業中の作業とし、8月20日までに現場使用前検査(室内濃度測定含む)を受け、引き渡しをすること。
- ※昇降口・昇降口前は、夏季休業中からの作業とし、9月30日までに現場使用前検査(室内濃度測定含む)を受け、引き渡しをすること。
- ※騒音、振動、異臭等、児童の授業等に支障があると思われる工事は、原則学校休校日に行うこと。



2階

《凡例》時期別工事エリア

仮設工事 6月～11月中旬
 アスベスト材除去工事 (夏季限定)

外壁改修工事 ～10月30日

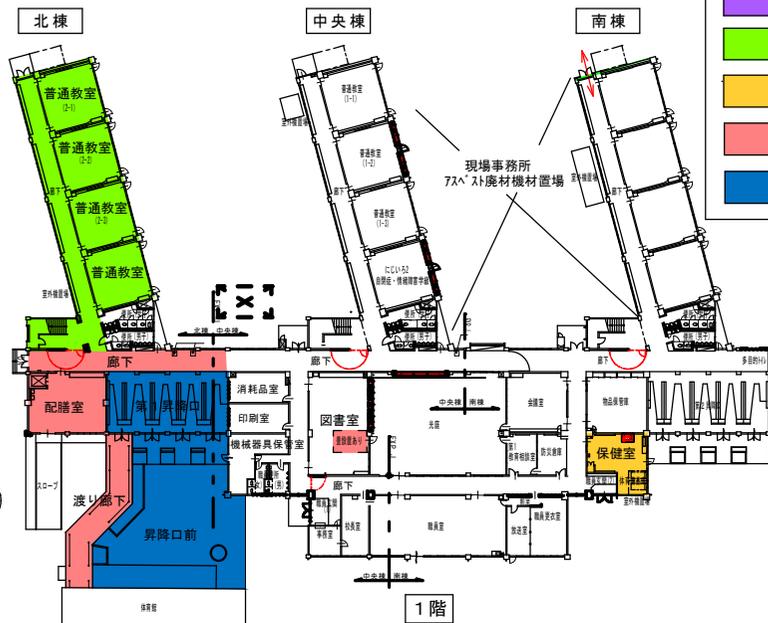
6月～7月 防水工事
 7月～8月 防水工事

6月～10月30日

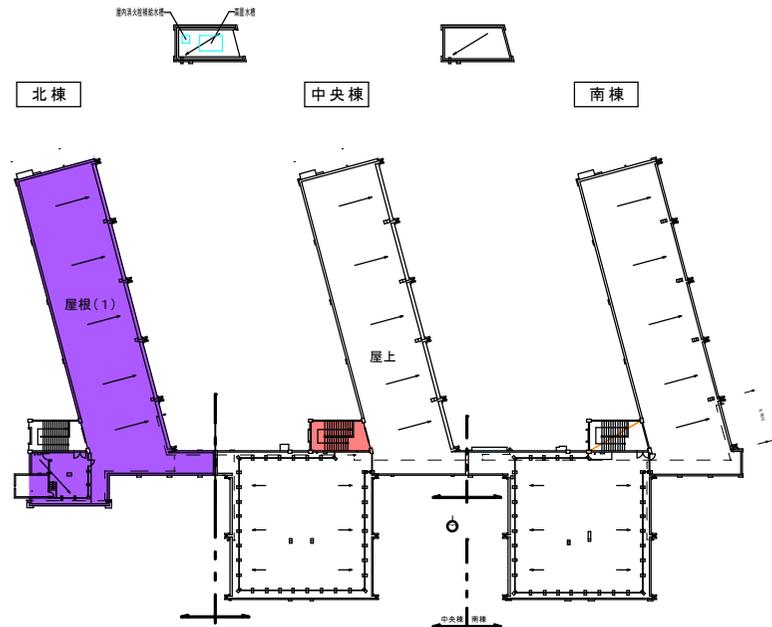
7月～夏季休業中まで

夏季休業中限定

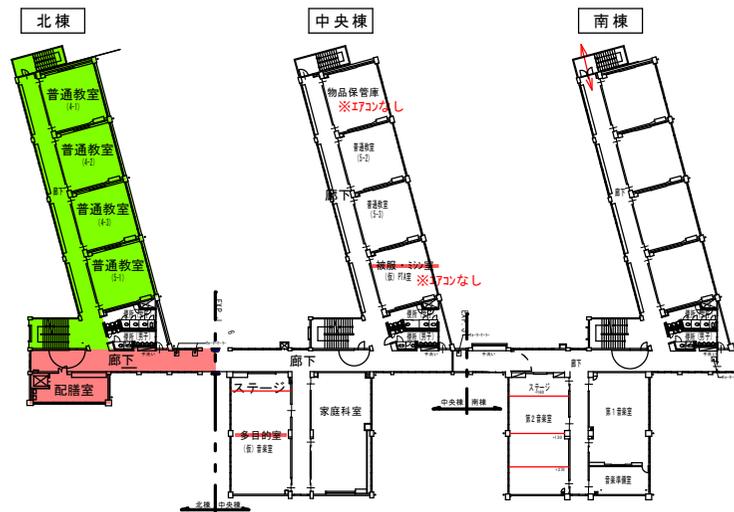
夏季休業開始～9月30日



1階



R階
 R・PH階平面図



3階

参考資料

設 計 仕 様 書

工事名称 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事(第3期工事)(ゼロ債務)

工事場所 富士見市 大字勝瀬 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称		市立勝瀬小学校大規模改造建築工事(第3期工事)(ゼロ債務)				
請負工事費						
工事概要		大規模改造建築工事(北棟(中央棟・南棟の一部含む)外部内部全面改修) 防水改修工事、外壁改修工事、建具改修工事、内装改修工事 塗装改修工事、環境配慮改修工事、その他				
<p style="text-align: center;">総 括 表</p>						上段 設計変更 下段 原設計 備 考
名 称	摘 要	数 量	単 位	金 額		
直接工事費						
建築工事		1	式			
計		1	式			
共通仮設費		1	式			
純工事費						
現場経費		1	式			
工事原価						
一般管理費		1	式			
工事価格	スクラップ控除後				スクラップ控除前 スクラップ控除	
改め						
消費税相当額		1	式		10%	
請負工事費						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	倉庫、下小屋、現場事務所 作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費(積上げ分)						
アスベスト定性分析	報告書作成含む	3	検体			
アスベスト分析試料採取費		3	試料			
室内環境測定	着工前・着工後 揮発性物質 6物質 3部屋	1	式			
ガードフェンス	W1800×H1800	273	m			
キャスターゲート	W6.0m×H2.0m	3	か所			
敷き鉄板	t22	989	m2			
養生マット	W=2000	88	m			
仮設物撤去後グラント整地		1	式			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員	121人程度	1	式			
家具備品 一時移設再設置		1	式			A代 - 54
アスベスト粉塵濃度測定	作業前4点×1回、作業中6点×5回、作業後4点×1回 事前調査・報告書作成含む	1	式			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
i	第3期												
I	建築工事 (第3期)	北棟		1		式							
		中央棟		1		式							
		南棟		1		式							
II	外構工事 (第3期)			1		式							
III	処分 (第3期)			1		式							
	計												
	スクラップ												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
I	建築工事 (第3期)	北棟											
1	直接仮設												
2	防水改修												
3	外壁改修												
4	建具改修												
5	内装改修												
6	塗装改修												
7	環境配慮改修												
8	発生材処理												
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	直接仮設												
	墨出し			1		式						A別 - 1	
	養生			1		式						A別 - 2	
	整理清掃後片付け			1		式						A別 - 3	
	外部足場			1		式						A別 - 4	
	内部足場			1		式						A別 - 5	
	仮設間仕切			1		式						A別 - 6	
	災害防止			1		式						A別 - 7	
	仮設材運搬			1		式						A別 - 8	
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
	2	防水改修											
	2.1.	撤去				1	式						
	2.2.	改修				1	式						
		計											

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2.1.	撤去												
	(屋根(1))												
	煙突陣笠撤去	フレキシブルボード(アスベスト含有)											
		500×600 集積共		4		か	所						
	(屋根(4))												
	防水端部水切撤去	集積共		15.7		m							
	(屋根(5))												
	屋根(5) 防水端部水切撤去	集積共		24.5		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(屋上(1))						
立上り						
モルタル撤去	集積共	11.6	m2			
立上り						
アスファルト防水撤去	集積共	11.6	m2			
PC笠木撤去	250×90 集積共	29.7	m			
EXP.Jカバー撤去	アルミ W=590 屋根-屋根					
	集積共	9.4	m			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	2.2. 改修												
	屋根(1)			1			式						
	屋根(4)			1			式						
	屋根(5)			1			式						
	屋上(1)			1			式						
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(屋根(1))						
屋根						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	471	m2			
立上り						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	52.7	m2			
防水押え金物						
	シート防水用	116	m			
壁付						
防水押え金物	シート防水用	20.7	m			
防水押え金物コーナー	シート防水用	20	か所			
防水押え金物小口蓋	シート防水用	12	か所			
固定板						
	入隅	137	m			
固定板						
	出隅	137	m			
屋根						
ウレタン塗膜防水	X-2 平部	1.7	m2			
屋根(重ね部)						
ウレタン塗膜防水	X-2 平部	0.3	m2			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
立上り ウレタン塗膜防水						
	X-2 立上り	5.3	m2			
立上り(重ね部) ウレタン塗膜防水						
	X-2 立上り	0.7	m2			
基礎天端 ウレタン塗膜防水						
	X-2 平部	1.1	m2			
基礎立下り ウレタン塗膜防水						
	X-2 立上り	4.7	m2			
基礎立下り(重ね部) ウレタン塗膜防水						
	X-2 平場	2.9	m2			
改修用ドレイン	縦型 φ100					
	塗膜防水用 撤去共	7	か所			
改修用ドレイン	横型 φ100					
	塗膜防水用 撤去共	1	か所			
フェンス支柱廻りシーリング						
	PU-2 10×10 φ50	12	か所			
フェンス基礎 取外し・再取付						
		12	か所			
笠木 取外し・再取付						A代 - 10
	鋼板曲げ加工 W=300	129	m			
EXP.Jカバー 取外し・再取付	アルミ W=590					A代 - 5
	クリアランス290 屋根-屋根用	3.3	m			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
煙突蓋	ステンレス t1.5					
	380×480	4	か所			
鉄骨階段	スチール C-200×50×6、CPL-6					A代 - 6
	W900×D1000×H800	1	か所			
	基礎(D10@150タテヨコ)、緩衝マット共					
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(屋根(4))						
屋根						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	10.8	m2			
立上り						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	2	m2			
笠木						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	4.9	m2			
防水押え水切						
		15.7	m			
固定板	入隅					
		15.7	m			
固定板	出隅					
		15.7	m			
改修用ドレイン	縦型 φ100					
	シート防水用 撤去共	1	か所			
小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(屋根(5))						
屋根						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	28.4	m2			
立上り						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	8.9	m2			
笠木						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	10.3	m2			
防水押え水切		24.5	m			
固定板	入隅	22.3	m			
固定板	出隅	22.3	m			
改修用ドレイン	横型 φ100					
	シート防水用 撤去共	1	か所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(屋上(1))						
屋根						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	181	m2			
立上り						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	13.2	m2			
立上り						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0 撤去跡下地処理共	11.6	m2			
笠木						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0 PC撤去跡下地処理共	6.7	m2			
防水押え金物						
	シート防水用	38.7	m			
壁付						
防水押え金物	シート防水用	31.3	m			
防水押え金物コーナー						
	シート防水用	10	か所			
固定板						
	入隅	69.9	m			
固定板						
	出隅	69.9	m			
アルミ笠木						
	W=250	30.7	m			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミ笠木コーナー	W=250 L=500+500	1	か所			
	豎型 φ 100					
改修用ドレイン	塗膜防水用 撤去共	3	か所			
	アルミ W=655 1時間耐火					
EXP.Jカパー	クリアランス265 屋根-屋根	9.4	m			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	外壁改修						
3.1.	撤去		1	式			
3.2.	改修		1	式			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3.1.	撤去												
	れんが撤去	コンクリートブレーカ	集積共	2.2		m3							
	ネットフェンス撤去	ネットのみ	集積共	24.5		m2							
	フェンス門扉撤去	W800×H1800	集積共	1		か所							
	豎樋撤去	塩ビ	集積共	70.6		m							
	豎樋養生管撤去	鋼管	集積共	12		m							
	EXP.Jカバー撤去		集積共	2.2		m							
	計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2. 改修						
庇天端 ウレタン塗膜防水	X-2 平部	3.8	m2			
天井 水性反応硬化形 軒天塗り替え専用仕上塗材	コンクリート面 下地調整共	56.2	m2			
壁 防水型複層塗材E	凸凹状 吹付 アクリル系 コンクリート面 下地調整(CM-2)共	1306	m2			
壁 防水型複層塗材E	凸凹状 吹付 アクリル系 モルタル面 下地調整(E)共	23.2	m2			
壁 モルタル塗り	吹付下地 目地切共	23.2	m2			
地巾木 薄塗モルタル塗り	仕上	52.3	m2			
地巾木 高圧洗浄	10～15mpa程度	52.3	m2			
施工数量調査	コンクリート面	1362	m2			
クラック部補修	樹脂注入工法 コンクリート面	157	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
爆裂部補修	充填工法					
	コンクリート面	311	か所			
欠損部補修	充填工法					
	コンクリート面	36	か所			
ネットフェンス						A代 - 7
	ネットのみ H=1800	13.6	m			
フェンス門扉						A代 - 8
	W800×H1800	1	か所			
縦樋						
	塩ビ φ100 カラー	67	m			
縦樋						
	塩ビ φ60 カラー	3.7	m			
EXP.Jカバー	アルミ W=500 1時間耐火					
	クリアランス300 壁-壁	2.2	m			
EXP.Jカバー 取外し・再取付	アルミ W=500 1時間耐火					A代 - 9
	クリアランス300 壁-壁	15.7	m			
打継目地シーリング打替え	PU-2 20×10					
	撤去共	584	m			
建具廻りシーリング打替え	MS-2 15×10					
	撤去共	899	m			
笠木 取外し・再取付						A代 - 10
	鋼板曲げ加工 W=300	129	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁アスベスト材撤去部 高圧洗浄						
	30mpa程度	1306	m2			
建具廻りシーリング打替え	MS-2 15×10					
		35.2	m			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 建具改修						
4.1. 撤去		1	式			
4.2. 改修		1	式			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4.1.	撤去												
	SD101 煙感連動潜戸付自閉式 防火戸(180度開閉)撤去	W2400×H2495 枠共 集積共		2		か	所						
	SD102 片開き点検扉撤去	W400×H600 枠共 集積共		3		か	所						
	LSD118 片引きドア撤去	W1305×H1915 枠共 集積共		3		か	所						
	SP101b ランマ・地窓引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W7010×H2505 枠共 集積共		12		か	所						
	WD110c 片開き扉撤去	W310×H1900 扉のみ 集積共		3		か	所						
	ガラス撤去	集積共		451		m	2						
	アルミパネル撤去	集積共		0.9		m	2						
	建具周囲はつり	RC 15cm 集積共		25.6		m							
	計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2. 改修						
アルミ製建具	新設	1	式			
アルミ製建具	網戸(レール共)新設	1	式			
鋼製建具		1	式			
軽量鋼製建具		1	式			
シャッター		1	式			
スチールパーテーション		1	式			
木製建具		1	式			
調整及び清掃等		1	式			
アルミパネル		1	式			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	ガラス			1			式						
	その他			1			式						
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(アルミ製建具)	新設					
AWD101 両袖・ランマFIX(外部側)	カバー工法 撤去共					
引分けハンガードア(室内側)	W3270×H2720、W3644×H2100	3	か所			
AWD102a 両袖・ランマFIX(外部側)	カバー工法 撤去共					
引分けハンガードア(室内側)	W3065×H2720、W3444×H2100	1	か所			
AW103	カバー工法 撤去共					
片開き窓	W800×H1630	1	か所			
AW106a	カバー工法 撤去共					
片開き窓	W1550×H1630	1	か所			
AW106b	カバー工法 撤去共					
片開き窓	W1550×H1630	1	か所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(アルミ製建具)	網戸(レール共)新設 合成樹脂製					
AW3a 両袖FIX 引違い連窓	網戸(レール共)新設 (W820H1285×2枚) W7330×H2420	1	か所			
AW3b 両袖FIX 引違い連窓	網戸(レール共)新設 (W820H1285×2枚) W7330×H2420	2	か所			
AW3f 両袖FIX 引違い連窓	網戸(レール共)新設 (W820H1285×2枚) W7330×H2420	1	か所			
AW5 中央・腰FIX 左右2段引違い窓	網戸(レール共)新設 (W850H1100+500×2枚) W4460×H2410	1	か所			
AW8a 上下引違い FIX連窓	網戸(レール共)新設 (W810H1200+500×2枚) W3310×H2445	1	か所			
AW8b 上下引違い FIX連窓	網戸(レール共)新設 (W760H1200+500×2枚) W3110×H2445	1	か所			
AWD1 中央ランマ付 片開きドア 2段引違い連窓	網戸(レール共)新設 (W880H400×3枚) W7130×H2600	4	か所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(鋼製建具)												
	SD101 煙感連動潜戸付 自閉式防火戸(180度開閉)	W2400×H2495 枠共		2		か	所						
	SD102 片開き点検扉	W400×H600 枠共		3		か	所						
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(軽量鋼製建具)												
	LSD118												
	片引きハンガードア(外付タイプ)	W2330×H2060	枠共	3		か	所						
	小計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(シャッター)						
SS101b 煙感連動 防煙防火シャッター(手動式)	レールカバー工法 手動式 W2880×H2505 撤去共	1	か所			
SS101c 煙感連動 防煙防火シャッター(手動式)	レールカバー工法 手動式 W2865×H2505 撤去共	1	か所			
SS102 軽量ライトシャッター(電動式)	レールカバー工法 手動式 W4300×H2260 撤去共	3	か所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(スチールパーテーション)						
SP101b ランマ・地窓引違い	W7060×H2485 枠共					
引違いドア付スチールパーテーション	一部アルミパネル	12	か所			
	掲示板(室内側・廊下側 両面)共					
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(木製建具)						
WD110c 片開き扉	W310×H1900	3	か所			
小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(調整及び清掃等)						
AW103 両袖・中央FIX 2段引違い連窓	W9410×H1700					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW106a 2連引違い連窓	W3310×H1700					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW106b 2連引違い連窓	W3310×H1700					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW1 中央FIX 左右2段引違い連窓	W7130×H1800					
	戸車・クレセント交換	8	か所			
	調整及び清掃					
AW3a 両袖FIX 引違い連窓	W7330×H2420					
	戸車・クレセント交換	3	か所			
	調整及び清掃					

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW3b 両袖FIX 引違い連窓	W7330×H2420					
	戸車・クレセント交換	8	か所			
	調整及び清掃					
AW3f 両袖FIX 引違い連窓	W7330×H2420					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW5 中央・腰FIX 左右2段引違い窓	W4460×H2410					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW6 両袖・中央FIX 2段引違い連窓	W9410×H1700					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW8a 上下引違い FIX連窓	W3310×H2445					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AW8b 上下引違い FIX連窓	W3110×H2445					
	戸車・クレセント交換	1	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	調整及び清掃					
AW18 3段FIX窓	W1600×H2450 調整及び清掃	6	か所			
AW19a 横軸回転窓+FIX窓+ガラリ	W800×H12550 調整及び清掃	2	か所			
AW25 両袖・腰FIX 2段引違い窓	W2610×H2410 戸車・クレセント交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AW27a 2段引違い連窓	W3310×H1700 戸車・クレセント交換	4	か所			
	調整及び清掃					
AW27b 2段引違い連窓	W3120×H1700 戸車・クレセント交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AW27c 2段引違い窓	W1130×H1700 調整及び清掃	4	か所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW33 上部突出しFIX窓	W800×H1800					
	クレセント交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AW34 2段FIX連窓	W250×H1800					
	調整及び清掃	1	か所			
AWD1 中央ランマ付 片開きドア 2段引違い連窓	W7130×H2600					
	戸車・クレセント交換	4	か所			
	調整及び清掃					
AWD10 両袖FIX ランマ付引分けドア	W4460×H2500					
	戸車・クレセント交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AWD13 両袖FIX ランマ付両開きドア	W2610×H2500					A代 - 11
	錠前交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AWD16 ランマ付両開きドア	W2170×H2500					A代 - 12
	錠前交換	1	か所			
	調整及び清掃					

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD17a ランマ付両開きドア	W2140×H2500					A代 - 13
	錠前交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AWD17b ランマ付両開きドア	W2140×H2500					A代 - 14
	錠前交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AWD20 袖FIX ランマ付片開きドア	W1450×H2500					A代 - 15
	錠前交換	2	か所			
	調整及び清掃					
AWD21 袖FIX ランマ付片開きドア	W1320×H2500					A代 - 16
	錠前交換	1	か所			
	調整及び清掃					
AD1 額入両開きドア	W1800×H1900					A代 - 17
	錠前交換	1	か所			
	調整及び清掃					
SD1 煙感連動 潜戸付自閉式防火戸(180度開閉)	W2400×H2495					
	調整及び清掃	1	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
SD3 ガリ付片開きドア	W800×H1800					
	調整	1	か所			
SD4 片開きアングルドア	W800×H1200					
	調整	1	か所			
SS1 煙感連動 防煙防火シャッター(手動式)	W3045×H2505					
	調整及び清掃	1	か所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(アルミパネル)						
AW3a アルミパネル	t3 290×1120 設備開口加工	6	か所			
AW3b アルミパネル	t3 290×1120 設備開口加工	24	か所			
AW3f アルミパネル	t3 290×1120 設備開口加工	4	か所			
AW25 アルミパネル	t3 335×610	2	か所			
AWD10 アルミパネル	t3 1085×500 設備開口加工	1	か所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(ガラス)						
学校用強化ガラス	t4 2.0㎡以下					
	シーリング・清掃共	477	m2			
学校用強化ガラス	t4 150×700					
	シーリング・清掃共	3	か所			
ガラスヒート取替え						
		223	m			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(その他)												
	DP塗り	鋼製建具面	1級	4.8		m2							
	EP塗り	鋼製建具面		198		m2							
	EP塗替え	鋼製建具面		3.1		m2							
	EP塗り	木製建具面		5.1		m2							
	建具周囲モルタル充填	内部建具		275		m							
	非常用進入口マーク	▽		2		か所							
	開口制限金物	※外側建具固定		92		か所							
	小計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	内装改修					
5.1.	撤去	1	式			
5.2.	改修	1	式			
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1.	撤去						
	床						
	モルタル撤去	集積共	68.2	m2			
	床						
	カッター入れ	モルタル	95.9	m			
	床						
	長尺塩ビシート撤去	アスベスト含有 集積共	617	m2			
	床						
	フローリングボード撤去	集積共	25.6	m2			
	床						
	コンクリート撤去	鉄筋切断共 集積共	1.2	m3			
	壁						
	カッター入れ	コンクリート	12.5	m			
	階段ノンスリップ撤去	アルミ 集積共	205	m			
	壁						
	モルタル撤去	集積共	6.5	m2			
	壁						
	カッター入れ	モルタル	65.5	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁 タイル撤去						
	下地モルタル共 集積共	0.8	m2			
壁 コンクリートブロック撤去						
	集積共	1.3	m3			
天井 合板・ボード撤去	一重張り 一般					
	集積共	531	m2			
天井 合板・ボード撤去	一重張り アスベスト含有					
	集積共	858	m2			
天井 下地撤去						
	集積共	1389	m2			
カーテンレール撤去						
	集積共	85.6	m			
黒板撤去	W2060×H1240					
	木枠・下地共 集積共	12	か所			
黒板撤去	W3600×H1240					
	木枠・下地共 集積共	12	か所			
掲示板撤去	アルミ枠					
	集積共	4.9	m2			
掲示板撤去	ビニルクロス貼					
	木枠・下地共 集積共	83.5	m2			
壁付手摺撤去						
	ステンレス 集積共	48.9	m			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製長押撤去	集積共	61.8	m			
	ハンガー撤去	21.9	m			
配膳室 配膳棚撤去	甲板SUS貼					
	W4500×D700×H1480	3	か所			
昇降口 スロープ撤去	スチールCPL					
	W900×L900×H0~100	2	か所			
昇降口 下足入撤去	W1830×D220×H850	1	か所			
	昇降口 下足入撤去	1	か所			
昇降口 下足入撤去	W1830×D250×H580	1	か所			
	昇降口 下足入撤去	1	か所			
昇降口 下足入撤去	W1830×D290×H580	1	か所			
	昇降口 下足入撤去	8	か所			
教室 木製棚撤去	W1255×D570×H1940					
	集積共	4	か所			
教室 木製棚撤去	W1355×D570×H1940					
	集積共	4	か所			
教室 木製棚撤去	W1455×D570×H1940					
	集積共	4	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
教室 木製棚撤去	W6080×D390×H700					
	集積共	4	か所			
教室 木製棚撤去	W6280×D390×H700					
	集積共	4	か所			
教室 木製棚撤去	W6480×D390×H700					
	集積共	4	か所			
教室 掃除用具入撤去	W550×D500×H1985					
	W550×D500×H1985 集積共	12	か所			
廊下 人研流し コンクリート撤去						
	鉄筋切断共 集積共	0.5	m3			
廊下 人研流し カッター入れ						
	コンクリート面	15.5	m3			
廊下 児童用ロッカー撤去	W6700×D422×H1290					
	集積共	12	か所			
ビニル床シート撤去部糊撤去 廊下・階段部						
	電動ワイヤーサンダー掛け	617	m ²			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	5.2. 改修												
	床			1			式						
	巾木・壁			1			式						
	天井			1			式						
	その他			1			式						
	家具			1			式						
	サイン			1			式						
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(床)						
床 ウレタン系塗床		6.4	m2			
床 ウレタン系塗床	平滑仕上					
	下地調整共	49.1	m2			
床 ウレタン系塗床	耐薬品性					
	下地調整共	11.7	m2			
床 エポキシ樹脂塗床	平滑仕上	0.8	m2			
	下地調整共	137	m2			
床 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法					A代 - 18
	センターライン付	8.5	m2			
床 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法					
	センターライン付 下地調整共	553	m2			
点字タイル	塩ビ 300角	18	か所			
	1等 なら t15 300角					
床 フローリングブロック	接着工法	25.6	m2			
	t15	0.7	m2			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床 畳敷き						
	一畳	10	枚			
畳押え						A代 - 20
	木製 65×55	9.2	m			
畳寄せ						A代 - 21
	木製 W=25	7.5	m			
床組						A代 - 22
	H=40	0.7	m ²			
床 モルタル塗り	モルタル仕上げ					
	目地切共	46.5	m ²			
床 モルタル塗り						
	刷毛引き仕上げ	4.3	m ²			
床 モルタル塗り						
	塗床下地	7.2	m ²			
床 モルタル塗り						
	張物下地	8.5	m ²			
床 無筋コンクリート						A代 - 1
	Fc-18 S-15 材工共	0.6	m ³			
床見切						
	ステンレス W=10	5.7	m			
立上り モルタル塗り						
	モルタル仕上げ	2.8	m ²			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
立上り天端 モルタル塗り						
	モルタル仕上げ W=150	4.8	m			
階段 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法					
	センターライン付 下地調整共	53.9	m2			
階段 ハンズリップ	ステンレスタイヤ入り W=35					
	フラットエンドあり 接着工法	186	m			
階段 段鼻モルタル補修						
		186	m			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(巾木・壁)						
木製巾木	ラワン H=60	6.3	m			A代 - 23
巾木清掃	人研ぎ面	4.1	m2			
壁 モルタル塗り	タイル下地	0.8	m2			
壁 モルタル塗り	塗装下地	4.7	m2			
壁 モルタル補修		195	m2			
壁 陶器質タイル	100角	4.5	m2			
壁 石膏ボード	t12.5 継目処理	18.1	m2			
壁 耐水石膏ボード	t12.5 継目処理	5.7	m2			
壁 ケイ酸カルシウム板	t8 目透し	3.8	m2			
腰壁 木製巾木	杉 上小節 H=60	378	m			A代 - 24

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
腰壁 木製腰板貼り						
	杉 上小節	287	m2			
腰壁 出隅見切						A代 - 26
	杉 上小節	94.1	m			
腰壁 腰壁見切(上部)						A代 - 27
	杉 上小節	378	m			
腰壁 腰壁見切(縦部)						A代 - 28
	杉 上小節	178	m			
軽鉄壁下地						
	W=100 @300	43.3	m2			
軽鉄壁下地 開口部補強						A別 - 9
		1	式			
胴縁組						A代 - 29
	45×18 @450	287	m2			
タイル端部 壁見切						
	アルミ製	5.5	m			
木壁端部 壁見切						A代 - 30
	木製 90×25	6.8	m			
木壁端部 壁見切						A代 - 31
	木製 100×25	6.8	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	RC-LGS取合シーリング		PS-2 10×10	35.9		m							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(天井)						
天井 化粧石膏ボード	t9.5 910×910	628	m2			
天井 化粧石膏ボード	t9.5 不燃	144	m2			
天井 化粧石膏吸音ボード	t9.5 不燃	137	m2			
天井 化粧石膏吸音ボード	t9.5 不燃 角孔	480	m2			
軽鉄天井下地	下地張りなし @225					
	あと施工アンカー	761	m2			
軽鉄天井下地	下地張りなし @300					
	あと施工アンカー	628	m2			
軽鉄天井下地 開口補強		1	式			A別 - 10
廻り縁	塩ビ	1271	m2			
天井点検口	アルミ 450角 額縁タイプ	28	か所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(その他)						
カーテンレール	ステンレス シングル	85.6	m			
木製長押	70×25	154	m			A代 - 32
掲示板貼付け用幕板	30×30	84.1	m			A代 - 33
壁付手摺	アルミ製ビニル被覆 φ34	61.9	m			
教室 煙突塞ぎ	スチール PL-3 150×150	12	か所			A代 - 34
廊下 児童用フック		480	か所			A代 - 35
黒板	曲面 昇降式					
	W3600×H1200	12	か所			
背面黒板						
	W2060×H970	12	か所			
掲示板	アルミ枠					
	W1200×H900	5	か所			
掲示板	アルミ枠					
	W1820×H910	1	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掲示板	アルミ枠					
	W2650×H1200	1	か所			
掲示板	アルミ枠					
	W3200×H1200	1	か所			
掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 38
	W1340×H1180	4	か所			
掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 39
	W1440×H1180	4	か所			
掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 40
	W1455×H970	4	か所			
掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 41
	W1540×H1180	4	か所			
掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 42
	W1655×H970	4	か所			
掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 43
	W1855×H970	4	か所			
掲示板	木枠 合板+胴縁下地					A代 - 44
	W2515×H970	12	か所			
第1昇降口 スロープ手摺	ビニル製 φ34					
	L=2400 H=750	2	か所			
第1昇降口 スロープ新設	コンクリート					A代 - 45
	W2100×L2400×H150~350	1	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
階段内側 シャッター化粧ボックス						A別 - 14
	1～3階	1	式			
EXP.Jカバー 取外し・再取付	アルミ 壁-壁用	15.1	m			A代 - 46
EXP.Jカバー 取外し・再取付	アルミ 天井-天井用	16.8	m			A代 - 46
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(家具)						
F-02b 教師用戸棚	W1455×D570×H1930	4	か所			
F-02c 教師用戸棚	W1255×D570×H1930	4	か所			
F-02d 教師用戸棚	W1355×D570×H1930	4	か所			
F-17a 流し台	W1800×D600×H900	3	か所			
F-17e 流し台	W2400×D600×H900	12	か所			
F-18a 背面ロッカー+掃除用具入	W6630×D450×H1930	4	か所			
F-18b 背面ロッカー+掃除用具入	W6810×D450×H1930	4	か所			
F-18c 背面ロッカー+掃除用具入	W7053×D450×H1930	4	か所			
F-42 下足入れ(片面)	W5480×D310×H1220	1	か所			
F-43a 下足入れ(片面・バックパネル付)	W5180×D340×H1220	1	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
F-44 下足入れ(両面)						
	W2740×D640×H1220	3	か所			
F-47 配膳棚						
	W4500×D700×H1505	3	か所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(サシ)												
A	室名表示(木製)突出	W278×D18×H251.4		12		か	所						
B	室名表示(木製)平付	W249×D15×H249		9		か	所						
	階段階数表示	350×350		2		か	所					A代 - 55	
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6	塗装改修						
6.1.	改修	外部	1	式			
6.2.	改修	内部	1	式			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6.1.	改修	外部											
	DP塗替え	鉄部	細幅物	17		m							
	SOP塗替え	鉄部	細幅物	59		m							
	小計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.2. 改修	内部					
壁 EP塗り	モルタル面	4.7	m2			
壁 EP塗替え	モルタル面	949	m2			
天井 EP塗替え	モルタル面	169	m2			
壁 EP塗り	ボード面	23.8	m2			
EP塗り	鉄部	0.3	m2			
EP塗替え	鉄部	21.1	m2			
EP塗替え	木部	64.7	m2			
EP塗り	木部 細幅物	468	m			
EP塗替え	木部 細幅物	230	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	1-UC塗り	フローリングブロック面		687		m2							
	1-UC塗替え	フローリングブロック面											
		サンダー掛け共		287		m2							
	自然塗料塗装	クラー											
		木部		287		m2							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	環境配慮改修												
	仮設	1階土間養生											
		開口等養生		1			式						
	機械損料	吸引装置含む		1			式						
	消耗品等	保護マスク、フィルター、 保護メガネ、手袋等		1			式						
	安全衛生設備機器	真空掃除機、フィルター		1			式						
	アスベスト作業主任者			1			式						
	吹付けアスベスト除去処理	吸引廃材分別、 排水分別及び排水測定費含む		1			式						
		ウォータークリーン工法同等工法											
	試験施工費	環境測定費・作業場内、プラント付近 各1点 各1㎡程度		1			式						
	諸経費			1			式						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	隔離養生	壁面、屋根面	プラベニ等	1			式						
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
8	発生材処理												
	発生材運搬	積込み共		1		式						A別 - 11	
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
I	建築工事（第3期）	中央棟											
1	直接仮設												
2	防水改修												
3	外壁改修												
4	環境配慮改修												
5	発生材処理												
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	直接仮設												
	養生			1		式						A別 - 15	
	整理清掃後片付け			1		式						A別 - 16	
	外部足場			1		式						A別 - 17	
	災害防止			1		式						A別 - 18	
	仮設材運搬			1		式						A別 - 19	
	計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	防水改修						
2.1.	撤去		1	式			
2.2.	改修		1	式			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2.1.	撤去												
	(屋上(1))												
	立上り												
	モルタル撤去	集積共		0.7		m2							
	立上り												
	アスファルト防水撤去	集積共		0.7		m2							
	PC笠木撤去	250×90 集積共		1.8		m							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
	2.2.	改修											
		屋上(1)		1			式						
		計											

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(屋上(1))						
屋根						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	16.1	m2			
立上り						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0	7.6	m2			
笠木						
塩化ビニル樹脂系シート防水	S-M2 t1.5+絶縁マットt2.0 PC撤去跡下地処理共	0.4	m2			
防水押え金物						
	シート防水用	11	m			
壁付						
防水押え金物	シート防水用	11.6	m			
防水押え金物コーナー						
	シート防水用	3	か所			
固定板						
	入隅	22.5	m			
固定板						
	出隅	22.5	m			
アルミ笠木						
	W=250	1.8	m			
改修用ドレイン						
	縦型 φ100					
	塗膜防水用 撤去共	1	か所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	PH底												
	ウレタン塗膜防水	X-2	平部	1.4		m2							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
3	外壁改修						
3.1.	改修		1	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.1. 改修						
	天井 水性反応硬化形 軒天塗り替え専用仕上塗材	3.2	m2			コンクリート面 下地調整共
	壁 防水型複層塗材E	31.1	m2			凸凹状 吹付 アクリル系 コンクリート面 下地調整(CM-2)共
	地巾木 薄塗モルタル塗り	0.8	m2			仕上
	地巾木 高圧洗浄	0.8	m2			10～15mpa程度
	施工数量調査	34.3	m2			コンクリート面
	打継目地シーリング打替え	0.1	m			PU-2 20×10 撤去共
	外壁アスベスト材撤去部 高圧洗浄	31.1	m2			30mpa程度
	計					

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	環境配慮改修					
	仮設	1階土間養生 開口等養生	1	式		
	機械損料	吸引装置含む	1	式		
	消耗品等	保護マスク、フィルター、 保護メガネ、手袋等	1	式		
	安全衛生設備機器	真空掃除機、フィルター	1	式		
	アスベスト作業主任者		1	式		
	吹付けアスベスト除去処理	吸引廃材分別、 排水分別及び排水測定費含む	1	式		
		ウォータークリーン工法同等工法				
	試験施工費	環境測定費・作業場内、プラント付近 各1点 各1㎡程度	1	式		
	諸経費		1	式		

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	隔離養生	壁面、屋根面 プラベニ等	1	式			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材処理						
	発生材運搬	積込み共	1	式			A別 - 20
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
I	建築工事（第3期）	南棟（保健室等）											
1	直接仮設												
2	建具改修												
3	内装改修												
4	塗装改修												
5	発生材処理												
	計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設					
	墨出し(内部改修)	複合改修	53.7	m2		
	養生(内部改修)	複合改修	53.7	m2		
	整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	53.7	m2		
	内部仕上足場	階高4.0m以下	53.7	m2		
	仮設材運搬(内部仕上足場)	階高4.0m以下	53.7	m2		
	仮設間仕切	B種 軽鉄下地+合板	6.1	m2		
	仮設扉取付費	片開き程度	2	か所		
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	建具改修						
2.1.	撤去		1	式			
2.2.	改修		1	式			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1.	撤去						
	LSD107 ランマ引違い 片引きドア付木製パーテーション撤去	W4320×H2505 枠共 集積共	1	か所			
	ガラス撤去	集積共	1.7	m2			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	2.2. 改修												
	軽量鋼製建具			1			式						
	ガラス			1			式						
	その他			1			式						
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(軽量鋼製建具)												
	LSD107												
	片引きハンガードア(壁内蔵タイプ)	W930×H2100	枠共	1			か所						
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(ガラス)												
	学校用強化ガラス	t4 150×700											
		シーリング・清掃共		1		か	所						
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(その他)												
	建具周囲モルタル充填	内部建具		3		m							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3	内装改修					
3.1.	撤去	1	式			
3.2.	改修	1	式			
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.1. 撤去						
床						
モルタル撤去	集積共	5.4	m2			
床						
カッター入れ	モルタル	1.9	m			
床						
長尺塩ビシート撤去	集積共	0.1	m2			
床						
フローリングボード撤去	集積共	42.9	m2			
天井						
合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	44	m2			
カーテンレール撤去	集積共	7.1	m			
吊カーテンレール撤去	集積共	12.6	m			
黒板撤去	W2700×H1200 木枠・下地共 集積共	1	か所			
掲示板撤去	ビニルクロス貼 木枠・下地共 集積共	3	m2			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保健室 収納庫撤去	W1200×D800×H2500	1	か所			
保健室 掃除用具入撤去	W550×D420×H1930	1	か所			
保健室 流し台撤去	W1700×D550×H800	1	か所			
SUS目地棒撤去		6.3	m			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2.	改修						
	床		1	式			
	巾木・壁		1	式			
	天井		1	式			
	その他		1	式			
	家具		1	式			
	サイン		1	式			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(床)						
床 モルタル塗り	張物下地	48.3	m2			
床 ビニル床シート	無地 t2 熱溶接工法	48.3	m2			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(巾木・壁)						
壁						
モルタル補修		6.2	m2			
腰壁						A代 - 24
木製巾木	杉 上小節 H=60	4.1	m			
腰壁						
木製腰板貼り	杉 上小節	3	m2			
腰壁						A代 - 26
出隅見切	杉 上小節	0.8	m			
腰壁						A代 - 27
腰壁見切(上部)	杉 上小節	4.1	m			
腰壁						A代 - 28
腰壁見切(縦部)	杉 上小節	2.4	m			
軽鉄壁下地						
	W=100 @300	3.3	m2			
耐火間仕切	総厚150 LGS100					
	両面強化石膏ボードt12.5+12.5	9.2	m2			
耐火間仕切 四周処理						
		15.6	m			
耐火間仕切 開口部補強	W=100 扉三方					
	930×2100	1	箇所			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	RC-LGS取合シーリング		PS-2 10×10	9.4		m							
	木製巾木		ラワン H=60	5.7		m						A代 - 23	
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(天井)						
天井						
化粧石膏ボード	t9.5 910×910	44	m2			
軽鉄天井下地	下地張りなし @225					
	あと施工アンカー	44	m2			
廻り縁						
	塩ビ	61.4	m2			
天井点検口						
	アルミ 450角 額縁タイプ	1	か所			
小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(その他)						
カーテンレール	ステンレス シングル	7.1	m			
ホワイトボード	W2500×H1200	1	か所			
ホワイトボード	W2700×H1200	1	か所			
掲示板	アルミ枠 W3500×H1120	1	か所			
保健室 吊カーテンレール	L=5000 H=1100	1	か所			
保健室 流し台	L=1500	1	か所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(家具)												
	F-03												
	掃除用具入	W600×D400×H1930		1		か	所						
	F-48												
	物入れ	W1215×D820×H2540		1		か	所						
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(サイン)												
	A	一時撤去・再取り付け											
	室名表示(木製)突出	W278×D18×H251.4		1		か	所						
	小計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	塗装改修												
4.1.	改修	内部		1		式							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4.1.	改修		内部										
	自然塗料塗装		クラー										
			木部	3	m2								
	壁 EP塗替え		モルタル面	14.7	m2								
		壁 EP塗り		ボード面	20.7	m2							
	天井 EP塗替え			モルタル面	5.4	m2							
		壁 EP塗替え		ケイカル面	8.2	m2							
	EP塗り			木部	2.3	m2							
		EP塗り		木部 細幅物	8.7	m							
	EP塗替え			木部 細幅物	47.3	m							
		小計											

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	発生材処理												
	発生材運搬	積込み共		1		式						A別 - 22	
	計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
II	外構工事（第3期）					
1	第1昇降口廻り					
2	正門廻り					
3	石綿撤去プラント設置廻り(中庭)					
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	第1昇降口廻り												
	(撤去)												
	土間コンクリート撤去	鉄筋切断共	集積共	13		m3							
	手洗流し撤去	コンクリート											
		2000×2090×H950	集積共	3		か所							
	資源庫・自転車置場撤去	S造 屋根、外壁共											
		W12105×D2210×H2250	集積共	1		か所							
	碎石撤去	集積共		10.6		m2							
	カッター入れ	アスファルト		1.5		m							
	アスファルト舗装撤去	集積共		13.4		m3							
	コンクリート舗装撤去	集積共		4.9		m3							
	舗装路盤材撤去	集積共		47.6		m3							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
						A代 - 47
歩車道境界ブロック撤去	150/170×200 集積共	25.6	m3			
グレーチング蓋撤去	U-240用 集積共	5.9	m			
伐根	φ 500 集積共	1	本			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	(改修)												
	床モルタル塗り	モルタル仕上げ											
		目地切共	49.7	m2									
	土間コンクリート	コンクリート:t120 鉄筋:D10@200タテヨコ											
		路盤:t120	49.7	m2									
	手洗い流し	タイル貼り仕上げ										A代 - 48	
		2100×1000 地業、土工共	1	か所									
	手洗い流し	タイル貼り仕上げ										A代 - 49	
		1900×1000 地業、土工共	2	か所									
	地流し	既製品 W1050×D700×H800										A代 - 50	
		地業、土工共	1	か所									
	透水性アスファルト舗装												
		A-5-15-10	326.8	m2									
	アスファルト舗装												
		A-5-15	35.3	m2									
	すきとり												
			30.5	m3									
	歩車道境界ブロック												
		150/170×200	20.2	m									

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	縁石	120×120		13.6		m							
	グレーチング蓋	U-240用		5.9		m							
	渡り廊下 DP塗替え	鉄部		106		m ²							
	スチール組立式物置基礎	2630×1400										A代 - 51	
		地業、土工共		1		か所							
	スチール組立式物置 一時撤去・再設置	1750×710		1		か所							
	計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	正門廻り						
	(撤去)						
	アスファルト舗装撤去	集積共	4.3	m3			
	舗装路盤材撤去	集積共	21.4	m3			
	スチール製片開門扉撤去	L=1030 H=1400 集積共	1	か所			
	スチール製片引き門扉撤去	L=5150 H=1400 門扉止め、レール共 集積共	1	か所			
	門扉基礎撤去	コンクリート 集積共	4.5	m3			
	門扉基礎地業撤去	集積共	1.2	m3			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(改修)						
透水性アスファルト舗装	A-5-25-10	323	m2			
縁石	120×120	14	m			
壁 防水型複層塗材E	ゆず肌状 耐候性1種 フッ素樹脂					
	コンクリート面 下地調整(C-2)	29.6	m2			
	既存塗膜除去共					
ステンレス製片開門扉	L=1030 H=1400					A代 - 52
	基礎、地業、土工共	1	か所			
ステンレス製片引き門扉	L=5250 H=1400					A代 - 53
	基礎、地業、土工共	1	か所			
ネットフェンス撤去・再設置	H=1200	10	m			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	石綿撤去プラント設置廻り(中庭)												
	ネットフェンス撤去・再設置	H=1200		12		m							
	コンクリートコア縁石150φ撤去・再設置			31		m							
	高木 伐根・伐採	φ 800		1		本							
	高木 伐根・伐採	φ 250～φ 650		8		本							
	高木 伐根・伐採	φ 100～φ 160		3		本							
	切土	人力士工・場内仮置き		6.6		m3							
	敷き戻し	締固め共		6.6		m3							
	透水性アスファルト舗装	A-5-25-10		36		m2							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
III	処分 (第3期)												
	発生材処分	処分費		1			式						A別 - 12、A別 - 21、A別 - 23
		スクラップ		1			式						A別 - 13
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 1

北棟

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	墨出し						
	墨出し(内部改修)	個別改修	16.9	m2			
	墨出し(内部改修)	複合改修	1544	m2			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 2

北棟

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	養生												
	養生(屋上防水改修)	塗膜防水・シート防水		709		m2							
	養生(外壁改修)			353		m2							
	養生(内部改修)	個別改修		16.9		m2							
	養生(内部改修)	複合改修		1556		m2							
	計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

A別 - 3

北棟

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	整理清掃後片付け						
	整理清掃後片付け(屋上防水改修)	塗膜防水・シート防水	709	m2			
	整理清掃後片付け(外壁改修)		353	m2			
	整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	16.9	m2			
	整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	1556	m2			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 4

北棟

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	外部足場						
	枠組本足場(手すり先行方式)	建枠900 500+240布枠 12m未満	1466	m2			
	枠組本足場(手すり先行方式)	建枠900 500+240布枠 22m未満	388	m2			
	安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用	178	m			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

A別 - 5

北棟

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	内部足場						
	内部仕上足場	階高4.0m以下	1450	m2			
	内部階段仕上足場		94.5	m2			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 6

北棟

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	仮設間仕切						
	仮設間仕切	B種 軽鉄下地+合板	41.1	m2			
	仮設扉取付費	片開き程度	6	か所			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 7 北棟

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	災害防止												
	ネット状養生シート張り	防災 I 類		1855		m2							
	小幅ネット張り(層間塞ぎ)	防災ポリエステル		299		m							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 8

北棟

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
8	仮設材運搬												
	仮設材運搬(枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠900		1855		m2							
	仮設材運搬(安全手すり)	枠組本足場用(手すり先行方式)		177		m							
	仮設材運搬(内部仕上足場)	階高4.0m以下		1450		m2							
	仮設材運搬(内部階段仕上足場)			94.5		m2							
	仮設材運搬(シート・ネット類)			1855		m2							
	仮設材運搬(小幅ネット)			299		m							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 9

北棟

名 称		摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
9	軽鉄壁下地 開口部補強						
	軽鉄壁下地 開口部補強	W=100 扉四方					
		W400×H600	3	か所			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 10

北棟

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
10	軽鉄天井下地 開口部補強												
	軽鉄天井下地 開口補強	450×450		28		か	所						
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 11

北棟

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	発生材運搬	積込み共					
	発生材積込み	コンクリート類	132	m3			
	発生材積込み	木材・内装材類	144	m3			
	発生材積込み	アスベスト含有材	9	m3			
	発生材積込み	樹木	9.3	m3			
	撤去材運搬	コンクリート	22.7	m3			
	撤去材運搬	コンクリート類	11	m3			
	撤去材運搬	アスファルトコンクリート	17.7	m3			
	撤去材運搬	砕石	80.9	m3			
	撤去材運搬	陶磁器類	2.3	m3			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 11

北棟

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去材運搬	木材類	35.6	m3			
撤去材運搬	内装材類	91.3	m3			
撤去材運搬	アスベスト含有材	9	m3			
撤去材運搬	石膏ボード類	4.8	m3			
撤去材運搬	廃プラスチック類	0.5	m3			
撤去材運搬	ガラス	1.4	m3			
撤去材運搬	樹木	9.3	m3			
撤去材運搬	混合廃棄物	8.3	m3			
撤去材運搬	吹付けアスベスト廃棄物	1	式			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 12

北棟

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	発生材処分	処分費					
	発生材処分	コンクリート	52.1	t			
	発生材処分	コンクリート類	21.7	t			
	発生材処分	アスファルトコンクリート	40.7	t			
	発生材処分	砕石	121	t			
	発生材処分	陶磁器類	4.3	t			
	発生材処分	木材類	35.6	m3			
	発生材処分	内装材類	91.3	m3			
	発生材処分	アスベスト含有材	9	m3			
	発生材処分	石膏ボード類	4.8	m3			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 12

北棟

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材処分	廃プラスチック類(塩ビ管)	0.5	m3			
発生材処分	ガラス	3.7	t			
発生材処分	樹木	9.3	m3			
発生材処分	混合廃棄物	8.3	m3			
発生材処分	吹付けアスベスト廃棄物	1	式			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 13

北棟

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
13	発生材処分	スクラップ											
	有価物売却費	鉄屑		2.3		t							
	有価物売却費	ステンレス屑		109		kg							
	有価物売却費	アルミ屑		136		kg							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 14

北棟

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
14	階段内側												
	シャッター化粧ボックス												
	下地鉄骨	□-100×100×4.5		87		kg							
	同上取付け費			1		式							#REF!
	片面耐火壁	強化石膏ボード ¹ t=21.0+21.0		1.5		m2							
	軽量鉄骨壁下地	下り壁下地		6.1		m							
	軽鉄天井下地	下地張りなし @225		1.8		m2							
	壁 石膏ボード	t12.5 継目処理		3.6		m2							
	壁 EP塗り	ボード面		3.6		m2							
	取合いシール	変成シリコン 15×10		2.4		m							
	壁 モルタル塗り	塗装下地		1.4		m2							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 14

北棟

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	既存化粧箱撤去			6.1		m							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 15

中央棟

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
15	養生						
	養生(屋上防水改修)	塗膜防水・シート防水	16.1	m2			
	養生(外壁改修)		3.2	m2			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 16

中央棟

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
16	整理清掃後片付け					
	整理清掃後片付け(屋上防水改修)	塗膜防水・シート防水	16.1	m2		
	整理清掃後片付け(外壁改修)		19.2	m2		
	計					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 17

中央棟

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
17	外部足場						
	枠組本足場(手すり先行方式)	建枠900 500+240布枠 12m未満	46.9	m2			
	安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用	11.6	m			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 18

中央棟

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
18	災害防止						
	ネット状養生シート張り	防災 I 類	46.9	m2			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 19

中央棟

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
19	仮設材運搬												
	仮設材運搬(枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠900		46.9		m2							
	仮設材運搬(安全手すり)	枠組本足場用(手すり先行方式)		11.6		m							
	仮設材運搬(シート・ネット類)			46.9		m2							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 20

中央棟

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
20	発生材運搬	積み込み共					
	発生材積み込み	コンクリート類	0.1	m3			
	撤去材運搬	コンクリート類	0.1	m3			
	撤去材運搬	吹付けアスベスト廃棄物	1	式			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 21

中央棟

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
21	発生材処分	処分費					
	発生材処分	コンクリート類	0.1	t			
	発生材処分	吹付けアスベスト廃棄物	1	式			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 22

南棟

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
22	発生材運搬	積込み共											
	発生材積込み	木材・内装材類		1.9		m3							
	撤去材運搬	木材類		1.9		m3							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A別 - 23

南棟

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
23	発生材処分	処分費					
	発生材処分	木材類	1.9	m3			
	計						

上段	変更設計
下段	原設計

単価作成用紙

A代 - 1

			1m3当たり	
コンクリート	Fc-18 S-15 材工共			採用

1m3当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	Fc-18 S-15	1	m3			
特殊作業員		0.65	人			
その他	(労)×25%	1	式			
計						

A代 - 2

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

			1m3当たり	
コンクリート	Fc-21 S-18 材工共			採用

1m3当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	Fc-21 S-18	1	m3			
特殊作業員		0.65	人			
その他	(労)×25%	1	式			
計						

A代 - 3

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1か所当たり	
異形鉄筋	SD295A D10 運搬費、材工共			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形鉄筋	SD295A D10	1.04	t			
鉄筋スクラップ控除		0.28	t			
鉄筋加工組立	場内運搬共	1	t			
鉄筋運搬費		1	t			
計						

A代 - 4

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1か所当たり	
異形鉄筋	SD295A D13 運搬費、材工共			採用

1か所当たり

名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形鉄筋	SD295A D13	1.04	t			
鉄筋スクラップ控除		0.28	t			
鉄筋加工組立	場内運搬共	1	t			
鉄筋運搬費		1	t			
計						

A代 - 5

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	アルミ W=590		1m当たり	
EXP.Jカバー 取外し・再取付	クリアランス290 屋根-屋根用			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		0.104	人			
その他	(労)×20%	1	式			
計						

単価作成用紙

A代 - 6

	スチール C-200×50×6、CPL-6		1か所当たり	
鉄骨階段	W900×D1000×H800 基礎共			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
溝形鋼	C-200×50×6	27.72	kg			
縞鋼板	PL-6	30.42	kg			
鉄骨錆止め塗料塗り		55.37	kg			
鉄骨加工組立	工場加工、場内運搬共	55.37	kg			
鉄骨運搬費		55.37	kg			
SOP塗り	鉄部	2.19	m2			
コンクリート	Fc-18 S-15 材工共	0.08	n3			A代 - 1
異形鉄筋	SD295A D10 運搬費、材工共	0.008	t			A代 - 3
普通型枠	運搬費共	0.54	m2			
緩衝マット		0.72	m2			

A代 - 7

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

ネットフェンス	ネットのみ H=1800	1m当たり	採用
---------	--------------	-------	----

1m当たり						
名称	摘要・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ネットフェンス	H=1800	1	m			
板金工		0.162	人			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

単価作成用紙

A代 - 8

			1か所当たり	
フェンス門扉	W800×H1800			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
フェンス門扉		1	か所			
板金工		0.418	人			
その他	(労)×20%	1	式			
計						

A代 - 9

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	アルミ W=5000 1時間耐火		1m当たり	
EXP.Jカバー 取外し・再取付	クリアランス300 壁-壁			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		0.104	人			
その他	(労)×20%	1	式			
計						

A代 - 10

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1m当たり	
笠木 取外し・再取付	鋼板曲げ加工 W=300			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		0.104	人			
その他	(労)×20%	1	式			
計						

単価作成用紙

A代 - 11

AWD13	W2610×H2500		1か所当たり	
両袖FIX ランマ付両開きドア	錠前交換 調整及び清掃			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD13						
錠前交換		1	か所			
調整及び清掃		6.53	m2			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

単価作成用紙

A代 - 12

AWD16	W2170×H2500		1か所当たり
ランマ付両開きドア	錠前交換 調整及び清掃		
			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD16						
錠前交換		1	か所			
調整及び清掃		5.43	m2			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

A代 - 13

AWD17a	W2140×H2500		1か所当たり	
ランマ付両開きドア	錠前交換 調整及び清掃			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD17a 錠前交換		1	か所			
調整及び清掃		5.35	m2			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

A代 - 14

AWD17b	W2140×H2500		1か所当たり
ランマ付両開きドア	錠前交換 調整及び清掃		採用

1か所当たり

名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD17b 錠前交換		1	か所			
調整及び清掃		5.35	m2			
計						

上段	変更設計
下段	原 設計

単価作成用紙

A代 - 15

AWD20	W1450×H2500		1か所当たり	
袖FIX ランマ付片開きドア	錠前交換 調整及び清掃			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AWD20 錠前交換		1	か所			
調整及び清掃		3.63	m2			
計						

A代 - 16

単価作成用紙

上段 変更設計

下段 原設計

AWD21	W1320×H2500		1か所当たり	
袖FIX ランマ付片開きドア	錠前交換 調整及び清掃		採用	

1か所当たり						
名称	摘要・規格	数量	単位	単価	金額	備考
AWD21						
錠前交換		1	か所			
調整及び清掃		3.3	m2			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

単価作成用紙

A代 - 17

AD1	W1800×H1900		1か所当たり
額入両開きドア	錠前交換 調整及び清掃		採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AD1 錠前交換		1	か所			
調整及び清掃		3.42	m2			
計						

A代 - 18

単価作成用紙

上段 変更設計

下段 原設計

床	無地 t2 熱溶接工法		1m2当たり	
ビニル床シート	センターライン付			採用

1m2当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床シート	無地 t2 センターライン付	1.05	m2			
接着剤	ビニル系床材用	0.3	kg			
内装工		0.04	人			
その他	(労+材)×19%	1	式			
計						

(P. A代 - 18 -) ()

富士見市 総合政策部 管財課

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

階段	無地 t2 熱溶接工法		1m2当たり	
ビニル床シート	センターライン付			採用

1m2当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床シート	無地 t2 センターライン付	1.08	m2			
接着剤	ビニル系床材用	0.3	kg			
内装工		0.07	人			
その他	(労+材)×19%	1	式			
計						

A代 - 20

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1m当たり	
畳押え	木製 65×55			採用

1m当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	平割材		杉	上小節	0.004		m	3						
	畳寄せ		施工	手間	1		m							
	計													

A代 - 21

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

				1m当たり			
畳寄せ	木製 W=25					採用	

1m当たり								
名 称		摘 要・規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	平割材	杉 上小節		0.001	m3			
	畳寄せ	施工手間		1	m			
	計							

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

床組	H=40		1m当たり	採用
----	------	--	-------	----

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉	0.001	m3			
床組	ころばし床組	1	m2			
計						

A代 - 23

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1m当たり	
木製巾木	ラワン H=60			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉 上小節	0.001	m3			
幅木	施工手間	1	m			
計						

A代 - 24

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

腰壁			1m当たり	
木製巾木	H=60			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉 上小節	0.001	m3			
回り縁	30×36 6-44-1 施工手間	1	m			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

単価作成用紙

A代 - 25

シャッター化粧ボックス			一式	
下地鉄骨取付け費	150/170×200 集積共			採用

一式						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨材取付け		0.087	t			
現場溶接		2.4	m			
あと施工アンカー		8	本			
計						

A代 - 26

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

腰壁			1m当たり	
出隅見切				採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉 上小節	0.002	m3			
回り縁	30×36 6-44-1 施工手間	1	m			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

腰壁			1m当たり	
腰壁見切(上部)				採用

1m当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	平割材		杉	上小節	0.002		m	3						
	回り縁		30×36	6-44-1 施工手間	1		m							
	計													

A代 - 28

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

腰壁			1m当たり	
腰壁見切(縦部)				採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉 上小節	0.002	m3			
回り縁	30×36 6-44-1 施工手間	1	m			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1m2当たり	
胴縁組	45×18 @450			採用

1m2当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉	0.004	m3			
胴縁	施工手間	1	m2			
計						

A代 - 30

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

木壁端部			1m当たり	
壁見切	木製 90×25			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉 上小節	0.002	m3			
額縁(窓出入口)	施工手間	1	m			
計						

上段	変更設計
下段	原設計

単価作成用紙

A代 - 31

木壁端部			1m当たり	
壁見切	木製 100×25			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉 上小節	0.003	m3			
額縁(窓出入口)	施工手間	1	m			
計						

A代 - 32

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

			1m当たり	
木製長押	70×25			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉 上小節	0.002	m3			
付鴨居	25×40 6-44-1 施工手間	1	m			
計						

A代 - 33

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1m当たり	
掲示板貼付け用幕板	30×30			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉 上小節	0.0009	m3			
付鴨居	25×40 6-44-1 施工手間	1	m			
計						

A代 - 34

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

教室			1か所当たり	
煙突塞ぎ	スチール PL-3 150×150			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼板	t3	0.53	kg			
鉄骨錆止め塗料塗り		0.53	kg			
鉄骨加工組立	工場加工、場内運搬共	0.53	kg			
鉄骨運搬費		0.53	kg			
計						

A代 - 35

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

廊下			1か所当たり	
児童用フック				採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
児童用フック		1	個			
左官		0.008	人			
その他	(労)×25%	1	式			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

掲示板	合板+胴縁組		1m2当たり	採用
-----	--------	--	--------	----

1m2当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掲示用クロス		1	m2			
壁化粧シート張り手間	モルタル、木部	1	m2			
壁合板張り	ラワン2類 厚さ5.5mm	1	m2			
	見え隠れ					
平割材	杉 小節	0.004	m3			
胴縁	施工手間	1	m2			
計						

A代 - 37

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1m当たり	
掲示板	木枠			採用

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平割材	杉 上小節	0.002	m3			
額縁(窓出入口)	施工手間	1	m			
計						

(P. A代 - 37 -) ()

富士見市 総合政策部 管財課

単価作成用紙

A代 - 38

	木枠 合板+胴縁下地		1か所当たり	
掲示板	W1340×H1180			採用

1か所当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	掲示板		合板+胴縁組		1.581		m2							A代 - 36
	掲示板		木枠		5.04		m							A代 - 37
	計													

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	木枠 合板+胴縁下地		1か所当たり	
掲示板	W1440×H1180			採用

1か所当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	掲示板		合板+胴縁組		1.699		m2							A代 - 36
	掲示板		木枠		5.24		m							A代 - 37
	計													

A代 - 40

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	木枠 合板+胴縁下地		1か所当たり	
掲示板	W1455×H970			採用

1か所当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	掲示板		合板+胴縁組		1.411		m2							A代 - 36
	掲示板		木枠		4.85		m							A代 - 37
	計													

A代 - 41

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	木枠 合板+胴縁下地		1か所当たり	
掲示板	W1540×H1180			採用

1か所当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	掲示板		合板+胴縁組		1.817		m2							A代 - 36
	掲示板		木枠		5.44		m							A代 - 37
	計													

A代 - 42

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	木枠 合板+胴縁下地		1か所当たり	
掲示板	W1655×H970			採用

1か所当たり													
名	称	摘	要	規	格	数量	単位	単	価	金	額	備	考
	掲示板		合板+胴縁組			1.605	m2						A代 - 36
	掲示板		木枠			5.25	m						A代 - 37
	計												

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	木枠 合板+胴縁下地		1か所当たり	
揭示板	W2515×H970			採用

1か所当たり						
名称	摘要・規格	数量	単位	単価	金額	備考
揭示板	合板+胴縁組	2.44	m ²			A代 - 36
揭示板	木枠	6.97	m			A代 - 37
計						

上段	変更設計
下段	原設計

単価作成用紙

A代 - 45

第1昇降口	コンクリート			1m2当たり	
スロープ新設	W2100×L2400×H150～350				採用

1m2当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート						A代 - 1
	Fc-18 S-15 材工共	0.612	m3			
異形鉄筋						A代 - 3
	SD295A D10 運搬費、材工共	0.034	t			
普通型枠						
	運搬費共	1.92	m2			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

EXP.Jカバー 取外し・再取付			1m当たり	採用
------------------	--	--	-------	----

1m当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		0.104	人			
その他	(労)×20%	1	式			
計						

A代 - 47

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1か所当たり	
歩車道境界ブロック撤去	150/170×200 集積共			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		0.036	人			
その他	(労)×25%	1	式			
計						

単価作成用紙

A代 - 48

	タイル貼り仕上げ		1か所当たり	
手洗い流し	2100×1000 地業、土工共			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り		3.739	m3			
埋戻し		3.062	m3			
敷きならし	締固め共	0.677	m3			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.238	m3			
捨てコンクリート地業	Fc-18 S-15 材工共	0.099	m3			A代 - 1
異形鉄筋	SD295A D10 運搬費、材工共	0.018	t			A代 - 3
異形鉄筋	SD295A D13 運搬費、材工共	0.051	t			A代 - 4
普通コンクリート	Fc-21 S-18 材工共	0.85	n3			A代 - 2
普通型枠	運搬費共	7.308	m2			
打放し型枠	運搬費共	1.687	m2			

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打放し面補修	B種 コーン処理	1.687	m2			
コンクリートブロック積み	空洞ブロック08 t120 塗り下	0.647	m2			
塗膜防水	X-2 平場	0.647	m2			
塗膜防水	X-2 立上り	0.524	m2			
モザイクタイル	50角	3.172	m2			
モザイクタイル(役物)	50角	8.98	m			
壁 モルタル塗り	モルタル仕上げ	0.647	m2			
壁 モルタル塗り	タイル下地	0.647	m2			
壁 モルタル塗り	塗膜防水下地	4.07	m2			
笠木 コンクリート直均し仕上げ		3	m			
撥水剤塗り	撥水材下地 W=120	1.543	m2			

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	計					

単価作成用紙

A代 - 49

	タイル貼り仕上げ		1か所当たり	
手洗い流し	1900×1000 地業、土工共			採用

1か所当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	根切り				3.497	m3								
	埋戻し				2.883	m3								
	敷きならし		締	固め共	0.614	m3								
	砂利地業		再	生クラッシュラン	0.216	m3								
	捨てコンクリート地業		Fc-18	S-15 材工共	0.09	m3							A代 - 1	
	異形鉄筋		SD295A	D10 運搬費、材工共	0.017	t							A代 - 3	
	異形鉄筋		SD295A	D13 運搬費、材工共	0.047	t							A代 - 4	
	普通コンクリート		Fc-21	S-18 材工共	0.779	m3							A代 - 2	
	普通型枠			運搬費共	6.716	m2								
	打放し型枠			運搬費共	1.559	m2								

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打放し面補修	B種 コーン処理	1.559	m2			
コンクリートブロック積み	空洞ブロック08 t120 塗り下	0.581	m2			
塗膜防水	X-2 平場	0.581	m2			
塗膜防水	X-2 立上り	0.484	m2			
モザイクタイル	50角	2.902	m2			
モザイクタイル(役物)	50角	8.58	m			
壁 モルタル塗り	モルタル仕上げ	0.581	m2			
壁 モルタル塗り	タイル下地	0.581	m2			
壁 モルタル塗り	塗膜防水下地	3.72	m2			
笠木 コンクリート直均し仕上げ		2.8	m			
撥水剤塗り	撥水材下地 W=120	1.431	m2			

A代 - 50

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	既製品 W1050×D700×H800		1か所当たり	
地流し	地業、土工共			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り		1.845	m3			
埋戻し		1.275	m3			
敷きならし	締固め共	0.57	m3			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.086	m3			
捨てコンクリート地業	Fc-18 S-15 材工共	0.043	m3			A代 - 1
地流し	既製品 W1050×D700×H800	1	か所			
地流し設置手間		1	式			
計						

A代 - 51

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	2630×1400		1か所当たり	
スチール組立式物置基礎	地業、土工共			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り		0.941	m3			
埋戻し		0.765	m3			
敷きならし	締固め共	0.176	m3			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.105	m3			
異形鉄筋						A代 - 4
	SD295A D13 運搬費、材工共	0.007	t			
普通コンクリート						A代 - 2
	Fc-21 S-18 材工共	0.142	n3			
普通型枠						
	運搬費共	1.252	m2			
床						
コンクリート直均し仕上げ	コンクリート直均し仕上げ	0.71	m2			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	L=1030 H=1400		1か所当たり	
ステンレス製片開門扉	基礎、地業、土工共			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り		0.721	m3			
埋戻し		0.535	m3			
敷きならし	締固め共	0.186	m3			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.052	m3			
普通コンクリート	Fc-21 S-18 材工共	0.134	n3			A代 - 2
普通型枠	運搬費共	1.064	m2			
コンクリート直均し仕上げ		2.8	m			
ステンレス製片開門扉	L=1030 H=1400	1	か所			
計						

単価作成用紙

A代 - 53

	L=5250 H=1400		1か所当たり	
ステンレス製片引き門扉	基礎、地業、土工共			採用

1か所当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	根切り				10.4	m3								
	埋戻し				5.027	m3								
	敷きならし		締	固め共	5.373	m3								
	砂利地業		再	生クラッシュラン	1.155	m3								
	捨てコンクリート地業		Fc-18	S-15 材工共	0.578	m3							A代 - 1	
	異形鉄筋		SD295A	D10 運搬費、材工共	0.08	t							A代 - 3	
	異形鉄筋		SD295A	D13 運搬費、材工共	0.103	t							A代 - 4	
	普通コンクリート		Fc-21	S-18 材工共	3.64	m3							A代 - 2	
	普通型枠			運搬費共	7.98	m2								
	打放し型枠			運搬費共	1.687	m2								

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

1か所当たり							
名 称		摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	床						
	コンクリート直均し仕上げ	コンクリート直均し仕上げ	10.4	m2			
	ステンレス製片引き門扉	L=5250 H=1400	1	か所			
	計						

単価作成用紙

A代 - 54

家具備品			一式	
一時移設再設置				採用

一式						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
第1昇降口 レリーフ 一時移設・再設置	W3150×H850	2	か所			
第1昇降口 レリーフ 一時移設・再設置	W1800×H900	1	か所			
第1昇降口 スチール清掃具入 一時移設・再設置	W600×D520×H1790	1	か所			
図書室 図書カウンター 一時移設・再設置	W2700×D1530×H705	1	か所			
図書室 両面傾斜中書架 一時移設・再設置	W3600×D700×H1100	1	か所			
図書室 両面傾斜低書架 一時移設・再設置	W1800×D350×H850	4	か所			
保健室 洗濯機	W500×D500×H900	1	か所			
配膳室 冷蔵庫	W1800×D900×H1950	1	か所			
保健室前廊下 担架	W270×D270×H1970	1	か所			
計						

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

			1か所当たり	
階段階数表示	350×350			採用

1か所当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
階段サイン		1	か所			
内装工		0.06	人			
その他	(労)×25%	1	式			
計						

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】

図 面 リ ス ト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-0	表紙・図面リスト	A-24	北棟1階 普通教室2-2、2-3 平面詳細図・展開図 【改修前・後】	A-56	家具キープラン 3階平面図		
TA-01	特記仕様書（改修その1）	A-25	北棟1階 普通教室 2年生活科室 平面詳細図・展開図 【改修前・後】	A-57	家具詳細図（1）		
TA-02	特記仕様書（改修その2）	A-26	北棟2階 普通教室4-1 平面詳細図・展開図 【改修前・後】	A-58	家具詳細図（2）		
TA-03	特記仕様書（改修その3）	A-27	北棟2階 普通教室4-2、4-3、4年学習室 平面詳細図・展開図 【改修前・後】	A-59	家具詳細図（3）		
TA-04	特記仕様書（改修その4）	A-28	北棟3階 普通教室5-1 平面詳細図・展開図 【改修前・後】	A-60	家具詳細図（4）		
TA-05	特記仕様書（改修その5）	A-29	北棟3階 普通教室5-2、5-3、5年学習室 平面詳細図・展開図 【改修前・後】	A-61	家具詳細図（5）		
TA-06	特記仕様書（改修その6）	A-30	北棟 1階 廊下 展開図（教室前）【改修前・後】	A-62	サインキープラン 1階平面図		
		A-31	北棟 2階 廊下 展開図（教室前）【改修前・後】	A-63	サインキープラン 2階平面図		
		A-32	北棟 3階 廊下 展開図（教室前）【改修前・後】	A-64	サインキープラン 3階平面図		
A-1	案内図・配置図	A-33	1階 天井伏図 【改修前】	A-65	サイン詳細図		
A-2	外部仕上表（北棟）	A-34	1階 天井伏図 【改修後】	A-66	黒板・掲示板キープラン 1階平面図		
A-3	内部仕上表（北棟）	A-35	2階 天井伏図 【改修前】	A-67	黒板・掲示板キープラン 2階平面図		
A-4	1階平面図 【改修前】	A-36	2階 天井伏図 【改修後】	A-68	黒板・掲示板キープラン 3階平面図		
A-5	1階平面図 【改修後】	A-37	3階 天井伏図 【改修前】	A-69	黒板・掲示板詳細図		
A-6	2階平面図 【改修前】	A-38	3階 天井伏図 【改修後】	A-70	外壁・軒裏劣化位置図（北棟）		
A-7	2階平面図 【改修後】	A-39	北棟 屋根(1)・屋根(4)・屋根(5) 防水改修平面図	A-71	仮設計画図(参考)【第3期：北棟】		
A-8	3階平面図 【改修前】	A-40	北棟 屋上(1)・(1-2) 防水改修平面図	A-72	屋内工事計画図(1)《夏休み期間》		
A-9	3階平面図 【改修後】	A-41	部分詳細図(防水、屋根関連)	A-73	屋内工事計画図(2)《夏休み前・9月以降》		
A-10	R・PH階平面図 【改修前・後】	A-42	部分詳細図(1)	A-74	南棟1階 保健室廻り 平面詳細図【改修前・後】		
A-11	立面図(北棟)【改修前】	A-43	外構図(1)	A-75	南棟1階 保健室廻り 展開図【改修前・後】		
A-12	立面図(北棟)【改修後】	A-44	外構図(2)				
A-13	矩計図(北棟)【改修前・後】	A-45	外構図(3)				
A-14	階段詳細図(北棟)【改修前・後】	A-46	建具キープラン 1階平面図				
A-15	北棟1階 配膳室・第1昇降口 平面詳細図【改修前・後】	A-47	建具キープラン 2階平面図				
A-16	北棟1階 配膳室・第1昇降口 展開図【改修前】	A-48	建具キープラン 3階平面図				
A-17	北棟1階 配膳室・第1昇降口 展開図【改修後】	A-49	建具キープラン R・PH階平面図				
A-18	中央棟1階 図書室 平面詳細図【改修前・後】	A-50	建具表(1)《AW・SS・SD》				
A-19	北棟1階 廊下 展開図【改修前・後】	A-51	建具表(2)《LSD・WD・SP・AW》				
A-20	北棟2~3階 配膳室・廊下 平面詳細図【改修前・後】	A-52	建具表(3)《AW》				
A-21	北棟2~3階 配膳室・廊下 展開図【改修前】	A-53	建具表(4)《AWD・AD・SS・SD》				
A-22	北棟2~3階 配膳室・廊下 展開図【改修後】	A-54	家具キープラン 1階平面図				
A-23	北棟1階 普通教室2-1 平面詳細図・展開図 【改修前・後】	A-55	家具キープラン 2階平面図				

工事名	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事（第3期工事）
-----	-------------------------

I 工事概要

1. 工事場所	富士見市大宇勝瀬地内
2. 敷地面積	21,718.955 ㎡
3. 工事種目 (建物概要)	棟名称 構造 階数 延べ面積 南棟 RC造 地上3階(塔屋1階) 2,858㎡ 中央棟 RC造 地上3階(塔屋1階) 2,464㎡ 北棟 RC造 地上3階(塔屋1階) 1,743㎡ 合計 7,065㎡

4. 工事内容 A. 内部改修工事

- 内装改修工事
 - 天井改修工事
 - 床改修工事
 - 間仕切改修工事
 - 家具改修工事
- 塗装改修工事(床・壁・天井)
 - 建具改修工事
- 外部改修工事
 - 外壁改修工事
 - 1、アスベスト材(外壁吹付材)撤去工事
 - 2、外壁改修工事
 - 防水改修工事
 - 外構改修工事

5. 工期	契約工期 契約日から令和3年12月28日まで 共通仮設費率の算定に用いる工期 令和3年6月1日から令和3年11月15日まで 主任技術者又は監視技術者の委任を要しない期間 契約日から令和3年5月31日まで 現場代理人の常駐を要しない期間 契約日から令和3年5月31日まで 現場施工期間 令和3年6月1日から令和3年11月15日まで
-------	--

- 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目	工事種目	大規模改造工事
2 仮設工事		●
3 防水改修工事		●
4 外壁改修工事		
-1 コンクリート打直し 仕上げ外壁		
-2 モルタル塗り仕上げ外壁		
-3 タイル張り仕上げ外壁		
-4 塗り仕上げ外壁		●
5 建具改修工事		●
6 内装改修工事		●
7 塗装改修工事		●
8 耐震改修工事		
9 環境配慮改修工事		●
10 鉄筋工事		●
11 コンクリート工事		●

II 建築改修工事仕様

- 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉建築工事特別共通仕様書」、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。)及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。
- 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ」、以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
- 本特記仕様書の表記
 - 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - 印と※印の付いた場合は、共に適用する。○印と※印の場合は、○のみを適用する。
 - 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、「埼玉建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
 - 特記事項に記載の〔 . . . 〕内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
 - 製造事項は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、()内は製品名を示す。
 - 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成29年2月7日閣議決定)」(以下「グリーン購入法基本方針」)による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。なお、[G]印は設計図書で定めのある品目を示す。
 - 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項目	特記事項
---	----	------

1 一般共通事項	① 適用基準等	※埼玉建築工事実務要領に記載の要領等 ※建築工事監理指針(国土交通省監修)(参考図書) ※建築工事標準詳細図(国土交通大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版)
	② 条件明示事項	建築工事保険等 (I.1.3) (種類: 期間: 工事完成期日後14日を含む期間)
	③ 工事実績情報の登録	※行う(請負代金額500万円以上、10日以内に登録) ・行わない [1.1.4][1.1.8]
	④ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速(V0=3.2m/s) 地表面程度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・積雪荷重 H12.5.31告示第145号における区域 別表() ・大地上部の特設基礎等及び非従性能を確保する場合の層間変形角 1/200、1/150、1/120、…図示() 確認箇所()
	⑤ 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 ・監督員指定の別契約工事を行う全体調整に全面的に協力する。 [1.1.7]
	⑥ 工事の記録	埼玉建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。 埼玉電子納品運用ガイドライン ※適用する(OD-Rで1部提出) ・適用しない
	⑦ 電気保安技術者	適用する [1.3.3][1.3.1]
	⑧ 施工条件	施工時間 [1.3.5] ※行政機関の休日に関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督員からの承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。 ・年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間指定期間) ◎現場説明事項に依る 完成図面以外の施工条件 ・図示による
	⑨ 施工中の安全確保	本工事の受注者が同施設の別途工事を含めた統括安全衛生責任者とする。 [1.3.7]
	⑩ 環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.10]
⑪ 発生材の処理等	⑪ 発生材の処理等 [1.3.12][1.1.13] ※工事着手時に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、総合施工計画書に含め各1部提出する。 ※工事完成後速やかに「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を作成し、監督員に各1部提出する。 ◎構外撤出適正処理 ・引き渡しを要するもの(・図示)	
⑫ 農産物の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。	
⑬ 環境への配慮	⑬ 環境への配慮 [1.4.1][1.4.3] 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パネティックボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保溫材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びヒステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放射量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びヒステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。	
⑭ 材料の品質等	⑭ 材料の品質等 [1.4.2] ※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承認を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木製品等の合法性、持続可能性の証明のための「伐りつ」(林野庁 H18.2.15)に準拠した証明書」を監督員に提出する。	
⑮ 技能士	⑮ 技能士 [1.6.2][1.3.3] 工事種別 適用技能士 仮設工事 ・とび作業 防水改修工事 ・ファルト防水工事作業 ○ケラッキョム系塗膜防水工事作業 ・ファルト系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ◎塩化ビニル系シート防水工事作業 ・モルタル防水工事作業 ・ソリッド防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質ファルトシート工法防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業 外壁改修工事 ・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業 ・樹脂接着剤注入作業 建具改修工事 ◎ピル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業 内装改修工事 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・銅製下地工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・タイル張り作業 ・吹付け硬質ウレタン断熱工事作業 ・保温保冷工事作業 ・壁張作業 塗装改修工事 ・木工塗装作業 ◎建築塗装作業 耐震改修工事 ・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業 ・構造物鉄工作業 その他 「コカリ」ロック工事作業 ※監督員との協議による。	

16 中間検査	⑬ 化学物質の濃度測定 [1.6.9] 測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う ①検体の採取方法は吸引方式(アクティブ法)または拡散方式(パッシブ法)による ②ホルムアルデヒド ・ジメチルアミンヒドロキシ誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ(以下HPLC)により行うものとする。 ※パッシブ採取機により採集し、HPLCまたはガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはAHTM-T-吸光度法(以下AHTM-T-Abs)のうち採取機器に適応した分析法による。 ③トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン及びパラジクロロベンゼン・固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法の3種のもののいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行うものとする。 ※パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適応した分析法による。 測定対象室 ◎監督員の指定する室(3室)【普通教室、配膳室、保健室】 ・図示 測定箇所数 ※() ・図示 測定時期 ※工事着手前及び完了後 報告書 ※2部
	16 中間検査 [1.7.2][1.5.1] 中間検査の実施 ※行う(埼玉建築工事検査要綱第4条) ・行わない 中間検査実施回数() 実施段階() 監督員の指示による 中間検査成績評定 ※対象外 ・対象(埼玉建築工事成績評定要領第2) 監督員の指示により埼玉建築工事監督要綱別表第1に示す書類を提出する 完成図等の種類及び記入内容 ・完成(竣工)図(※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの) ※施工図(※構造躯体()) ※施工計画書(総合、工種別とも) 作成方法及び原図のサイズ 完成(竣工)図 ◎A1二つ折り製本1部 ◎A3二つ折り製本2部 施工図 ※A1二つ折り製本1部 施工計画書 ※Aアル等 保全に関する資料 ※1部 (通称取扱いに注意を要するもの使用方法を解説する) 完成写真(埼玉建築工事写真作成要領に基づき作成する) 埼玉電子納品運用ガイドライン ※適用する(OD-Rで1部提出) ・適用しない 撮影者 ※監督員の承諾する撮影者 撮影箇所 ※外部() 内部() 撮影時と完成時の状況を比較できるように撮影する ・埼玉建築工事写真作成要領別表4 写真の大きさ ※カラー写真板 ・カラー全紙パネル 写真帳の大きさ ※監督員の指示による 床下の清掃 ※作業前及び作業終了の提出時期 図面情報電子媒体 ※CD-R 1部(埼玉建築工事図面情報電子媒体作成要領による) CADデータの形式 ※DXF ・DWF verについては監督員と協議する。 施設CADデータ ・更新して提出 ・更新しない
	⑭ 保証書 [1.6.4] 防水工事 ※屋上防水 ・外壁防水 ・金属屋根 [1.6.4] 建物引き渡し日から10年間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2部提出する。 上記以外 ・1部提出
	⑮ その他 予備材料 ※監督員の指示による 下請契約 ※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。
	⑯ 仮設工事 [2.1.3] ① 騒音・粉じん等の対策 ② 足場等 ※石綿含有材除去に関する法律の改正により、対応を変更する場合がある。 ◎防音パネル ・防音シート ◎防護シート(※A含有塗料が飛散しないように適切処理をすること) 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示 [2.2.1][表2.2.1] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づき足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり掘置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ◎設置する(設置範囲・図示) ◎設置しない ※足場壁つなぎ部の穿孔作業は、兼じん装置併用工具工法によりアスベスト含有塗料が飛散しないように適切処理をすること 防護シート ◎設置する(設置範囲 図示) ・設置しない 内部足場 ◎設置する(※脚立、足場板等) ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種・B種・C種◎D種・E種) C種: 利用可能なエレベーター(・図示) D種: 利用可能な階段 (・図示)
	⑰ 既存部分の養生 [2.3.1] 既存部分 養生の方法(※ビニルシート、合板等()) 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等()) 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(・ビニルシート等()) 養生場所(・図示) 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ◎別紙積算書のとおり
⑱ 仮設間仕切り [2.3.2][表2.3.1] 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示	
⑲ 現場事務所 [2.4.1] 規模 ・既存建物内の一部を使用 ◎構内新設(定例会議を開催できる※Aを含むこと) ※設置しない(下記備品のみ用意する) 備品 (名分相当) ・机 ・椅子 ・書棚 ・黒板 ・排時計 ・寒暖計 ・長靴 ◎雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ◎安全帯(※A) ・軍手 ・衣類ロッカー ・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機 ・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター	
⑲ 現場表示板 [2.4.1][1.1.12] ※設置する((1.1.12)による表示(要・不要)・設置しない [2.4.1][1.1.12])	
⑳ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ◎利用できる(※有償 ◎無償) ◎その仮設にかかる費用は受注者の負担とする。
㉑ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ◎利用できる(別途施設調整を行うこと) ◎その仮設にかかる費用は受注者の負担とする。
㉒ 工事用搬入路	※図示
㉓ 仮囲い	※設置位置等は監督員の指示による ◎図示

課長	副課長	主査	主任	担当	日付 2020.4.1	工事名 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事(第3期工事)	図面No. TA-01	
富士見市総合政策部管財課							縮尺 No Scale	図面名称 特記仕様書(改修その1)

⑰ 交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ※監督員の指示による ・図示
12 快適トイレ	仕様 ※図示
⑰ 防水改修工事	⑱ 1 施工数量調査 [1.5.2.3] 調査範囲 ◎図示の範囲 ・ 調査方法 ・図示 ◎目視 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 調査報告書 提出部数 ・2部
	⑱ 2 降雨等に対する養生方法(とい共) [3.1.3] ※[3.1.3](5)(7)~(9)による
	⑱ 3 既存防水の処理 [3.2.3.4.6] 既存保護層の撤去 ◎行う(範囲 ◎図示) ◎行わない 既存防水層の撤去 ◎行う(範囲 ◎図示) ◎行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装除去 ・行う(・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI) ・行わない 既存塗膜防水層表面の仕上塗装除去 ・行う(L4X) ・行わない
	⑱ 4 既存下地の処理 [3.2.6] 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ◎図示
	⑱ 5 アスファルト防水 [3.3.2~5] 屋根保護防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] [9.2.1~3] 仕上塗料 備考 ・P2A ・A-1 ・A-2 ・A-3 ※JIS A 9521に基づく押出法 ※JIS A 9521に70g/m程度 ※JIS R 1250 以上 ・P1B ・B-1 ・B-2 ・B-3 (材質) ※Fアトクノウ ※Fアトクノウ断熱材3種DA (※材質付き) ・P2A1 ・A1-1 ・A1-2 (材質) ※JIS A 9521に基づく押出法 ※Fアトクノウ断熱材3種DA (※材質付き) ・P1B1 ・B1-1 ・T1B1 ・B1-2 ・B1-3 (厚さ) ・25mm ・50mm 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による 平場の保護コンクリートの厚さ ・て仕上げ ※水下 80mm以上 ・床下の張り ※水下 60mm以上 ・乾式保護材 ・窯業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シート ・クレーブ養生したものを、 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものを。
⑱ 6 改質アスファルトシート防水 [3.4.2.3] 屋根露出防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] [9.2.1~3] 仕上塗料 備考 ・M4C ・C-1 (種類・使用量) ※Fアトクノウシート類 の製造所の仕様 ・C-2 ・C-3 ・C-4 ・M3D ・D-1 (種類・使用量) ・POD ・D-2 (種類・使用量) ※Fアトクノウシート類 の製造所の仕様 ・D-3 (脱気装置) ・D-4 (設ける (改修用)に) ・設ける (改修用)に) ・設ける (改修用)に) ・設ける (改修用)に) ・設けない	
⑱ 7 高日射反射率防水の適用 [G] ※適用する ・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定による ・種類() ・設置数量() 個/m ² 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示	
⑱ 8 屋内防水 工法 種別 施工箇所 備考 ・P1E ・E-1 保護層 ・設ける ・P2E ・E-2 保護層 ・設けない	
⑱ 9 防水層の種類 [3.4.2.3] 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] [9.2.1~3] 仕上塗料 備考 ・M4AS ・AS-T1 (種類・使用量) ・AS-T2 ※改質ファルトシート の製造所の仕様 ・AS-J2 ・M3AS ・AS-T3 (種類・使用量) ・POAS ・AS-T4 ※改質ファルトシート の製造所の仕様 ・AS-J1 (改修用)に) ・AS-J3 (設ける (改修用)に) (POASのみ) 設けない ・M3ASI ・ASI-T1 (材質) ※JIS A 9521による ・M4ASI ※改質ファルト シート類 の製造所の仕様 ・POASI (厚さ) ・25mm (改修用)に) 設ける (改修用)に) 設けない	
⑱ 10 高日射反射率防水の適用 [G] ※適用する ・適用しない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・種類() ・設置数量() 個/m ² 押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度	

⑦ 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3]					
工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料	備考
POS S4S	-S-F1			(種類・使用量) ※4-フグシートの製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用D)・設けない
	-S-F2				
	-S-M1				
S3S	-S-M2				
	-S-M3				
	-S-F1	・プレキャストコンクリート下地		(種類・使用量) ※4-フグシートの製造所の仕様	・設ける ・設けない
M4S	-S-F2	・プレキャストコンクリート下地			
	-S-M1				
	-S-M2				
POST S3S1 S4S1 M4S1	-S-M3			(種類・使用量) ※4-フグシートの製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない
	-SI-F1	・プレキャストコンクリート下地 (材質) ※JIS A 9521による ※4-フグシートの製造所の仕様		(種類・使用量) ※4-フグシートの製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用D)・設けない
	-SI-F2	・発泡アクリルフォーム (厚さ)・25mm			
高日射反射率防水の適用 G ※適用する ・適用しない ・S-M2で立上り面を接着工法とする場合 ・立上り面のシート厚 (※1.5mm) ・SI-M1及びSI-M2における防錆用フィルム (・設置する ・設置しない)					
屋内防水層の種類					
種別		施工箇所	保護層		備考
S-C1			平場のモルタル塗り 塗り厚さ(mm)	立上り部の保護 モルタル塗り厚さ	※7mm以下
屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合 厚さ () mm 目地割り (※2m程度 最大目地間隔3m程度) 目地の種類 (※押し目地) ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面 若しくは両面に樹脂を積層加工したもの					
脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の指定による ・種類 () 個/m ²					
接着工法の目地処理 P・Cコンクリート下地の場合 () P・Cコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1, SI-F1の場合) ・行う (・図示) ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィング材の張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法					
※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする [3.6.2.3]					
ウレタンゴム系塗膜防水工法					
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	
POX	※X-1 ・X-2		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用D)・設けない	
L4X	※X-1 ・X-2		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ○設けない	
高日射反射率防水の適用 G ※適用する ・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による ・種類 () 個/m ²					
ゴムアスファルト系塗膜防水工法					
工法	種別	施工箇所	各工程数及び 各工程の使用量	保護層	
P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない	
P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない	
シーリング					
シーリング改修工法の種類 [3.7.2、3、8]					
・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドグレーカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない					
シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。					
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)				
外壁目地、建具目地	変成シリコン系 (MS-2)				
ガラス目地	シリコン系 (SR-1)				
外壁目地	ポリウレタン系 (PU-2)				
シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)(7)~(9)による 外部に面するシーリング材の接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験					
注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。					
⑩ とい					
ルーフドレンの種類その他 [3.8.2、3]					
種別		張り掛け幅			
・ろく屋根用 (・縦型)		・100mm以上 ・50mm以上			
・バルコニー用		・100mm以上 ・50mm以上			
・バルコニー中継用		・100mm以上 ・50mm以上			
とい受金物及び足金物の材質、形状、取付け間隔 ※[表3.8.2]による ・多雪地域の場合の軒どいの取付間隔 ※0.5m以下 ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 鋼管製といの防錆巻き ※[表3.8.4]による たてとい受金物の取付 ※図示 ルーフドレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填					

⑧ 塗膜防水

⑨ シーリング

⑩ とい

⑪ アルミニウム製笠木

⑫ 防水工事施工

⑬ 外壁改修工事

⑭ コンクリート打放し仕上げ外壁

⑮ モルタル塗り仕上げ外壁

種類 ○オープン形式 (・押し出250形 ・押し出300形 ・押し出350形) [3.9.2.3]
・板材折曲げ形 (・オープン形式 ・シール形式)
本体幅： () mm、板厚 (※2.0mm) mm

表面処理 種別
着色 ・標準色 (・アンパー ・ブロンズ ・ブラス系 ・ステンカラー) ・特注色 ()
既存笠木等の撤去 ・行う (範囲) ・図示 ・行わない
下地補修の工法 ※図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

※設置する (1ヶ所) (施工年月日は防水工事施工完了日 (手直しは除く) を記入)
・設置しない

④ ① 施工数量調査
調査範囲 ○外壁改修範囲 ・図示の範囲 [1.5.2.3]
調査時期 ・外壁仕上げ等除去前 ○外壁仕上げ等除去後
調査方法
ひび割れの幅及び長さを壁面上に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面上に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面上に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示
調査報告書の数： 2部 [4.2.2]

④ ② ポリマーセメントスラリー
広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) 引張接着性 (材齢28日) 曲げ性能 (材齢28日) 吸水性 (7.2時間) 耐久性 [4.2.2]
3 以上 3% 0.6N/mm²以上 5.0N/mm²以上 15%以下 5.0N/mm²以上
保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00

④ ③ 既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 [4.2.2]

④-1 ① ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4~6]
工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入期間(mm) 注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ 0.2以上~0.5未満 低 ※200~300 ・130
樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 中 ※200~300 ・130
・手動式エポキシ 0.2以上~0.3未満 低 ・50~100 ・40
樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 低 ・100~200 ・70
・機械式エポキシ 0.5以上~1.0以下 中 ・150~250 ・130
樹脂注入工法 ※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形

コア抜き検査 ・行う ・行わない
抜き取り箇所 ※長さ500mmごと及びその端端につき1箇所
抜き取り部の補修方法 ※図示

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
・充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

※全面 ・図示の範囲

④-1 ② 欠損部改修工法
・樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.2.5~7]
工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入期間(mm) 注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ 0.2以上~0.5未満 低 ※200~300 ・130
樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 中 ※200~300 ・130
・手動式エポキシ 0.2以上~0.3未満 低 ・50~100 ・40
樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 低 ・100~200 ・70
・機械式エポキシ 0.5以上~1.0以下 中 ・150~250 ・130
樹脂注入工法 ※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形

コア抜き検査 ・行う ・行わない
抜き取り箇所 ※長さ500mmごと及びその端端につき1箇所
抜き取り部の補修方法 ※図示

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
・充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

④-1 ③ 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.3.8、9]
・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法
・現場調査材料
・セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメント
・A種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定のもの、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
・既調合材料 ()
既製目地材 ・使用する (形状)
仕上げ厚さは全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.4.10~15]

工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm

充填工法
※3 欠損部改修方法の「充填工法」による

モルタル塗替え工法
※3 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による

4-3 1 既存タイル張りの撤去
・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲
撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法
改修箇所 ※既存タイル張り全面
・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入期間(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満	低 ※200~300	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	低 ・50~100	・40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	低 ・100~200	・70
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	低 ・50~100	・40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	低 ・100~200	・70
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	低 ・50~100	・40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	低 ・100~200	・70
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	低 ・50~100	・40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	低 ・100~200	・70

※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形

コア抜き検査 ・行う ・行わない
抜き取り箇所 ※長さ500mmごと及びその端端につき1箇所
抜き取り部の補修方法 ※図示

・Uカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去面)
・シーリング材
・充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.3.7.8]
・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557 による一液反応硬化形成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557 による一液反応硬化形成シリコーン樹脂系
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地位置
※改修標準仕様書表4.5.1による
外壁タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・行う ・行わない

・セメントモルタルによるタイル張り
・下地モルタル張りを行うコンクリート素地面の処理 ()
タイルの種類及びひび割れ誘発目地位置
・外壁タイル (・密着張り ・改良圧着張り ・改良槽上げ張り)
・ユニットタイル (・マスク張り ・モザイクタイル張り)

・有機系接着剤によるタイル張り
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 (※ポリウレタン系)
伸縮調整目地その他の目地 (※変成シリコン系)
・モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ()
タイルの種類 ・外壁タイル ・ユニットタイル

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.4.9~15]

工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm

タイル部分張替え工法
※3 欠損部改修方法の「タイル部分張替え工法」による

タイル張替え工法
※3 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による

5 目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]

6 タイルの形状、寸法等 [4.2.2]

施工箇所	形状/寸法 (mm)	壁水準による区分	うわぐすり	役物	色	再塗材	耐凍害性	耐凍り性	備考
		1 壁 2 壁 3 壁 4 壁		有 無	標準特注	通回	有 無	有 無	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

④-4 ① 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 [4.6.3]
・サリシメタール工法 ※図示 ・既存仕上げ面全体
(既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)
・高圧水洗工法 ※図示 ・既存仕上げ面全体
+圧力 ※3MPa程度以上 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)
・塗膜はく離工法 ※図示 ・既存仕上げ面全体
・水洗い工法 ※図示 ・上記以外の既存仕上げ面全体

④-4 ② 仕上げ塗材仕上げ [4.6.5][4.2.2][4.6.5][表4.2.4]
新築仕上げ塗材の種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状及び工法等

薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 S1 ・可とう形外装薄塗材 S1	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)	
厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 E ・可とう形外装厚塗材 E	・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り)	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
	・防水形外装厚塗材 E ・外装厚塗材 S ・外装厚塗材 E	・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状仕上げ (・吹付け・こて塗り) ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り)	
	・防水形外装厚塗材 E ・外装厚塗材 S ・外装厚塗材 E	・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り)	
○複層仕上げ塗材	・複層塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様	
○可とう形改修用仕上げ塗材	・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E	・耐水性 ※耐熱形3種 ・上塗材 ・溶媒 ※水系・溶剤系 ・弱溶剤系 ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 R E ・防水形複層塗材 S ・耐熱形 ※つやあり ・つやなし	

3 マスチック塗材塗り [4.7.2][表4.7.1]
種別 ・A種 ・B種

4-5 ① 外壁用塗膜防水材料塗り [4.1.5][4.2.2][4.8.2][表4.2.6]
仕上げの形状 () 工法 ()
外壁用仕上げ塗料の耐水性 ※JIS A 6909 の耐熱形1種相当
下地挙動緩衝材の適用 ・する ・しない
・模様材の種類 () 所要量 () kg/m²
・外壁用仕上げ塗料の種類 () 所要量 () kg/m²
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処置
※「4-1 コンクリート打放し仕上げ外壁」の各改修工法による
なお、下地挙動緩衝材を適用する場合のひび割れ部の処置は下地挙動緩衝材による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処置
※「4-2 モルタル塗り仕上げ外壁」の各改修工法による
なお、下地挙動緩衝材を適用する場合のひび割れ部の処置は下地挙動緩衝材による。
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整
※「4-4 塗り仕上げ外壁等」の「1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整」による

⑤ ① 改修工法 [5.1.3]
建具の種類 かつせ工法 撤去工法 適用箇所

○アルミニウム製建具	○	○	○	○	○
・樹脂製建具	—	—	—	—	—
・鋼製建具	○	○	○	○	○
・鋼製軽量建具	—	—	—	—	—
・ステンレス製建具	—	—	—	—	—

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開口方
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示

② 防火戸 [5.1.4]
適用箇所 ※建具表による
防火戸の自閉機構及びヒューズ装置等との連動
・行う (※建具表による) ・行わない

③ 見本の製作等 [5.1.5]
建具見本の製作 ・行う (建具符号:) ・行わない
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等がわかる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号:) ・行わない

4 防犯建物部品 [5.1.7]
適用箇所 (・建具表による)

4-4 ① 塗り仕上げ外壁等

⑤ ① 改修工法 [5.1.3]

② 防火戸 [5.1.4]

③ 見本の製作等 [5.1.5]

4 防犯建物部品 [5.1.7]

日付 2020.4.1
縮尺 No Scale
工事名 市立勝瀬小学校大規模改修工事 (第3期工事)
図面名 特記仕様書 (改修その2)
図面No. TA-02
182020

⑤ アルミニウム製建具

性能値等 [5. 2. 2~5][表5. 2. 1、2]

耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法

外部に面する建具の種別

- ・A種 ○B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による)

上記以外の建具 (※建具表による) 示

防音ドア、防音サッシとする場合

遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合

断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

耐震ドアとする場合

面内変形追随性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

網戸等	種類	材種	線径	網目
○防虫網	※合成樹脂製	・ガラス繊維入り合成樹脂製	※0. 25mm以上	※16~18メッシュ
・防鳥網	ステンレス(SUS316)製	ステンレス(SUS304)線材	1. 5mm	網目寸法15mm

表面処理

外部に面する建具 種別

- ・BB-1種 ・BB-2種

着色 ・標準色 ・特注色

屋内の建具

- 種別 ・BC-1種 ・BC-2種

着色 ・標準色 ・特注色

結露水処理方法

- 水切り板、ぜん板等 ※図示

6 樹脂製建具

性能値等 [5. 2. 2][5. 3. 2~5]

耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法

外部に面する建具の種別

- ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による)

上記以外の建具 (※建具表による) 示

防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級

外部に面する建具の種別

- ・I-A種 ・I-B種 (適用する建具 ※建具表による)

上記以外の建具 (※建具表による) 示

断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合の断熱性の等級

外部に面する建具の種別

- ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による)

上記以外の建具 (※建具表による) 示

ガラス

- ※複層ガラス

水切り板、ぜん板等 ※図示

表面色

- ・標準色 ・特注色

⑦ 鋼製建具

性能値等 [5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]

簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級

- ・適用する (※建具表による) ・適用しない

外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級

- ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による)

防音ドア、防音サッシとする場合

遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合

断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

耐震ドアとする場合

面内変形追随性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

鋼板類の厚さ

大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2, 400mmを超えるもの)

※建具表による

上記以外の鋼製建具 ※表[5. 4. 2]による

建具表による

⑧ 鋼製軽量建具

性能値等 [5. 2. 2][5. 5. 2~4]

簡易気密型ドアセットの気密性の等級

- ・適用する (※建具表による) ・適用しない

外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級

- ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による)

防音ドア、防音サッシとする場合

遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合

断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

耐震ドアとする場合

面内変形追随性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

材料

鋼板類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ヒムバ膜鋼板 ・珪鋼板 ・スチール鋼板

合金せ、縦小口包み板等の材質

※鋼板 ・建具表による

鋼板類の厚さ

大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2, 400mmを超えるもの)

※建具表による

上記以外の鋼製軽量建具 ※表[5. 5. 1]による

建具表による

9 ステンレス製建具

性能値等 [5. 2. 2][5. 6. 2~5]

簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級

- ・適用する (※建具表による) ・適用しない

外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級

- ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による)

防音ドア、防音サッシとする場合

遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合

断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

耐震ドアとする場合

面内変形追随性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)

材料

鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

表面仕上げ

- ※H L ・鏡面仕上げ

ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

⑩ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※日種 (16. 7. 2~4)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

○フラッシュ戸

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
○普通合板 ☑	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度)	
○天然木化粧合板 ☑	板面の品質 接着の程度(・1類 ・2類) 防虫処理 行	
・特殊加工化粧合板 ☑	樹種名 () 接着の程度(・1類 ・2類) 防虫処理 行	
	化粧加工の方法 (・オパール・リット・塗装)	
	表面性能 () タイプ 接着の程度(・1類 ・2類) 防虫処理 行	
	表面板の厚さ ※表(16. 7. 6)による	
	かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 ()	
	見込み寸法 ※36mm	建具表による

11 建具用金物 [5. 7. 1~3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等

- ※[表5. 7. 1]及び適用は建具表による
- 金剛製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
- ※[表5. 7. 2]による
- 建具表による
- 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
- ※[表5. 7. 3]による
- 建具表による
- 掘り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置
- 建具表による
- 図示
- 木製建具に使用する戸車及びリール
- ※標準仕様書 表16. 8. 5による
- 建具表による

マスターキー ・製作する(・新規 ・既存マスター合わせ) ・製作しない [5. 7. 4]

その他の鍵 ※各室3本1組

鍵箱

- ・無
- ・有

12 鍵

13 自動ドア開閉装置 [5. 8. 2、3]

引き戸用駆動装置及び検出装置の種類

自動ドア	性能値	検出装置(センサー)の種類	凍結防止措置
SSLD-1	※[表5. 8. 1]による	マツスイッチ	行
SSLD-2	上記によらない場合()	光線(反射)スイッチ	行 (適用箇所は建具表による)
DSL-1	適用する場合()	熱線スイッチ	行かない
DSL-2	※[表5. 8. 1]による	音波スイッチ	
		光電スイッチ	
		電流スイッチ	
		タッチスイッチ	
		押しボタンスイッチ	
		ペダルスイッチ	
		多機能トイスイッチ	

14 自閉式上吊り引戸装置 [5. 9. 3]

性能 ※[表5. 9. 1]による

15 重量シャッター [5. 10. 2、3]

シャッターの種類	耐風圧強度
一般重量シャッター	耐風圧強度() N/m ²
外壁用防火シャッター	耐風圧強度() N/m ²
屋内用防火シャッター	
屋内用防煙シャッター	

開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式

- ・二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示
- ・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※図示
- ・屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの障害防止機構 ※[5. 10. 2] (4) (1) (c) に適合するもので、以下のいずれかの機構を有するものとする ※(a) 障害物感知装置(自動閉鎖型) ・(b) 可動座板式設置箇所 ※図示
- ・管理用シャッターのシャッターケースの設置箇所 ※図示

16 軽量シャッター [5. 11. 2~4]

性能値

開閉形式の種類 ○上部電動式(手動併用) ※手動式

耐風圧強度() N/m²

材料

スラットの材質

種類及びめっきの付着量

- JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※206又はF06)
- ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※AZ90)

スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッドドア [5. 12. 2、3]

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛
○アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	めっき鋼板
・ファイバークラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	ステンレス鋼板
	・50		・パーチカル形	

18 ガラス [3. 7][5. 13. 2~4]

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。

合わせガラス

品名	構成種類	性能
フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス	・I類
	・熱線吸収、フロート板合わせガラス	
網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類
	・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・III類

強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	性能
○フロートガラス	○フロート強化ガラス	・I類 ・III類
	・熱線吸収強化ガラス	
○型板ガラス	○型板強化ガラス	

熱線吸収板ガラス

品名	性能	色調
熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ
熱線吸収網入磨き板ガラス		

複層ガラス

品名	断熱性	日射取得性、日射遮蔽性
・断熱複層ガラス	・T1 ・T2 ・T3	・G ・S
・日射熱遮へい複層ガラス	・T4 ・T5 ・T6	

熱線反射ガラス

品名	日射熱遮へい性	耐久性
・熱線反射ガラス	・1種	A種
・高性能熱線反射ガラス	・2種	A種 ・B種
色調 (・ブルー ・グレー)	・3種	B種

倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
・フロート倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・熱線吸収倍強度ガラス	

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	○シーリング材 ○ガスケット ○グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	※建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による

19 ガラスブロック [5. 13. 5]

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅(mm)	伸縮調整	防火性能
・正方形	・125×125	80	乳白	平積み	目地(mm)	
	・160×160	95		※3~15	※3~15	
	・125			※15~25		
	・200×200	95		内側	※6以上	
	・320×320	95				
・長方形	・250×125	80				
	・320×160	95				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

材料

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示

骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)

寸法 ※径5. 5mm

形状 ※はしご形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色 ()

金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製

寸法 ※図示

形状 ※図示

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力に対応した工法

ガラスブロックの目地幅の寸法

※[5. 13. 5] (2) (7) (a) (1) (2) による

伸縮調整目地の位置

- ※6m以下ごとに幅10~25mmの目地を設ける

目地部の横骨骨の納まり

※ガラスブロックの製造所の仕様による

図示

※施工箇所は建具表による

20 ガラス用フィルム [5. 13. 5]

種類	記号	その他性能等
・日射調整フィルム ☑	・SC-1	
・低放射フィルム	・LE	
・衝撃破壊対応ガラス	・GI-1	・GI-2
飛散防止フィルム		
層間気位破壊対応ガラス	・GD-1	・GD-2
飛散防止フィルム		
・ガラス貫通防止フィルム	・SF	
品質	JIS A 5759	による

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲 [6. 1. 3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

- ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
- ※図示
- 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
- ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
- ※図示
- 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
- ※既存のまま
- ※図示

② 既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2]

ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも)

下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て)

合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目削り工法

コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリアーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。

改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

※[4. 4. 9] によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理) ※図示

・図示

4 木下地等の表面仕上げ [6. 5. 1]

表面仕上げの種別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	
・H-A種	
・H-B種	
・H-C種	

⑤ 製材 ☑ [6. 5. 2]

○「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 [6. 5. 2]

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
					※2級		※A種 ・B種	
					※2級		※A種 ・B種	

○「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 [6. 5. 2]

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
					※上小節		※A種 ・B種	
					※小節以上		※A種 ・B種	
							※A種 ・B種	

○「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 [6. 5. 2]

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
					※5. 5		※A種 ・B種	
					※5. 5		※A種 ・B種	

○普通合板 ☑

表面の種類	規格等	備考
○普通合板 ☑	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度)	
○天然木化粧合板 ☑	板面の品質 接着の程度(・1類 ・2類) 防虫処理 行	
・特殊加工化粧合板 ☑	樹種名 () 接着の程度(・1類 ・2類) 防虫処理 行	
	化粧加工の方法 (・オパール・リット・塗装)	
	表面性能 () タイプ 接着の程度(・1類 ・2類) 防虫処理 行	
	表面板の厚さ ※表(16. 7. 6)による	
	かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 ()	
	見込み寸法 ※36mm	建具表による

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
				※1等		※10%以下 ・A種 ・B種	
				※1等		※10%以下 ・A種 ・B種	

「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			(造作材の場合 (※A種・B種))		※A種 ・B種	
			(造作材の場合 (※A種・B種))		※A種 ・B種	

6 造作用集成材 ☑ [6. 5. 2]

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※1等 ・2等	
				※1等 ・2等	

「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※1等 ・2等	
						※1等 ・2等	

「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※15%以下
						※15%以下

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
				※15%以下		
				※15%以下		

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※15%以下
						※15%以下

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※15%以下
						※15%以下

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
				※15%以下		
				※15%以下		

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※15%以下
						※15%以下

7 造作用単板積層材 ☑ [6. 5. 2]

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	表面の品質(化粧加工の有無)	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・有り(加工・天然木加工・塗装加工)		※14%以下	
			・無し()		※14%以下	
			・有り(加工・天然木加工・塗装加工)		※14%以下	
			・無し()		※14%以下	

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層

⑨ 接合具等	<p>「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 ㊄</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 ㊄</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・パーティクルボード ㊄</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> <td></td> </tr> </table> <p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> </tr> </table> <p>・MDF ㊄</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理の適用	間伐材等の適用			・1類 ・2類				施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用			・1類 ・2類					施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用			※13タイプ	※P又はM		※15		施工箇所	厚さ(mm)	等級			・1級 ・2級 ・3級 ・4級	施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用								<p>19 カーベツト敷き</p> <p>・織じゅうたん [6.9.2.3]</p> <p>品質 織り方及びバイル形状 () 色柄、バイル糸の種類 () 種別 ・A類 ・B類 ・C類 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>・タフテッドカーベツト</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td></td> <td>※全面接着工法</td> <td>・適用する ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td></td> <td>・グリッパー工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>・ニードルパンチカーベツト</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>適用する (性能: ※人体帯電圧3kv以下)</th> <th>適用しない (備考)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・タイルカーベツト</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーベツトの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ※図示) ・適用しない</p> <p>⑩ 合成樹脂塗床</p> <p>塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 [6.10.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (弾性軟質樹脂系塗床)</td> <td>図示</td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>○厚膜型塗床材 (1※樹脂系塗床)</td> <td></td> <td>・薄膜流しのペ工法 ○厚膜流しのペ工法 ・樹脂めし工法</td> <td>○平滑仕上げ ・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材 (1※樹脂系塗床)</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・7※樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)</td> <td></td> <td>※製造所の指定による</td> <td>表面仕上げ 平滑 溶剤 ※水性</td> </tr> </table> <p>⑪ フローリング張り</p> <p>フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 [6.11.2~6]</p> <p>単層フローリング ㊄</p> <p>・フローリングボード1等</p> <p>工法 ・釘止め工法 (・根本張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 厚さ、大きさ ※表6.11.1)による 仕上塗装 ・塗装品 ・無塗装品 間伐材等の適用 ・する ・しない</p> <p>○フローリングブロック1等</p> <p>工法 ※接着工法 樹種 ※図示 厚さ、大きさ ※図示 仕上塗装 ○塗装品 ○無塗装品 間伐材等の適用 ・する ・しない</p> <p>複合フローリング ㊄</p> <p>・天然化粧複合フローリング</p> <p>工法 ・釘止め工法 (・根本張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 種別 [表6.11.2、4、6] ・A種 ・B種 ・C種 仕上塗装 ・塗装品 ・無塗装品 間伐材等の適用 ・する ・しない</p> <p>接着工法の場合の裏面種樹材 ※合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ※ワレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p> <p>⑫ 畳敷き</p> <p>種別 ・A種 ・B種 ・C種 ○D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1)による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン ㊄)</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを分散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとす。</p> <p>⑬ セッコウボード</p> <p>適用は以下によるほか図示による。 [6.13.2.3]</p> <p>合板類、MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外</p> <p>木質系セメント板</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質木毛セメント板 ㊄</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板 ㊄</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板 ㊄</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板 ㊄</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板 ㊄</td> <td>・30</td> <td></td> </tr> </table> <p>合板、化粧板</p> <p>○普通合板 ㊄</p> <table border="1"> <tr> <th>表板の材種</th> <th>生地、透明塗料塗り (※7※程度)</th> <th>不透明塗料塗り (※1※程度)</th> <th>板面の品質 ()</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度 (・1類 ・2類)</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>・天然化粧化粧板 ㊄</td> <td></td> <td></td> <td>化粧板の樹種名 ()</td> <td>厚さ(mm) ()</td> <td>接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td>・防虫処理</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧化粧板 ㊄</td> <td></td> <td></td> <td>化粧加工の方法 (・オナーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ</td> <td>厚さ(mm) ()</td> <td>接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td>・防虫処理</td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> <td>JIS K 6903による厚さ (※1.2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル		※全面接着工法	・適用する ()		・ループバイル		・グリッパー工法	・適用しない		・カット、ループ併用					厚さ(mm)	帯電性	適用する (性能: ※人体帯電圧3kv以下)	適用しない (備考)					バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考	※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 (弾性軟質樹脂系塗床)	図示		※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	○厚膜型塗床材 (1※樹脂系塗床)		・薄膜流しのペ工法 ○厚膜流しのペ工法 ・樹脂めし工法	○平滑仕上げ ・防汚仕上げ	・薄膜型塗床材 (1※樹脂系塗床)			※平滑仕上げ	・7※樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ 平滑 溶剤 ※水性	種別	厚さ(mm)	規格等	・硬質木毛セメント板 ㊄	・15 ・20 ・25		・中質木毛セメント板 ㊄	・15 ・20 ・25		・普通木毛セメント板 ㊄	・15 ・20 ・25		・硬質木片セメント板 ㊄	・12 ・15 ・18 ・21		・普通木片セメント板 ㊄	・30		表板の材種	生地、透明塗料塗り (※7※程度)	不透明塗料塗り (※1※程度)	板面の品質 ()	厚さ(mm)	接着の程度 (・1類 ・2類)	防虫処理	・天然化粧化粧板 ㊄			化粧板の樹種名 ()	厚さ(mm) ()	接着の程度 (・1類 ・2類)	・防虫処理	・特殊加工化粧化粧板 ㊄			化粧加工の方法 (・オナーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ	厚さ(mm) ()	接着の程度 (・1類 ・2類)	・防虫処理	・メラミン樹脂化粧板			JIS K 6903による厚さ (※1.2)				・ポリエステル樹脂化粧板						
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																					
		・1類 ・2類																																																																																																																																																																																									
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																					
		・1類 ・2類																																																																																																																																																																																									
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																					
		※13タイプ	※P又はM		※15																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ(mm)	等級																																																																																																																																																																																									
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																																																																																																																																																									
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																					
バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																							
・カットバイル		※全面接着工法	・適用する ()																																																																																																																																																																																								
・ループバイル		・グリッパー工法	・適用しない																																																																																																																																																																																								
・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																											
厚さ(mm)	帯電性	適用する (性能: ※人体帯電圧3kv以下)	適用しない (備考)																																																																																																																																																																																								
バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																						
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																							
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																							
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																							
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																								
・厚膜型塗床材 (弾性軟質樹脂系塗床)	図示		※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																								
○厚膜型塗床材 (1※樹脂系塗床)		・薄膜流しのペ工法 ○厚膜流しのペ工法 ・樹脂めし工法	○平滑仕上げ ・防汚仕上げ																																																																																																																																																																																								
・薄膜型塗床材 (1※樹脂系塗床)			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																								
・7※樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ 平滑 溶剤 ※水性																																																																																																																																																																																								
種別	厚さ(mm)	規格等																																																																																																																																																																																									
・硬質木毛セメント板 ㊄	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																										
・中質木毛セメント板 ㊄	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																										
・普通木毛セメント板 ㊄	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																										
・硬質木片セメント板 ㊄	・12 ・15 ・18 ・21																																																																																																																																																																																										
・普通木片セメント板 ㊄	・30																																																																																																																																																																																										
表板の材種	生地、透明塗料塗り (※7※程度)	不透明塗料塗り (※1※程度)	板面の品質 ()	厚さ(mm)	接着の程度 (・1類 ・2類)	防虫処理																																																																																																																																																																																					
・天然化粧化粧板 ㊄			化粧板の樹種名 ()	厚さ(mm) ()	接着の程度 (・1類 ・2類)	・防虫処理																																																																																																																																																																																					
・特殊加工化粧化粧板 ㊄			化粧加工の方法 (・オナーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ	厚さ(mm) ()	接着の程度 (・1類 ・2類)	・防虫処理																																																																																																																																																																																					
・メラミン樹脂化粧板			JIS K 6903による厚さ (※1.2)																																																																																																																																																																																								
・ポリエステル樹脂化粧板																																																																																																																																																																																											
⑫ 防菌・防蟻・防虫処理	<p>諸金物の形状、寸法及び材質 [6.5.3.4]</p> <p>※かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、[6.5.3](2)(7)による</p> <p>接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添付されていないものとする。ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外</p> <p>10 防菌・防蟻・防虫処理 [6.5.5]</p> <p>・防菌、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位: ()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防菌、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </table> <p>・薬剤の塗布等による防菌、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※[6.5.5](1)(b)②による</td> <td></td> </tr> </table> <p>・薬剤の接着剤への混入による防菌、防蟻処理 適用部位 () ・合板等の加圧注入による防菌、防蟻処理 ()</p> <p>防虫処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>RC造等の内部間仕切軸組 ※杉又は松 床組 ※杉又は松 窓、出入口その他 吊元枠、水掛かりの下枠及び敷居 ※ひのき その他 ※松又は杉 縁甲板及び上がり がまち ※ひのき 壁及び天井下地 ※杉又は松</p> <p>⑬ 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2~4]</p> <p>野線等の種類 屋外 (※25形 ・19形) 屋内 (※19形 ・25形) 屋外の軒天井、ヒロティ天井等 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野線受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野線の間隔 ・図示</p> <p>既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの確認試験</p> <p>○行う (試験箇所数) ・確認強度: () ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法 ※[6.6.4](8)(7)(4)による ・天井のふとところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示</p> <p>⑭ 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3.4]</p> <p>スタッド、ランナーの種類 ※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)(7)(4)による</p> <p>⑮ ビニル床シート ㊄ [6.8.2]</p> <p>接着剤 ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合 ()</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>※FS(複層ビニル床シート)</td> <td>○無地</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・マフ M柄</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・柄物</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>目地処理する場合は工法 ※熱溶接工法</p> <p>15 ビニル床タイル ㊄ [6.8.2]</p> <p>接着剤 ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合 ()</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※KT(コト ジョントビニル床タイル)</td> <td>・無地</td> <td>・300×300</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・TT(単層ビニル床タイル)</td> <td>・柄物</td> <td>・450×450</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・FT(複層ビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・500×500</td> <td>・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・FOA(置敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑯ 特殊機能床材 [6.8.2]</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>厚さ、寸法、形状 (mm)</th> <th>性能</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>○帯電防止床シート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・帯電防止床タイル</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・視覚障害者用床タイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐動荷重性床シート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防滑性床シート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防滑性床タイル</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>視覚障害者用床タイル</td> <td colspan="3">突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による</td> </tr> </table> <p>⑰ ビニル幅木 [6.8.2]</p> <p>材質 ○軟質 ○硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 ○図示 厚さ(mm) ※1.5以上</p> <p>18 ゴム床タイル [6.8.2]</p> <p>接着剤のホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合 ()</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄 ()</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※[6.5.5](1)(b)②による		施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考	図示	※FS(複層ビニル床シート)	○無地	※2.0				・マフ M柄					・柄物			施工箇所	種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考		※KT(コト ジョントビニル床タイル)	・無地	・300×300	※2.0			・TT(単層ビニル床タイル)	・柄物	・450×450	・2.5			・FT(複層ビニル床タイル)		・500×500	・3.0			・FOA(置敷きビニル床タイル)						・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)						厚さ、寸法、形状 (mm)	性能	種類	○帯電防止床シート				・帯電防止床タイル	×			・視覚障害者用床タイル				・耐動荷重性床シート				・防滑性床シート				・防滑性床タイル	×			視覚障害者用床タイル	突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による			種類	色柄 ()	厚さ(mm)	寸法(mm)					<p>⑯ 27 セルフレバリング材塗り [6.17.2.3]</p> <p>種類及び品質 ・セッコウ系 ・セメント系 標準塗厚(mm)</p>																																																																													
	適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																									
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																										
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																										
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																									
	※[6.5.5](1)(b)②による																																																																																																																																																																																										
施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																							
図示	※FS(複層ビニル床シート)	○無地	※2.0																																																																																																																																																																																								
		・マフ M柄																																																																																																																																																																																									
		・柄物																																																																																																																																																																																									
施工箇所	種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																						
	※KT(コト ジョントビニル床タイル)	・無地	・300×300	※2.0																																																																																																																																																																																							
	・TT(単層ビニル床タイル)	・柄物	・450×450	・2.5																																																																																																																																																																																							
	・FT(複層ビニル床タイル)		・500×500	・3.0																																																																																																																																																																																							
	・FOA(置敷きビニル床タイル)																																																																																																																																																																																										
	・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)																																																																																																																																																																																										
	厚さ、寸法、形状 (mm)	性能	種類																																																																																																																																																																																								
○帯電防止床シート																																																																																																																																																																																											
・帯電防止床タイル	×																																																																																																																																																																																										
・視覚障害者用床タイル																																																																																																																																																																																											
・耐動荷重性床シート																																																																																																																																																																																											
・防滑性床シート																																																																																																																																																																																											
・防滑性床タイル	×																																																																																																																																																																																										
視覚障害者用床タイル	突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による																																																																																																																																																																																										
種類	色柄 ()	厚さ(mm)	寸法(mm)																																																																																																																																																																																								
⑫ 移動間仕切	<p>28 フリーアクセスフロア [20.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重(N)</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3,000 ・5,000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3,000 ・5,000</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト</td> <td></td> </tr> </table> <p>フリーアクセスフロアフロアの試験方法 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)~(d)による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)~(c)による</p> <p>※工法及び上記以外はフリーアクセスフロアの製造所の仕様による</p> <p>パネル材のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 [20.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>構成基材の種類</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※1※ パネル</td> <td>材質</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>ハ林表面仕上げ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・スタッド式 (内蔵)</td> <td></td> <td>○鋼板</td> <td>0.6</td> <td>○メッシュ</td> <td>・0</td> </tr> <tr> <td>○スタッド式 (露出)</td> <td></td> <td></td> <td>0.8</td> <td>焼付又は</td> <td>・12</td> </tr> <tr> <td>・パネル式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>焼付</td> <td>・20</td> </tr> <tr> <td>・スタッドパネル式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・壁紙張り</td> <td>・28</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・36</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示) ・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書 16章 8節 の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合は品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>30 移動間仕切 [20.2.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>操作方法</th> <th>圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平方向移動式</td> <td>・手動式</td> <td>・プッシュ式</td> <td></td> <td>・鋼板</td> <td>・焼付塗装</td> </tr> <tr> <td>・二方向移動式</td> <td>・電動式 ・部分電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td></td> <td>・鋼板</td> <td>・壁紙張り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付下地の補強 ※取付全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示</p> <p>31 トイレブース [20.2.5]</p> <p>パネル材のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の種類</th> <th>脚部形状</th> <th>ドアエッジの材質</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の標準仕様</td> </tr> </table> <p>⑯ 階段滑り止め [20.2.6]</p> <p>材質 ○ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 ・アルミ型 ・タイヤ型 清り止め材 形状 ・ひも型 ・合成樹脂 材質 ・ゴム ・合成樹脂 取付け方法 ※接着工法 ・埋め込み工法 幅 約35mm 端部フラットエンド ○あり ・なし</p> <p>⑳ 手すり [20.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材</td> <td>・クリアカ</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレスパイプ</td> <td>・HL</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼製パイプ</td> <td>・EP-G ・SOP</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>㉑ 黒板及びホワイトボード ㊄ [20.2.8]</p> <p>○黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・ほうろう ・鋼製 色 ※緑</p> <p>○ホワイトボード ()</p> <p>㉒ 表示 [20.2.10]</p> <p>・衝突防止表示 形状 (※丸形 ・図示) 寸法 (※30φ) 材質 (・ステンレス製) ・誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品</p> <p>㉓ ブラインド [20.2.12]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>寸法</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>7※に合合金製</td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>スラットの材質 アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した場合 ㊄ とする</p> <p>㉔ ロールスクリーン [20.2.13]</p> <p>操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅、高さ ・図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成天然繊維製 ・木製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</p> <p>㉕ カーテン [20.2.14]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・手引き</td> <td>・フランスひだ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・ひも引き</td> <td>・箱ひだ、つまひだ ・アレンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示 (暗幕)</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、㊄ とする 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの量なり ※300mm以上</p> <p>㉖ カーテンレール [20.2.14]</p> <p>材質による区分 ○ステンレス製 強さによる区分 仕上げ 形状</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備考		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト			・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト		構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面仕上げ材	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能		※1※ パネル	材質	厚さ(mm)	ハ林表面仕上げ		・スタッド式 (内蔵)		○鋼板	0.6	○メッシュ	・0	○スタッド式 (露出)			0.8	焼付又は	・12	・パネル式				焼付	・20	・スタッドパネル式				・壁紙張り	・28						・36	構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)	・平方向移動式	・手動式	・プッシュ式		・鋼板	・焼付塗装	・二方向移動式	・電動式 ・部分電動式	・ハンドル式		・鋼板	・壁紙張り						・36未満 ・36以上	表面材の種類	脚部形状	ドアエッジの材質	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の標準仕様	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	・集成材	・クリアカ	・35 ・45			・ステンレスパイプ	・HL				・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP				○ビニル製ハンドレール					形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材質	寸法	取付箇所	・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製		・図示		・電動	—						・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	7※に合合金製		・図示		・電動	—						形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル	・片引き	・手引き	・フランスひだ			・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ ・アレンひだ、片ひだ		・図示 (暗幕)							
	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備考																																																																																																																																																																																			
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト																																																																																																																																																																																					
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーベツト																																																																																																																																																																																					
構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面仕上げ材	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																																																																																																																																																						
	※1※ パネル	材質	厚さ(mm)	ハ林表面仕上げ																																																																																																																																																																																							
・スタッド式 (内蔵)		○鋼板	0.6	○メッシュ	・0																																																																																																																																																																																						
○スタッド式 (露出)			0.8	焼付又は	・12																																																																																																																																																																																						
・パネル式				焼付	・20																																																																																																																																																																																						
・スタッドパネル式				・壁紙張り	・28																																																																																																																																																																																						
					・36																																																																																																																																																																																						
構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)																																																																																																																																																																																						
・平方向移動式	・手動式	・プッシュ式		・鋼板	・焼付塗装																																																																																																																																																																																						
・二方向移動式	・電動式 ・部分電動式	・ハンドル式		・鋼板	・壁紙張り																																																																																																																																																																																						
					・36未満 ・36以上																																																																																																																																																																																						
表面材の種類	脚部形状	ドアエッジの材質																																																																																																																																																																																									
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の標準仕様																																																																																																																																																																																									
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																							
・集成材	・クリアカ	・35 ・45																																																																																																																																																																																									
・ステンレスパイプ	・HL																																																																																																																																																																																										
・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP																																																																																																																																																																																										
○ビニル製ハンドレール																																																																																																																																																																																											
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材質	寸法	取付箇所																																																																																																																																																																																				
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製		・図示																																																																																																																																																																																				
	・電動	—																																																																																																																																																																																									
・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	7※に合合金製		・図示																																																																																																																																																																																				
	・電動	—																																																																																																																																																																																									
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																						
・シングル	・片引き	・手引き	・フランスひだ																																																																																																																																																																																								
・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ ・アレンひだ、片ひだ		・図示 (暗幕)																																																																																																																																																																																						
⑬ 工事管理	<p>⑬ 工事管理</p> <p>課長 副課長 主査 主任 担当</p> <p>日付 2020.4.1</p> <p>縮尺 No Scale</p> <p>工事名 市立勝瀬小学校大規模改造建築工事 (第3期工事)</p> <p>図面名 特記仕様書 (改修その4)</p> <p>図面No. TA-04</p> <p>182820</p>																																																																																																																																																																																										

⑪ コン クリ ート 工 事	① コンクリートの種類等 (6.2.1)	類別 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) (6.2.1) ・Ⅰ類 (JIS A 5308 へ適合したコンクリート) ・Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スランプ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○24</td> <td>2.3程度</td> <td>○15又は18・18</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 構造体強度補正値(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正値 S=3 (月 日~月 日、月 日~月 日) S=6 (月 日~月 日、月 日~月 日)	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランプ	適用箇所	○24	2.3程度	○15又は18・18	※図示	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	14 無筋コンクリート (6.14.1)	コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による ()													
	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランプ	適用箇所																																	
	○24	2.3程度	○15又は18・18	※図示																																	
	・	・	・	・																																	
	・	・	・	・																																	
	・	・	・	・																																	
	② セメント (6.3.1)	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (IFより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()	15 コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ² に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を越え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17A法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。																																	
	③ 骨材 (6.3.1)	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)																																			
	④ 混和材料 (6.3.1)	・混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 (6.3.1) 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による																																			
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	打継ぎの位置 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3) 梁及びスラブ ※スラブの中央又は端から1/4の付近 図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示による () 目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)~(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する 図示による ()																																			
6 温潤養生 (6.7.2)	温潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日																																				
⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5) (6.8.2)	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.8.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </tbody> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ a種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	適用箇所	・ A種	※図示による ()	・ B種	※図示による ()	・ C種	※図示による ()	種 別	適用箇所	・ a種	※図示による ()	・ b種	※図示による ()	・ c種	※図示による ()																				
種 別	適用箇所																																				
・ A種	※図示による ()																																				
・ B種	※図示による ()																																				
・ C種	※図示による ()																																				
種 別	適用箇所																																				
・ a種	※図示による ()																																				
・ b種	※図示による ()																																				
・ c種	※図示による ()																																				
8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)	打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 20mm 打増し範囲 図示による ()																																				
⑨ 型枠 (6.8.2)	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板 (※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材種・規格等 図示による ()																																				
10 軽量コンクリート (6.10.1, 2)	存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合 (※図示による ())	適用箇所 (6.10.1, 2) 図示による () 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 標準仕様書 表6.10.1による スランプ ※21cm																																			
11 寒中コンクリート (6.11.1, 2)	適用期間 (月 日~月 日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合 図示による ()、S=()																																				
12 暑中コンクリート (6.12.2)	適用期間 (月 日~月 日) (6.12.2) 構造体強度補正値(S) ※6N/mm ² 図示による ()、S=()																																				
13 マスコンクリート (6.13.1, 2)	適用箇所 (6.13.1, 2) 図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による) ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による スランプ ※15cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書 表6.13.1による																																				

富士見市総合政策部管財課

課長	副課長	主査	主任	担当

日付
2020.4.1

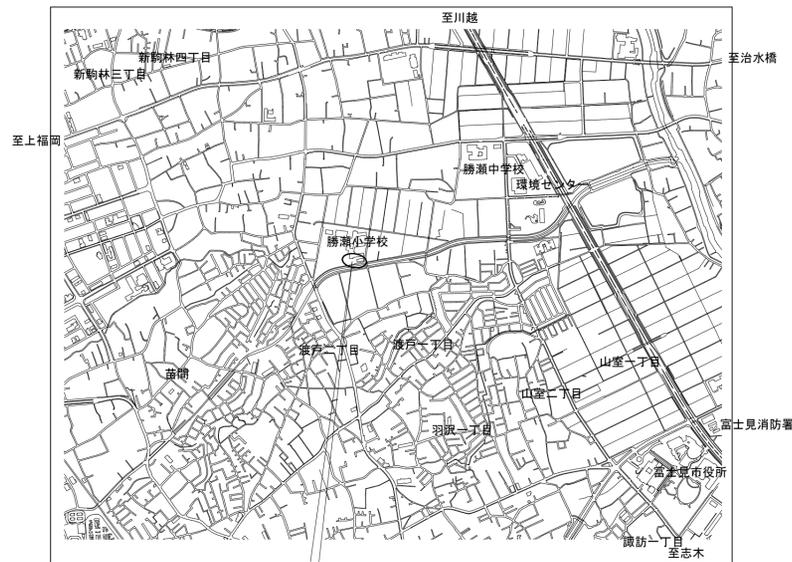
工事名
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事(第3期工事)

図面No.

TA-06

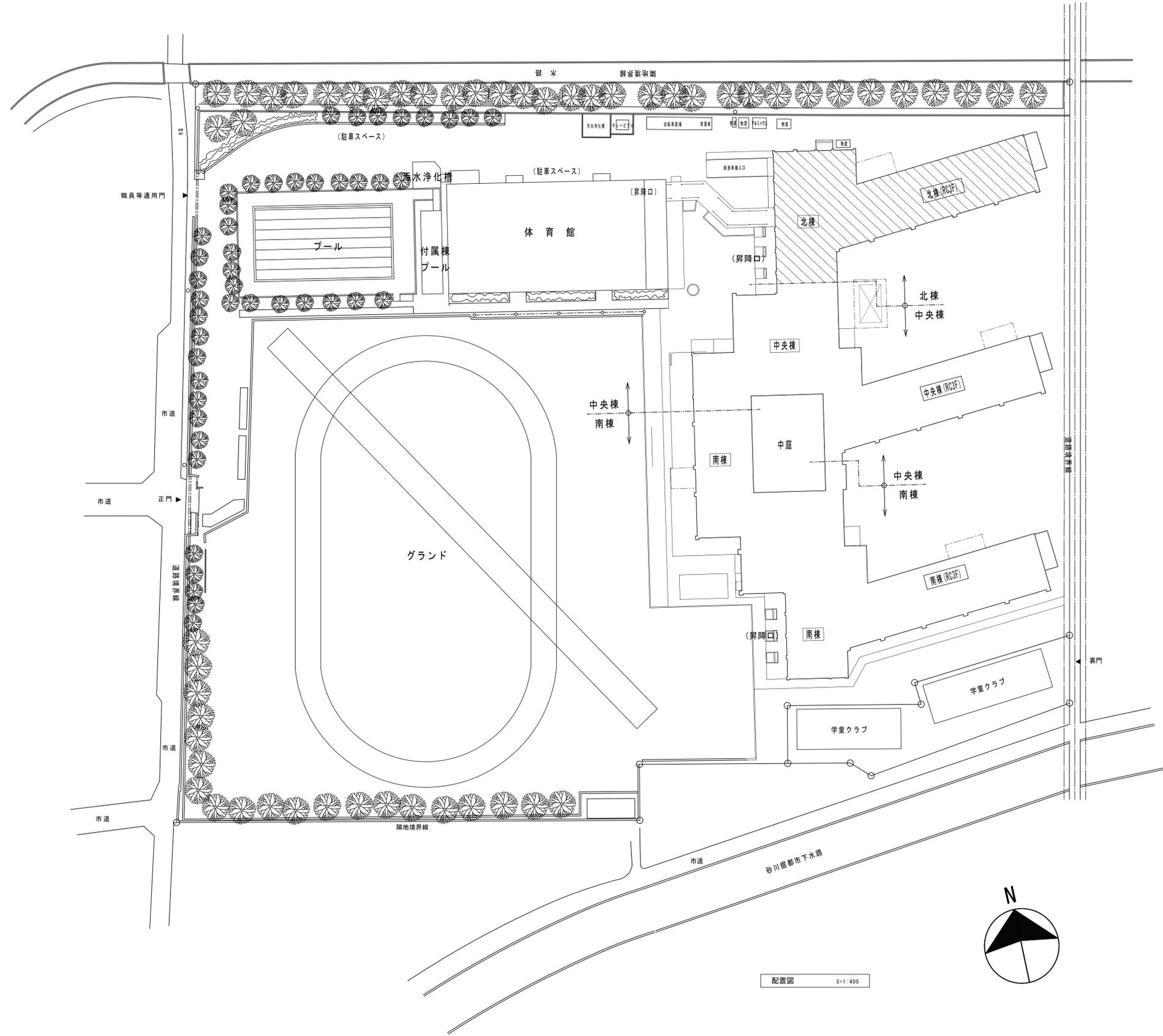
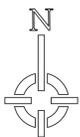
縮尺
No Scale

図面名
特記仕様書(改修その6)

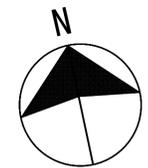


工事場所：埼玉県富士見市大字勝瀬地内

案内図



配置図 S=1:400




株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横田	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図
 図面名 案内図・配置図

図面種類	A
図面番号	1
縮尺	S=1:400 (A3版 50%縮小)

外部仕上表【北棟】						
	外 壁		庇・軒裏		建 具	他
改修前	《一般部》 コンクリート打放し「フジコート吹付けの上吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】 《階段室北面》 レンガ半長さ積みの上塗装仕上げ【レンガ共撤去】	《廊下DS》 ブロック積み下地「フジコート吹付けの上吹付タイル(E)★」【ブロック・既存塗膜共撤去】 《柱上・梁上・梁下》 コンクリート打放し「フジコート吹付けの上吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】 ※「★」印建材はアスベスト含有建材として撤去を行うこと	《打継目地》 シーリング【撤去】 《開口部廻り》 シーリング【撤去】 《地巾木》 コンクリート打ち放しモルタル仕上【高圧水洗い】	《庇》 天端：モルタル防水【高圧水洗い】 鼻先：コンクリート打放し「フジコート吹付けの上吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】 軒裏：コンクリート打放しAEPの上「吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】 《昇降口軒裏》 コンクリート打放しAEPの上「吹付タイル(E)★」【既存塗膜撤去】 ※「★」印建材はアスベスト含有建材として撤去を行うこと	《既存建具》 1) アルミ製建具共通事項 フロートガラス【撤去】、ガラスビート【撤去】 2) スチール製建具：SOP塗装 《新設改修建具部》 1) アルミ製建具【撤去】	《フェンス》 一屋根ー ネットフェンス H=1800【ネットのみ撤去】 ネットフェンス片開門扉 H=1800【撤去】 《外壁エキスパンションジョイント金物》 アルミ製【一時撤去・撤去】 スチール製【撤去】
改修後	《一般部》 アスベスト含有材撤去後高圧水洗い 劣化部補修後下地調整材(CM-2)の上防水型複層塗材E【新設】 《階段室北面》 モルタル目地切下地 防水型複層塗材E【新設】	《廊下DS》 ALC版 t=50 防水型複層塗材 E【新設】 《柱上・梁上・梁下》 アスベスト含有材撤去後高圧水洗い 劣化部補修後下地調整材(CM-2)の上防水型複層塗材E【新設】	《打継目地》 シーリング【新設】 《開口部廻り》 シーリング【新設】 《地巾木》 薄塗モルタル【新設】	《庇》 天端：下地調整の上ウレタン塗膜防水 X-2【新設】 鼻先：劣化部補修後下地調整材(CM-2) の上防水型複層塗材E【新設】 軒裏：下地調整の上水性反応硬化形軒天塗り替え専用仕上塗材【新設】 《昇降口軒裏》 下地調整の上水性反応硬化形軒天塗り替え専用仕上塗材【新設】	《既存建具》 1) アルミ製建具共通事項 強化ガラス t=4.0【新設】、ガラスビート【新設】 2) スチール製建具：下地調整の上DP 《新設改修建具部》 1) アルミ製建具【新設】	《フェンス》 一屋根ー ネットフェンス H=1500 【ネットのみ新設、骨組：下地調整の上SOP】 ネットフェンス片開門扉 H=1800【新設】 《外壁エキスパンションジョイント金物》 既存アルミ製【再取付】 アルミ製【新設】

屋根・屋上														
改修前	【北棟 R階 屋根(1)・(1-2)】				【北棟 PHR階 屋根(4)】				【北棟 PHR階 屋根(5)】					
	(建設時)	(前回改修)	(建設時)	(前回改修)	(建設時)	(前回改修)	(建設時)	(前回改修)	(建設時)	(前回改修)	(建設時)	(前回改修)	(建設時)	(前回改修)
平場	屋根(1)：砂利敷キ → 撤去 保護モルタル金ゴテ t=15 屋根(1-2)：t=60豆砂利コンクリート 屋根(1)・(1-2)共通： アスファルト防水層 ア15 均シモルタル	防水シート貼り 絶縁工法【存置】 絶縁用シート貼り【存置】 ※屋根(3)のみモルタル t=20下地	立上り 保護モルタル金ゴテ t=15 アスファルト防水層	防水シート貼り【存置】	平場	モルタル防水	防水シート貼り 絶縁工法【存置】 絶縁用シート貼り【存置】	立上り モルタル防水	防水シート貼り【存置】	平場	モルタル防水 t=50 伸縮目地 アスファルト防水 ア15 均シモルタル	防水シート貼り 絶縁工法【存置】 絶縁用シート貼り【存置】	立上り 保護モルタル金ゴテ t=15 → 補修 アスファルト防水層	防水シート貼り【存置】
改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	鋼板曲げ加工【再取付】 改修ドレイン(堅型)【新設】	立上り 高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	鋼板曲げ加工【再取付】 改修ドレイン(堅型)【新設】	平場	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	立上り 高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	水切り金物 アルミ製【新設】 改修ドレイン(堅型)【新設】	平場	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	立上り 高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	水切り金物 アルミ製【新設】 改修ドレイン(堅型)【新設】	立上り 高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	改修ドレイン(堅型)【新設】

屋 上				外 構			
改修前	【北棟 屋上(1)・(1-2)】		立上り 保護モルタル金ゴテ t=15【撤去※1】 アスファルト防水層【撤去※1】★ ※1、バラベットのみのみ、 その他は【存置】	立上り 高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	平場	《正門》 スチール製門扉【レール共撤去】 《昇降口前手洗い流し》 人研ぎ製【撤去】 《昇降口・職員玄関前舗装》 アスファルト舗装【撤去】 《資源庫》 万年塀製【撤去】	《受水槽廻り》 《室外機廻り》
	(建設時)	(前回改修)					
平場	砂利敷キ → 撤去 保護モルタル金ゴテ t=15 アスファルト防水層 ア15 均シモルタル	塗膜防水(仕様不明)【存置】 下地不明	保護モルタル金ゴテ t=15【撤去※1】 アスファルト防水層【撤去※1】★ ※1、バラベットのみのみ、 その他は【存置】	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	鋼板曲げ加工【再取付】 改修ドレイン(堅型)【新設】	《正門》 アルミ製門扉【レール共新設】 《昇降口前手洗い流し》 コンクリート製タイル貼り【新設】 《昇降口・職員玄関前舗装》 アスファルト舗装【新設】	《受水槽廻り》 《室外機廻り》
改修後	高耐久・高反射塗料、フェンス内：長尺塩ビシート貼り ウレタン塗膜防水 X-1 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	アルミ製【新設】 改修ドレイン(堅型)【新設】	高耐久・高反射塗料 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	鋼板曲げ加工【再取付】 改修ドレイン(堅型)【新設】	平場	《正門》 アルミ製門扉【レール共新設】 《昇降口前手洗い流し》 コンクリート製タイル貼り【新設】 《昇降口・職員玄関前舗装》 アスファルト舗装【新設】	《受水槽廻り》 《室外機廻り》

■ 特記事項	■ 耐火認定番号	■ 不燃材料認定番号	■ 略号凡例	■ 軽量鉄骨間仕切り壁リスト						
				記号	使用部位	耐火構造 認定番号	遮音構造 認定番号	ボード張り 範囲	壁 構 成	
1) 塗料については、ISO14001に規定された無公害塗料を使用すること。	略号	認定番号	略号	仕上げ材等	略号	仕上げ材等				
2) 塗装については、室内環境型とする		ケイ酸カルシウム板	不燃NM-8576、8578	RC	床：標仕表6.2.4	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り			
3) 内装に使用する建材・塗料・接着材等については、全て F☆☆☆☆とする。		化粧ケイカル板 t6	不燃NM-8577	CB	コンクリートブロック積み	CL	クリヤーラッカー塗り	一般部	FP060NP-0174	スラブ下迄 LGS下地(45mm以上)+両面強化石膏ボード12.5+12.5
4) 工事後のクリーニングは、内装工事が完了した室より順次行い、全室において行う。		石膏ボード t9.5	準不燃QM-9828	GB-R	石こうボード	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	一般部(目透し)	FP060NP-0289	LGS下地(65mm以上)+両面強化石膏ボード12.5+12.5 ※上張り目地部専用目地フェルト充填
5) 仕上げ材料の詳細については、各詳細図を優先する。		石膏ボード t12.5	不燃NM-8619	GB-R-H	硬質石こうボード	OS	油性ステイン塗り			
6) 腰壁木板張り部(巾木・見切り材含む)は全てUC塗装とする。		硬質石膏ボード t9.5	不燃NM-1908/NM-1139	GB-D	化粧石こうボード	DP	耐候性塗料塗り			
7) 仕上色は複数色とする予定あり、監督員と協議すること。		耐水石膏ボード t9.5	準不燃QM-9826	GB-S	シーリング石こうボード					
8) 「★」印建材はアスベスト含有建材として撤去処分すること。		化粧石膏ボード t9.5	準不燃QM-9824	GB-F	強化石こうボード					
		不燃化粧せっこうボード	不燃NM-0879	ケイカル板	ケイ酸カルシウム板					
		掲示クロス	準不燃 QM-0824	GW	ガラスウール					
		杉板(黒産材) t12.0	準不燃(図示部のみ)	SOP	合成樹脂調合ペイント					
				EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り					
				EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り					
				NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料					

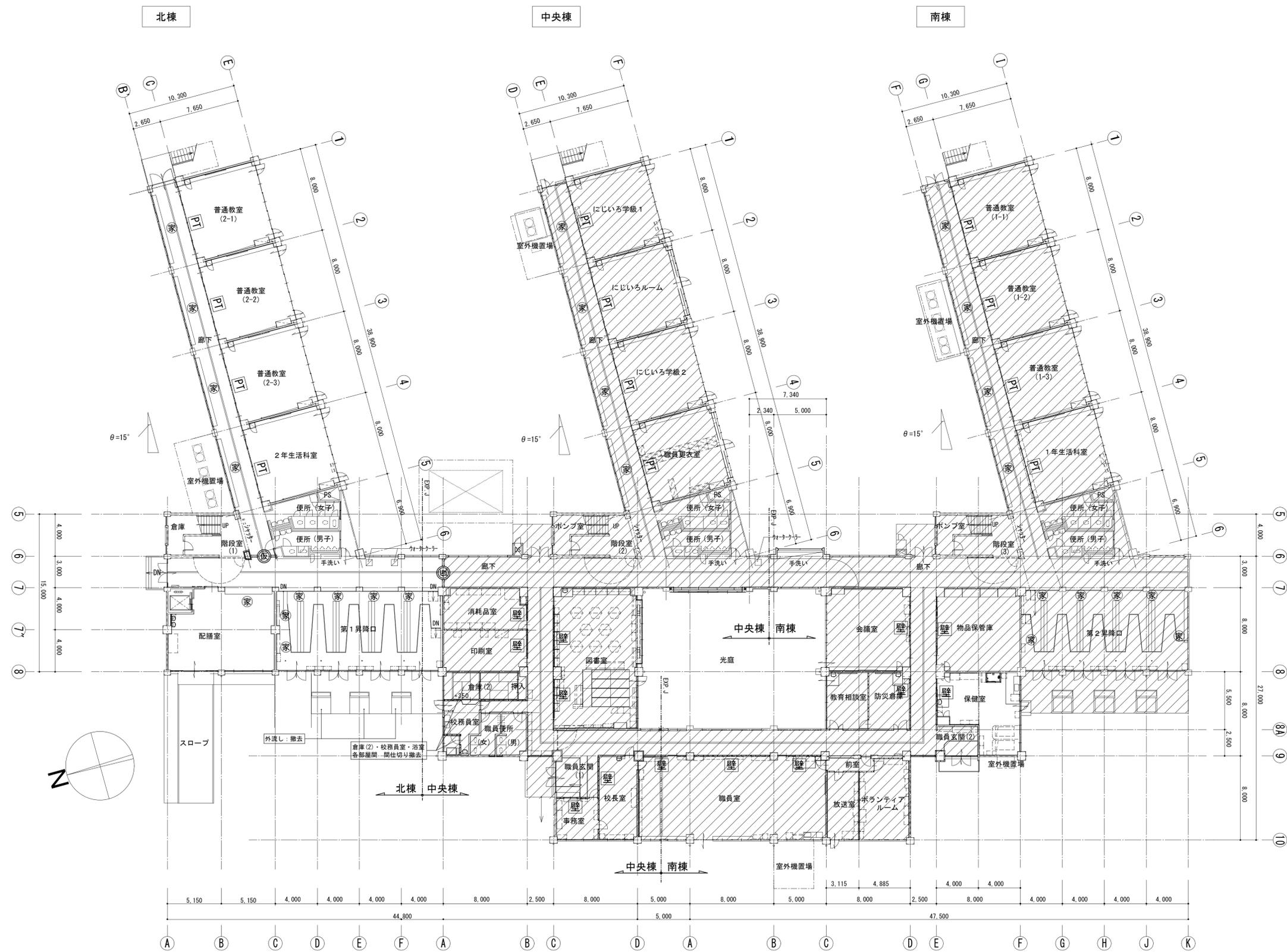
 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)		設計者 17-137 2018年3月 設計部長 松園 担当 製園	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】	設計図	図面名 外部仕上表(北棟)	図面種別 A
					縮尺 S=NS(A3版 50%縮小)	図面番号 2

※共通事項
1、改修前欄内【〇〇】表示は今回改修内容を示す

内部仕上表【北棟】(1)

注記)「★」印建材はアスベスト含有建材として撤去処分すること。

棟	階	室名	床	巾木			壁	柱型	天井			廻り縁	梁型	備考	室名	
				仕上	H	塗装			仕上	下地	H					
北棟	1階	配膳室	改修前	エポキシ系塗床	モルタル金ゴテ	60	VP	モルタル金ゴテ VP 手洗い前:75角 施軸タイル貼 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製 【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	配膳棚【撤去】	配膳室	
			改修後	下地調整 エポキシ系塗床仕上	下地調整		EP	下地調整の上 EP 手洗い前:陶器質タイル貼 100角 【新設】 一部:LGS下地強化石膏ボード12.5 + 珪質石膏ボード t=9.5(1H耐火) EP	下地調整の上 EP	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) 【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【新設】	配膳棚【新設】、ワゴンガード【新設】、軽量シャッター【新設】 掲示板【新設】ホワイトボード【新設】		
		第1昇降口	改修前	上段:人造石研出撤去の上ウレタン系塗床【撤去】 下段:人造石研出 【撤去】	人造石 研出				モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910) 【撤去】	木製【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	下足入【撤去】、ノンスリップ:真鍮製 W=35【撤去】	第1昇降口
			改修後	上段:下地調整の上ウレタン系塗床 下段:下地補修の上モルタル金ゴテ仕上 目地切	下地調整の上 ウレタン系塗床				下地調整の上 EP	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910) 【新設】	LGS 【新設】	2520 2620	塩ビ製 【新設】	下足入【新設】、ノンスリップ:ステンレス製 W=35【新設】	
		廊下 (普通教室前)	改修前	長尺塩ビシート【撤去】★	ラワンOP【撤去】 モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910) 【撤去】	木製【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	生徒用ロッカー【撤去】、センターラインW=100【撤去】	廊下 (普通教室前)
			改修後	下地調整の上 ビニル床シート t=2.0【新設】 (センターライン付)	下地調整 腰壁部:木製【新設】 下地調整	60	EP 詳細図参照 EP	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り 【新設】	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910) 【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【新設】	手洗い流し【新設】、センターラインW=100(ビニル床シート)【新設】 児童用フック【新設】		
	廊下 (6通り)	改修前	長尺塩ビシート【撤去】★	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP シナ合板 t=5.5 OP【撤去】	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910) 【撤去】	木製【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	人研ぎ流し【撤去】、センターラインW=100【撤去】 掲示板【撤去】	廊下 (6通り)	
		改修後	下地調整の上 ビニル床シート t=2.0【新設】 (センターライン付)	下地調整 下地調整	60	EP EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り 【新設】	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910) 【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【新設】	手洗い流し【新設】、センターラインW=100(ビニル床シート)【新設】 掲示板【新設】			
	普通教室 (2-1)(2-2)(2-3) 2年生活科室	改修前	ブナ フローリングブロック OSW 【撤去】	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	2900	塩ビ製 【撤去】	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】、木製パーティション【撤去】	普通教室 (2-1)(2-2)(2-3) 2年生活科室	
		改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナ フローリングブロック t=15.0 1-UC 【撤去】	下地調整 下地調整 腰壁部:木製【新設】	60	EP EP 詳細図参照	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔 一部孔なし 【新設】	LGS 【新設】	2900	塩ビ製 【新設】	下地調整の上 EP 半曲面黒板【新設】、掲示板【新設】、清掃具入【新設】、教師用戸棚【新設】 生徒用ロッカー【新設】、スチールパーティション【新設】			
	2階	配膳室	改修前	エポキシ系塗床	モルタル金ゴテ	60	VP	モルタル金ゴテ VP 手洗い前:75角 施軸タイル貼 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製 【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	配膳棚【撤去】	配膳室	
			改修後	下地調整 エポキシ系塗床仕上	下地調整		EP	下地調整の上 EP 手洗い前:陶器質タイル貼 100角 【新設】 一部:LGS下地強化石膏ボード12.5	下地調整の上 EP	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) 【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【新設】	配膳棚【新設】、ワゴンガード【新設】、軽量シャッター【新設】 掲示板【新設】ホワイトボード【新設】		
廊下 (普通教室前)		改修前	長尺塩ビシート【撤去】★	ラワンOP【撤去】 モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910) 【撤去】	木製【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	生徒用ロッカー【撤去】、センターラインW=100【撤去】	廊下 (普通教室前)	
		改修後	下地調整の上 ビニル床シート t=2.0【新設】 (センターライン付)	下地調整 腰壁部:木製【新設】 下地調整	60	EP 詳細図参照 EP	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り 【新設】	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910) 【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【新設】	手洗い流し【新設】、センターラインW=100(ビニル床シート)【新設】 児童用フック【新設】			
廊下 (6通り)		改修前	長尺塩ビシート【撤去】★	ラワン OP シナ合板 t=5.5 OP【撤去】	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP シナ合板 t=5.5 OP【撤去】	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910) 【撤去】	木製【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	人研ぎ流し【撤去】、センターラインW=100【撤去】 掲示板【撤去】	廊下 (6通り)	
		改修後	下地調整の上 ビニル床シート t=2.0【新設】 (センターライン付)	下地調整 下地調整	60	EP EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り 【新設】	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910) 【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【新設】	手洗い流し【新設】、センターラインW=100(ビニル床シート)【新設】 掲示板【新設】			
普通教室 (4-1)(4-2)(4-3) 4年学習室	改修前	ブナ フローリングブロック OSW 【撤去】	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	2900	塩ビ製 【撤去】	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】、木製パーティション【撤去】	普通教室 (4-1)(4-2)(4-3) 4年学習室		
	改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナ フローリングブロック t=15.0 1-UC 【撤去】	下地調整 下地調整 腰壁部:木製【新設】	60	EP EP 詳細図参照	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔 一部孔なし 【新設】	LGS 【新設】	2900	塩ビ製 【新設】	下地調整の上 EP 半曲面黒板【新設】、掲示板【新設】、清掃具入【新設】、教師用戸棚【新設】 生徒用ロッカー【新設】、スチールパーティション【新設】				
3階	配膳室	改修前	エポキシ系塗床	モルタル金ゴテ	60	VP	モルタル金ゴテ VP 手洗い前:75角 施軸タイル貼 【撤去】	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製 【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	配膳棚【撤去】	配膳室		
		改修後	下地調整 エポキシ系塗床仕上	下地調整		EP	下地調整の上 EP 手洗い前:陶器質タイル貼 100角 【新設】 一部:LGS下地強化石膏ボード12.5	下地調整の上 EP	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) 【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【新設】	配膳棚【新設】、ワゴンガード【新設】、軽量シャッター【新設】 掲示板【新設】ホワイトボード【新設】			
	廊下 (普通教室前)	改修前	長尺塩ビシート【撤去】★	ラワンOP【撤去】 モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910) 【撤去】	木製【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	生徒用ロッカー【撤去】、センターラインW=100【撤去】	廊下 (普通教室前)	
		改修後	下地調整の上 ビニル床シート t=2.0【新設】 (センターライン付)	下地調整 腰壁部:木製【新設】 下地調整	60	EP 詳細図参照 EP	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り 【新設】	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910) 【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【新設】	手洗い流し【新設】、センターラインW=100(ビニル床シート)【新設】 児童用フック【新設】			
	廊下 (6通り)	改修前	長尺塩ビシート【撤去】★	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP シナ合板 t=5.5 OP【撤去】	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910) 【撤去】	木製【撤去】	2520	塩ビ製 【撤去】	人研ぎ流し【撤去】、センターラインW=100【撤去】 掲示板【撤去】	廊下 (6通り)	
		改修後	下地調整の上 ビニル床シート t=2.0【新設】 (センターライン付)	下地調整 下地調整	60	EP EP	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り 【新設】	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910) 【新設】	LGS 【新設】	2520	塩ビ製 【新設】	手洗い流し【新設】、センターラインW=100(ビニル床シート)【新設】 掲示板【新設】			
普通教室 (5-1)(5-2)(5-3) 5年学習室	改修前	ブナ フローリングブロック OSW 【撤去】	ラワン OP モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP 合板目透し貼り t=5.5 OP(背面)	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	有孔石膏ボード t=9.0 EP 【撤去】★	木製【撤去】	2900	塩ビ製 【撤去】	スチール黒板【撤去】、掲示板【撤去】、清掃具入【撤去】、教師用戸棚【撤去】 本棚【撤去】、木製パーティション【撤去】	普通教室 (5-1)(5-2)(5-3) 5年学習室		
	改修後	サンダー掛けの上 1-UC ブナ フローリングブロック t=15.0 1-UC 【撤去】	下地調整 下地調整 腰壁部:木製【新設】	60	EP EP 詳細図参照	下地調整の上 EP 下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り【新設】	下地調整の上 EP 腰壁:木製腰板貼り	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔 一部孔なし 【新設】	LGS 【新設】	2900	塩ビ製 【新設】	下地調整の上 EP 半曲面黒板【新設】、掲示板【新設】、清掃具入【新設】、教師用戸棚【新設】 生徒用ロッカー【新設】、スチールパーティション【新設】				
共通	階段室(1)	改修前	長尺塩ビシート貼り t=2.0【撤去】★	モルタル金ゴテ	60	VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテ VP	段裏:プラスター塗り EP 最上階:化粧石膏ボード貼り【撤去】	直天 LGS【撤去】	—	塩ビ製	モルタル金ゴテ VP 自閉式甲種防火戸【撤去、1F除く】、防火シャッター【撤去、1F除く】、手摺:ステンレス製【撤去】 段鼻:ノンスリップ【撤去】、踊り場手摺【撤去】	階段室(1)		
		改修後	下地調整の上 長尺塩ビシート貼り t=2.0【新設】 (センターライン付)	下地調整		EP	下地調整の上 EP	下地調整の上 EP	段裏:下地調整の上 EP 最上階:化粧石膏ボード t=9.5 (910×910) 【新設】	直天 LGS【新設】	—	塩ビ製	下地調整の上 EP 自閉式甲種防火戸【撤去】、防火シャッター【新設】、ビニル被覆製【新設】 段鼻:ノンスリップ【新設】、踊り場手摺【新設】			
南棟	保健室	改修前	ブナ フローリングブロック OSW【撤去】 一部:ウレタン系塗床【撤去】	ラワン モルタル金ゴテ	60	OP VP	モルタル金ゴテ VP	モルタル金ゴテVP	化粧石膏ボード t=9.0【撤去】	木製【撤去】	2900	塩ビ製 【撤去】	モルタル金ゴテ VP 黒板・掲示板【撤去】、収納庫【撤去】、ステンレス流し台【撤去】、吊りカーテンレール【撤去】 シャワーユニット【既存のまま】、木製パーティション【撤去】、掃除用具入【撤去】	保健室		
		改修後	下地調整の上 長尺塩ビシート貼り t=2.0【新設】	下地調整 下地調整 【新設部】:木製	60	EP EP	下地調整の上 EP 【新設部】 LGS下地強化石膏ボード12.5+12.5 EP	下地調整の上 EP	化粧石膏ボード t=9.5【新設】	LGS 【新設】	2900	塩ビ製 【新設】	下地調整の上 EP 初付ボード【新設】、収納庫【新設】、ステンレス流し台【新設】、吊りカーテンレール【新設】 掃除用具入【新設】			



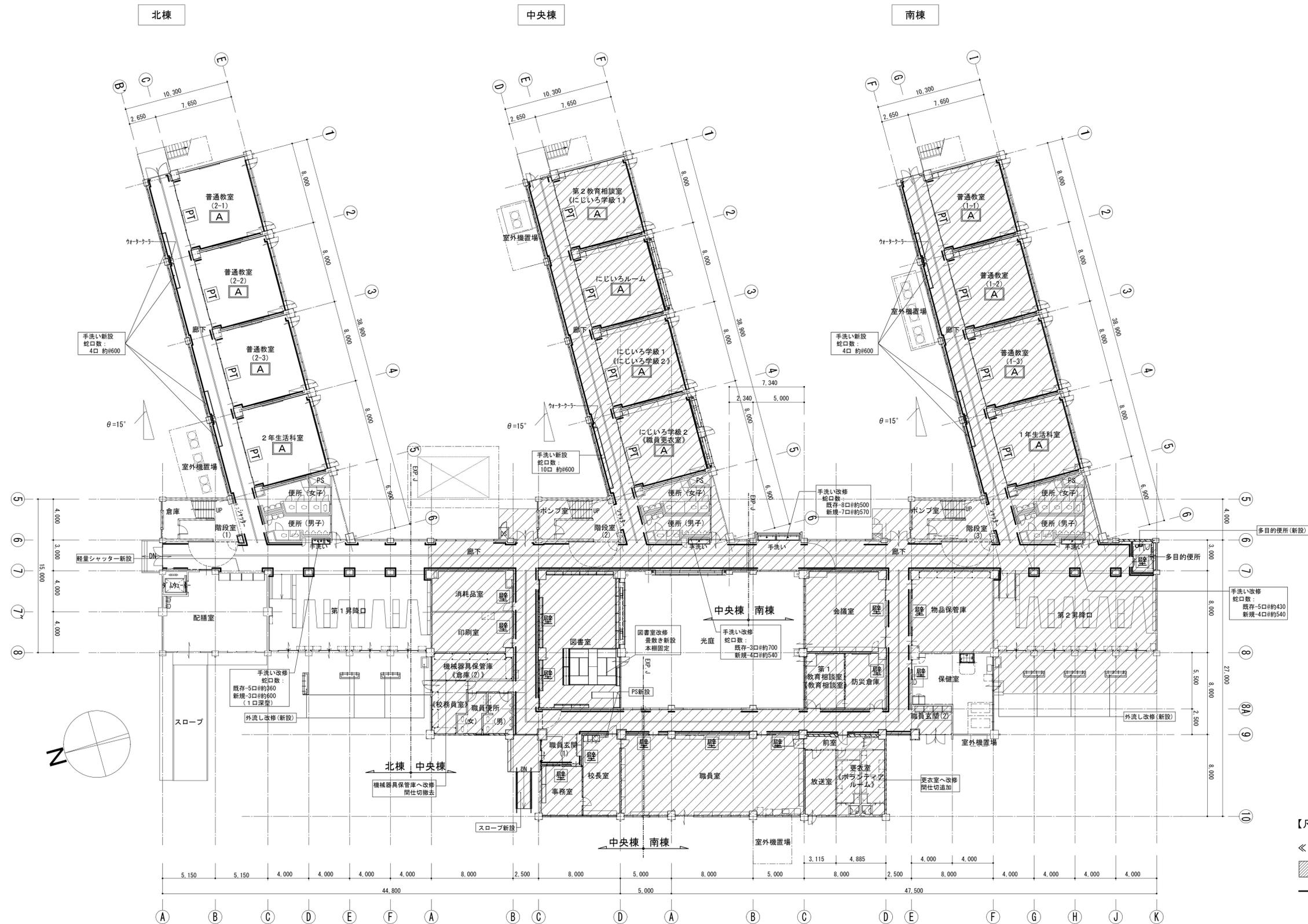
1階平面図 S=1/200

- 【凡例】
- 改修範囲外を示す
 - 撤去間仕切り壁を示す (PT改修)
 - 撤去間仕切り壁を示す (防火壁改修)
 - 撤去家具を示す (各諸室内を除く)
 - 仮設間仕切りを示す (扉付)

株式会社 **松下設計** 一級建築士事務所
 〒500-0000 岐阜県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) F A X 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	目的	2018年3月
設計部長	横園 担当	製図	

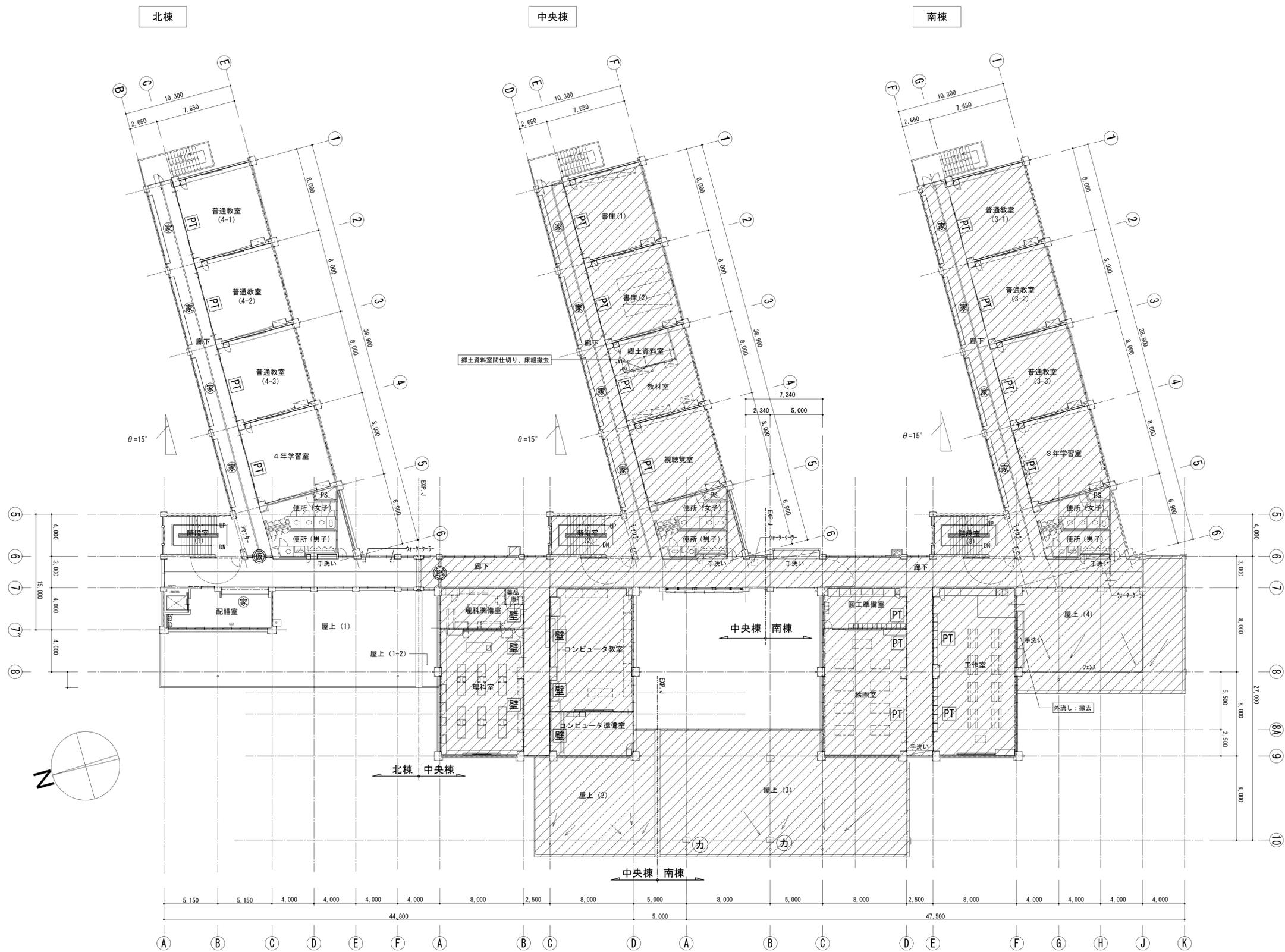
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】	設計図	図面種類 A
		【改修前】
		図面番号 4
		縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)



1階平面図 S=1/200

- 【凡例】
- ◀ ▶内は改修前の部屋名を示す
 - ▨ 改修範囲外を示す
 - ▩ 腰壁範囲を示す
 - PT スチールパーティション改修部を示す
 - 壁 防火壁改修部を示す
 - A 普通教室仕様改修室を示す

 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11)183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	17-137 設計部長 松園 担当 製図	2018年3月 日付	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】	設計図	図面名 1階平面図	図面種類 A
				【改修後】		縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)



2階平面図 S=1/200

【凡例】

- 改修範囲外を示す
- PT 撤去間仕切り壁を示す (PT改修)
- 壁 撤去間仕切り壁を示す(防火壁改修)
- 家 撤去家具を示す(各諸室内を除く)
- 仮設間仕切りを示す(扉付)
- 力 煙突：笠撤去

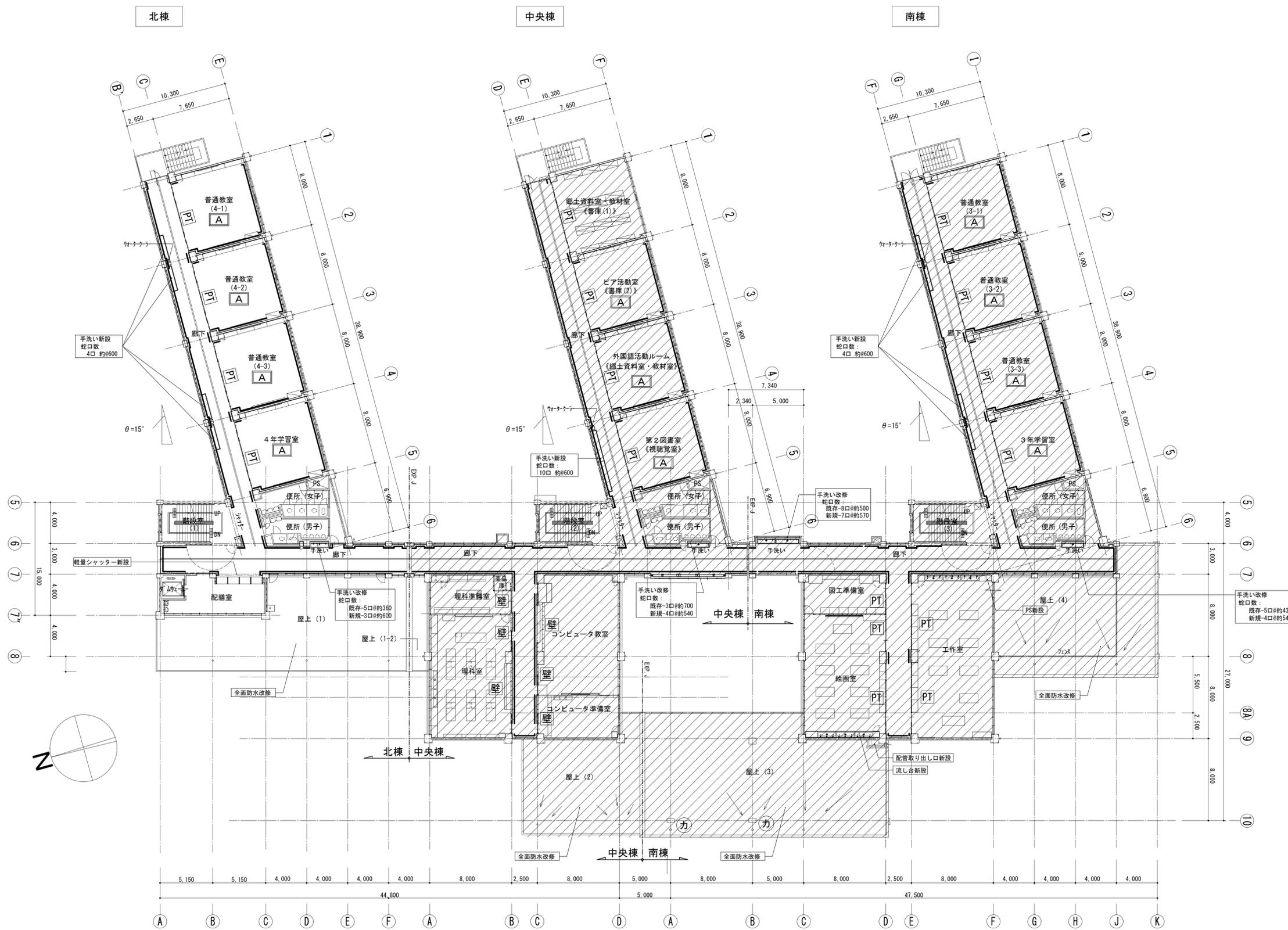
株式会社 松下設計 一級建築士事務所
登録(11)183
埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号 17-137	日付 2018年3月
設計部長 横田 担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

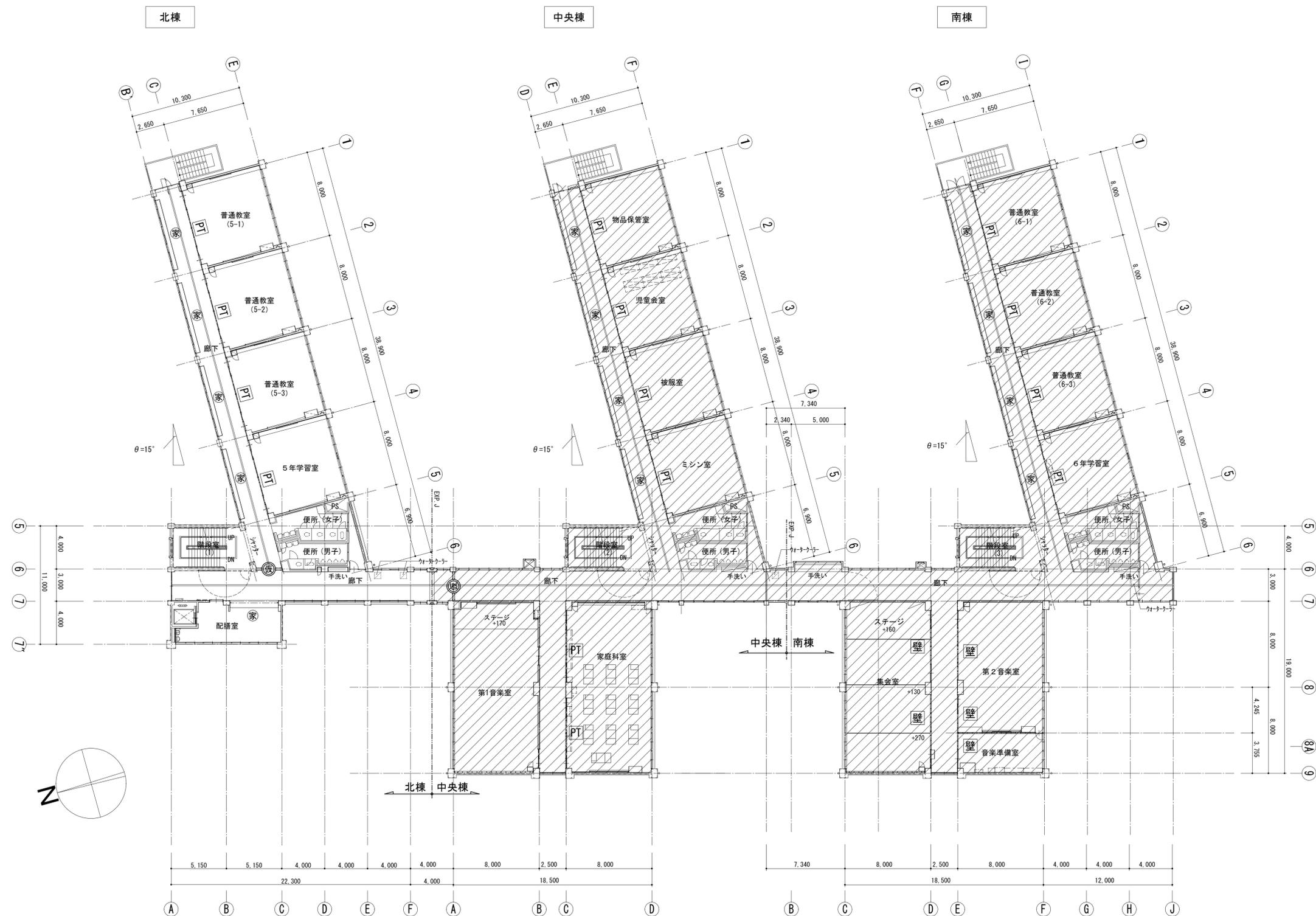
図面名 2階平面図	図面種別 A
縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号 6

【改修前】



2階平面図 S=1/200

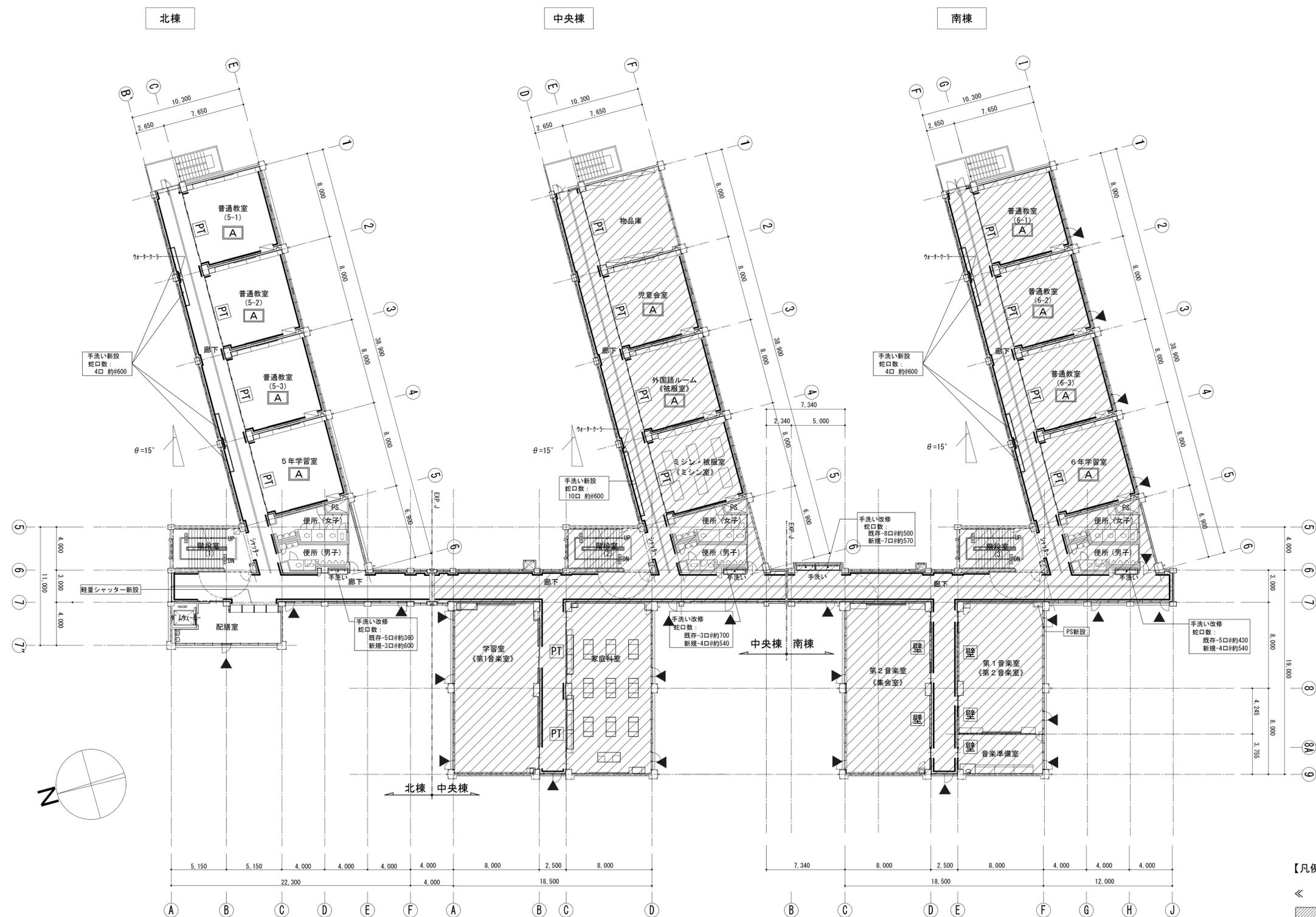
- 【凡例】
- ◀ ▶内は改修前の部屋名を示す
 - 改修範囲外を示す
 - 腰壁範囲を示す
 - PT スチールパーティション改修部を示す
 - 壁 防火壁改修部を示す
 - A 普通教室仕様改修室を示す
 - カ 煙突：笠新設



- 【凡例】
- 改修範囲外を示す
 - 撤去間仕切り壁を示す (PT改修)
 - 撤去間仕切り壁を示す (防火壁改修)
 - 撤去家具を示す (各諸室内を除く)
 - 仮設間仕切りを示す (扉付)

3階平面図 S=1/200

 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11)183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	委託番号 17-137 設計部長 横岡 担当 製図	目的 2018年3月	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】	設計図	図面名 3階平面図 縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面種類 A 図面番号 8
				設計図	【改修前】	



3階平面図 S=1/200

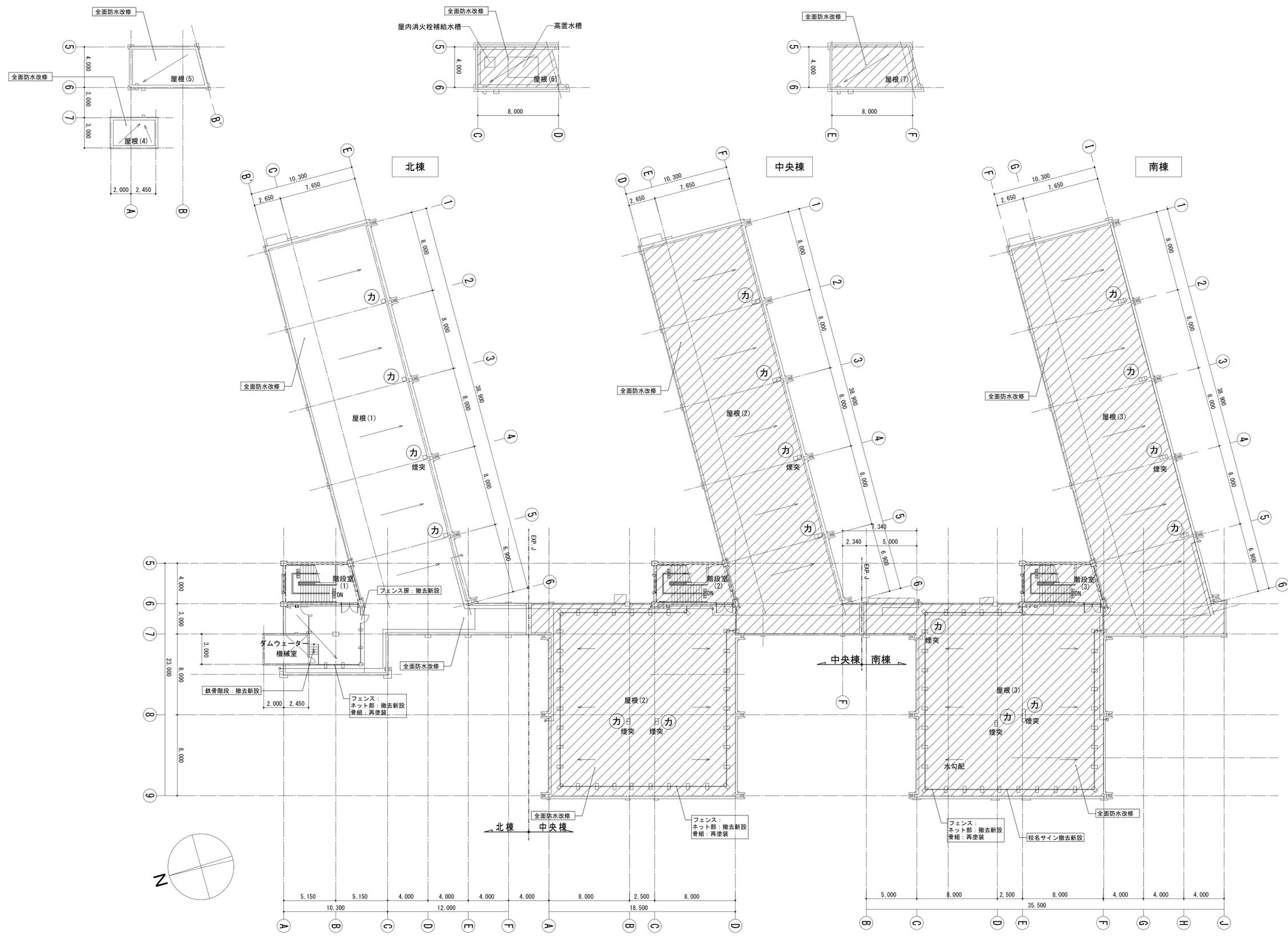
- 【凡例】
- ◀ ▶内は改修前の部屋名を示す
 - ▨ 改修範囲外を示す
 - 腰壁範囲を示す
 - PT スチールパーティション改修部を示す
 - 壁 防火壁改修部を示す
 - A 普通教室仕様改修室を示す
 - ▲ 非常用出入口に代わる開口部への改修建具を示す


株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横岡	担当	製図

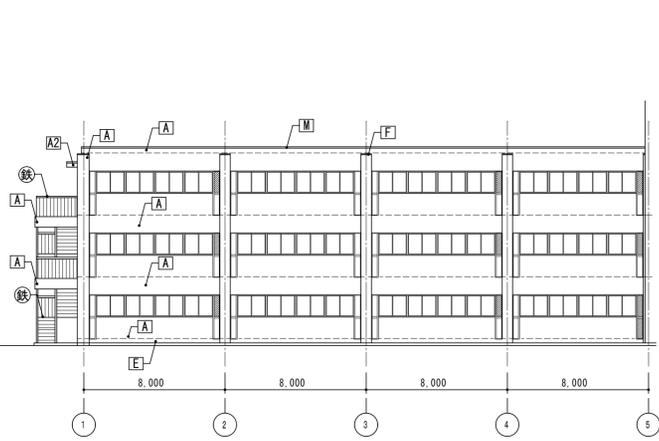
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】
 設計図

図面名	3階平面図	図面種別	A
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号	9

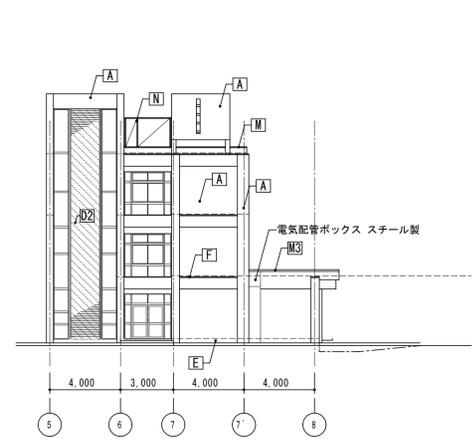


- 【凡例】
- (カ) 煙突：笠撤去・蓋新設
 - ▨ 改修範囲外を示す

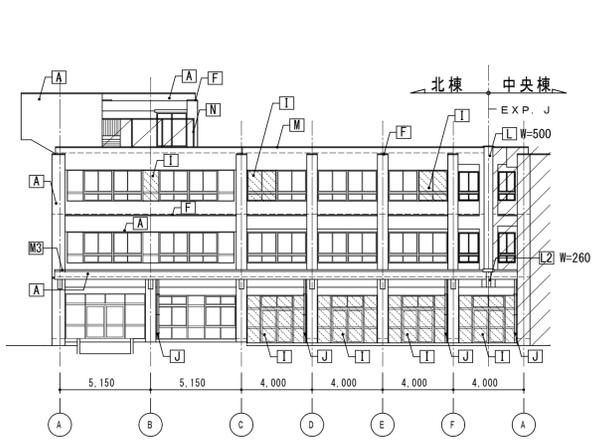
R・PH階平面図 S=1/200



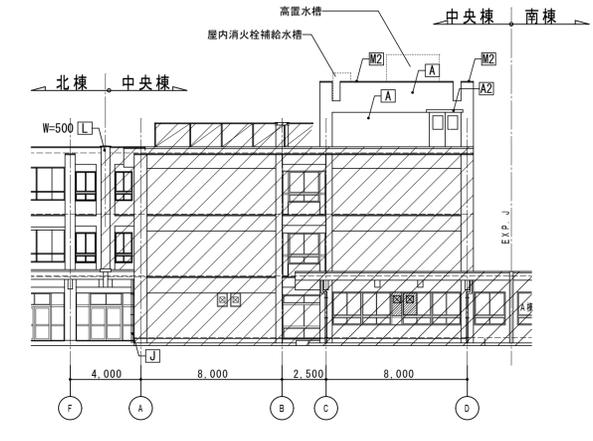
北側立面図1(北棟) S=1/200



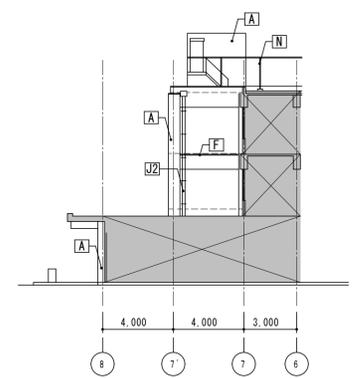
北側立面図2(北棟) S=1/200



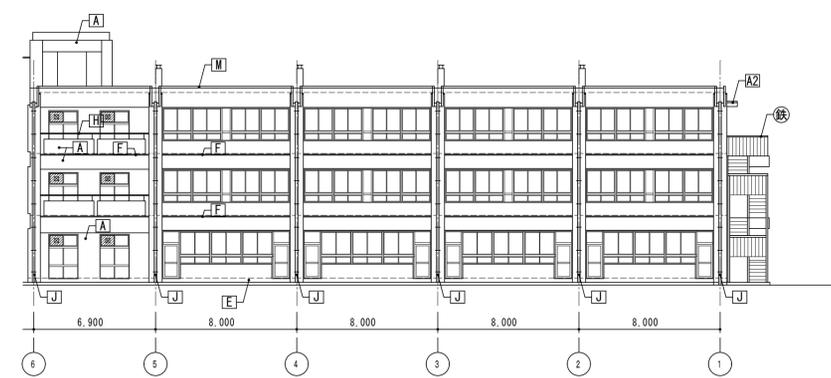
西側立面図1(北棟) S=1/200



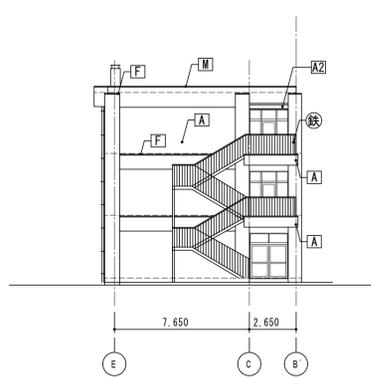
西側立面図1(中央棟) S=1/200



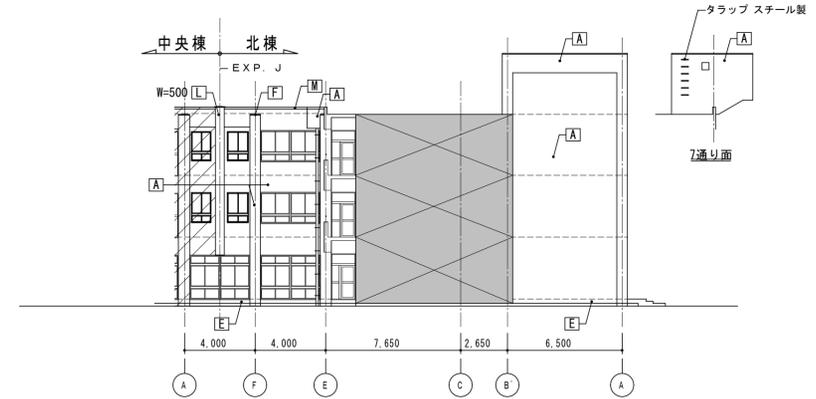
南側立面図1(北棟) S=1/200



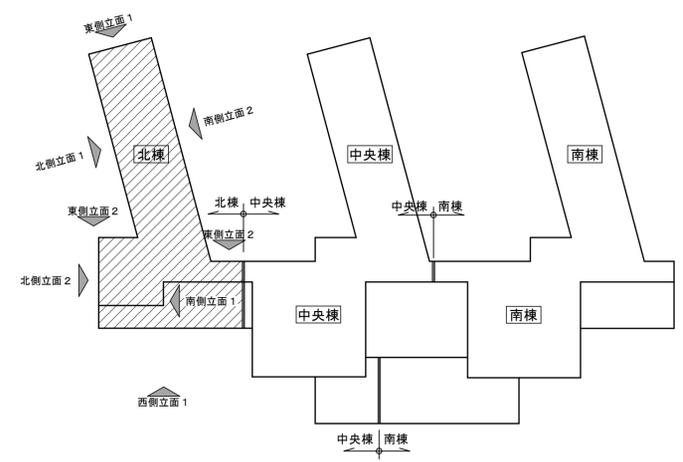
南側立面図2(北棟) S=1/200



東側立面図1(北棟) S=1/200



東側立面図2(北棟) S=1/200



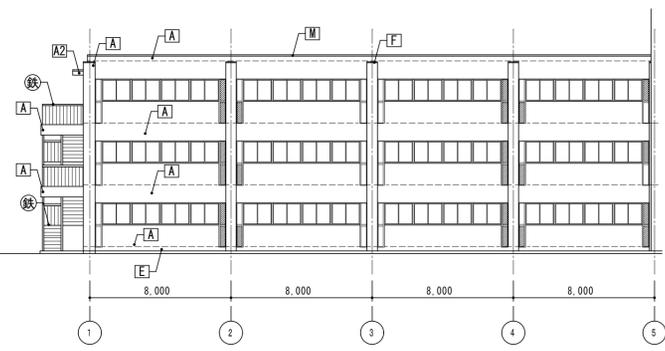
立面キープラン S=1/600

符号	仕上	符号	仕上
A	外壁：コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル(E)【撤去】	K	耐震スリット：W=30【シーリング撤去】
A2	庇：コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル(E)【撤去】	L	EXP. J アルミ製【一時撤去】
B	外壁：押成型セメント板の上層層仕上塗材(E)	L2	EXP. J アルミ製【撤去】
C	外壁：ブロック積み下地フジコート吹付けの上吹付タイル(E)【ブロック共撤去】	M	笠木：鋼板曲げ加工 W=300【一時撤去】
D	外壁：レンガ半長さ積み【撤去】	M2	笠木：アルミ製【一時撤去】
D2	外壁：レンガ半長さ積みの上塗装仕上【レンガ共撤去】	M3	笠木：プレキャストコンクリート製【撤去】
E	地巾木：コンクリート打ち放しモルタル仕上	N	ネットフェンス H=1800【ネットのみ撤去】
F	梁型モルタル下地フジコート吹付け柱上の上吹付タイル(E)【仕上撤去】	N2	ネットフェンス H=1600【ネットのみ撤去】
G	庇：アルミ製	N3	メッシュフェンス H=1600【メッシュのみ撤去】
H	手摺：スチール製	O	煙突：浄化槽煙突増設250φ【撤去】
I	建具：アルミ製【図示部のみ撤去】	鉄	鉄骨階段 溶融亜鉛メッキ仕上
I2	建具：スチール製		
J	壁櫃：VP100φ 養生管 SGPI25φ FP塗装 H=2000【支持金物共撤去】		
J2	壁櫃：VP100φ【支持金物共撤去】		

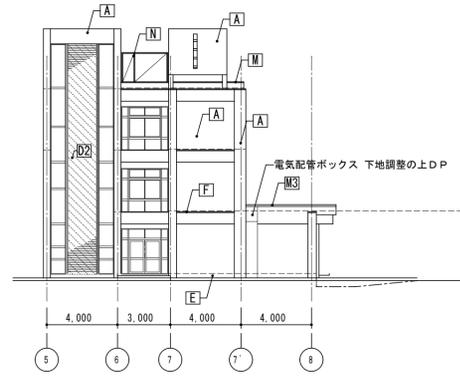
【共通事項】
 1) 打継目地：シーリング撤去
 2) 凡例符号「A、A2、C、D2、F」アスベスト含有建材
 3) 既存建具廻りシーリング【撤去】

- 【凡例】
- 打継目地を示す
 - ▨ 撤去部を示す
 - ▨ 改修範囲外を示す

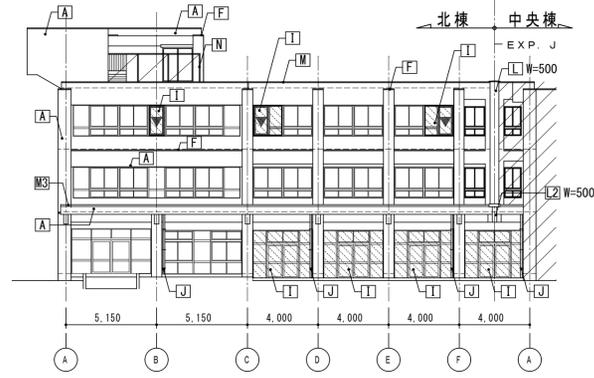
- 【特記事項】
- 撤去工法：集塵装置付き超高压水洗工法(100Mpa以上)、湿式集塵装置付ディスクグラインダー工法併用(石綿規則第6条但し書き適用工法とする)
 - 作業機関：過去の実績において、今回採用の工法と同等の作業実績を持ち、その際の石綿粉塵空气中濃度測定報告書所有する作業機関とする。また、作業機関の決定にあたっては前記資料等「石綿規則第6条但し書き」の適用工法であることが判る資料等を提示し監督員の承認を得ること。
 - 廃水処理：環境測定を行い下記に示した値を満たすことを確認すること。
 ① 浮遊物質量(SS) 180(150)mg/L 未満 ()内は日平均
 ② PH 5.8<PH<8.6
 ③ アスベスト含有量 アスベスト検出限界値50 f/L
 - 吸引装置：① 吸引圧力/真空圧 -50~-90 k p a
 ② 風量 20~40m3
 - アスベスト粉塵濃度測定
 ① 測定箇所・測定時期：施工区画周辺 4点(作業前・作業中・作業後)、作業付近 1点(作業中)
 - アスベスト除去は夏休期間中に行うこと。
 - 参考工法：ウォータークリーン工法・ウォータークリーンSG工法又は、同等工法以上



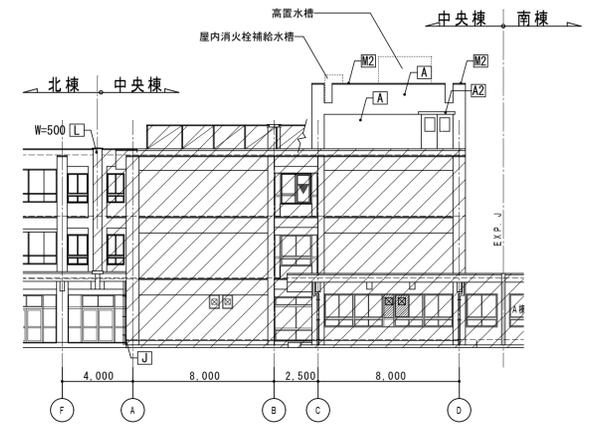
北側立面図1(北棟) S=1/200



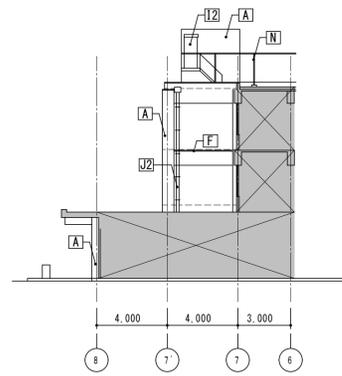
北側立面図2(北棟) S=1/200



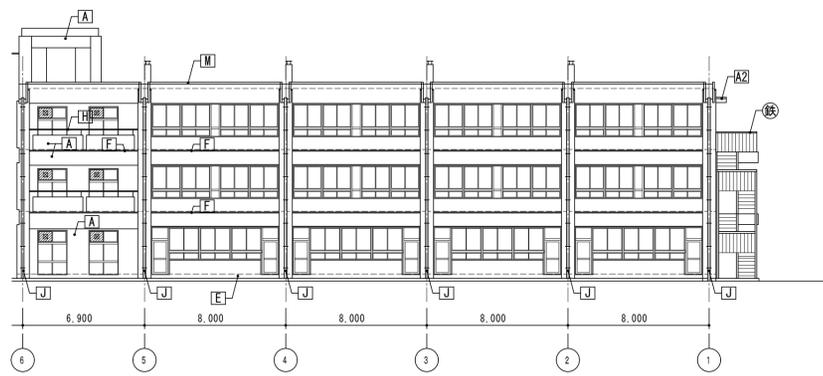
西側立面図1(北棟) S=1/200



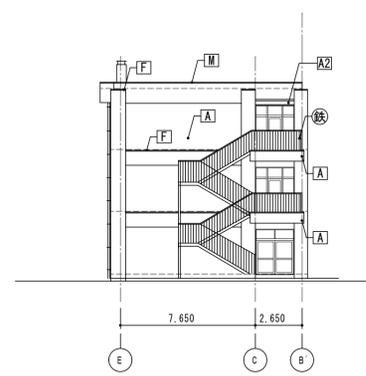
西側立面図1(中央棟) S=1/200



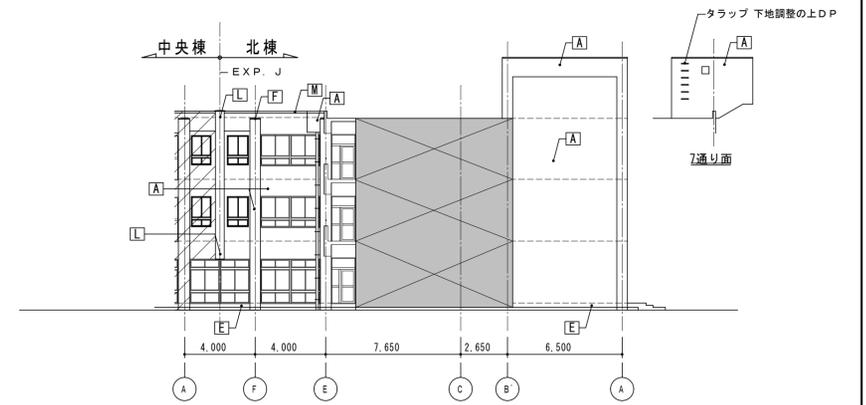
南側立面図1(北棟) S=1/200



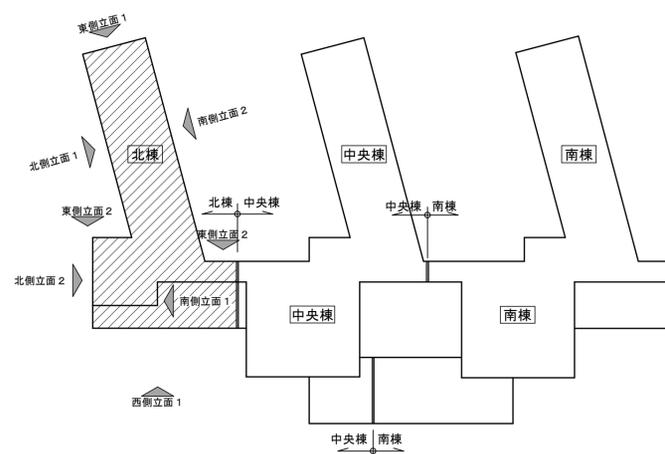
南側立面図2(北棟) S=1/200



東側立面図1(北棟) S=1/200



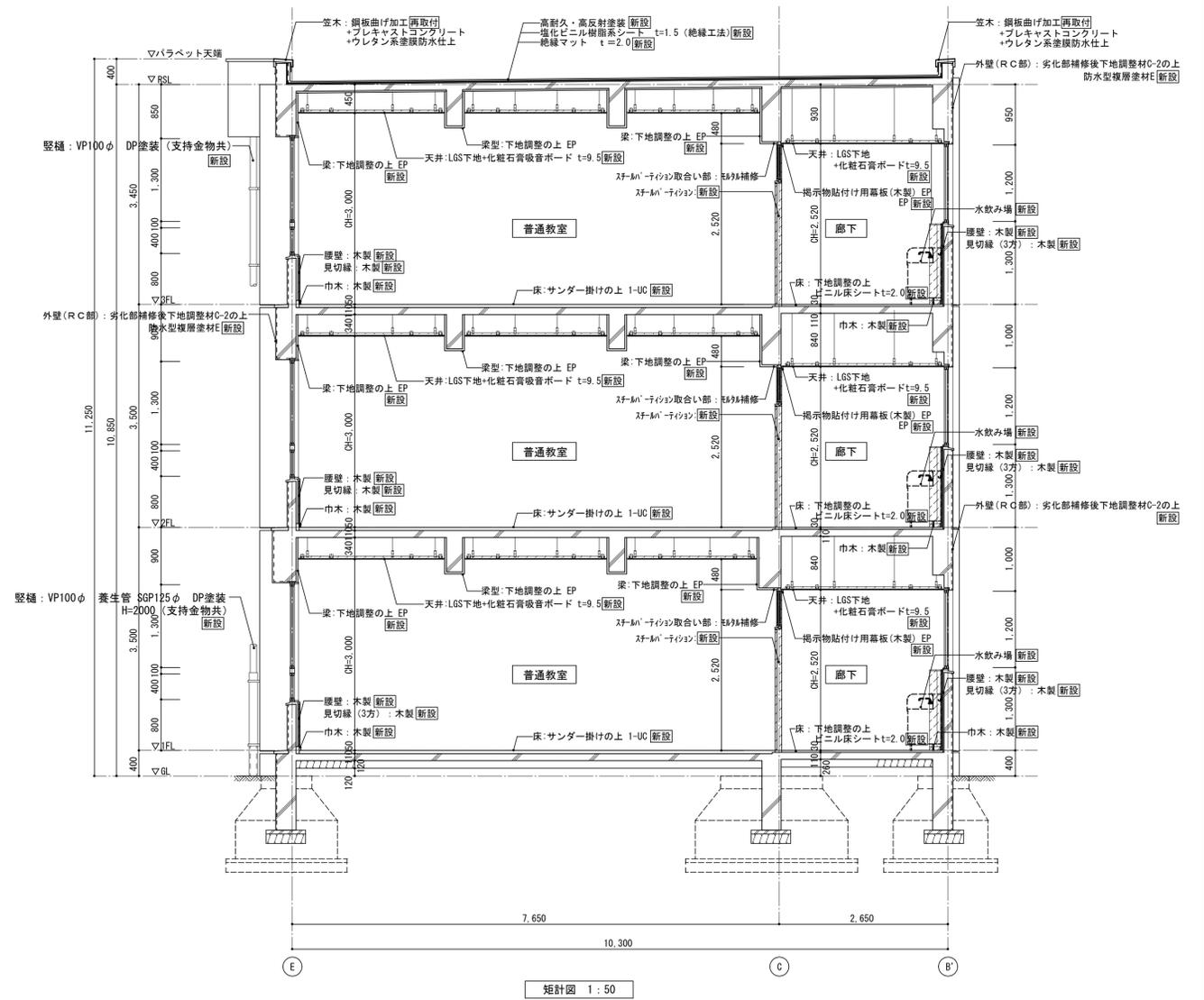
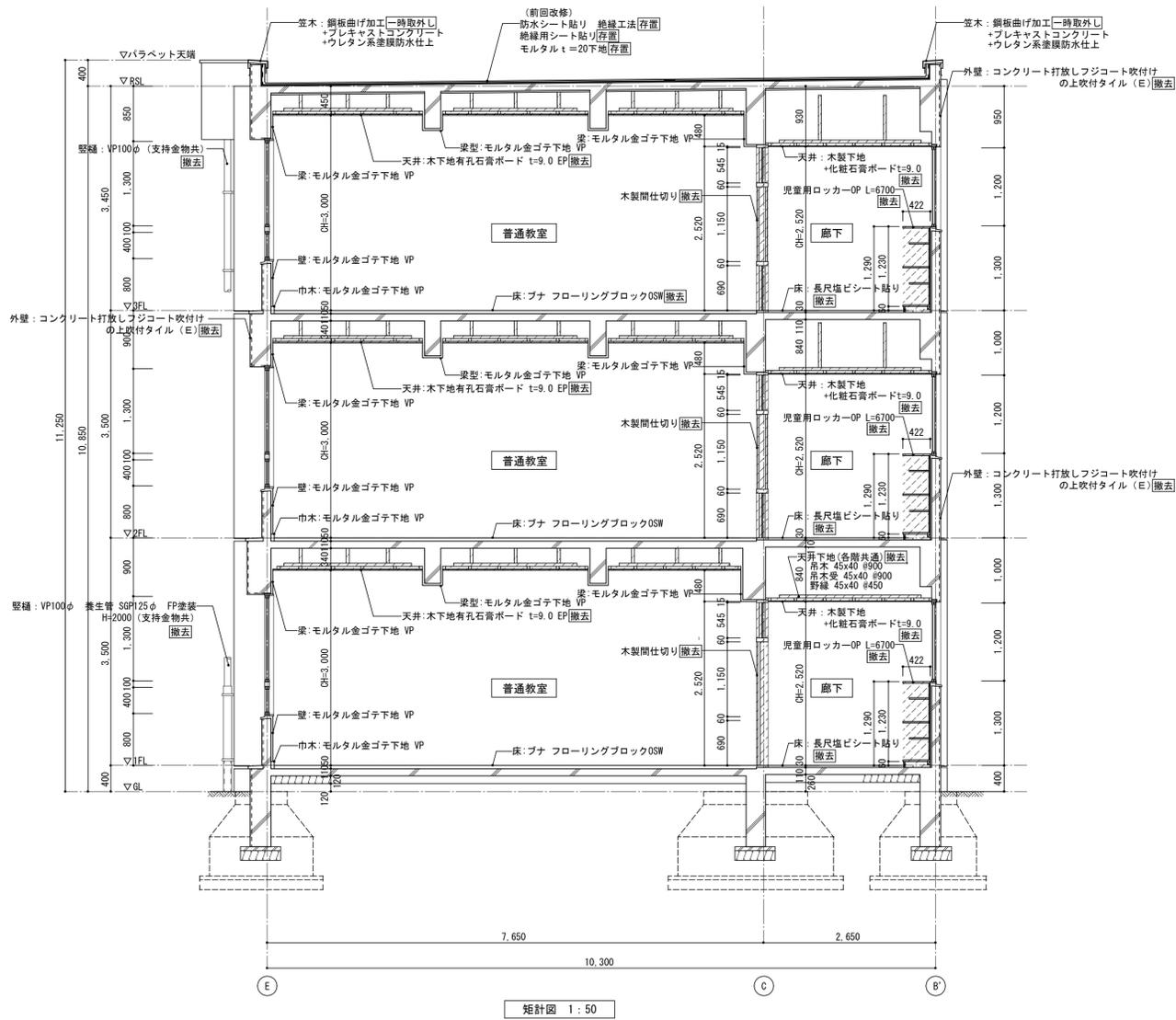
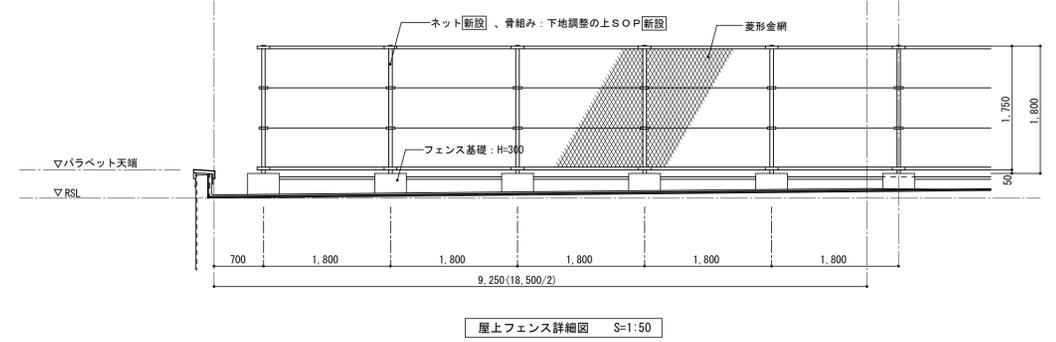
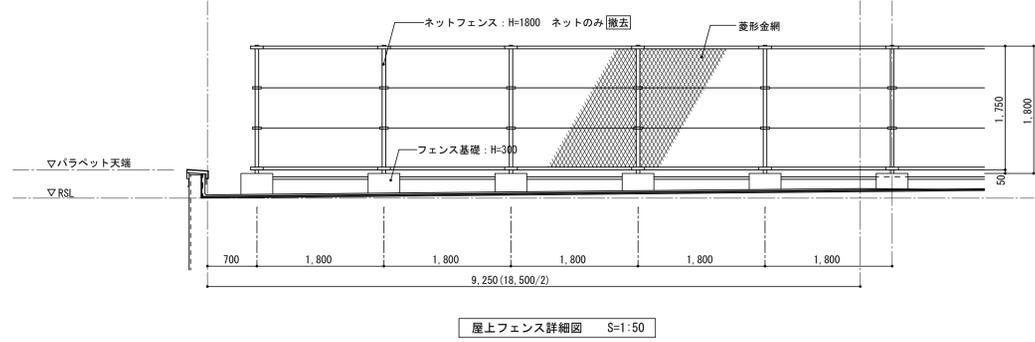
東側立面図2(北棟) S=1/200



立面キープラン S=1/600

符号	仕上	符号	仕上
[A]	外壁(RC部):劣化部補修後下地調整材CM-2の上 防水型複層塗材E【新設】	[K]	耐震スリット:W=30【シーリング新設】
[A2]	庇(鼻先・天端):劣化部補修後 下地調整材CM-2の上防水型複層塗材E【新設】	[L]	EXP. J アルミ製【再取付】
[B]	外壁(押出成型セメント板部) 下地調整の上可とう形改修塗材E【新設】	[L2]	EXP. J アルミ製(HH耐火)【新設】
[C]	外壁(ブロック積み部) A.L.C既成=50 防水型複層塗材 E【新設】	[M]	笠木:鋼板曲げ加工 W=300【再取付】
[D]	外壁(レンガ積み部) モルタル目地切下地 防水型複層塗材E【新設】	[M2]	笠木:アルミ製【再取付】
[D2]	外壁(レンガ積み部) モルタル目地切下地 防水型複層塗材E【新設】	[M3]	笠木:アルミ製【新設】
[E]	地巾木:高圧洗浄の上薄塗モルタル	[N]	ネットフェンス H=1800 ネット新設、骨組み:下地調整の上SOP
[F]	梁型:外壁仕上げに同じ	[N2]	ネットフェンスH=1600【ネットのみ撤去】
[G]	庇:アルミ製【清掃】	[N3]	メッシュフェンス H=1800 メッシュ新設、骨組み:下地調整の上SOP
[H]	手摺(スチール下地) 下地調整の上D.P	[O]	---
[I]	建具:アルミ製【図示部のみ新設】	[鉄]	鉄骨階段【既存のまま】
[I2]	建具(スチール下地) 下地調整の上D.P	▼	非常用出入口に代わる開口部
[J]	縦樋:VP100φ(カラー)【支持金物共新設】		
[J2]	縦樋:VP100φ(カラー)【支持金物共新設】		

- 【凡例】
- 打継目地を示す
 - ▨ 新設部を示す
 - ▩ 改修範囲外を示す



< 凡例 >
 撤去範囲を示す

< 凡例 >
 新設範囲を示す

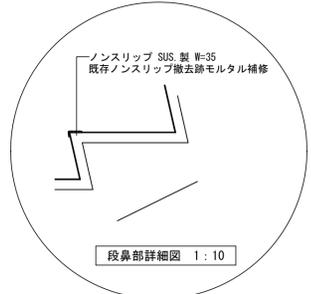
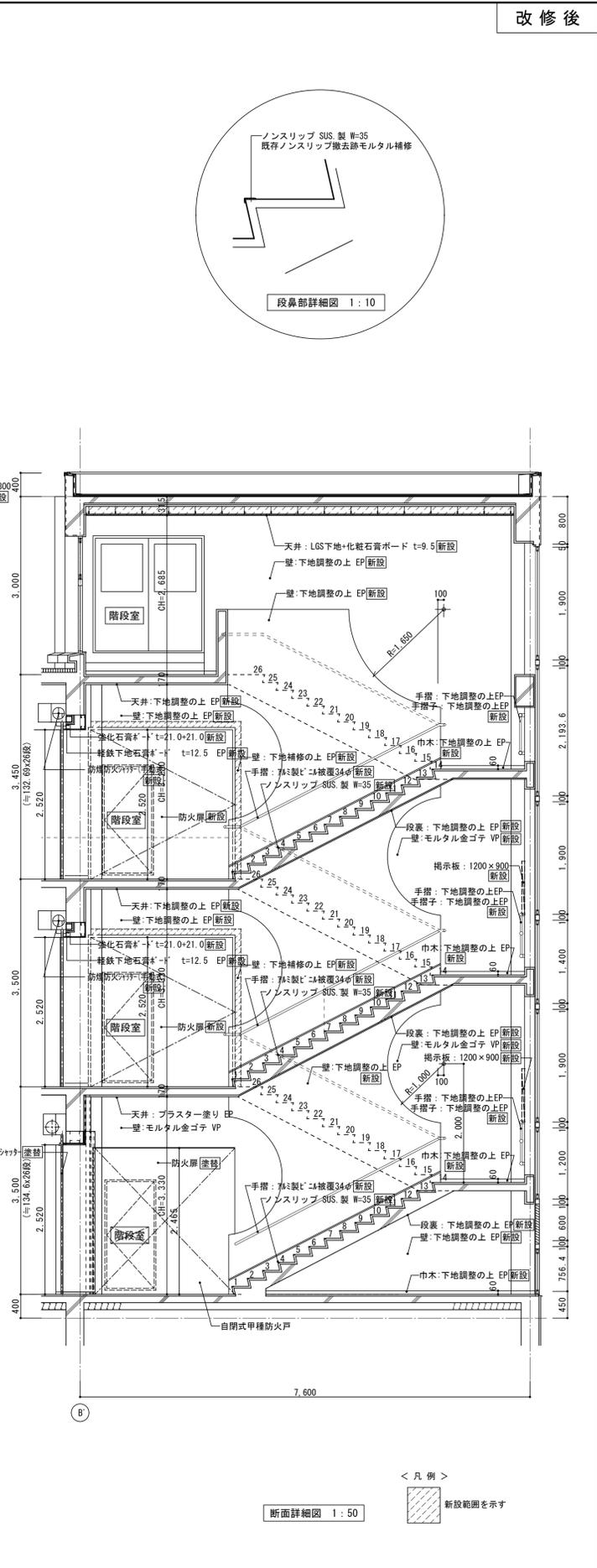
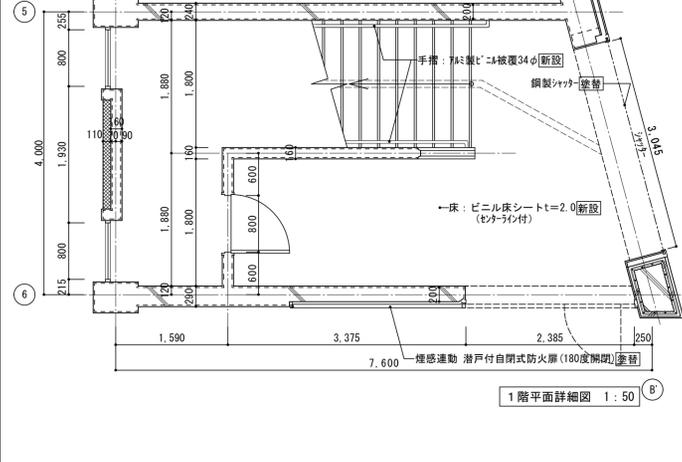
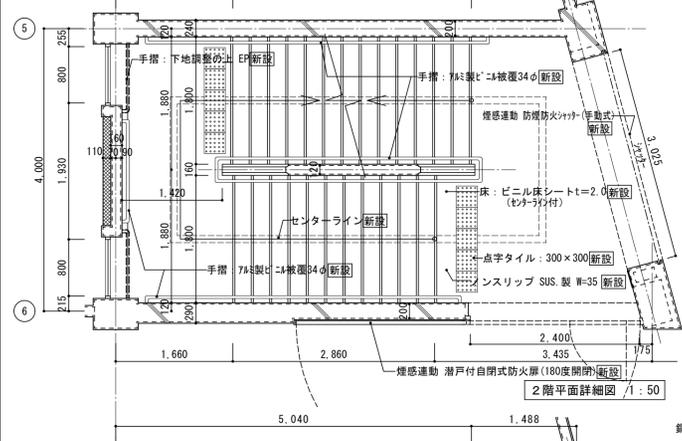
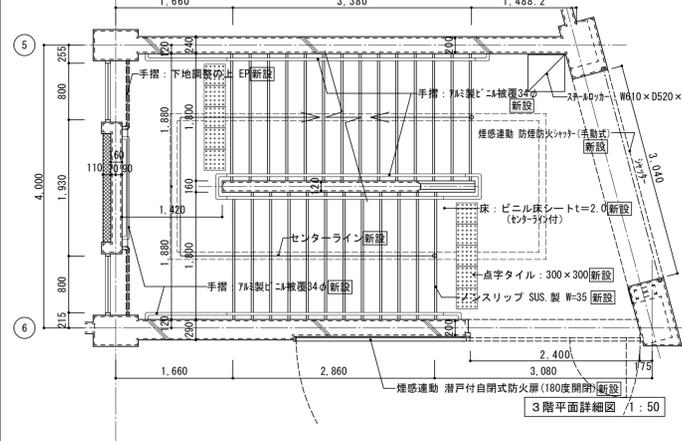
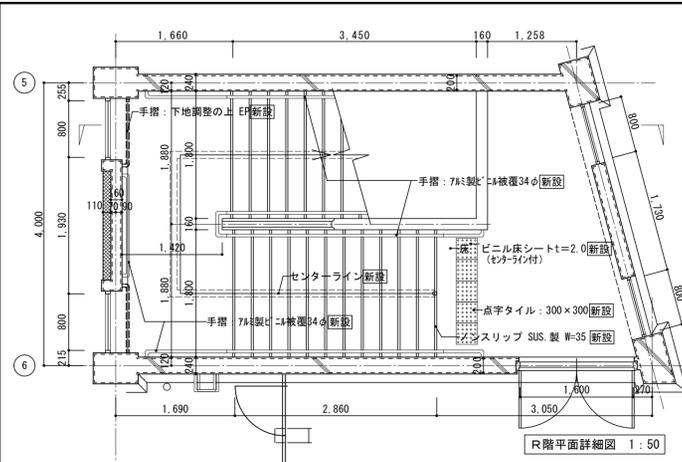
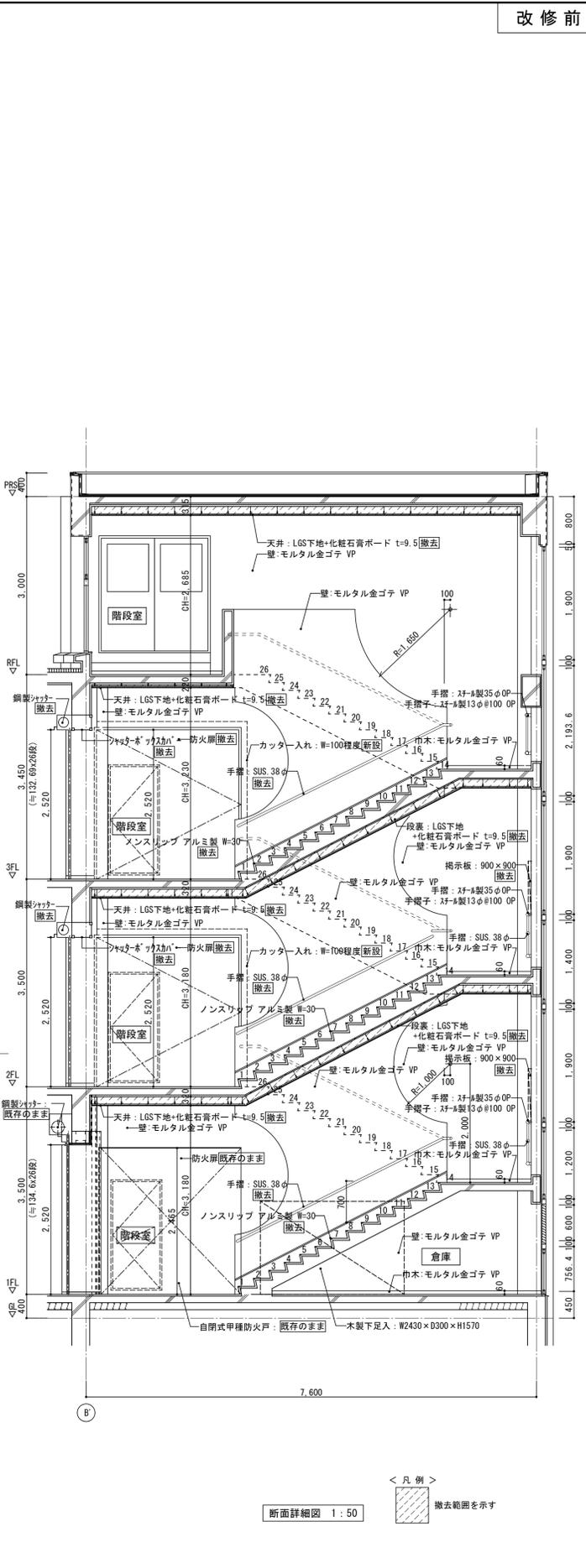
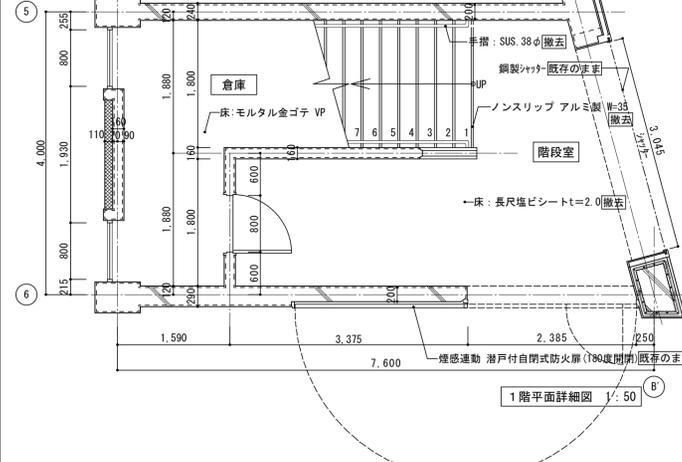
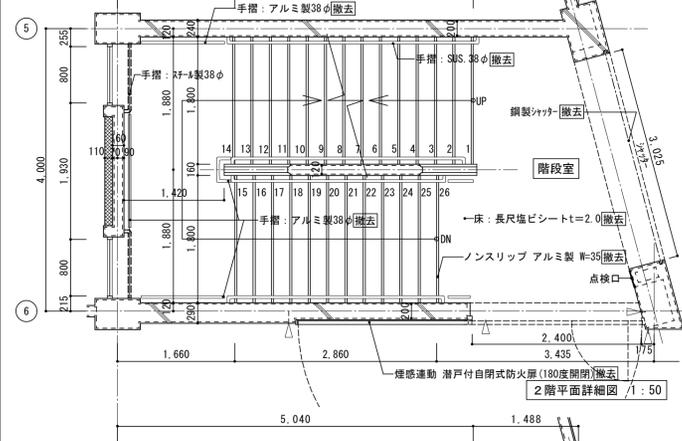
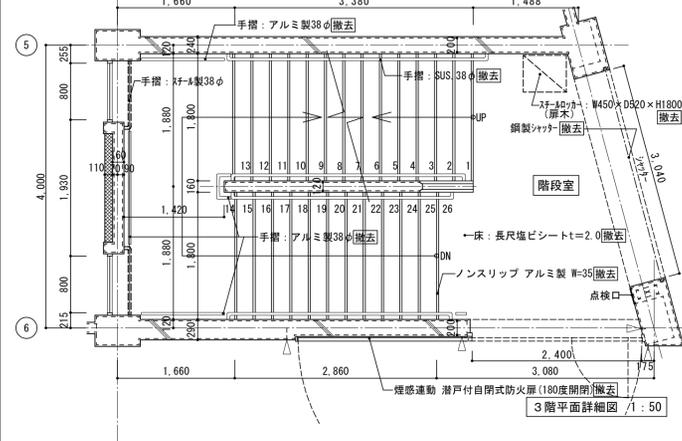
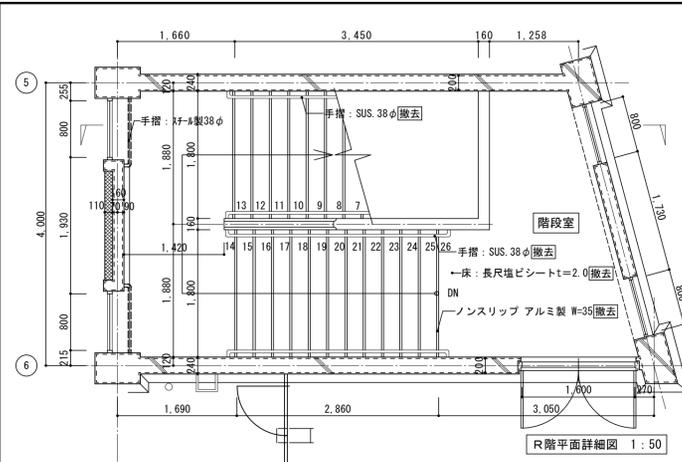
図面名	矩計図 (北棟)
図面種類	A
図面番号	【改修前・後】
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

資料番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横園	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】

設計図



断面詳細図 1:50

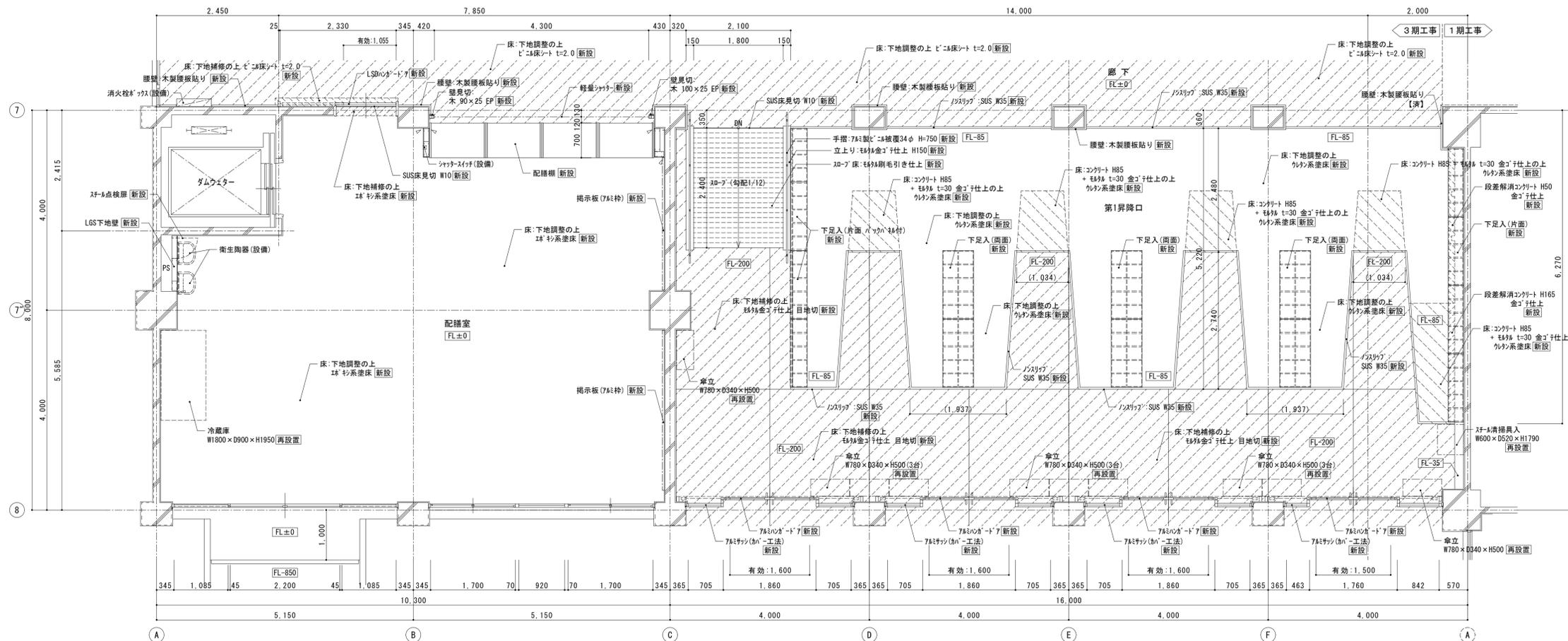
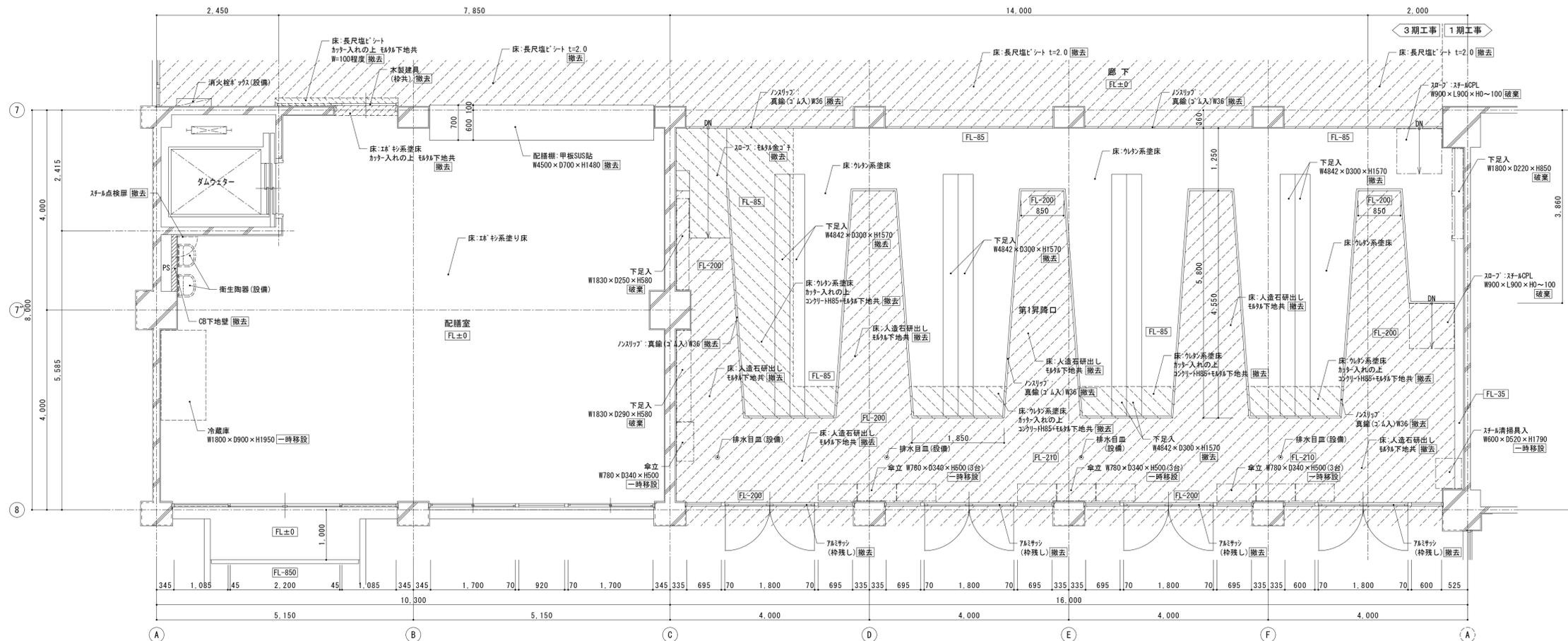
凡例

撤去範囲を示す

断面詳細図 1:50

凡例

新設範囲を示す

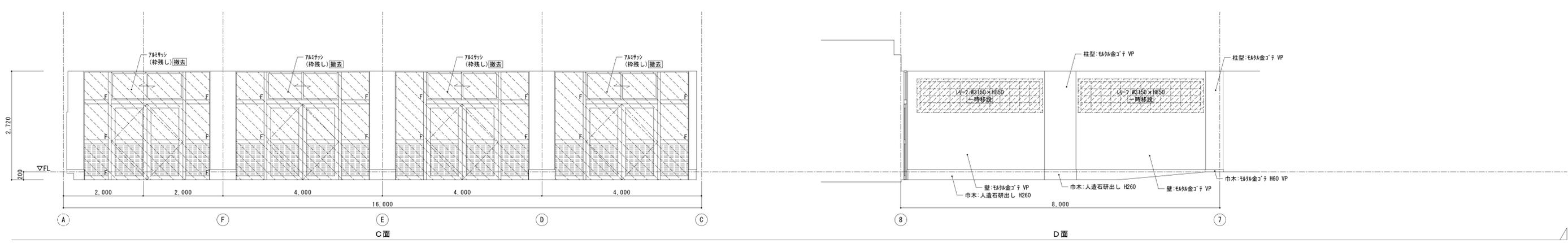
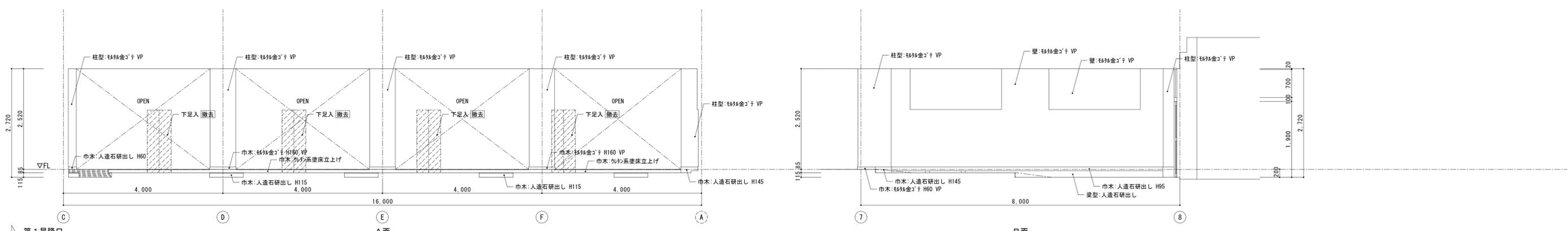
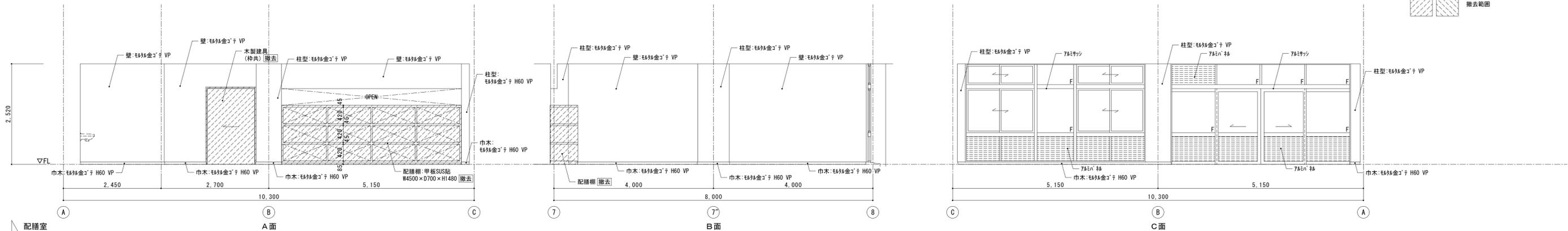
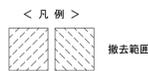


		株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)
---	--	--

委託番号 17-137 設計部長 松田 昌典 検図 担当 製図	日付 2018年3月
--	---------------

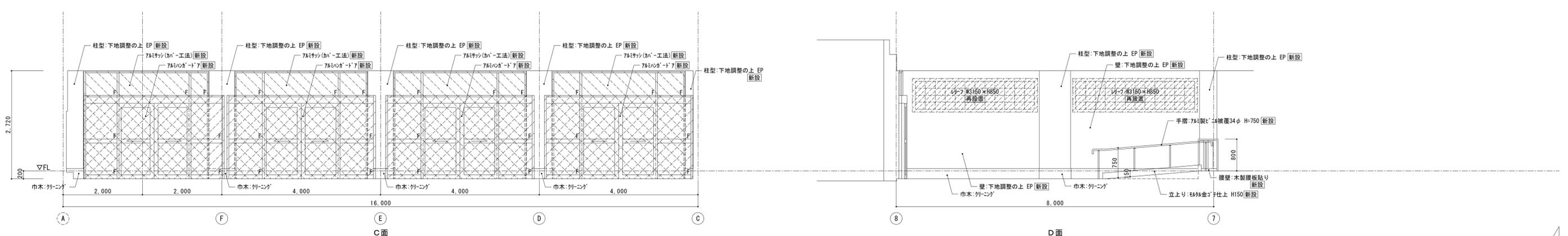
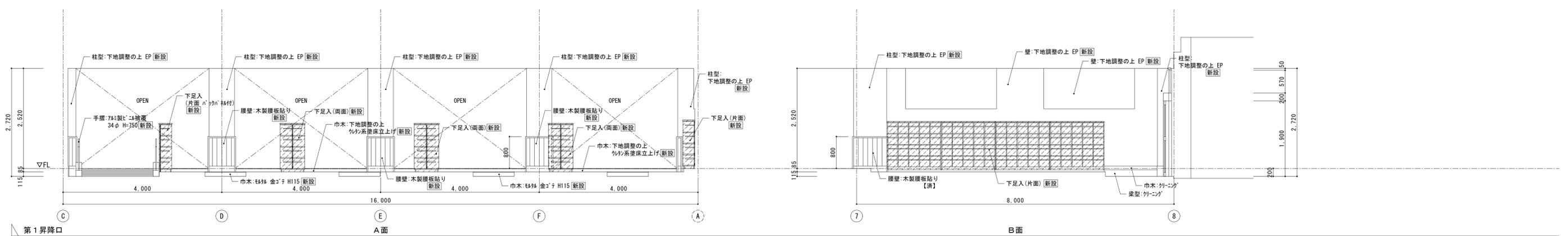
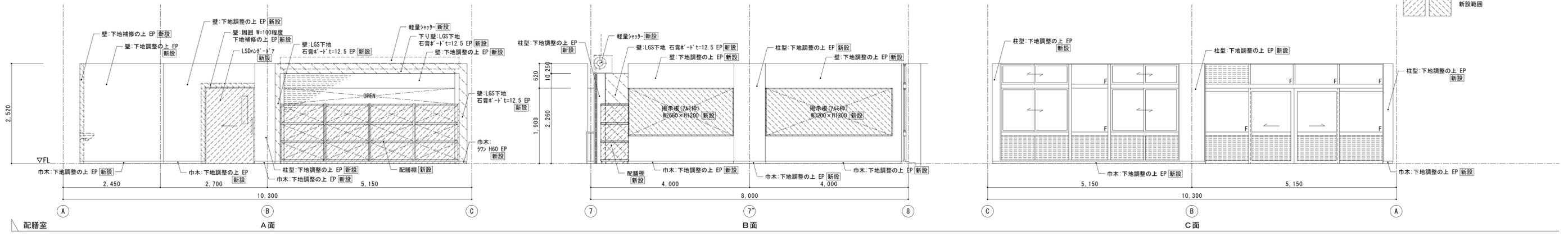
図面名 北棟1階 配膳室・第1昇降口 平面詳細図 【改修前・後】	図面種類 A
縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号 15

図面名 北棟1階 配膳室・第1昇降口 平面詳細図 【改修前・後】	図面種類 A
縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号 15

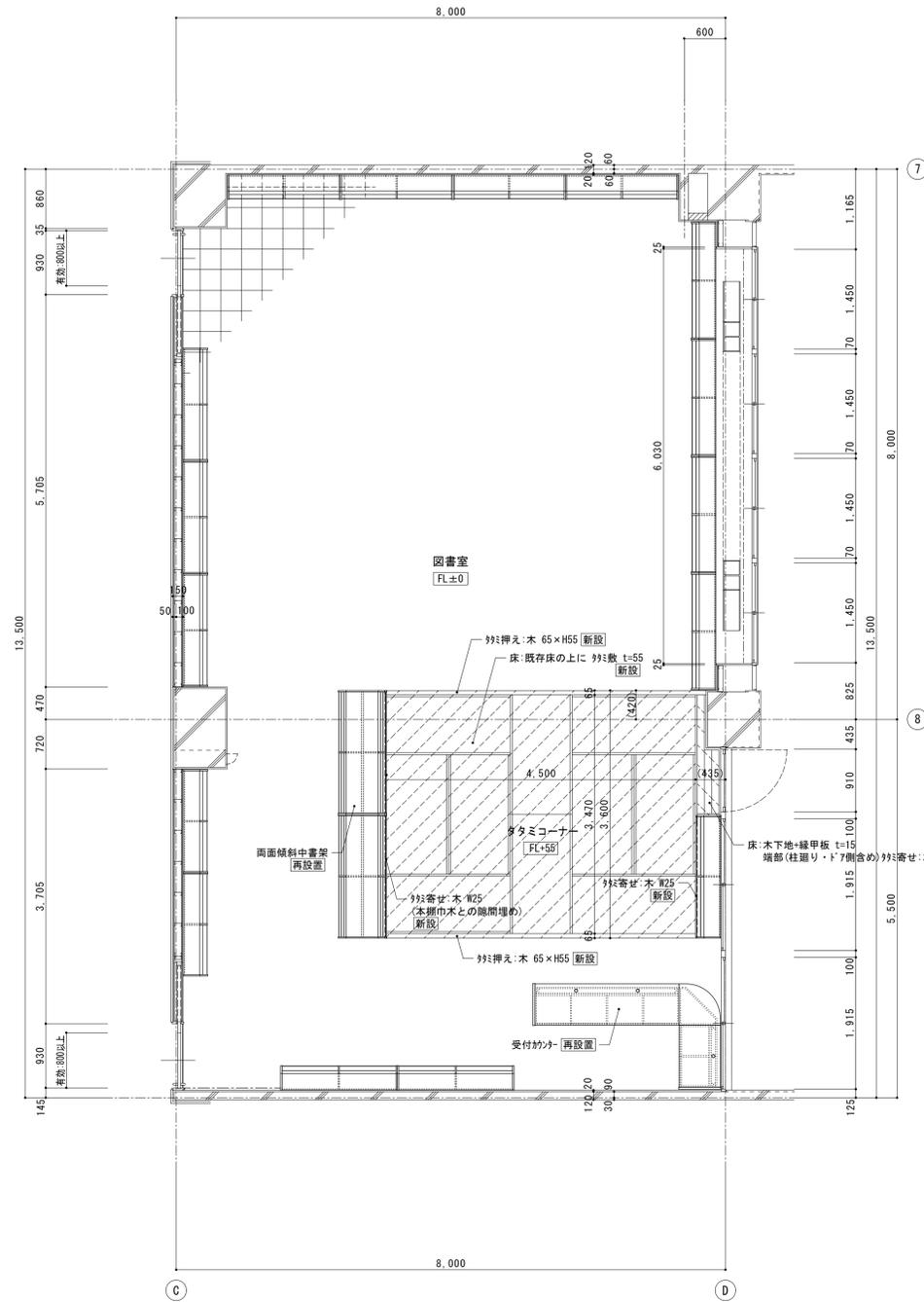
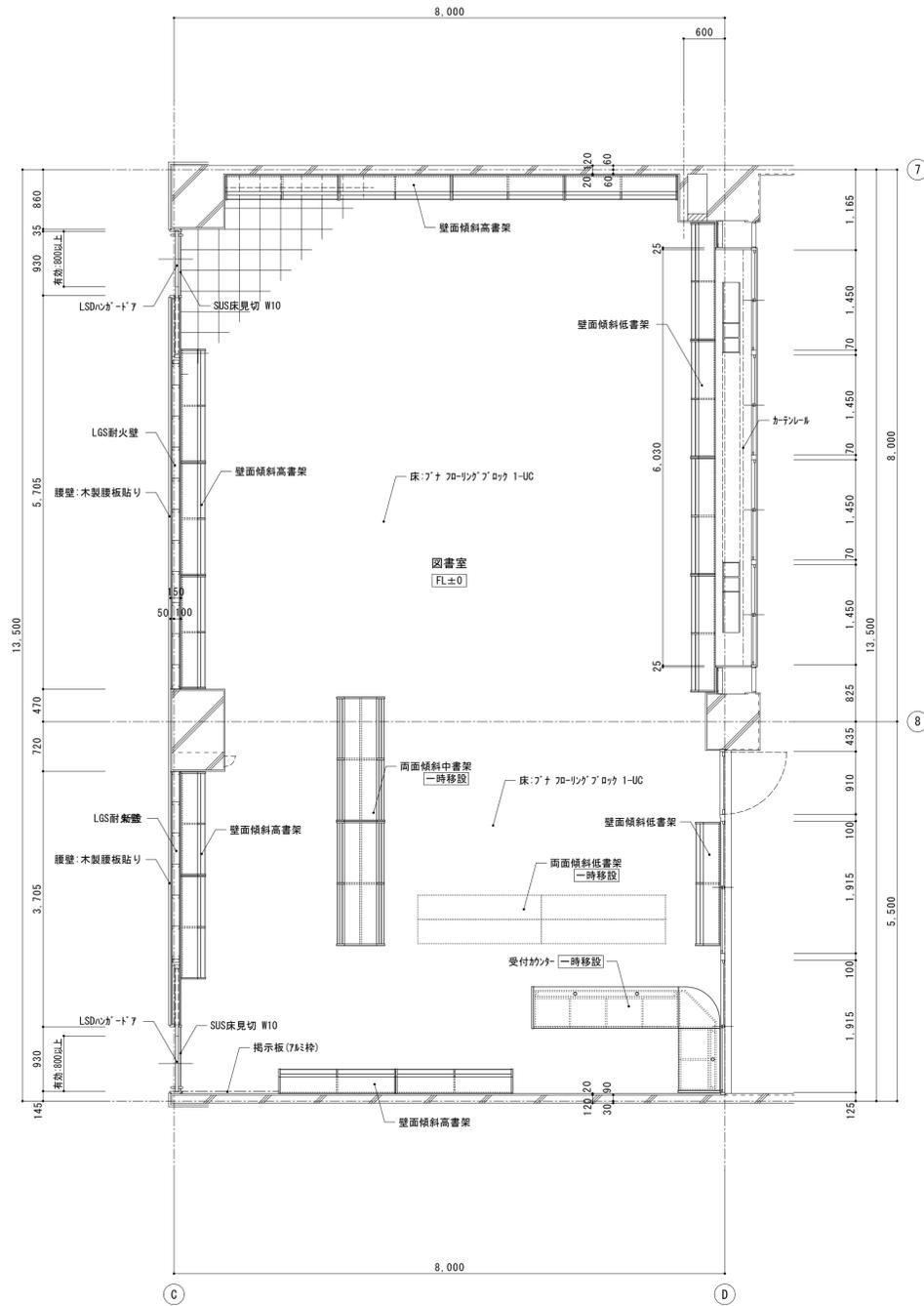
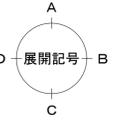
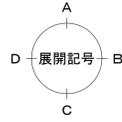


 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	17-137 設計部長 松岡 慎 検図 松岡 慎 担当 松岡 慎 製図 松岡 慎	2018年3月 目録	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図	図面名 北棟1階 配膳室・第1昇降口 展開図 【改修前】 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面種別 A 図面番号 16
	株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)			市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図	図面名 北棟1階 配膳室・第1昇降口 展開図 【改修前】 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)

<凡例>



 株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	17-137 設計部長 松岡 裕 検査 松岡 裕 製図 松岡 裕	2018年3月 設計 松岡 裕 製図 松岡 裕	市立瀨瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図	図面名 北棟1階 配膳室・第1昇降口 展開図 【改修後】 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面種別 A 図面番号 17



< 凡例 >
床撤去範囲

< 凡例 >
床新設範囲

※ 再設置の書棚・カウンター等の家具は、転倒防止のため、金物等で固定する

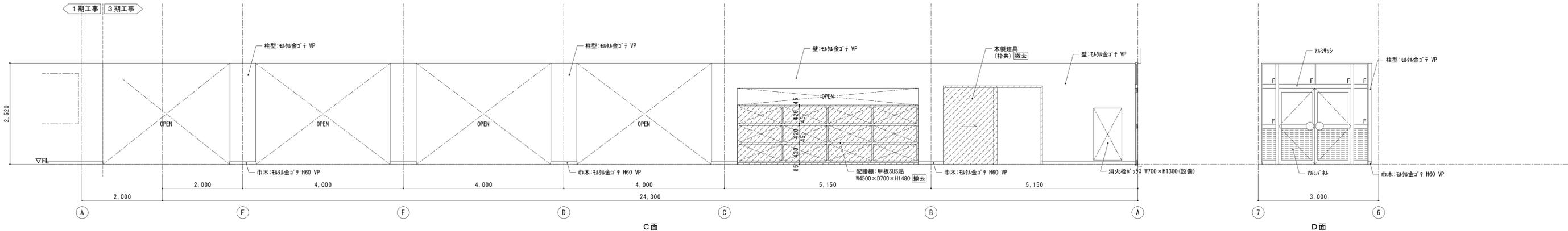
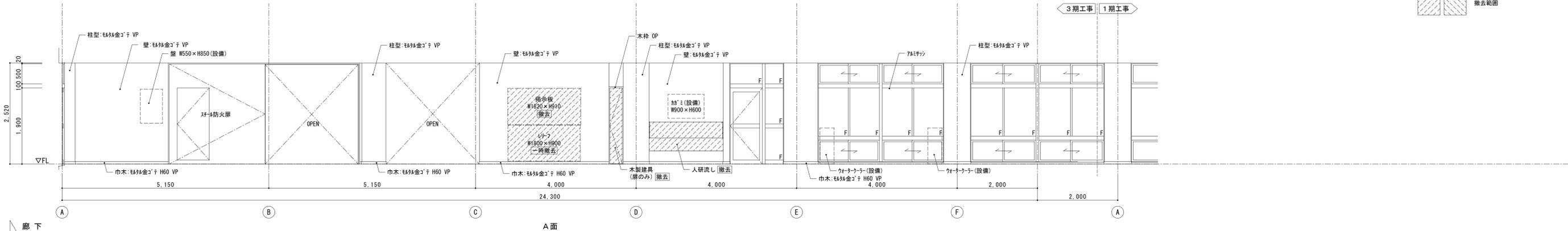
株式会社 松下設計 一級建築士事務所
埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委任番号 17-137 2018年3月
設計部長 松岡 担当 製図

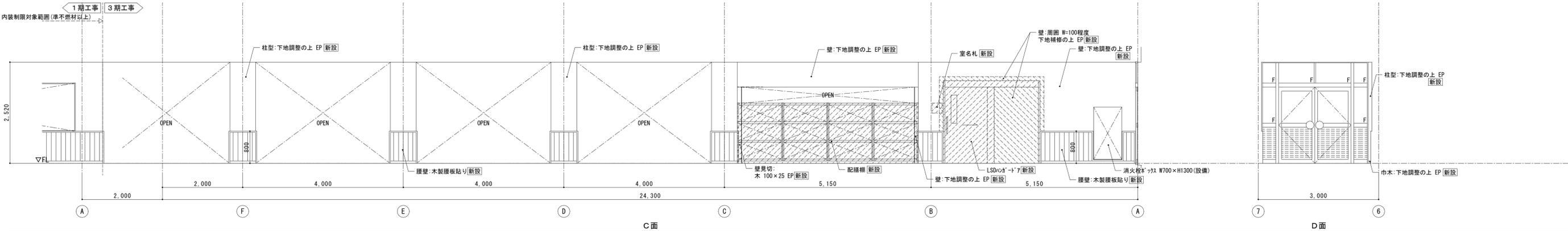
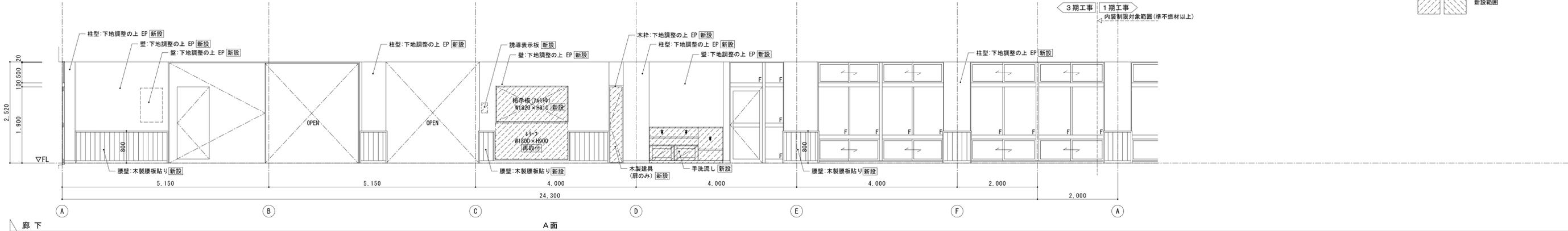
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

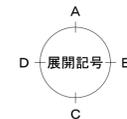
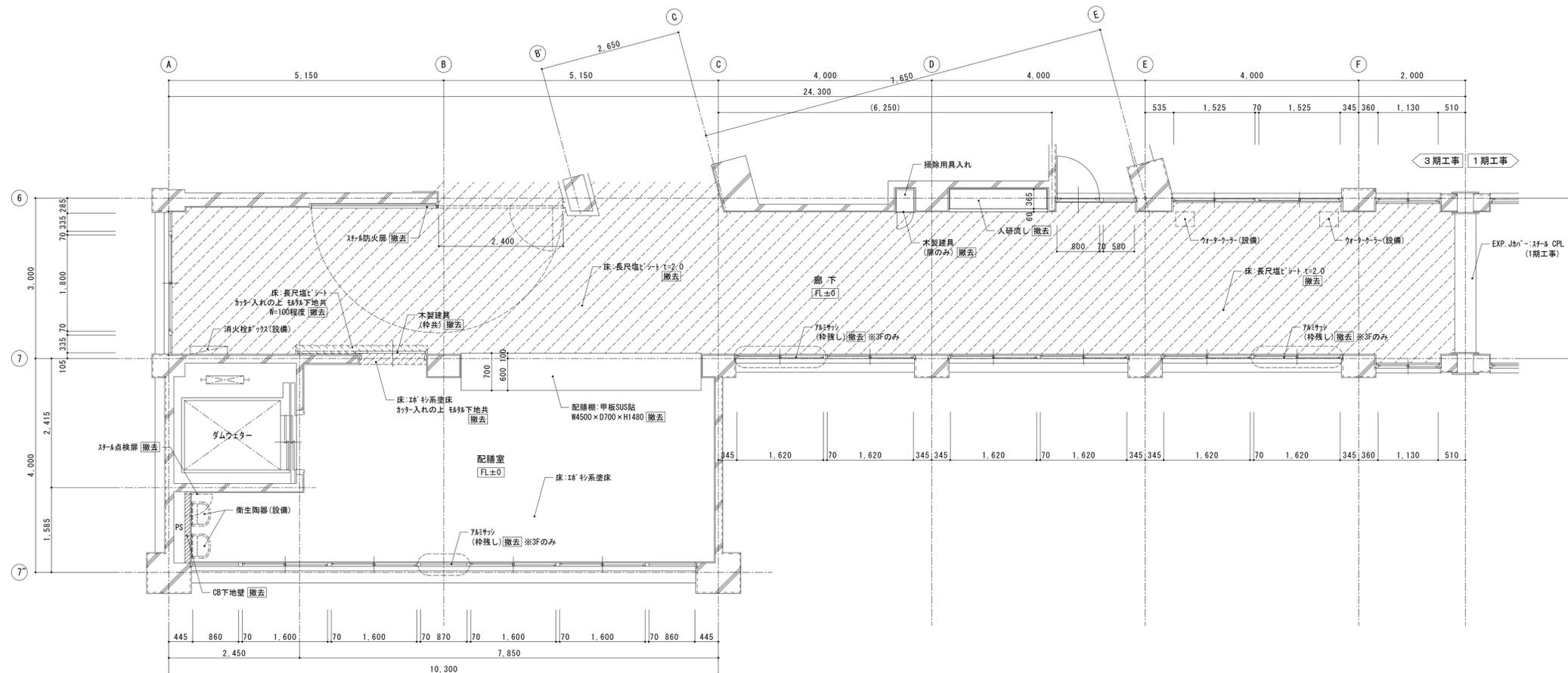
図面名 中央棟1階 図書室 平面詳細図
【改修前・後】
縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)
図面番号 18

< 凡例 >
撤去範囲

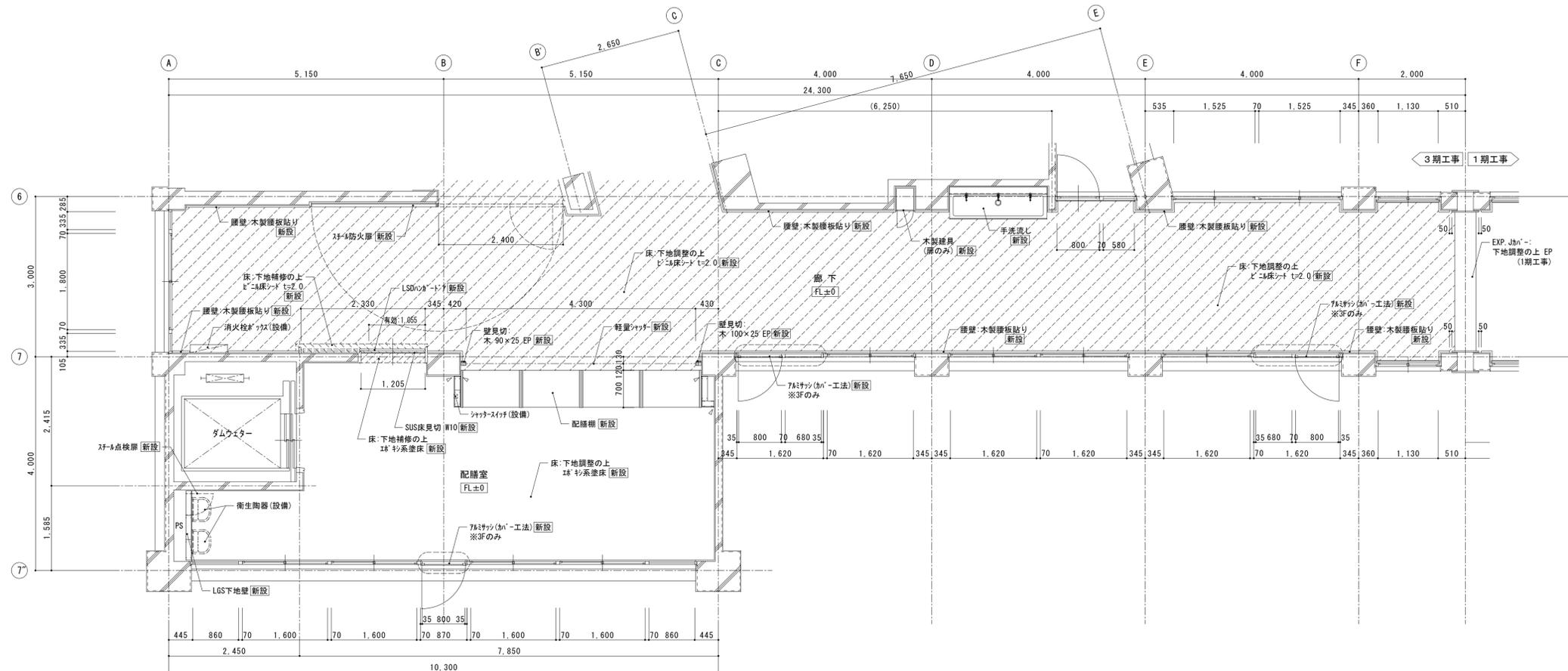


< 凡例 >
新設範囲



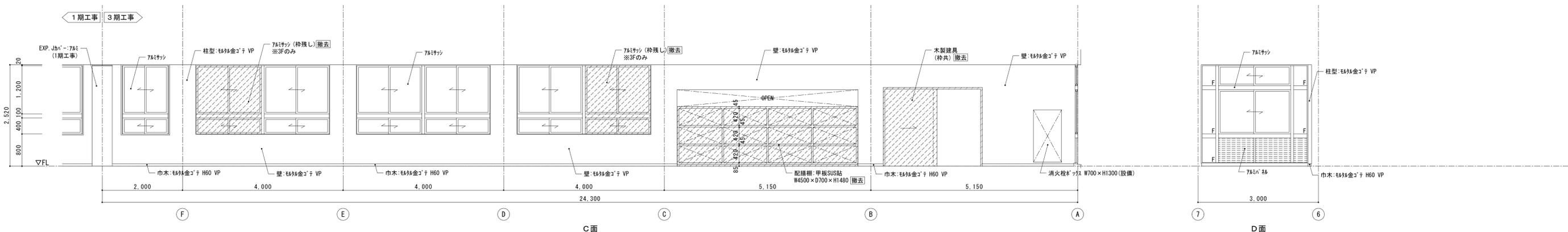
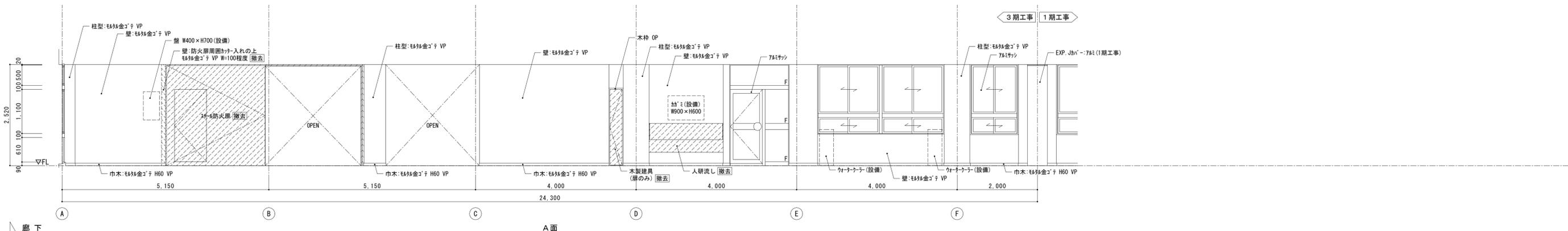
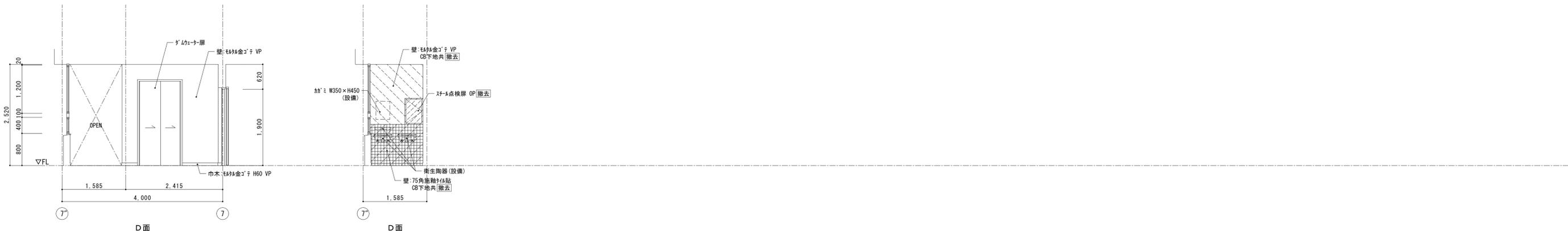
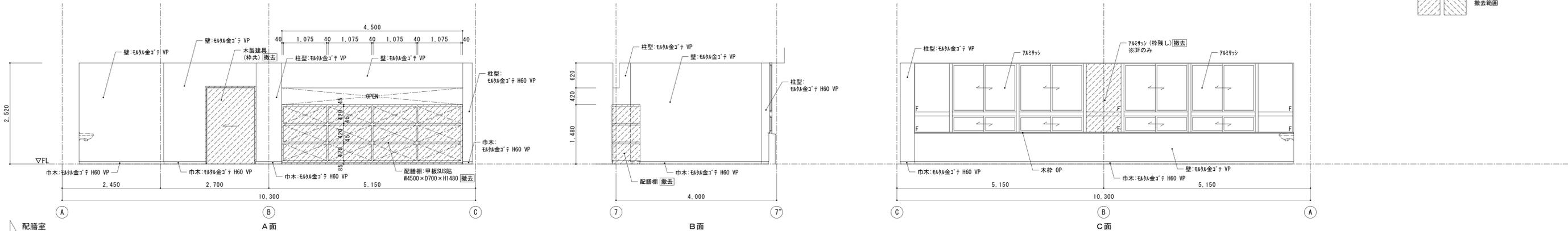


< 凡例 >
 床撤去範囲

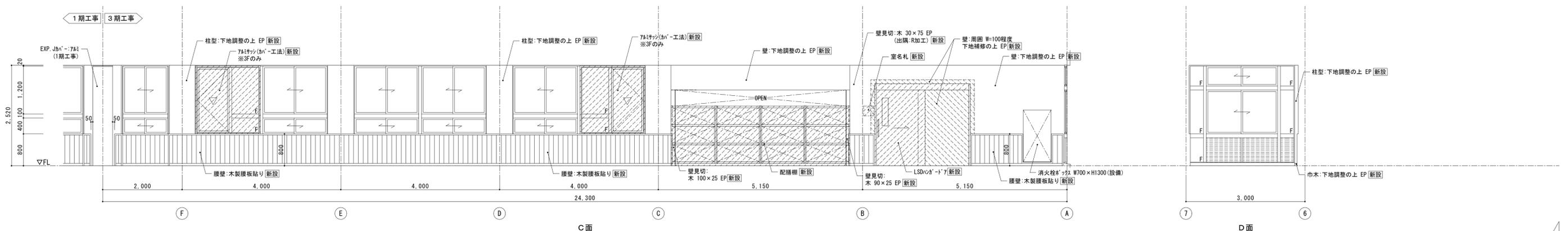
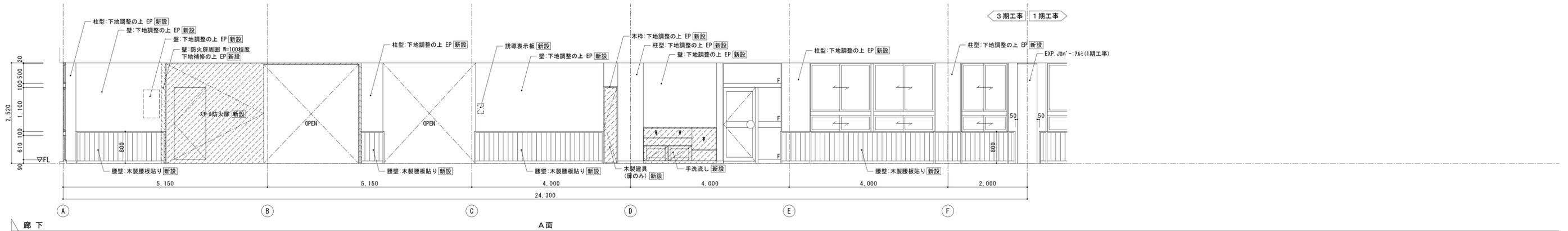
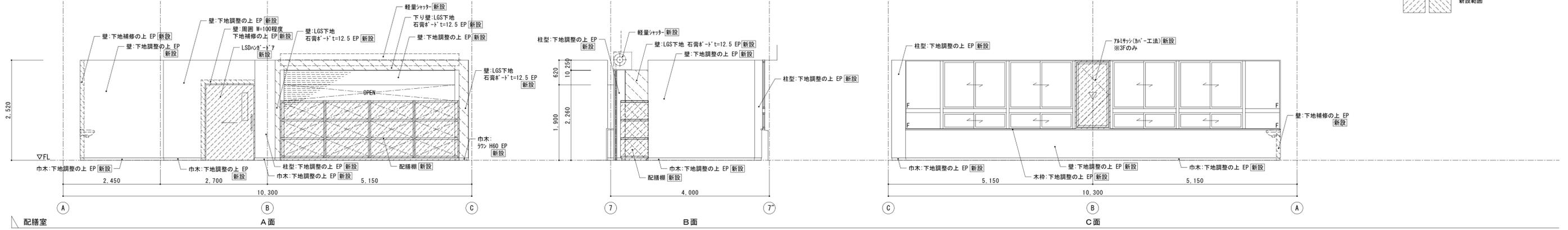


< 凡例 >
 床新設範囲
 シリング (RC-LGS壁取合 等)

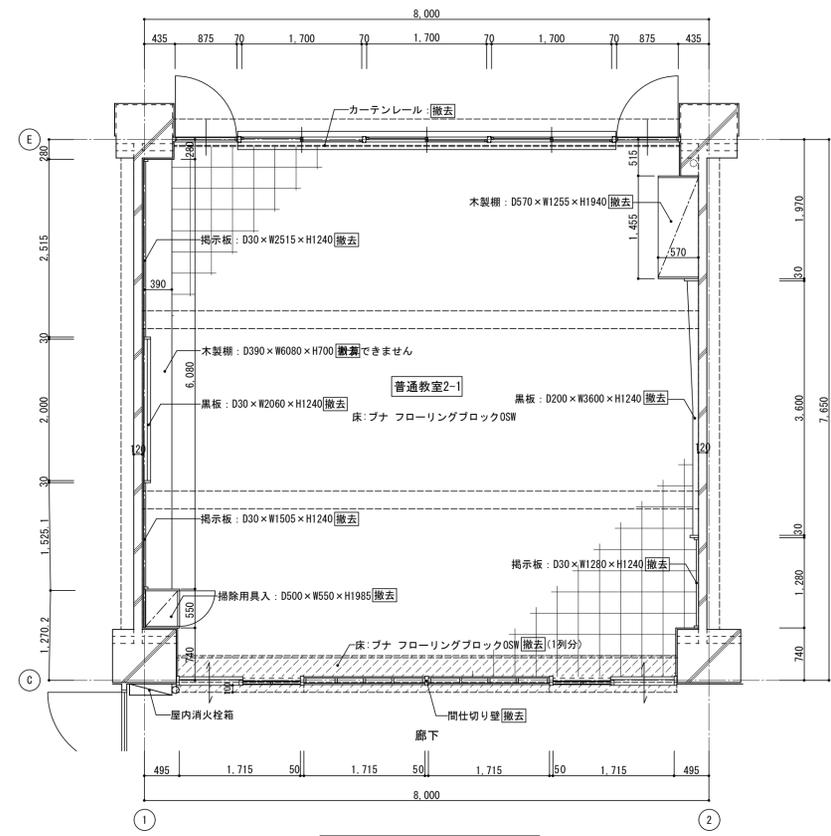
 <p>株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録(11)183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>	17-137 設計部長 松田 充孝 検図 松田 充孝 製図 松田 充孝	2018年3月 設計 松田 充孝 製図 松田 充孝	図面名 北棟2~3階 配膳室・廊下 平面詳細図 【改修前・後】 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面種別 A 図面番号 20
	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図			図面名 北棟2~3階 配膳室・廊下 平面詳細図 【改修前・後】 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)



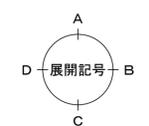
< 凡例 >
新設範囲



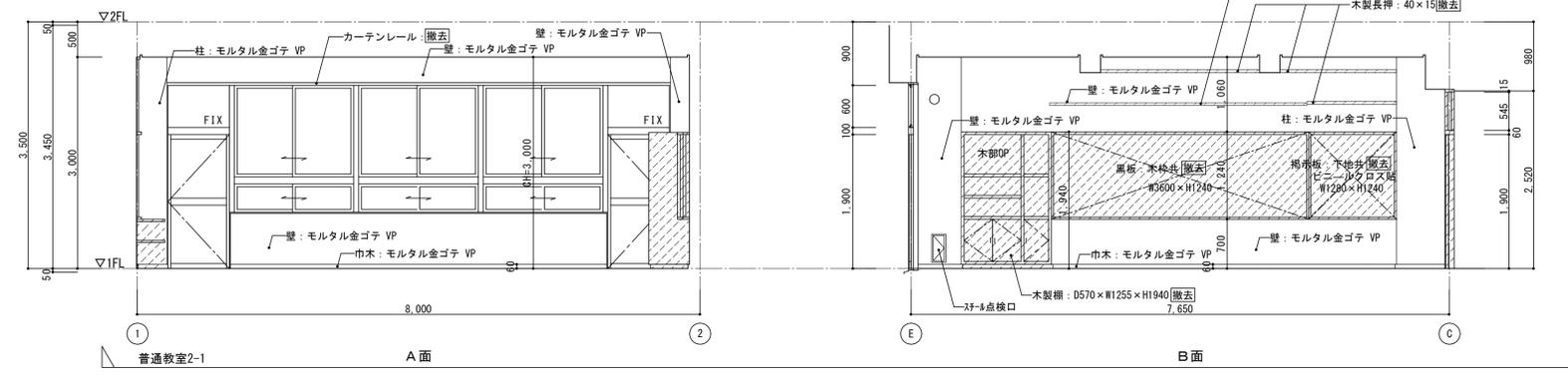
 <p>株式会社 松下設計 一級建築士事務所 登録 (11) 183 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) F A X 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>	<p>委託番号 17-137 設計 2018年3月 設計部長 松岡 担任 製図</p>	<p>市立瀨瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図</p>	図面名	北棟2~3階 配膳室・廊下 展開図	図面種別	A
			縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	22



1階 普通教室2-1平面詳細図 1:50

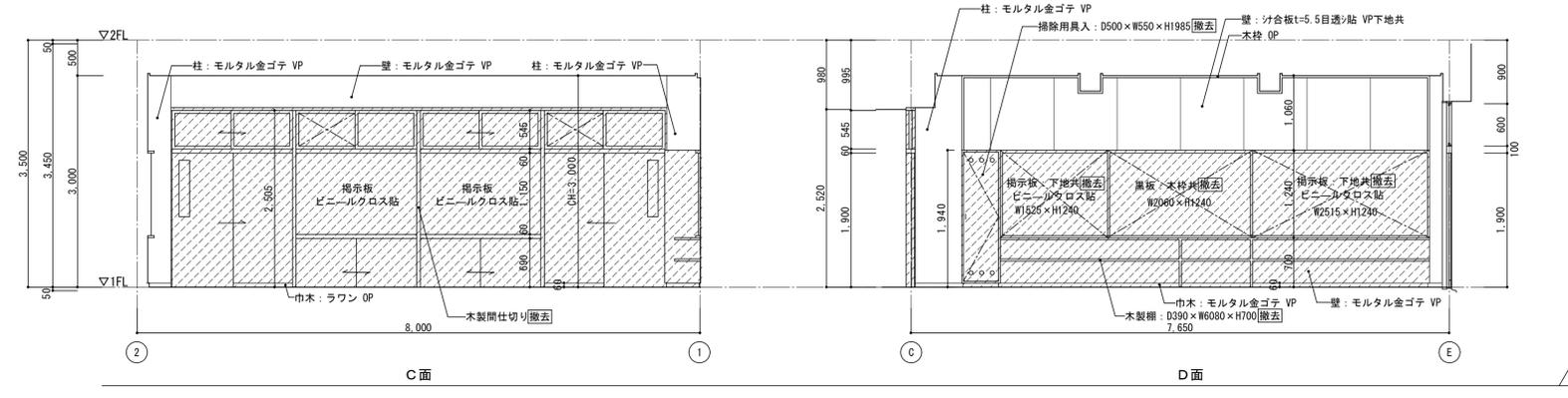


<凡例>
 撤去範囲を示す



普通教室2-1 A面

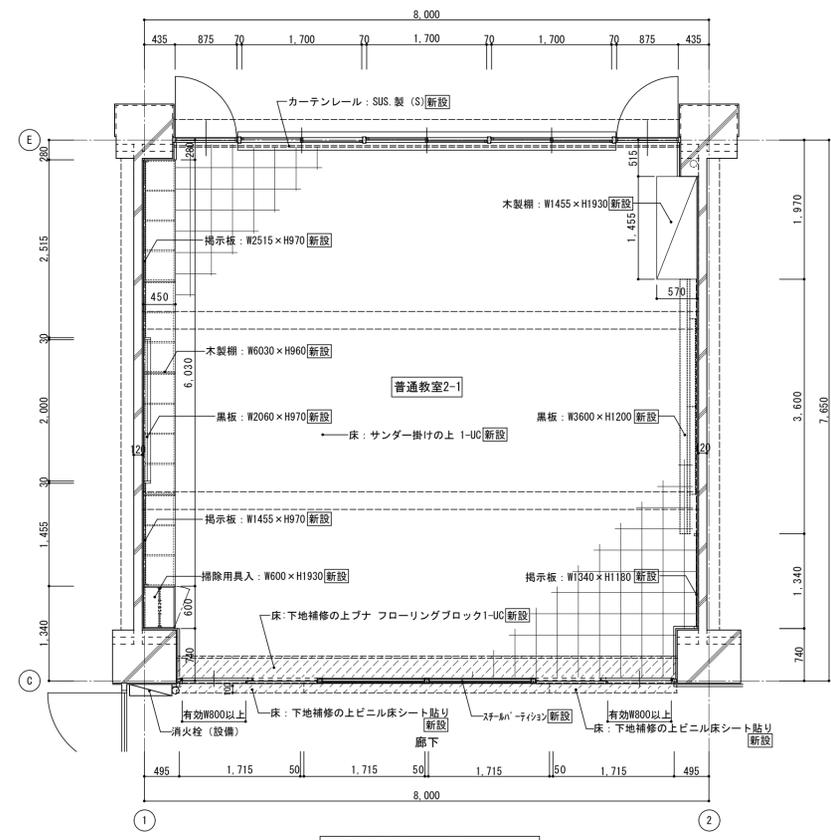
B面



C面

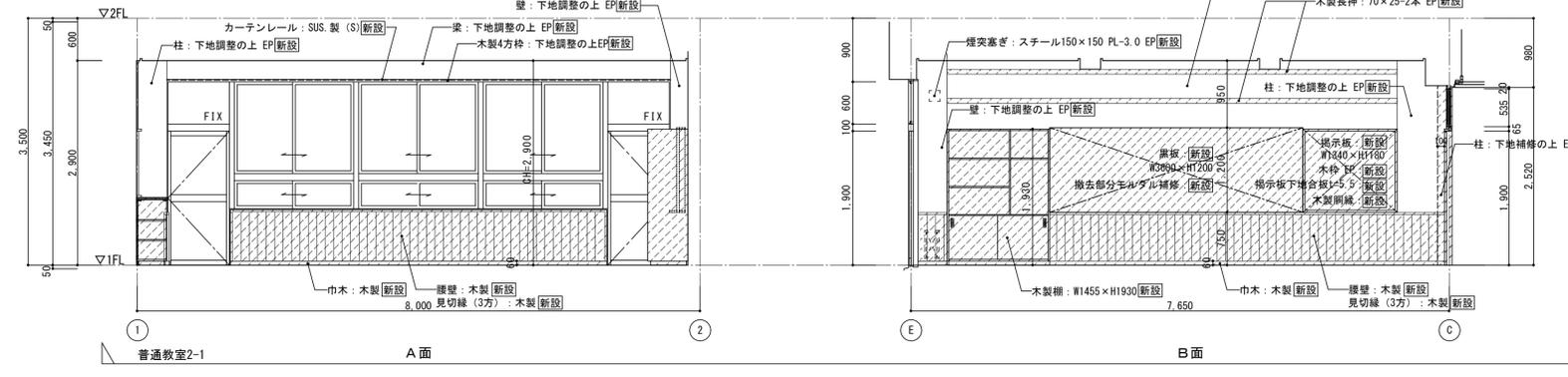
D面

1階 普通教室2-1 展開図 1:50



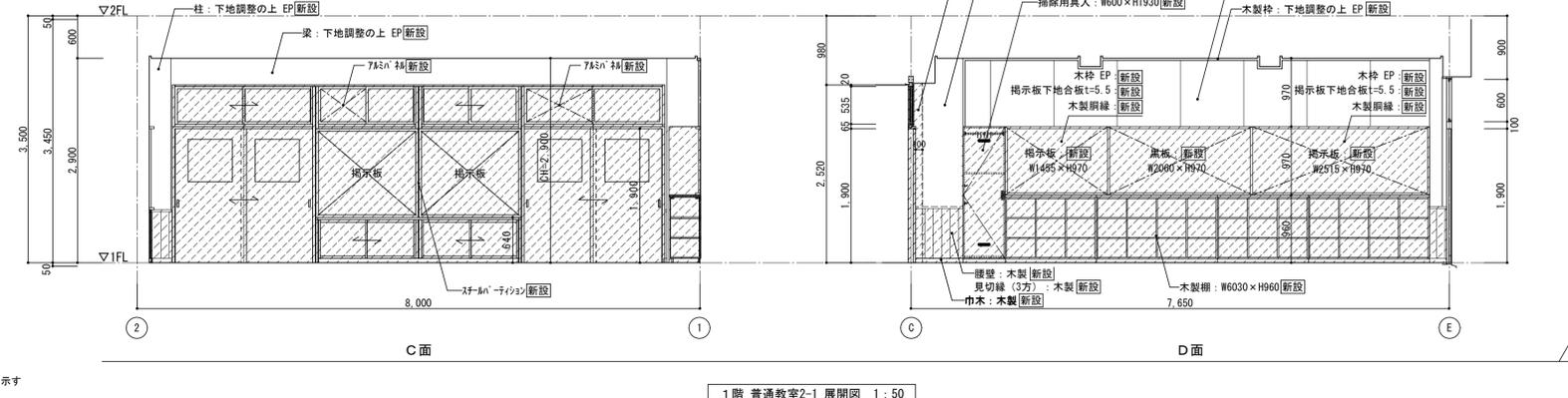
1階 普通教室2-1平面詳細図 1:50

<凡例>
 新設範囲を示す



普通教室2-1 A面

B面



C面

D面

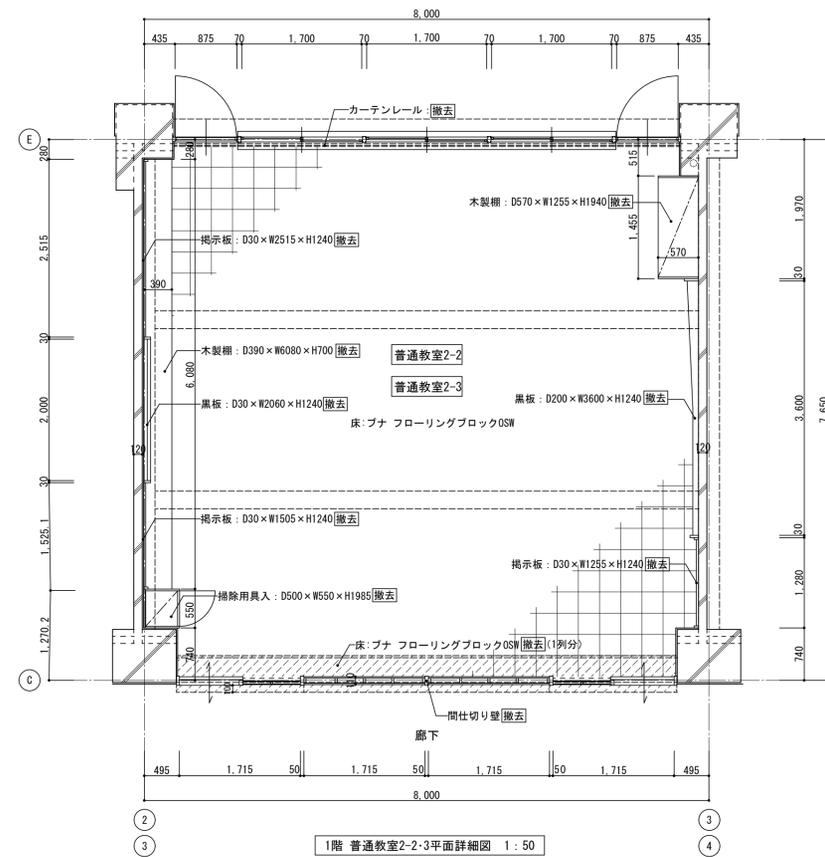
1階 普通教室2-1 展開図 1:50

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

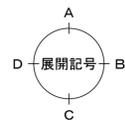
図面番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	松田	検図	松田
担当	松田	製図	松田

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

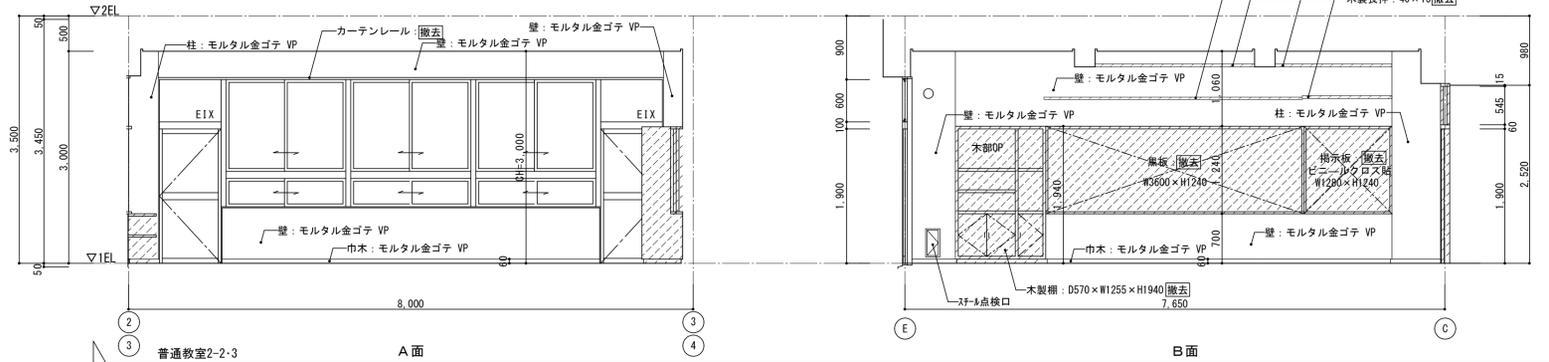
図面名	北棟1階 普通教室2-1 平面詳細図・展開図	図面種別	A
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)	図面番号	23



1階 普通教室2-2-3平面詳細図 1:50

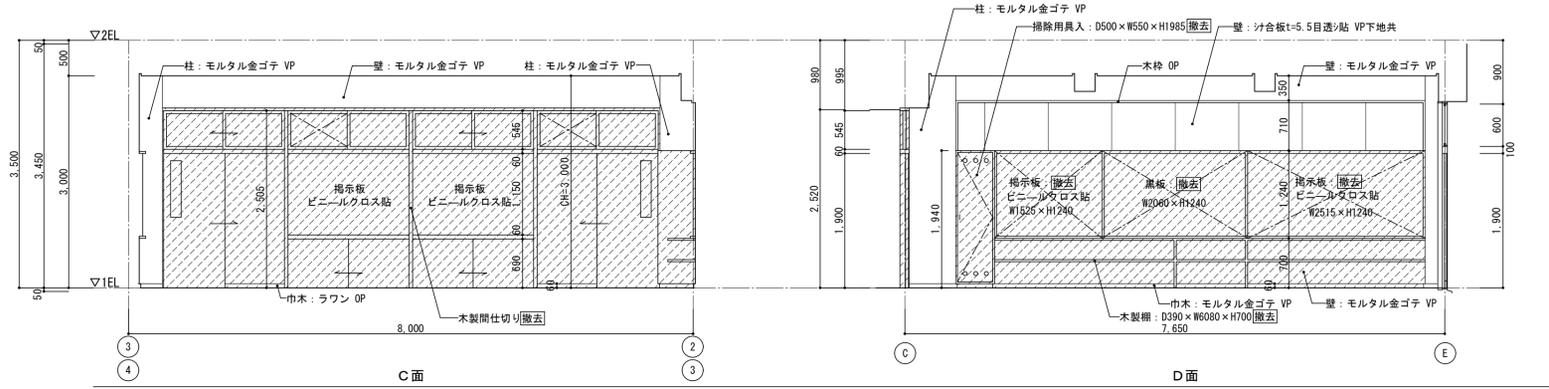


< 凡例 >
 撤去範囲を示す



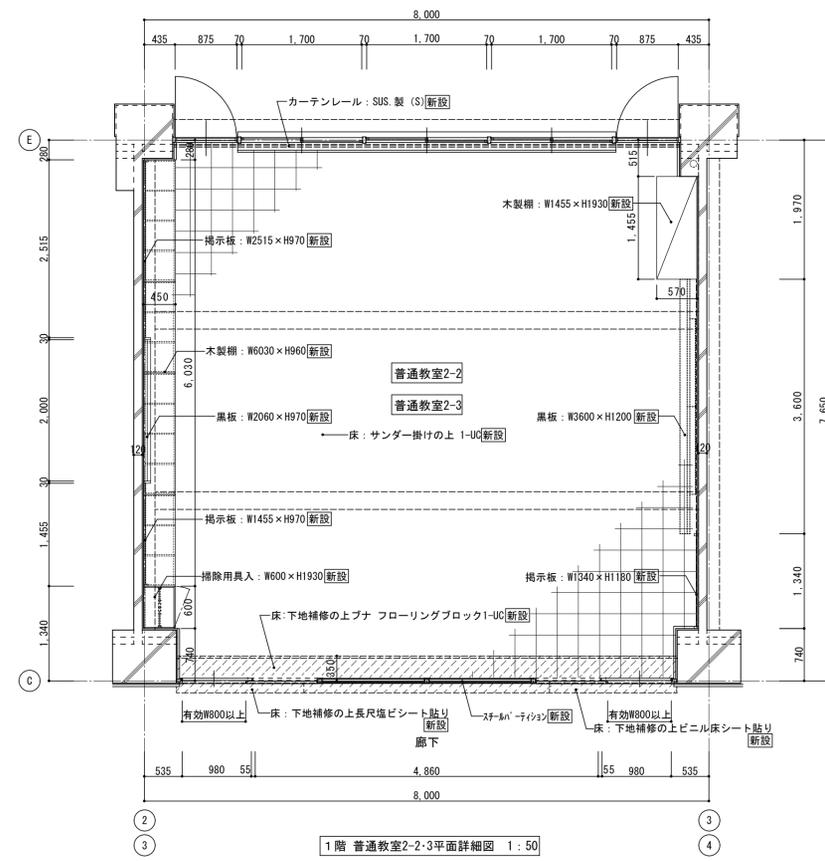
1階 普通教室2-2-3 展開図 A面

1階 普通教室2-2-3 展開図 B面

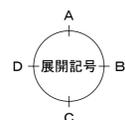


1階 普通教室2-2-3 展開図 C面

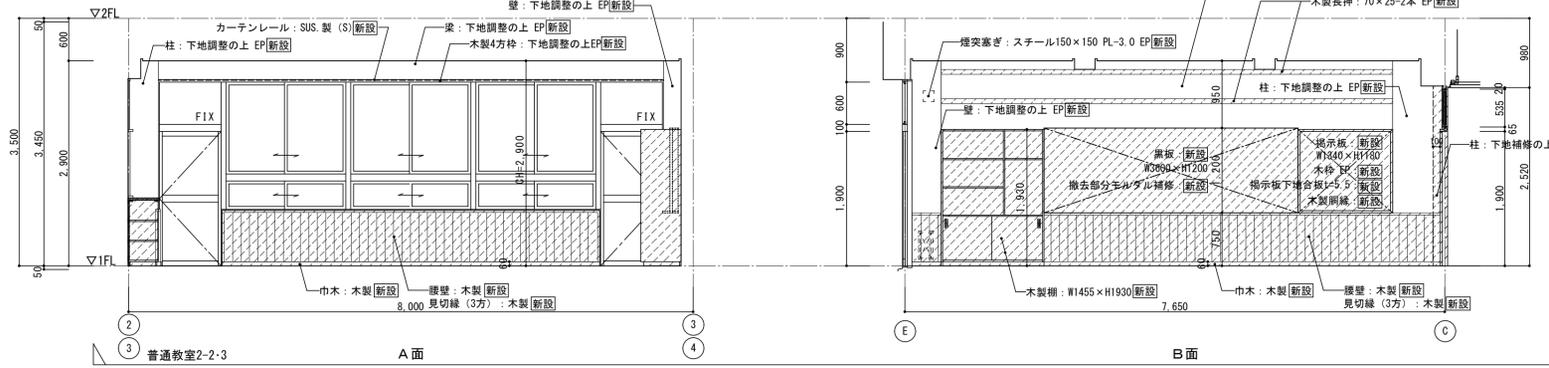
1階 普通教室2-2-3 展開図 D面



1階 普通教室2-2-3平面詳細図 1:50

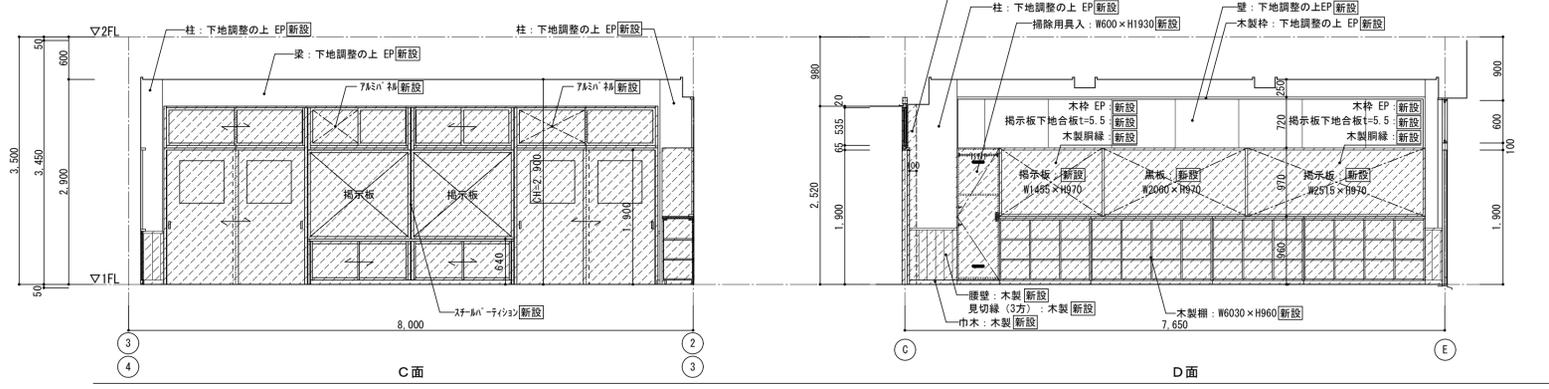


< 凡例 >
 新設範囲を示す



1階 普通教室2-2-3 展開図 A面

1階 普通教室2-2-3 展開図 B面



1階 普通教室2-2-3 展開図 C面

1階 普通教室2-2-3 展開図 D面

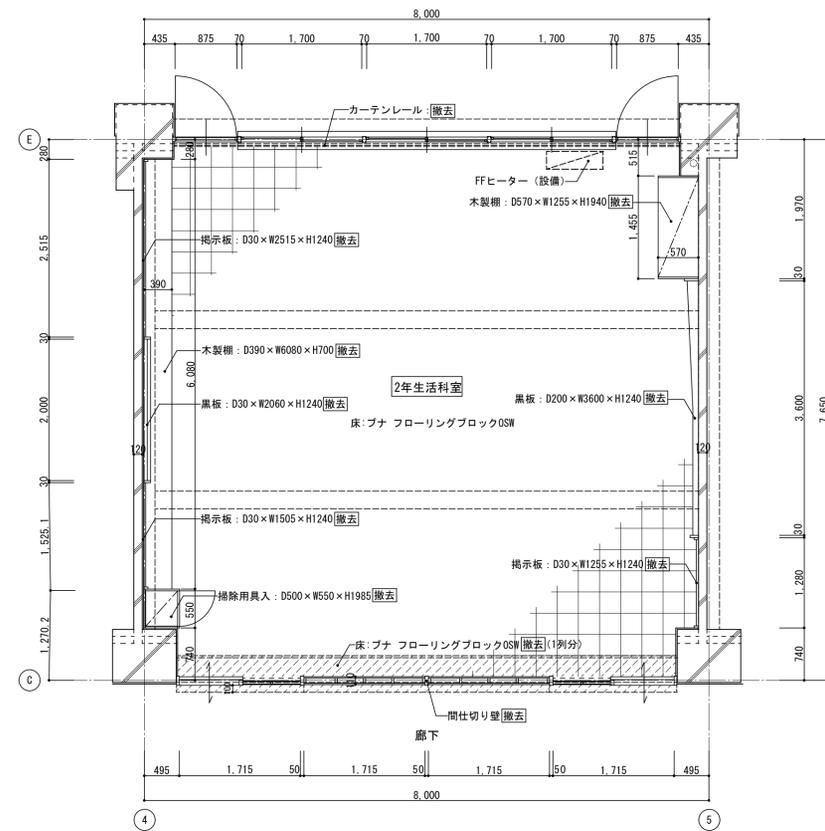
図名	北棟1階 普通教室2-2、2-3 平面詳細図・展開図
図面種類	A
縮尺	S=1:50 (A3版 50%縮小)
図面番号	24

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

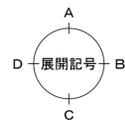
図面番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	松本	検図	松本
担当	松本	製図	松本

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

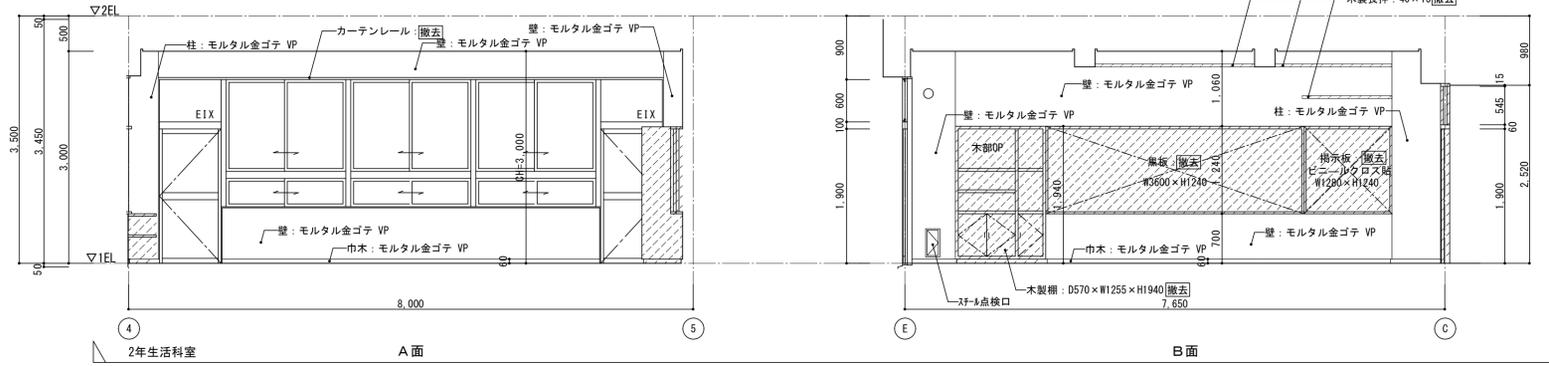
図面種類	A
図面番号	24



1階 2年生活科室内平面詳細図 1:50

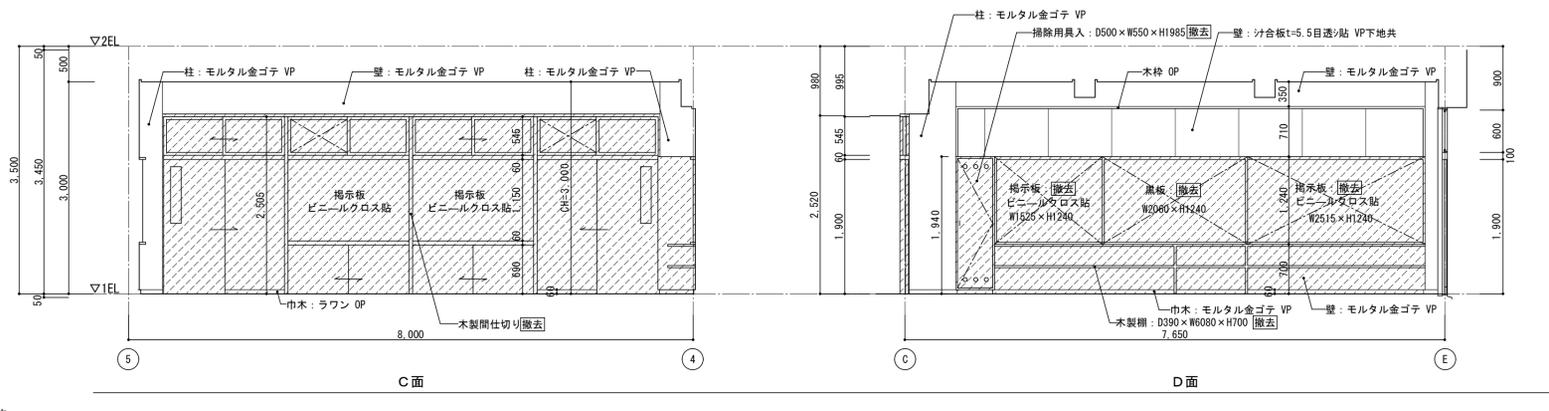


< 凡例 >
 撤去範囲を示す



2年生活科室内 A面

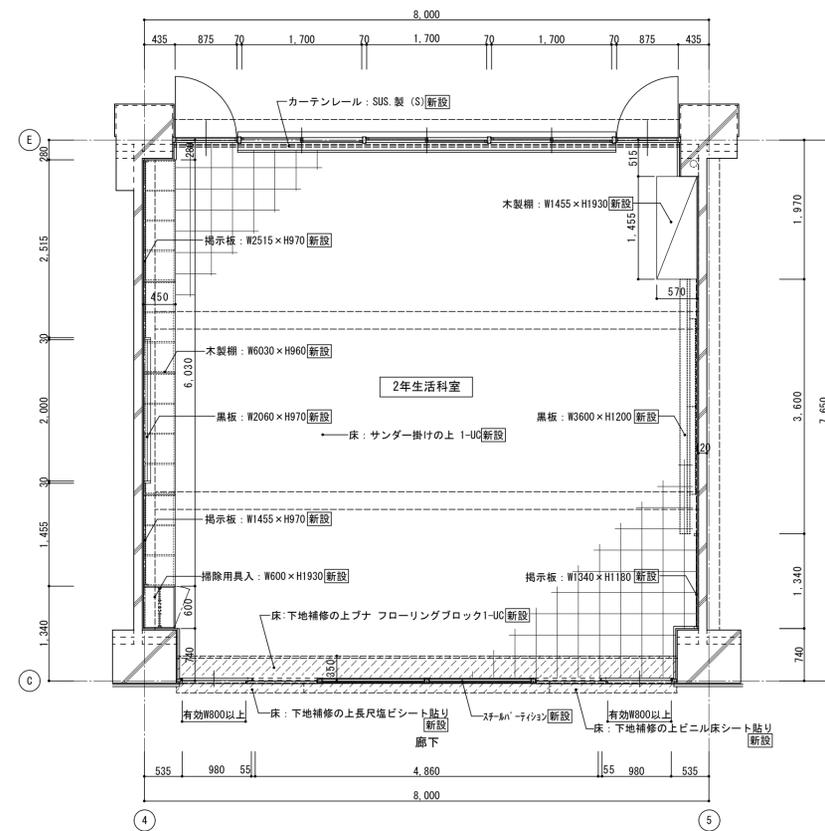
B面



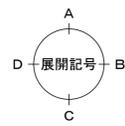
C面

D面

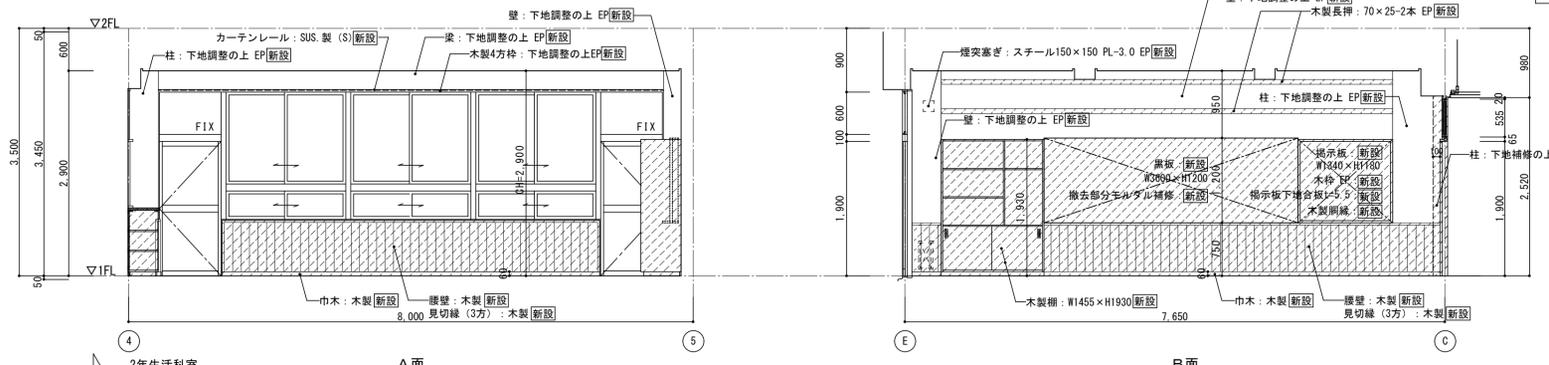
1階 2年生活科室内 展開図 1:50



1階 2年生活科室内平面詳細図 1:50

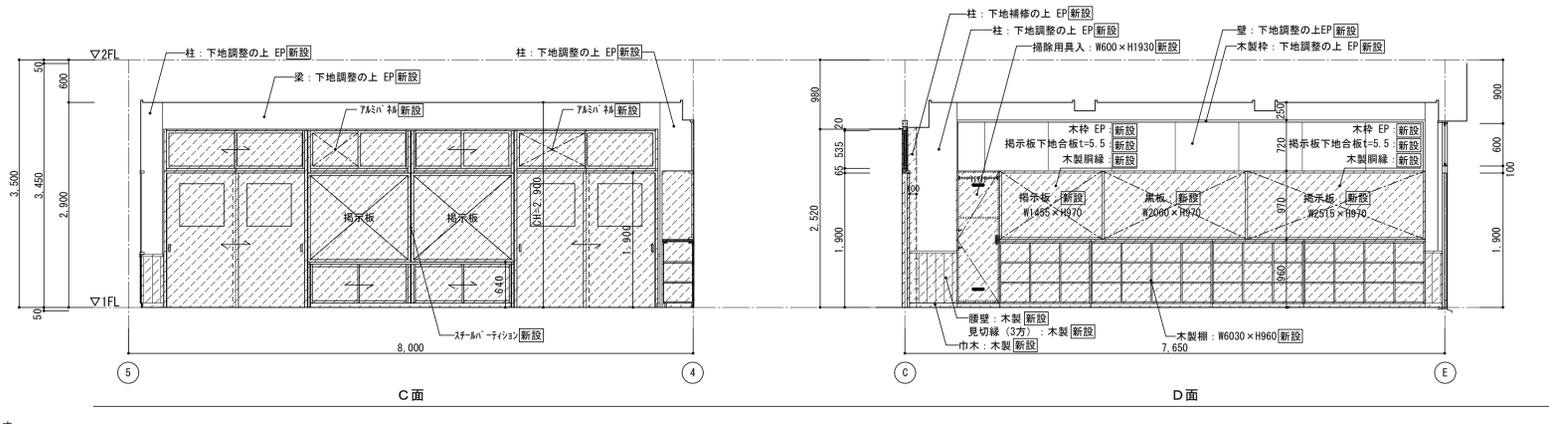


< 凡例 >
 新設範囲を示す



2年生活科室内 A面

B面



C面

D面

1階 2年生活科室内 展開図 1:50

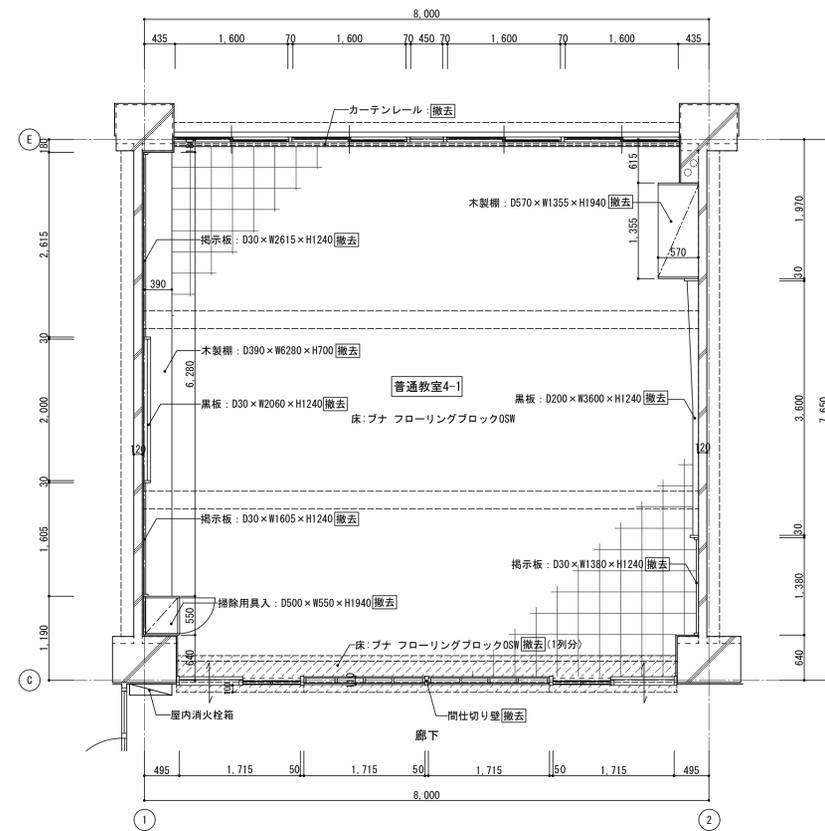
株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

図面番号 17-137 目的 2018年3月
 設計部長 松岡 担当 製図

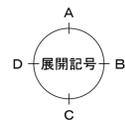
市立瀨瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

図面名 北棟1階 2年生活科室内平面詳細図・展開図
 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)

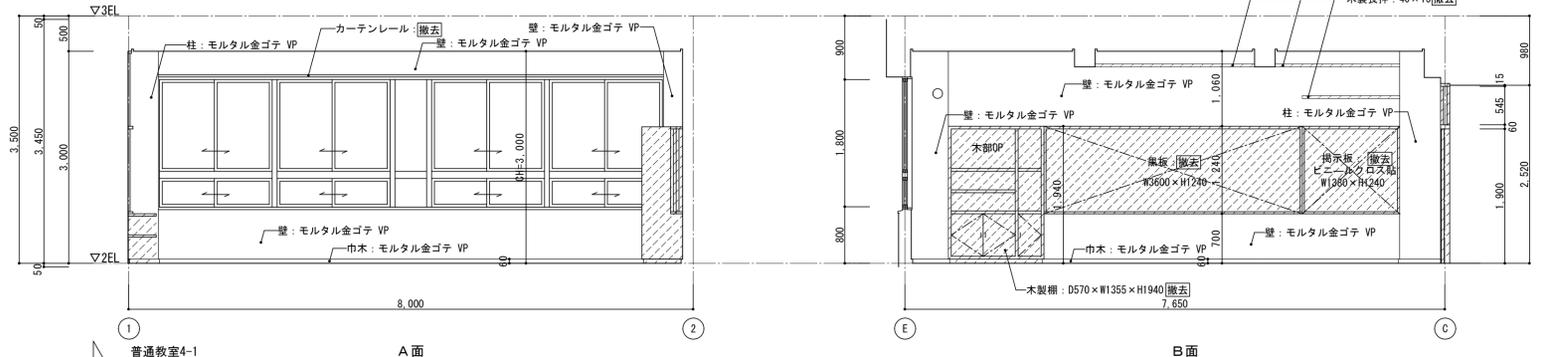
図面種別 A
 図面番号 25



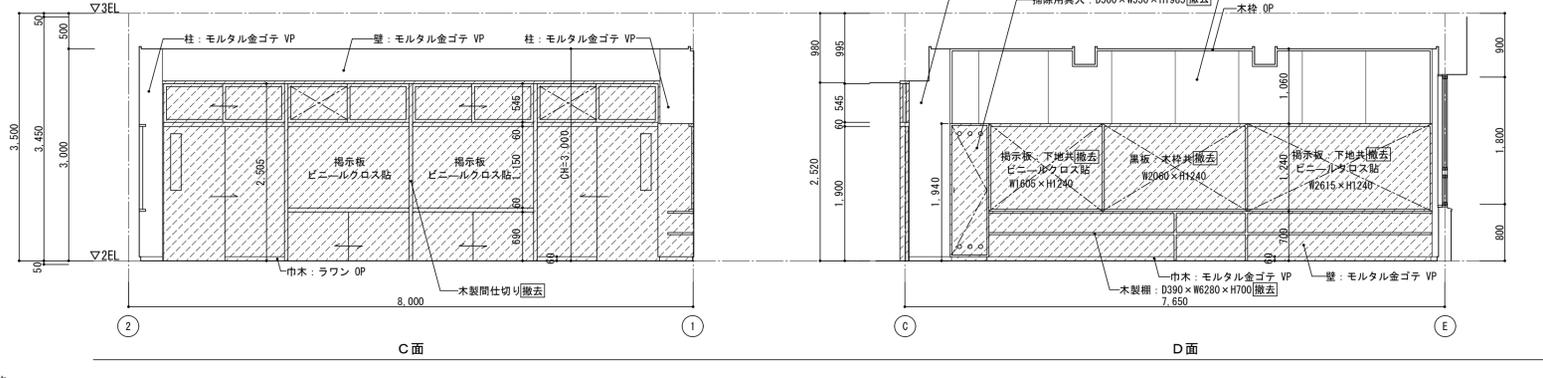
2階 普通教室4-1平面詳細図 1:50



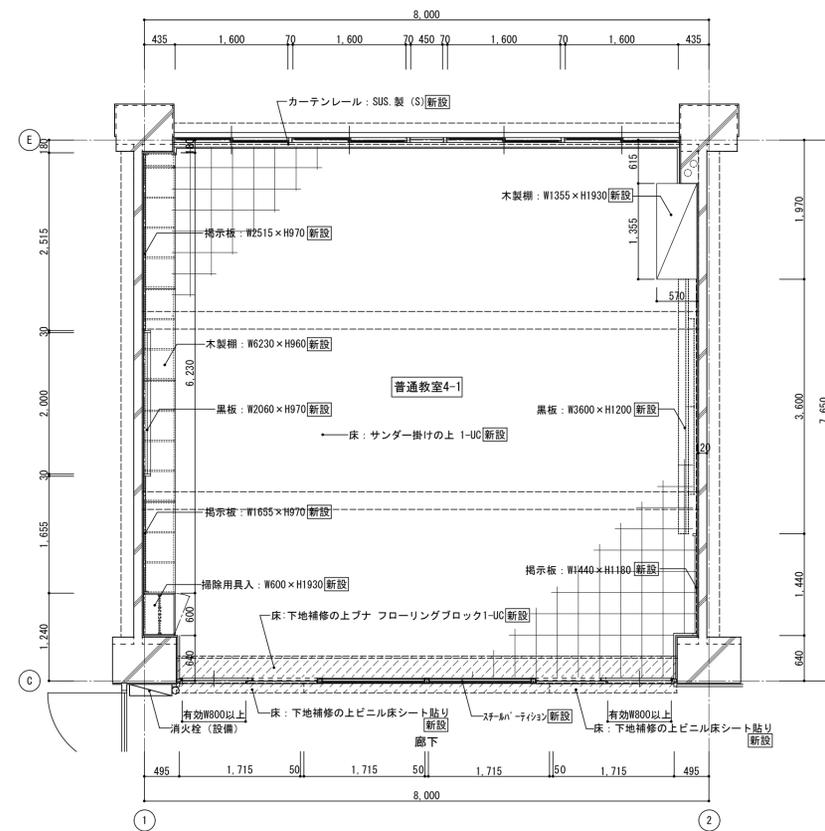
< 凡例 >
 撤去範囲を示す



2階 普通教室4-1展開図 1:50

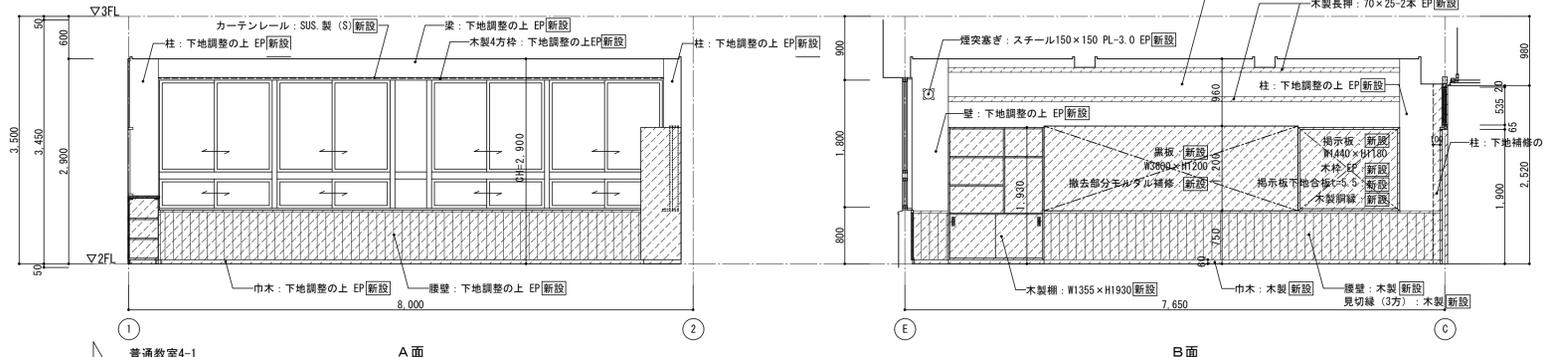


2階 普通教室4-1展開図 1:50

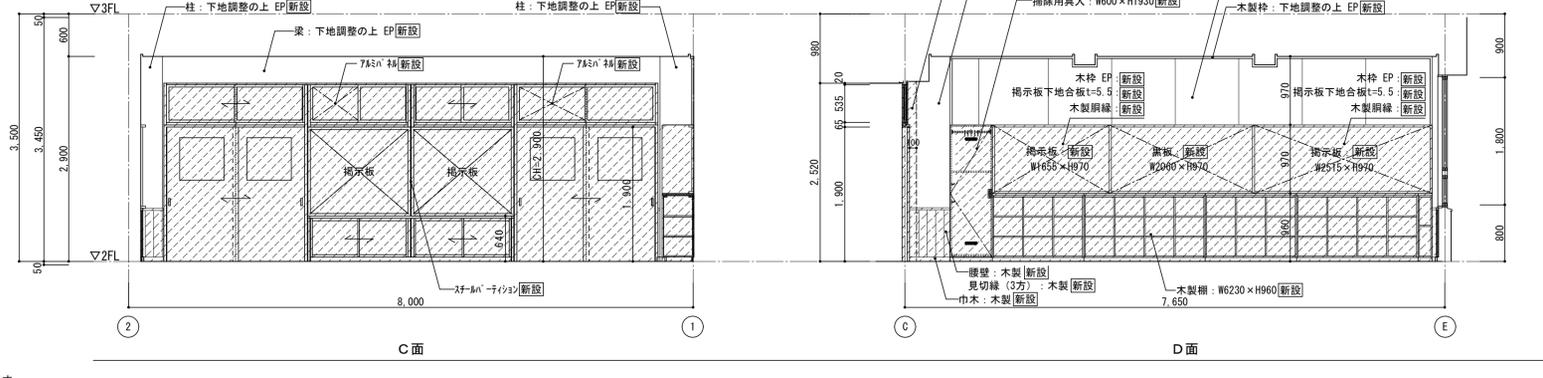


2階 普通教室4-1平面詳細図 1:50

< 凡例 >
 新設範囲を示す



2階 普通教室4-1展開図 1:50



2階 普通教室4-1展開図 1:50

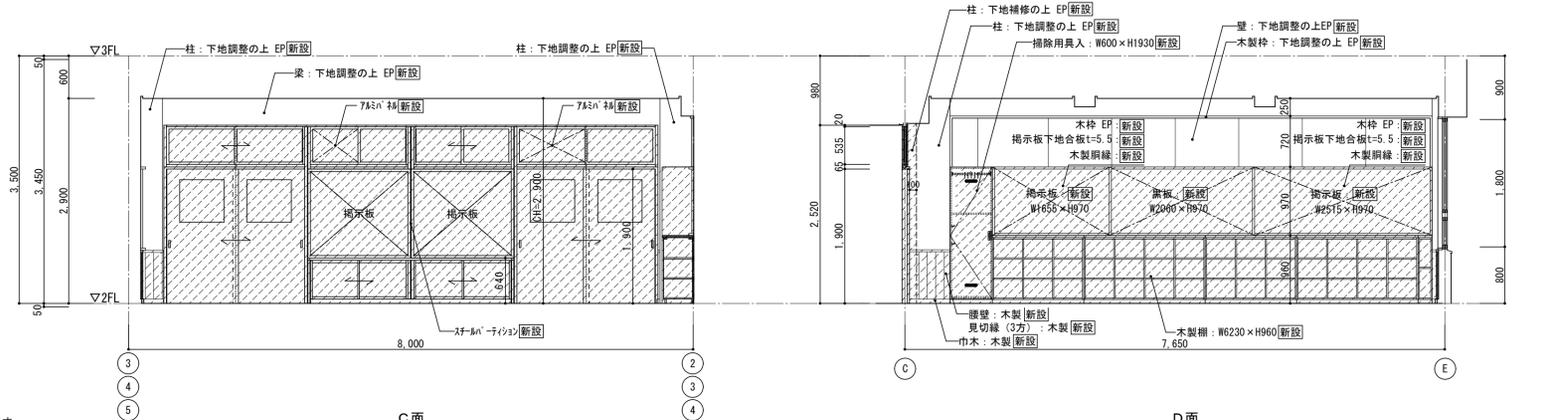
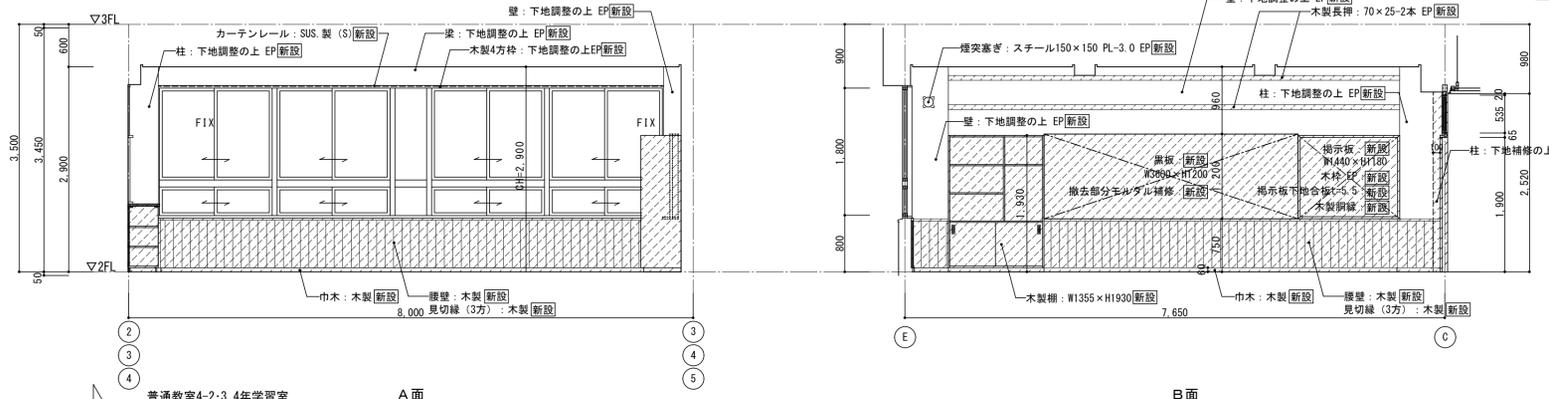
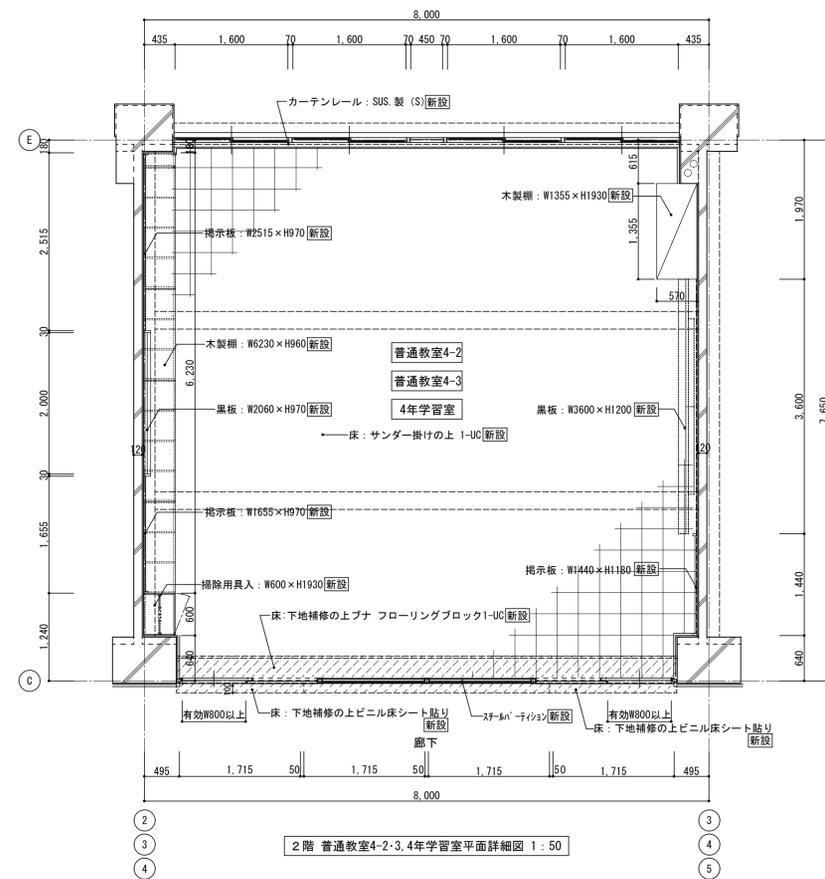
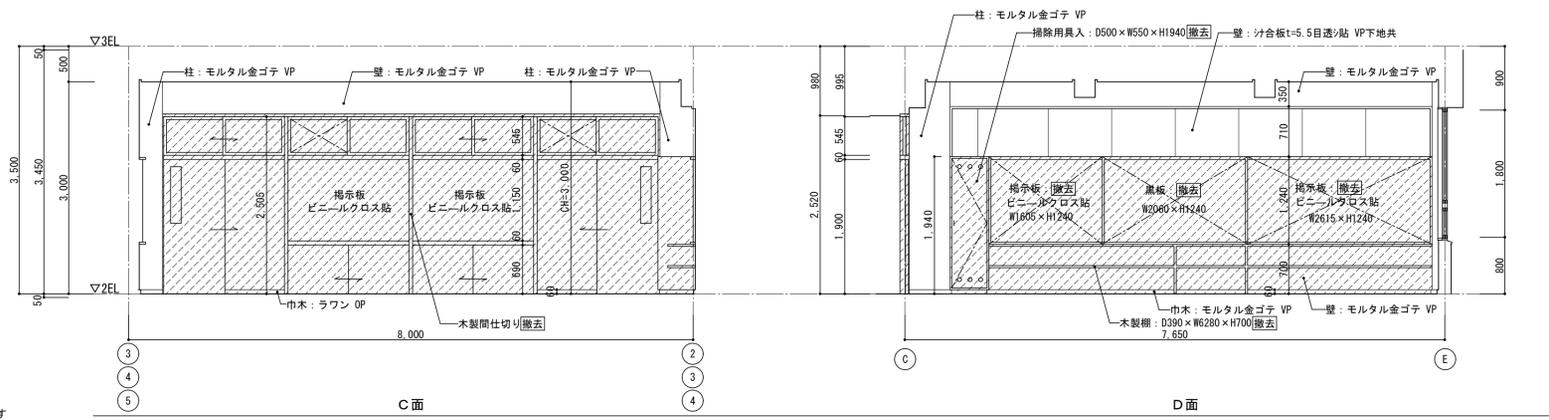
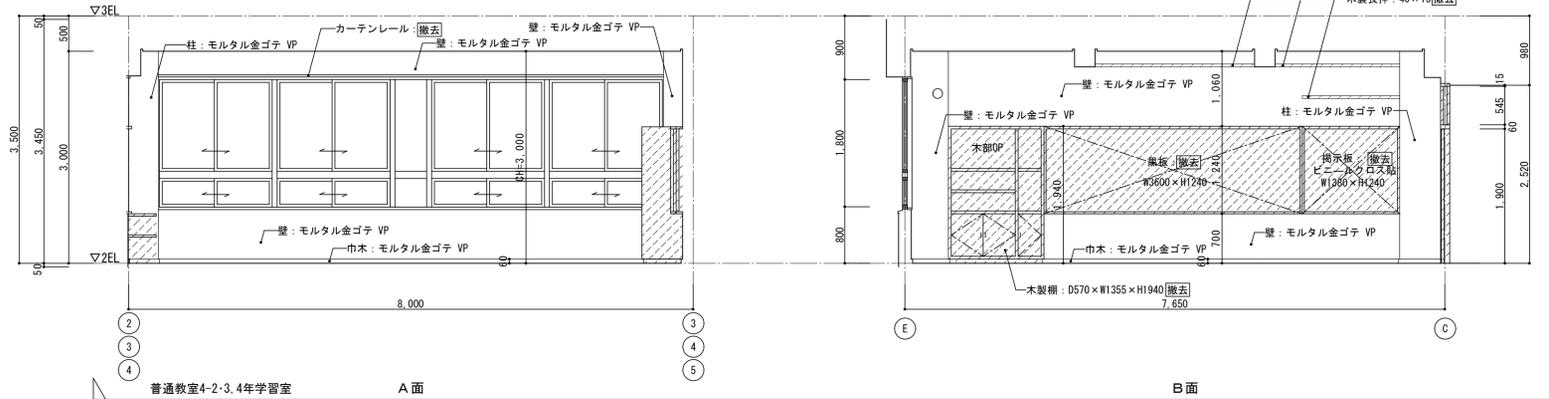
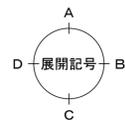
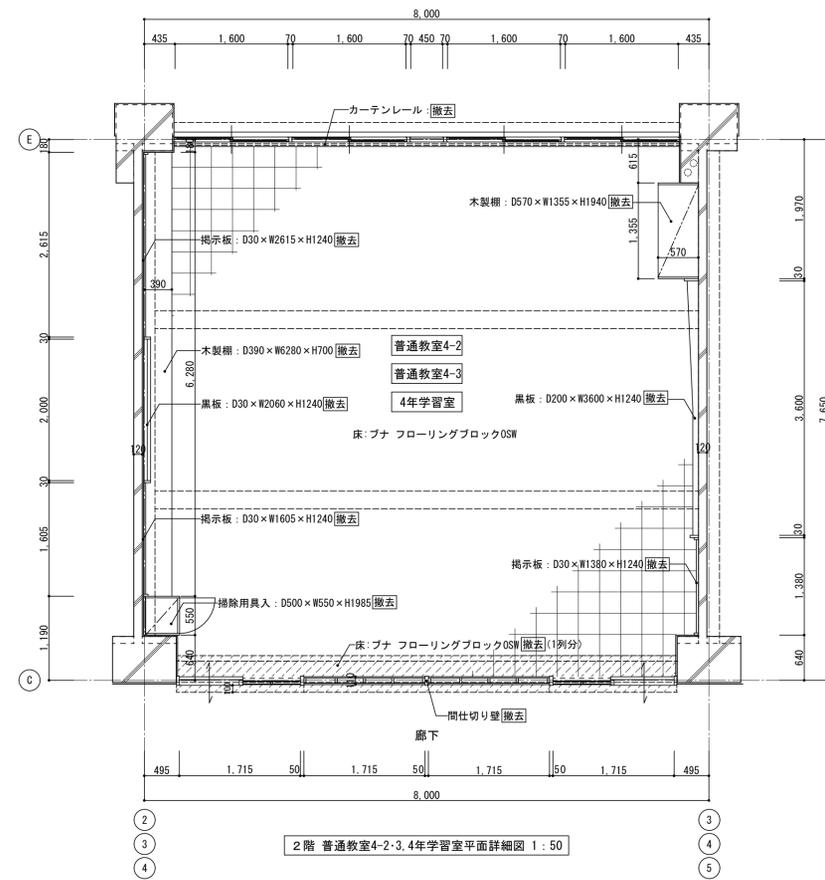
株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

図名: 北棟2階 普通教室4-1 平面詳細図・展開図
 図面番号: 17-137
 設計: 2018年3月
 設計部長 松岡 裕
 検査 松岡 裕
 担当 松岡 裕
 製図 松岡 裕

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

図面名: 北棟2階 普通教室4-1 平面詳細図・展開図
 縮尺: S=1:50 (A3版 50%縮小)

図面種類: A
 図面番号: 26



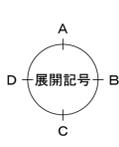
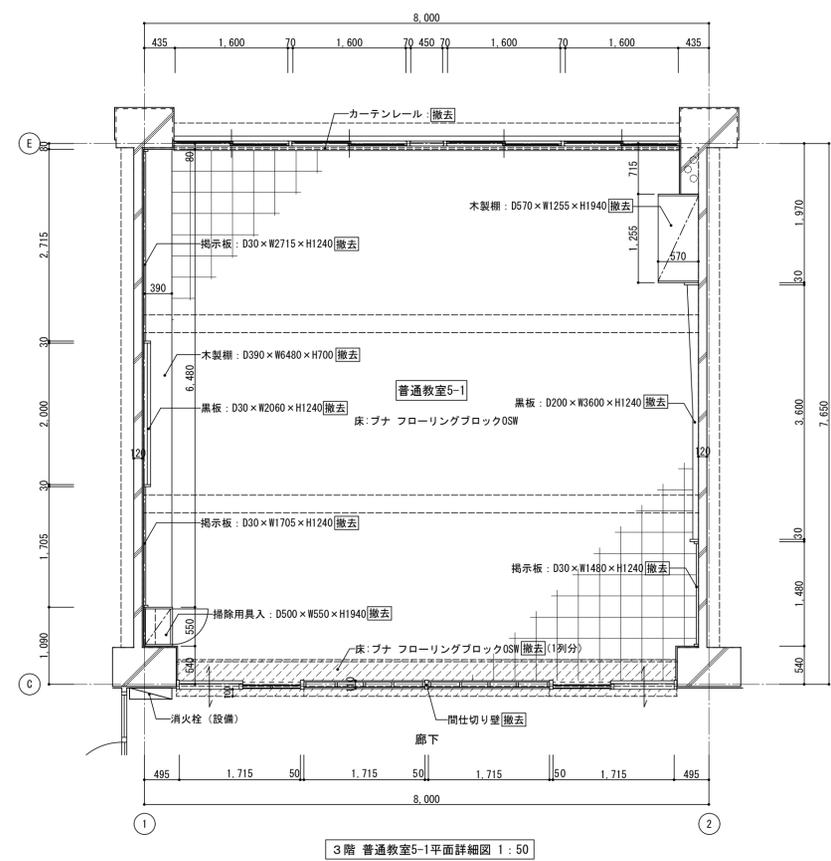
株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号 17-137 目的 2018年3月
 設計部長 松岡 担当 製図

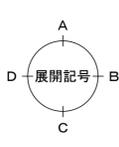
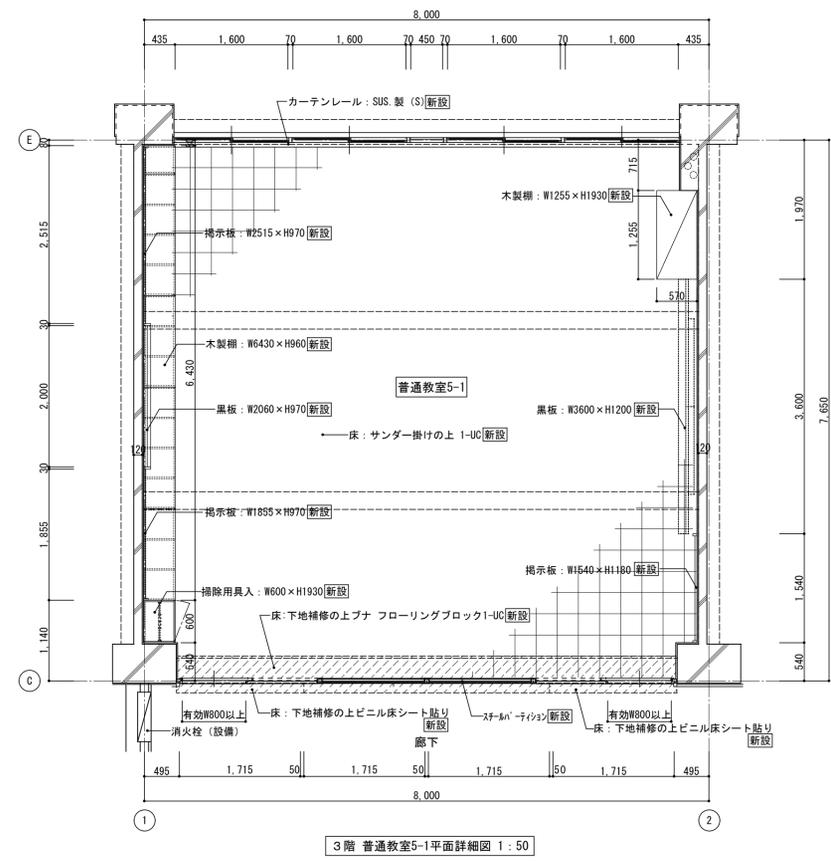
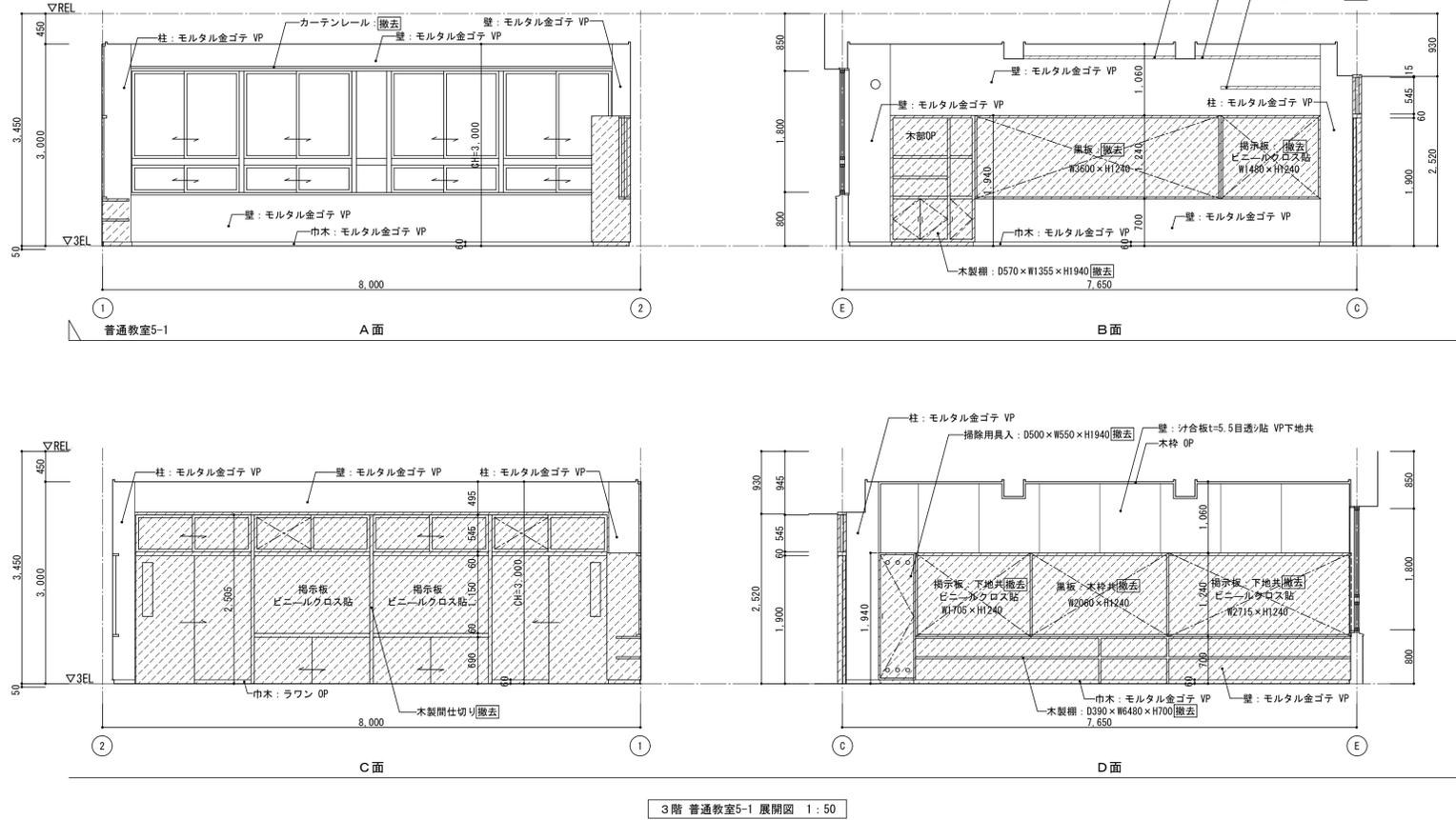
市立瀨瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】

設計図

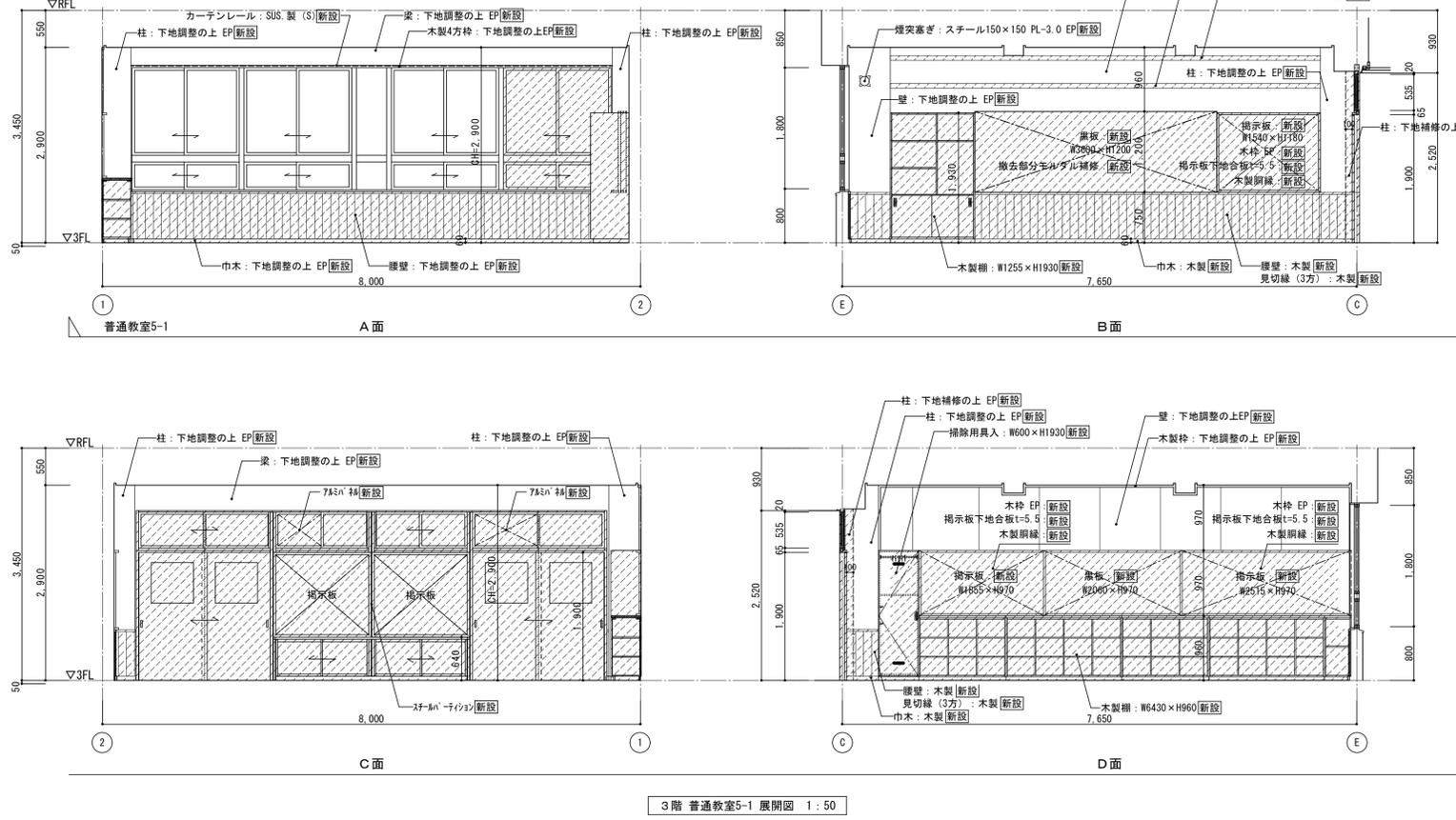
図面名 北棟2階 普通教室4-2・4-3・4年学習室 平面詳細図・展開図
 図面番号 【改修前・後】
 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小) 27

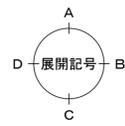
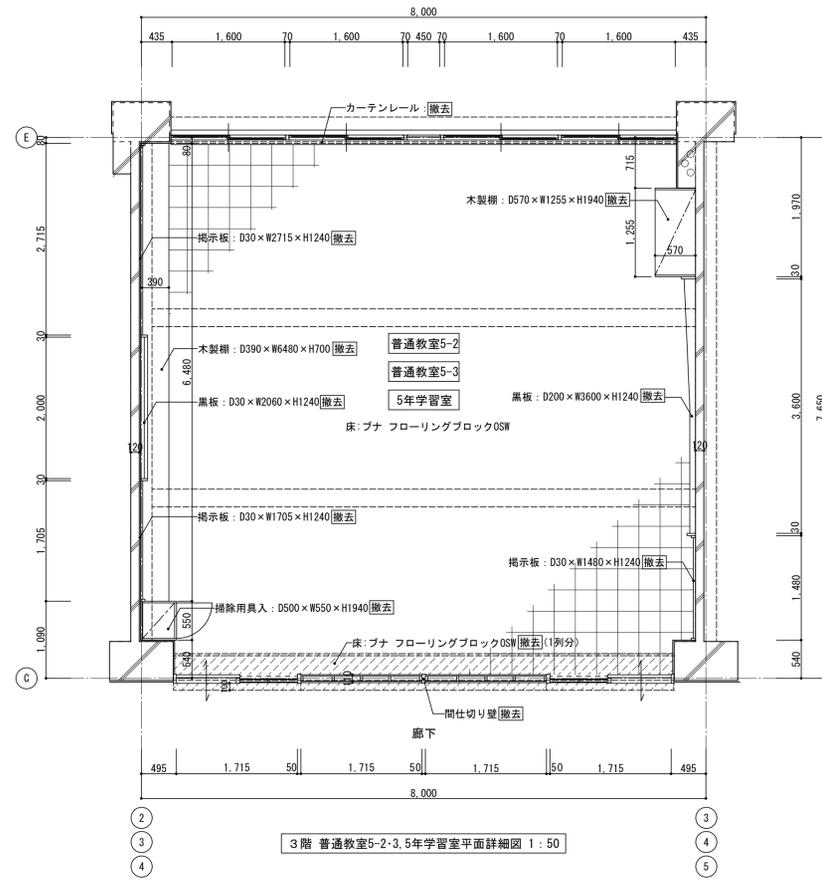


< 凡例 >
撤去範囲を示す

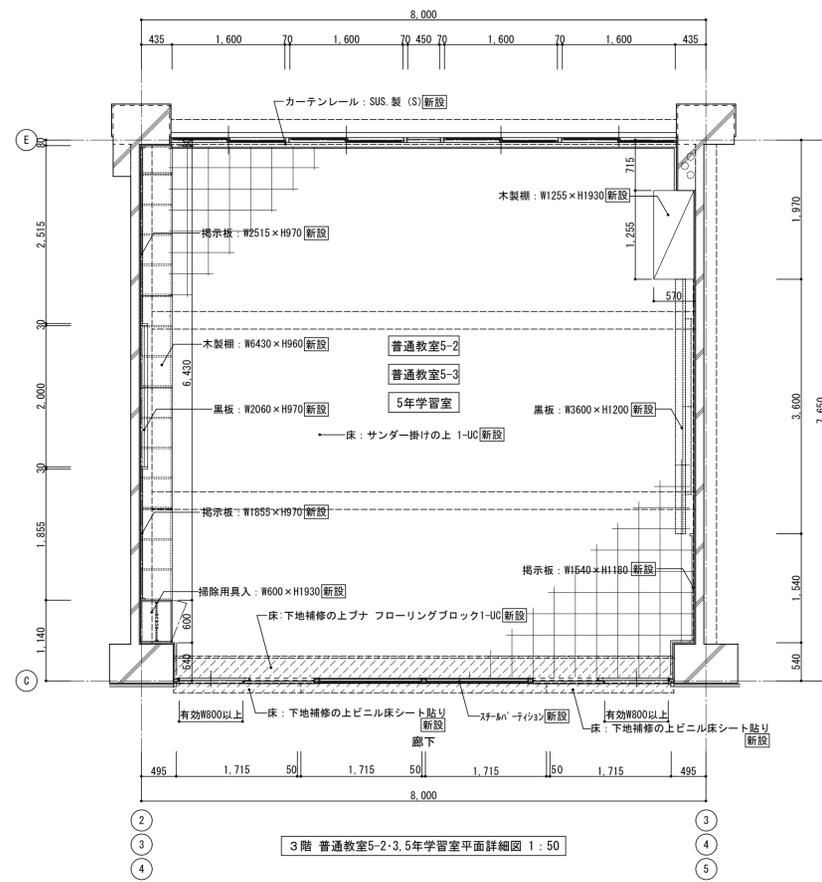
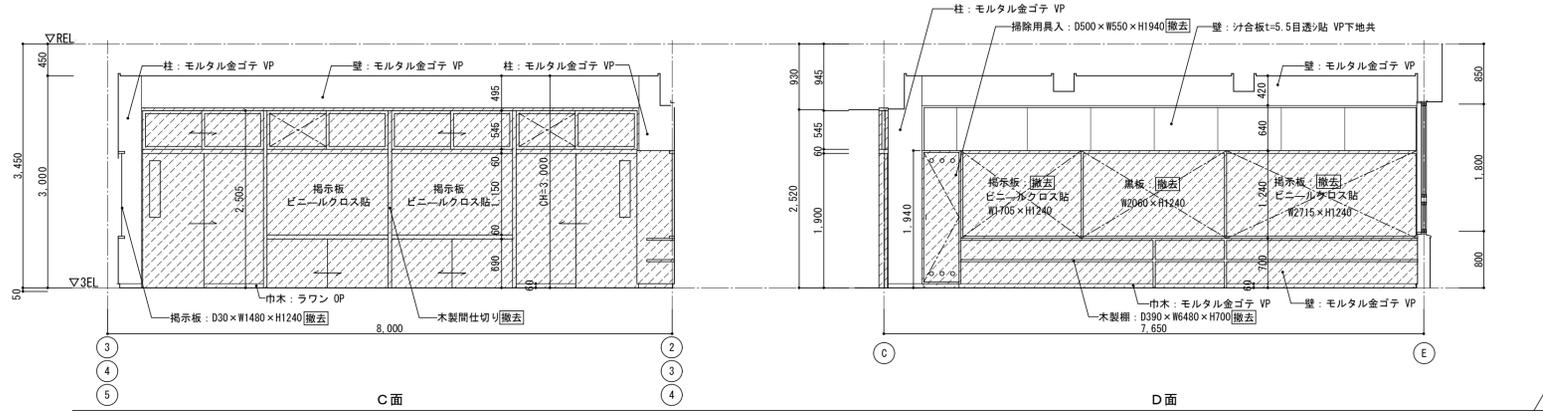
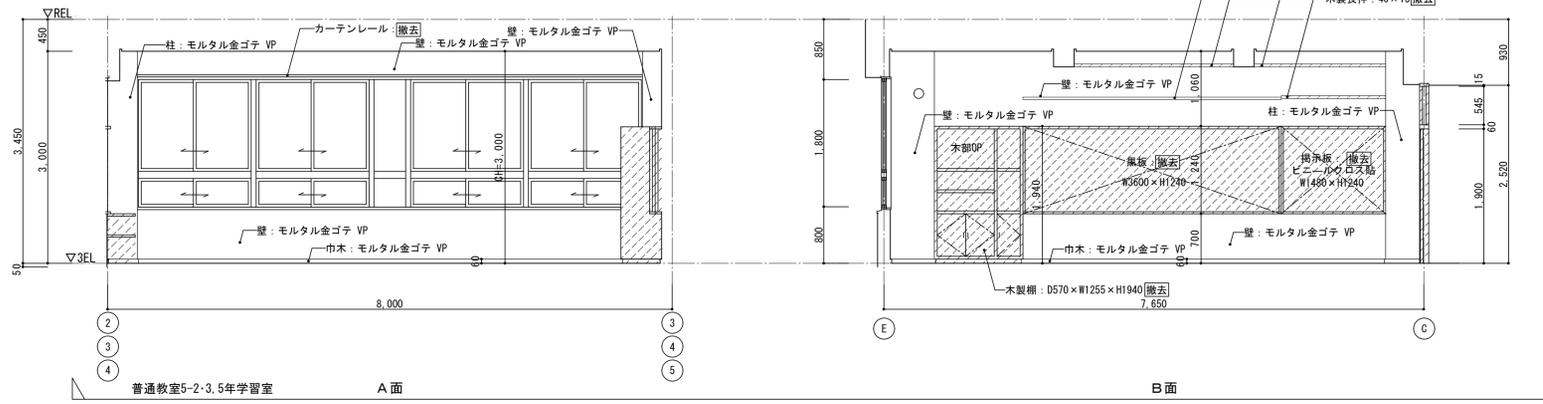


< 凡例 >
新設範囲を示す

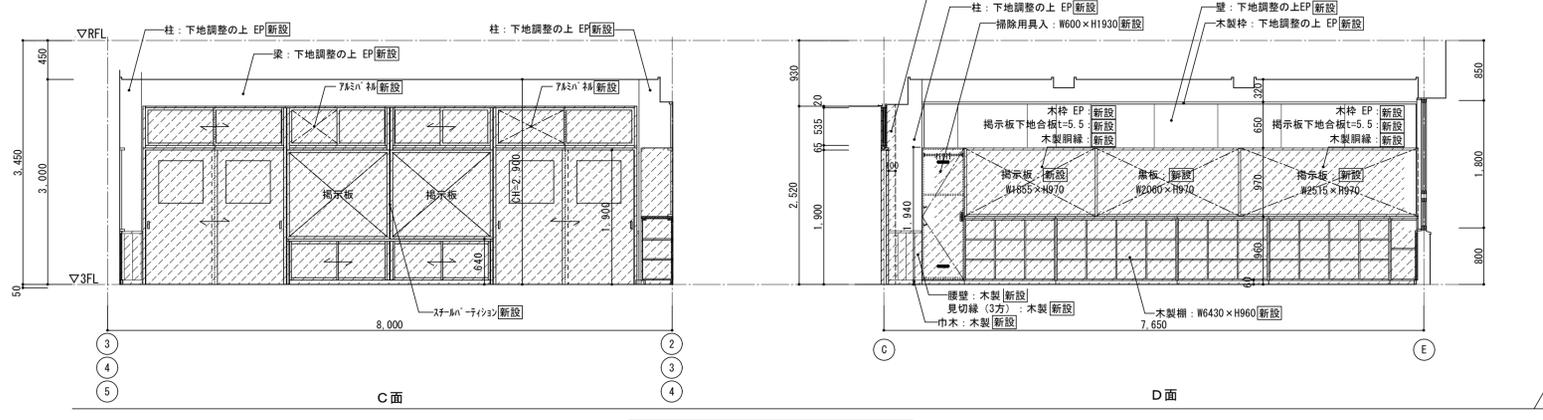
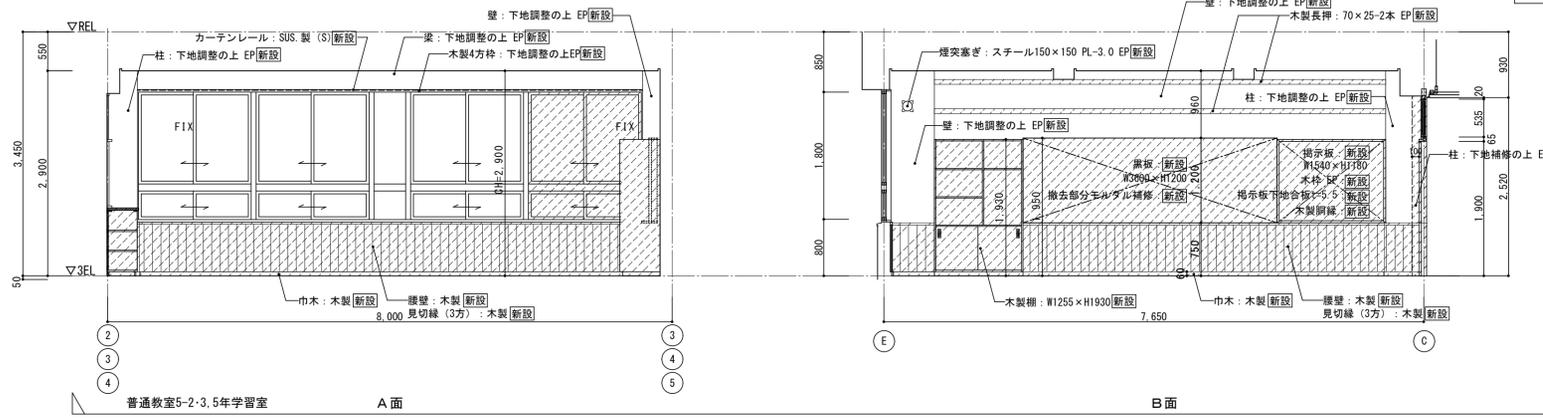




<凡例>
撤去範囲を示す

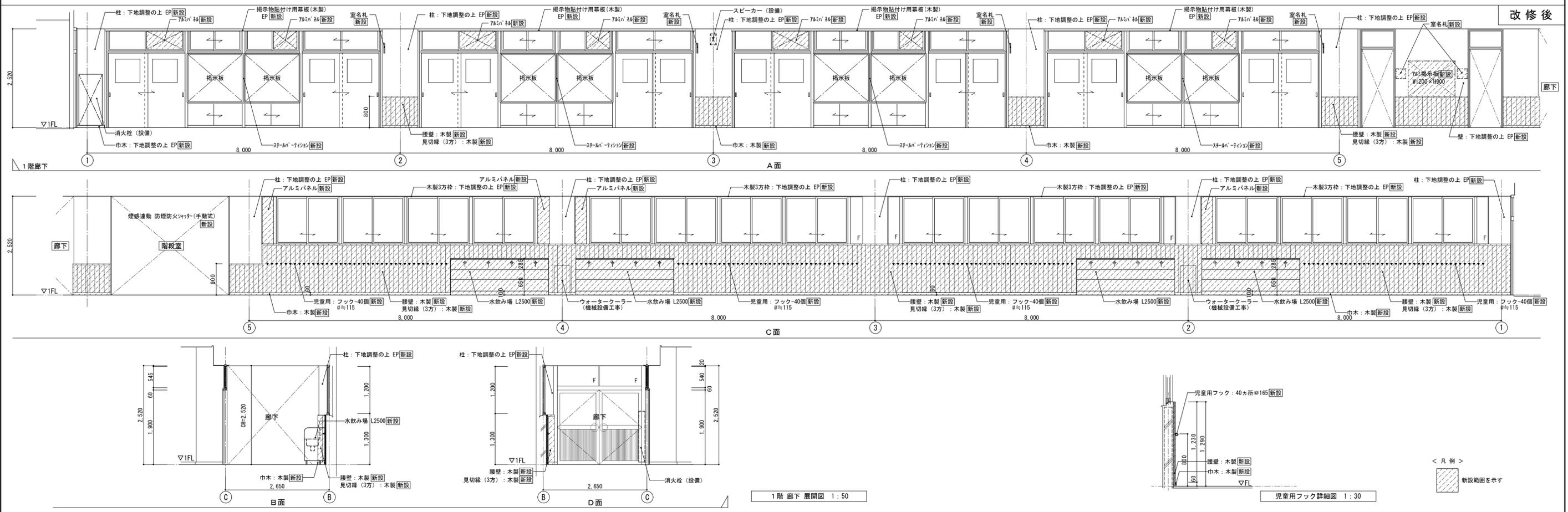
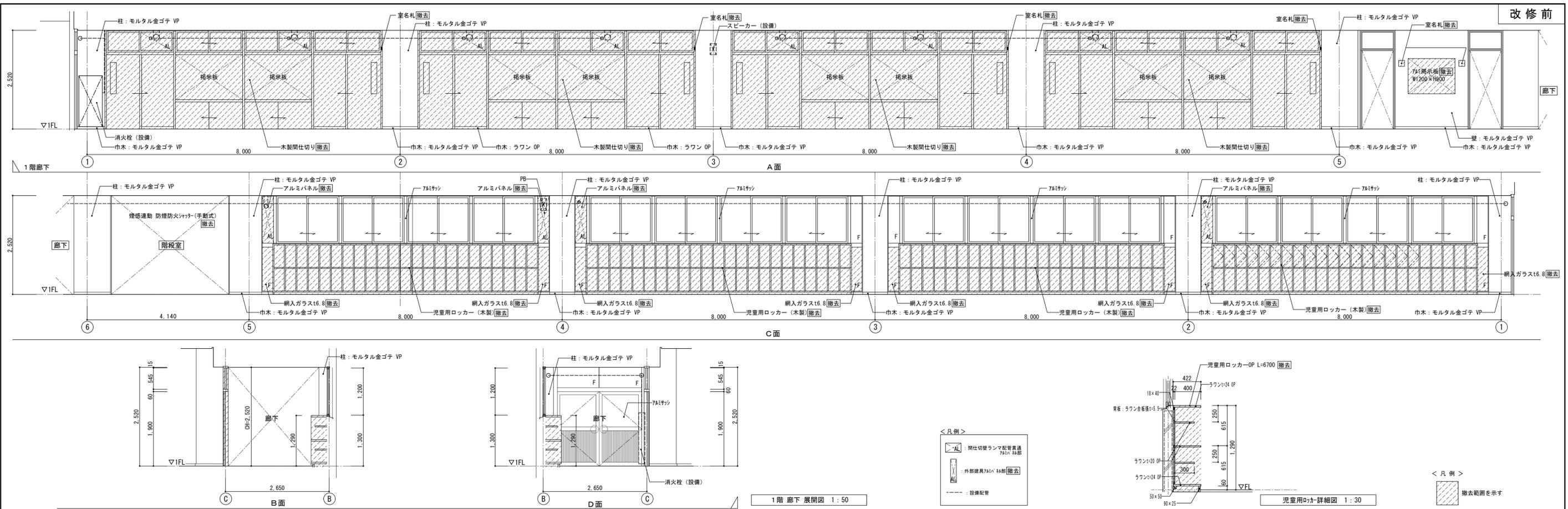


<凡例>
新設範囲を示す

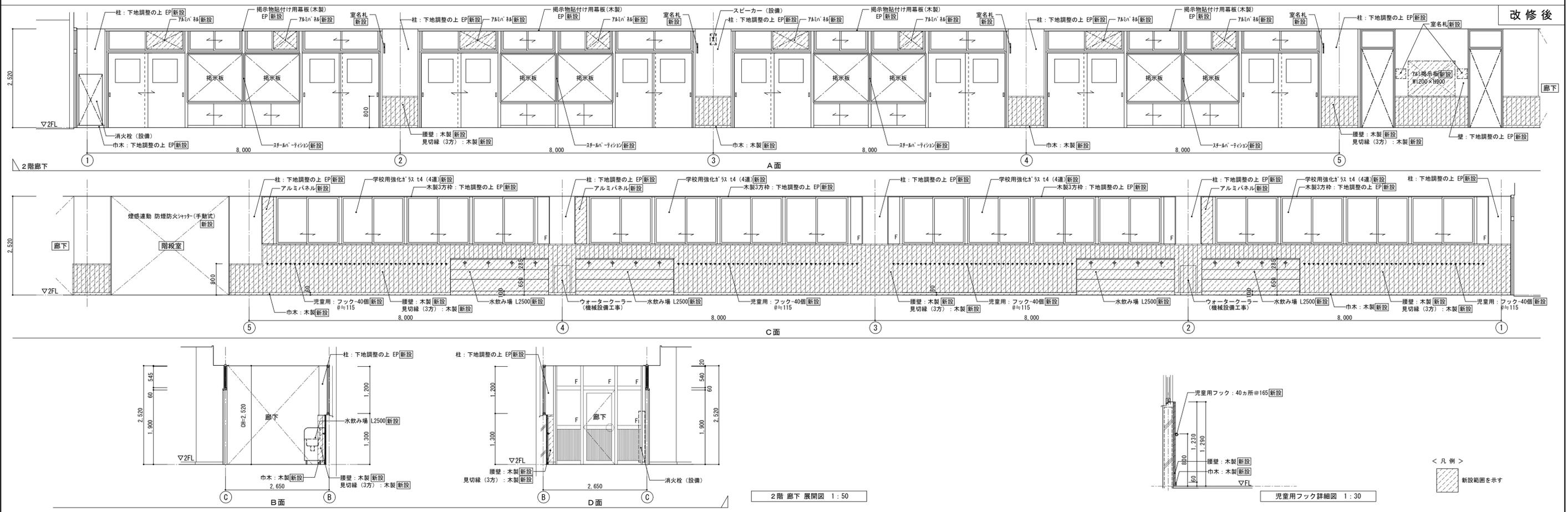
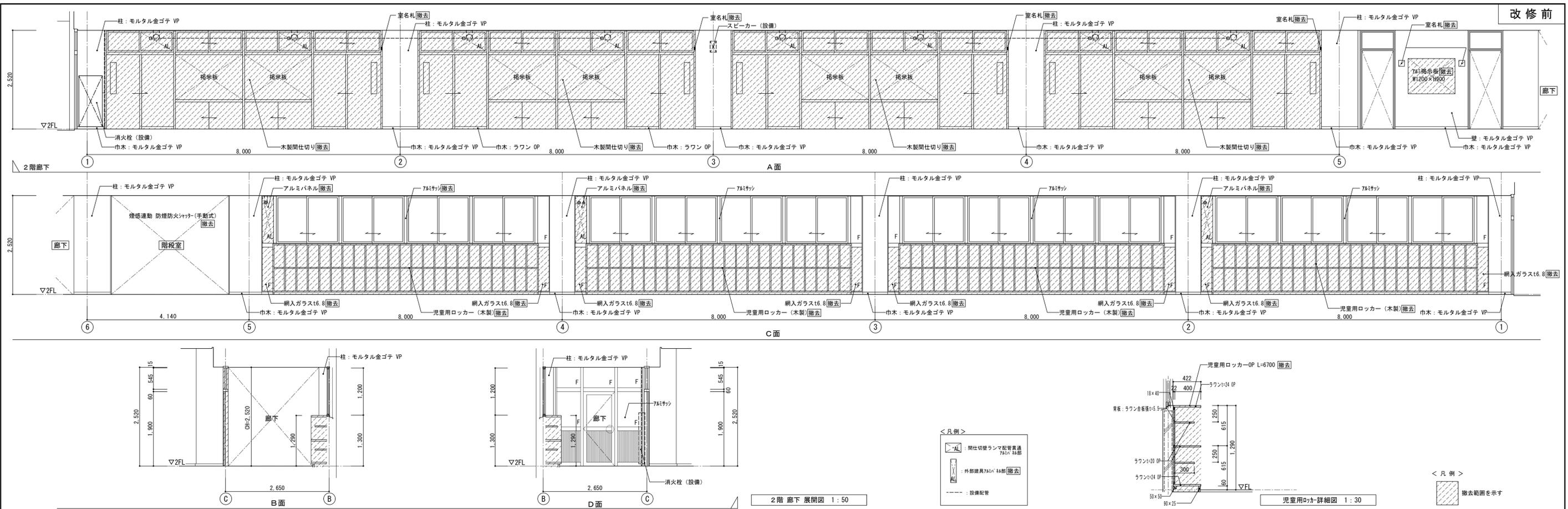


<p>株式会社 松下設計 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>	<p>委託番号 17-137 設計部長 松岡 担当 製図</p>	<p>目的 2018年3月</p>
--	--------------------------------------	-------------------

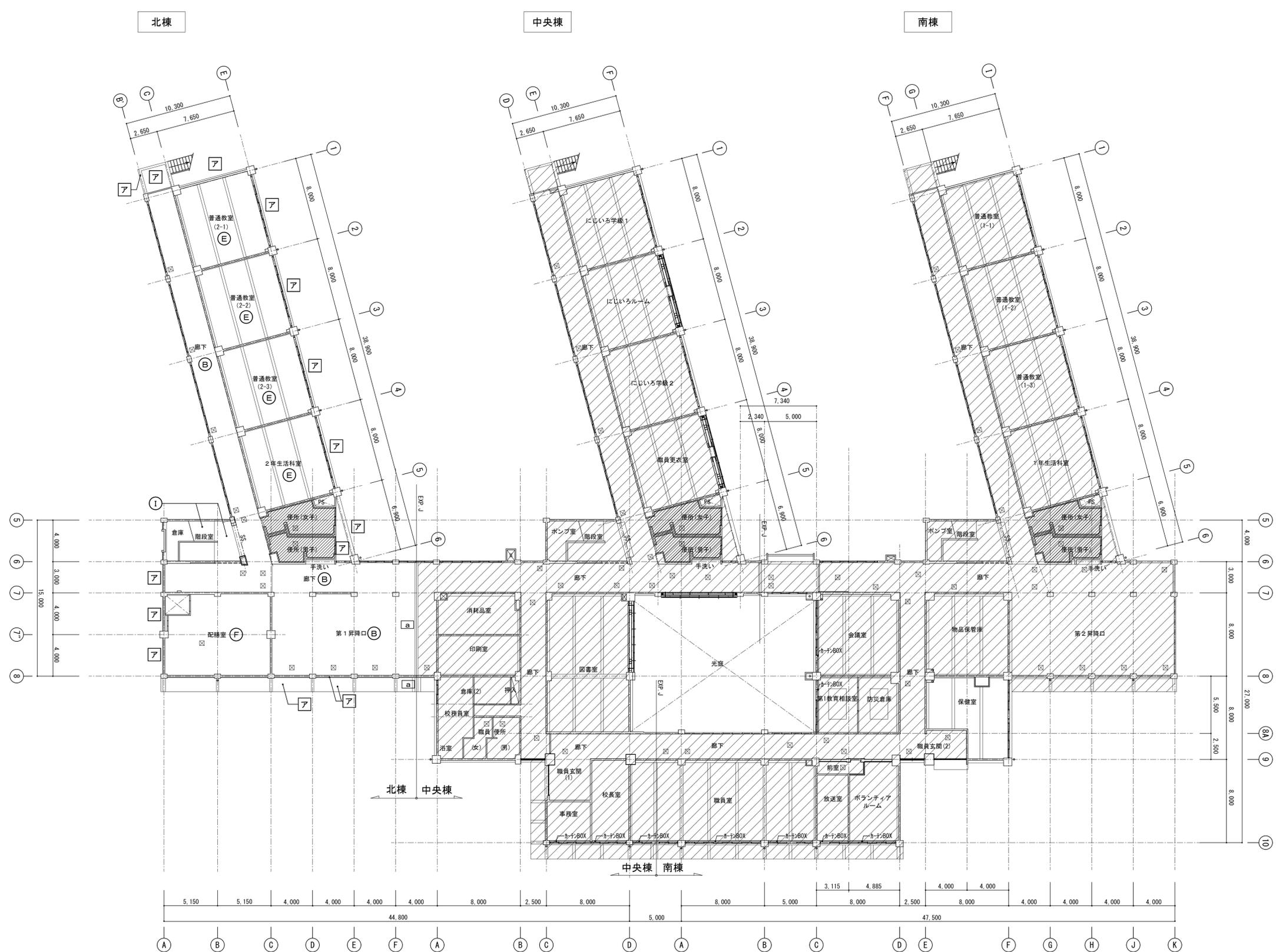
<p>図面名 北棟3階 普通教室5-2・5-3, 5年学習室 平面詳細図・展開図</p> <p>図面番号 【改修前・後】</p> <p>縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)</p>	<p>図面種類 A</p> <p>図面番号 29</p>
---	------------------------------



 株式会社 松下設計 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	一級建築士事務所 登録(11) 183	17-137 設計部長 松岡 担当 製図	2018年3月 設計 製図	図面名 北棟1階廊下展開図(教室前) 【改修前・後】	図面種別 A 図面番号 30
	市立瀨瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図				縮尺 S=1:50・30(A3版 50%縮小)



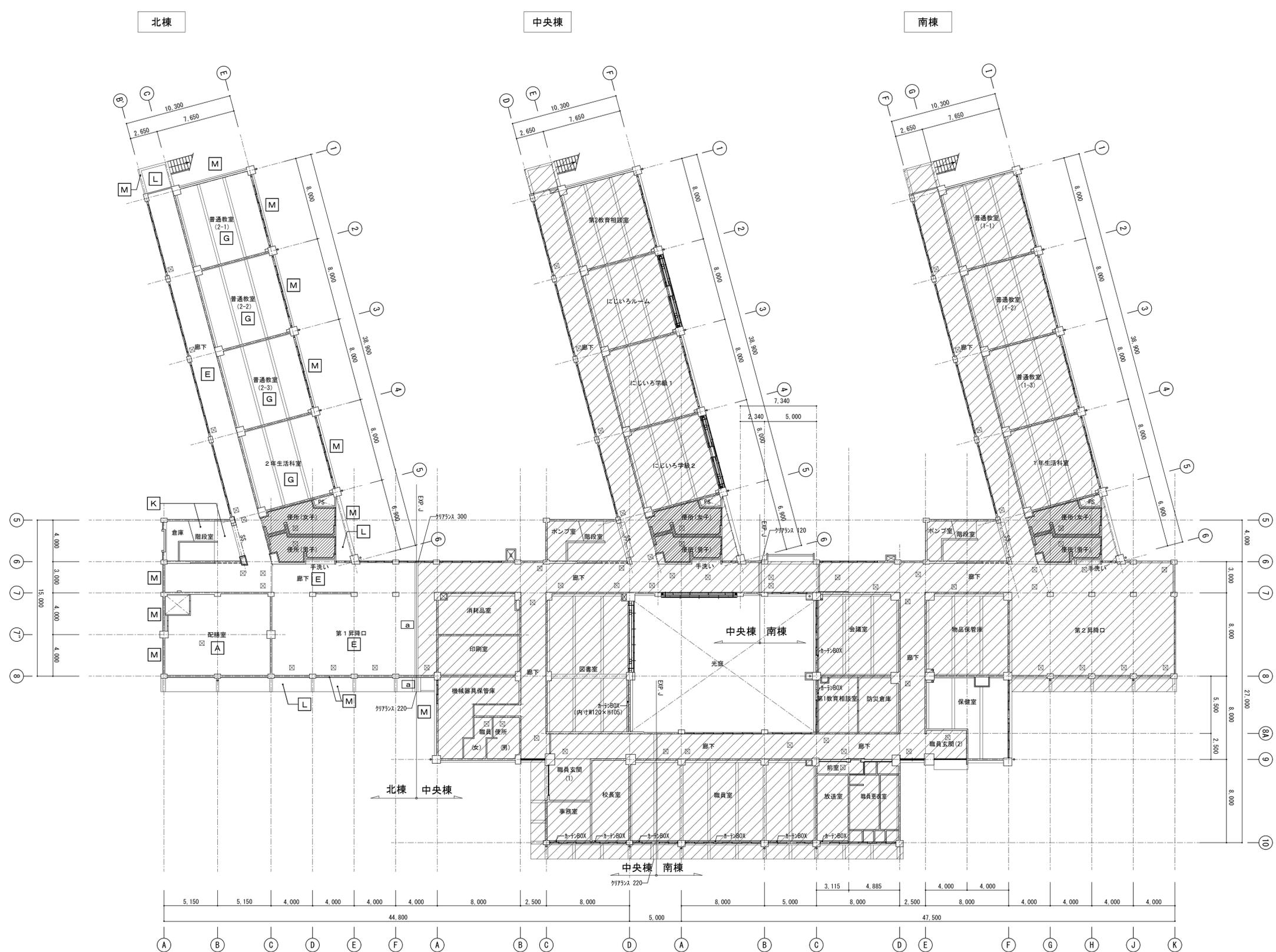
 株式会社 松下設計 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) F A X 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	一級建築士事務所 登録(11) 183	17-137 設計部長 松岡 裕 担当 松岡 裕 製図 松岡 裕	2018年3月 設計 松岡 裕 製図 松岡 裕	図面名 北棟2階廊下展開図(教室前) 【改修前・後】	図面種別 A 図面番号 31
	市立瀨瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図				縮尺 S=1:50・30(A3版 50%縮小)



凡例 <特記部以外仕上げ・下地・廻り縁全て：【撤去】(Iを除く)>

	仕上	下地	廻り縁
(A)	化粧石膏ボード t=9.0	木製 (L.G.S)	塩ビ製
(B)	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910)	木製	塩ビ製
(C)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP	木製	塩ビ製
(D)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP(910×910)	木製	塩ビ製
(E)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 EP	木製	塩ビ製
(F)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 目透し張り EP	木製	塩ビ製
(G)	有孔合板 t=4.0 目透し張り OP(1800×910)	木製	塩ビ製
(H)	石膏ボード t=9.0+ロックウール吸音板 t=9.0	L.G.S	塩ビ製
(I)	プラスチック塗り EP	木製	塩ビ製
(J)	化粧石膏ボード	L.G.S	塩ビ製
(K)	フレキシブルボード t=5.0「★」 目透し張り VP	木製	塩ビ製
(L)	杉板合板敷目板貼り	木製	木製
(M)	合板 OP	木製	塩ビ製
[a]	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【一時撤去】		
[b]	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【残置】		
カーテンBOX	木製 W=120【存置】		
天井点検口	600×600、450×450アルミ製縦線タイプ 【撤去】		
内部梁型	モルタル金ゴテVP (全室共通)		
外部 [ア]	梁型：コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル (E) 【撤去】 軒裏：コンクリート打放しAEPの上吹付タイル (E) 【撤去】		
【共通事項】	1) 凡例符号「ア」「★」アスベスト含有建材 2) 外壁部アスベスト含有建材撤去については立面図による		

1階天井伏図 S=1/200



凡例 <特記部除き仕上げ・下地・廻り縁全て：新設>

	仕上	下地	廻り縁
A	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
B	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
C	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) (910×910)	LGS	塩ビ製
D	化粧石膏ボード t=9.5	LGS	塩ビ製
E	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910)	LGS	塩ビ製
F	石膏ボードt=9.5+ロックウール吸音板 t=9.0	LGS	塩ビ製
G	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔一部孔なし (前面黒板上表面より1800程度の範囲)	LGS	塩ビ製
H	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
I	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
J	ケイ酸カルシウム板 t=5.0 目直し貼り EP	LGS	塩ビ製
K	下地調整の上 EP	-	-
a	エクステンションジョイントカバー アルミ製 【再取付】		
b	エクステンションジョイントカバー アルミ製 【既存のまま】		
カーテンBOX	木製 下地調整の上EP【新設】		
天井点検口	600×600、450×450アルミ製額縁タイプ		
内部梁型	下地調整の上 EP (全室共通)		
外装軒張	劣化部補修の上下地調整材(一液水性多機能型カチオンシーラー)の上 水性反応硬化形軒天塗替え専用仕上げ塗材		
梁型	劣化部補修の上下地調整材C-2の上防水型複層塗材E		

改修範囲外を示す

1階天井伏図 S=1/200

凡例 <仕上げ・下地・廻り縁全て：【撤去】(1を除く)>

	仕上	下地	廻り縁
(A)	化粧石膏ボード t=9.0	木製 (L.G.S)	塩ビ製
(B)	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910)	木製	塩ビ製
(C)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP	木製	塩ビ製
(D)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP(910×910)	木製	塩ビ製
(E)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 EP	木製	塩ビ製
(F)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 目透し張り EP	木製	塩ビ製
(G)	有孔合板 t=4.0 目透し張り OP(1800×910)	木製	塩ビ製
(H)	石膏ボードt=9.0+ロックウール吸音板 t=9.0	L.G.S	塩ビ製
(I)	プラスター塗り EP	木製	塩ビ製
(J)	化粧石膏ボード	L.G.S	塩ビ製
(K)	フレキシブルボード t=5.0「★」 目透し張り VP	木製	塩ビ製
(L)	杉板合板敷目板貼り	木製	木製
(M)	合板 OP	木製	塩ビ製
[a]	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【一時撤去】		
[b]	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【残置】		
カーテンBOX	木製 W=120【存置】		
☒ ☒	天井点検口：600×600、450×450アルミ製縦線タイプ 【撤去】		
内部梁型	モルタル金ゴテVP (全室共通)		
外部 [ア]	梁型：コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル (E) 【撤去】 軒裏：コンクリート打放しAEPの上吹付タイル (E) 【撤去】		
【共通事項】	1) 凡例符号「ア」「★」アスベスト含有建材 2) 外壁部アスベスト含有建材撤去については立面図による		



改修範囲外を示す

2階天井伏図 S=1/200

凡例 <仕上げ・下地・廻り縁全て：新設>

	仕上	下地	廻り縁
A	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
B	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
C	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) (910×910)	LGS	塩ビ製
D	化粧石膏ボード t=9.5	LGS	塩ビ製
E	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910)	LGS	塩ビ製
F	石膏ボードt=9.5+ロックウール吸音板 t=9.0	LGS	塩ビ製
G	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔一部孔なし (前面黒板上表面より1800程度の範囲)	LGS	塩ビ製
H	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
I	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
J	ケイ酸カルシウム板 t=5.0 目直し貼り EP	LGS	塩ビ製
K	下地調整の上 EP	-	-
a	エクステンションジョイントカバー アルミ製 【再取付】		
b	エクステンションジョイントカバー アルミ製 【既存のまま】		
カーテンBOX	木製 下地調整の上EP【新設】		
天井点検口	600×600、450×450アルミ製額縁タイプ		
内部梁型	下地調整の上 EP (全室共通)		
外装軒張	劣化部補修の上下地調整材(一液水性多機能型カチオンシーラー)の上 水性反応硬化形軒張替え専用仕上げ塗材		
梁型	劣化部補修の上下地調整材C-2の上防水型複層塗材E		



2階天井伏図 S=1/200

凡例 <仕上げ・下地・廻り縁全て：【撤去】(1を除く)>

	仕上	下地	廻り縁
(A)	化粧石膏ボード t=9.0	木製 (L.G.S)	塩ビ製
(B)	化粧石膏ボード t=9.0 (910×910)	木製	塩ビ製
(C)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP	木製	塩ビ製
(D)	有孔合板 t=5.5 目透し張り OP(910×910)	木製	塩ビ製
(E)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 EP	木製	塩ビ製
(F)	有孔石膏ボード t=9.0「★」 目透し張り EP	木製	塩ビ製
(G)	有孔合板 t=4.0 目透し貼り OP(1800×910)	木製	塩ビ製
(H)	石膏ボード t=9.0+ロックウール吸音板 t=9.0	L.G.S	塩ビ製
(I)	プラスター塗り EP	木製	塩ビ製
(J)	化粧石膏ボード	L.G.S	塩ビ製
(K)	フレキシブルボード t=5.0「★」 目透し張り VP	木製	塩ビ製
(L)	杉板合板敷目板貼り	木製	木製
(M)	合板 OP	木製	塩ビ製
[a]	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【一時撤去】		
[b]	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【残置】		
カーテンBOX	木製 W=120【存置】		
☒ ☒	天井点検口：600×600、450×450アルミ製網線タイプ 【撤去】		
内部梁型	モルタル金ゴテVP (全室共通)		
外部 [ア]	梁型：コンクリート打放しフジコート吹付けの上吹付タイル (E) 【撤去】 軒裏：コンクリート打放しAEPの上吹付タイル (E) 【撤去】		
【共通事項】	1) 凡例符号「ア」「★」アスベスト含有建材 2) 外壁部アスベスト含有建材撤去については立面図による		

R階天井伏図 S=1/200

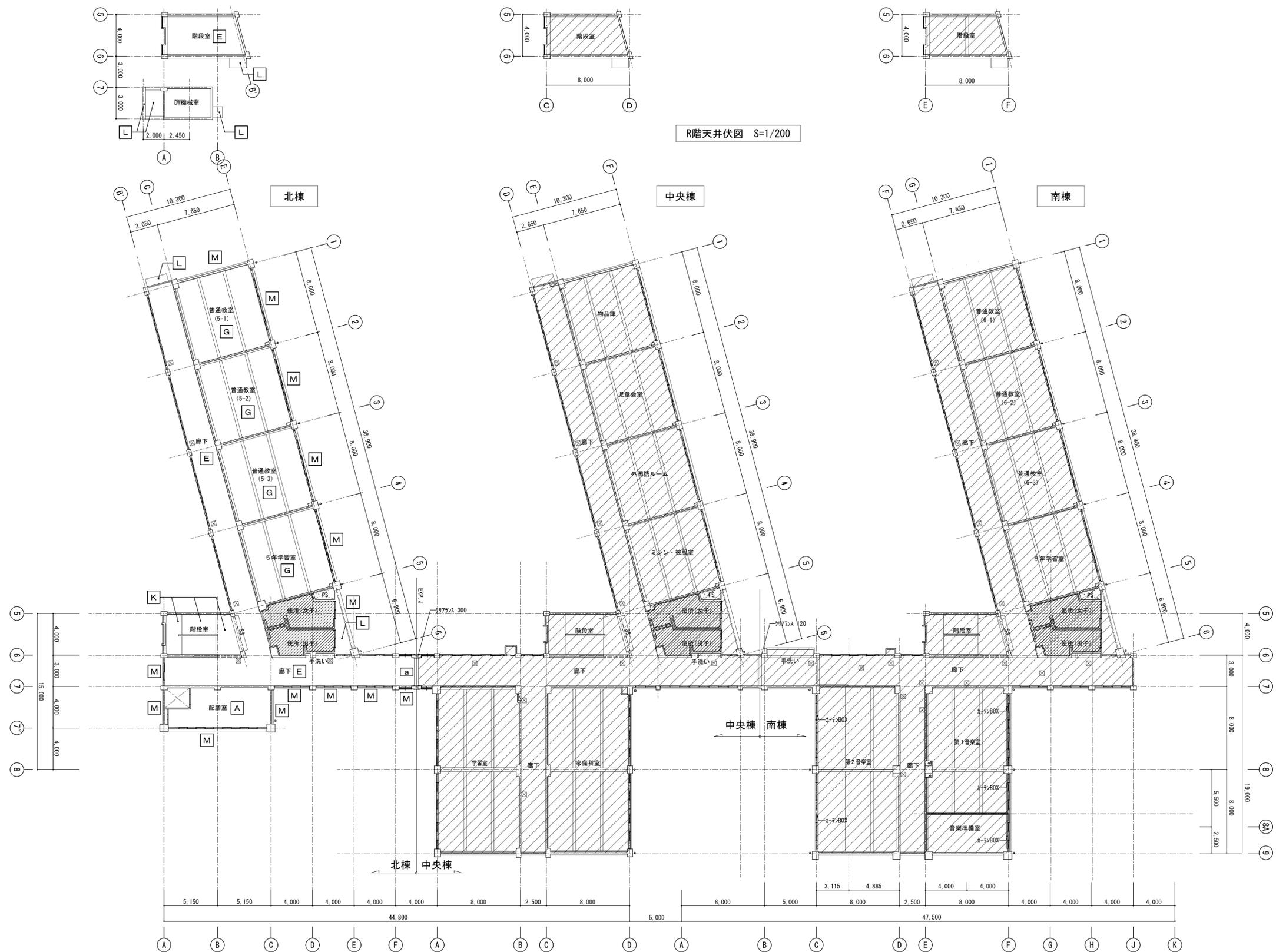
3階天井伏図 S=1/200



改修範囲外を示す

凡例 <仕上げ・下地・廻り縁全て：新設>

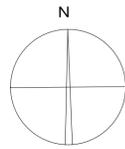
	仕上	下地	廻り縁
A	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
B	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
C	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃) (910×910)	LGS	塩ビ製
D	化粧石膏ボード t=9.5	LGS	塩ビ製
E	化粧石膏ボード t=9.5 (910×910)	LGS	塩ビ製
F	石膏ボードt=9.5+ロックウール吸音板 t=9.0	LGS	塩ビ製
G	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔一部孔なし (前面黒板上表面より1800程度の範囲)	LGS	塩ビ製
H	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃) 角孔	LGS	塩ビ製
I	化粧石膏吸音ボード t=9.5 (不燃)	LGS	塩ビ製
J	ケイ酸カルシウム板 t=5.0 目直し貼り EP	LGS	塩ビ製
K	下地調整の上 EP	-	-
a	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【再取付】		
b	エキスパンションジョイントカバー アルミ製 【既存のまま】		
カーテンBOX	木製 下地調整の上EP【新設】		
☒☒	天井点検口：600×600、450×450アルミ製額縁タイプ		
内部梁型	下地調整の上 EP (全室共通)		
外装軒張	劣化部補修の上下地調整材(一液水性多機能型カチオンシーラー)の上 水性反応硬化形軒天塗替え専用仕上げ塗材		
梁型	劣化部補修の上下地調整材C-2の上防水型複層塗材E		



R階天井伏図 S=1/200

3階天井伏図 S=1/200

改修範囲外を示す



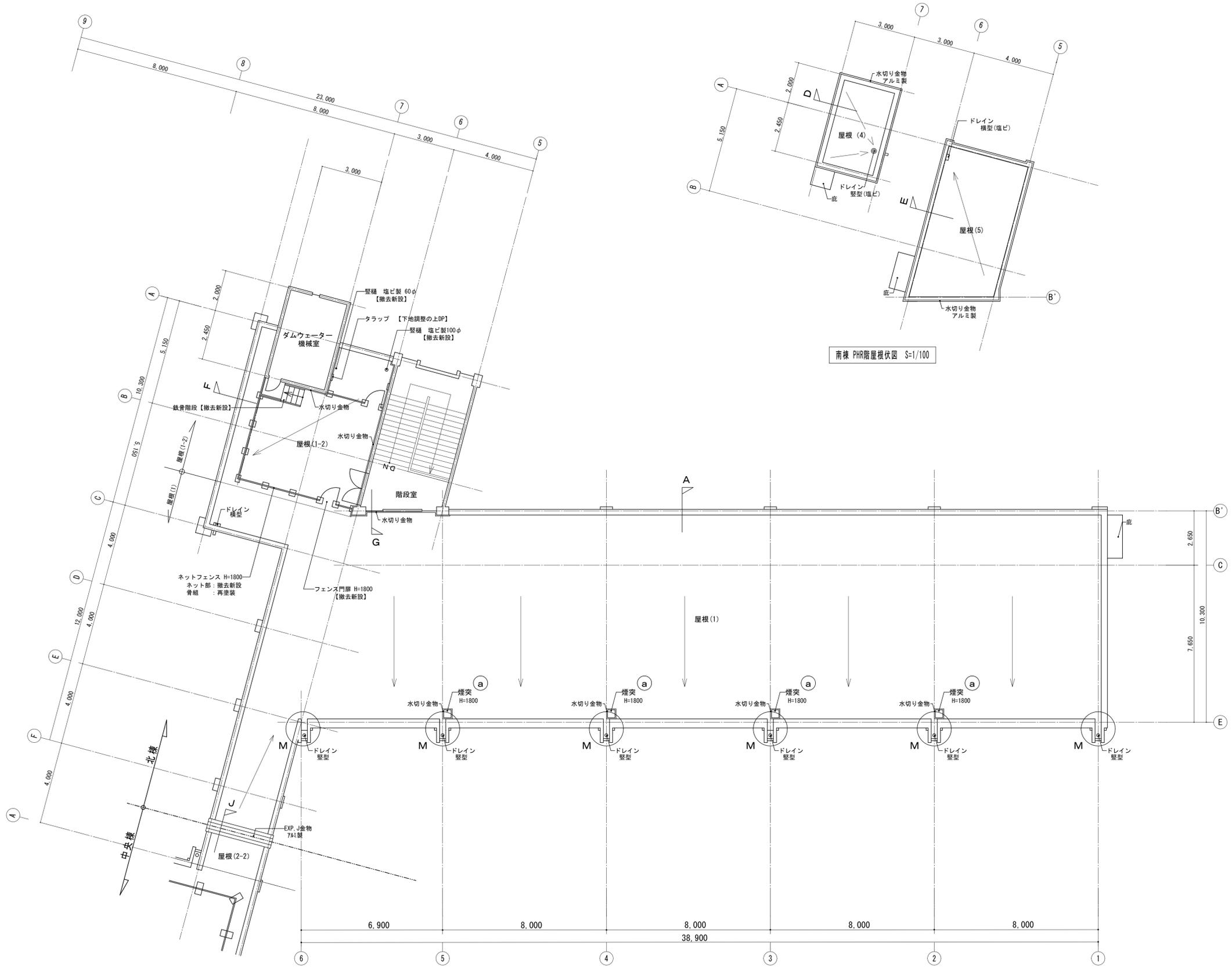
■防水改修仕様 [北棟 R階 屋根(1)・(1-2)]			
平面	改修前	(建設時) 屋根(1) : 砂利敷キ → 撤去 保護モルタル金ゴテ t=15 屋根(1-2) : t=60砂利コンクリート 屋根(1)・(1-2)共通 アスファルト防水層 A15 均シモルタル	(前回改修) 防水シート貼り 絶縁工法【存置】 絶縁用シート貼り【存置】 ※屋根(1)のみモルタル t=20下地
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
立上り	改修前	(建設時) 保護モルタル金ゴテ t=15 → 補修 アスファルト防水層	(前回改修) 防水シート貼り【存置】
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
笠木	改修前	(建設時) プレキャストコンクリート製【存置】	(前回改修) 鋼板曲げ加工【一時取外し】
	改修後	鋼板曲げ加工【再取付】	
ドレイン	改修前	(建設時) 鍍銀製(堅型) 100φ → 一時撤去再取付	(前回改修) 鍍銀製(堅型)100φ【打込み部除き撤去】
	改修後	改修ドレイン(堅型)【新設】	
脱気装置	改修前	(建設時) 無し	(前回改修) 新設【存置】
	改修後	新設 (1か所/70㎡以上)	
EXP.J	改修前	(建設時) 既存カバー撤去	(前回改修) アルミ製【一時撤去】
	改修後	アルミ製【再取付】	
水切り金物 【壁面】	改修前	(建設時) 不明	(前回改修) アルミ製【撤去】
	改修後	アルミ製【新設】	

■防水改修仕様 [北棟 PHR階 屋根(4)]			
平面	改修前	(建設時) モルタル防水	(前回改修) 防水シート貼り 絶縁工法【存置】 絶縁用シート貼り【存置】
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
立上り	改修前	(建設時) モルタル防水	(前回改修) 防水シート貼り【存置】
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
笠木	改修前	(建設時) 無し	(前回改修) アルミ製防水押さえ金物【撤去】
	改修後	水切り金物 アルミ製【新設】	
ドレイン	改修前	(建設時) 鍍銀製一撤去	(前回改修) 改修ドレイン(堅型)【撤去】
	改修後	改修ドレイン(堅型)【新設】	
脱気装置	改修前	(建設時) 無し	(前回改修) 新設【存置】
	改修後	新設 (1か所/70㎡以上)	

■防水改修仕様 [北棟 PHR階 屋根(5)]			
平面	改修前	(建設時) モルタル防水 t=50 伸縮目地 アスファルト防水 均シモルタル t=15	(前回改修) 防水シート貼り 絶縁工法【存置】 絶縁用シート貼り【存置】
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
立上り	改修前	(建設時) 保護モルタル金ゴテ t=15 → 補修 アスファルト防水層 アスファルト防水層 高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	(前回改修) 防水シート貼り【存置】
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
笠木	改修前	(建設時) 無し	(前回改修) アルミ製防水押さえ金物【撤去】
	改修後	水切り金物 アルミ製【新設】	
ドレイン	改修前	(建設時) 鍍銀製一撤去	(前回改修) 改修ドレイン(堅型)【撤去】
	改修後	改修ドレイン(堅型)【新設】	
脱気装置	改修前	(建設時) 無し	(前回改修) 新設【存置】
	改修後	新設 (1か所/70㎡以上)	

■防水改修仕様 [庇]			
平面	改修前	(建設時) モルタル防水	(前回改修)
	改修後	ウレタン塗膜防水 X-2 高圧洗浄	

- ※共通事項
 1、改修前欄内【〇〇】表示は今回改修内容を示す
 2、シート防水絶縁固定金物：免震性ディスク仕様



南棟 R階屋根伏図 S=1/100

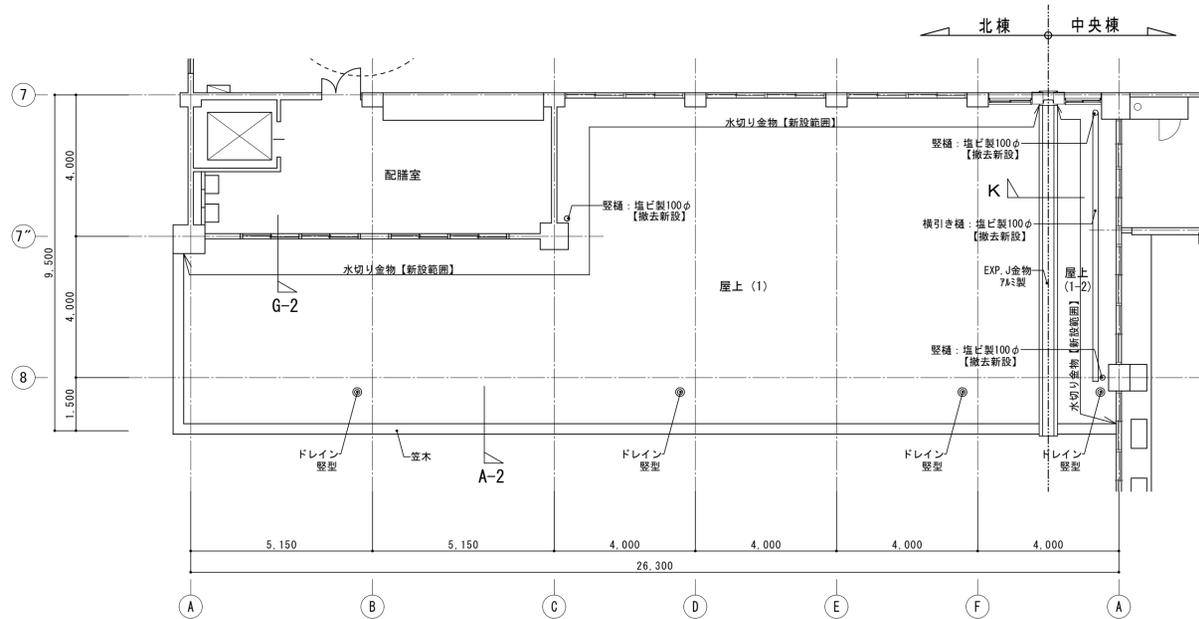
南棟 PHR階屋根伏図 S=1/100


株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	松園	担当	松園

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図
 図面名 北棟 屋根(1)・屋根(4)・屋根(5) 防水改修平面図
 縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)

図面種類	A
図面番号	39



■防水改修仕様 【北棟 屋上(1)、(1-2)】			
平面	改修前	(建設時) 砂利敷キ → 撤去 保護モルタル金ゴテ t=15 アスファルト防水層 A15 均シモルタル	(前回改修) 塗膜防水(仕様不明)【存置】 下地不明
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
立上り	改修前	(建設時) 保護モルタル金ゴテ t=15 【撤去※1】 アスファルト防水層 【撤去※1】★	(前回改修) 塗膜防水(仕様不明)【撤去※1】 ※1、パラペット廻りのみ、その他は【存置】
	改修後	高耐久・高反射塗装 塩化ビニル樹脂系シート t=1.5 (絶縁工法) 絶縁マット t=2.0	
笠木	改修前	(建設時) プレキャストコンクリート製【撤去】	(前回改修) 既設笠木の上ウレタン塗膜防水【撤去】
	改修後	アルミ製【新設】	
ドレイン	改修前	(建設時) 鉄製一撤去	(前回改修) 改修ドレイン(堅型)【撤去】
	改修後	改修ドレイン(堅型)【新設】	
脱気装置	改修前		
	改修後	新設(1か所/70㎡以上)	
EXP. J	改修前	(建設時) 既存カバー撤去	(前回改修) アルミ製【撤去】
	改修後	アルミ製【新設】	
水切り金物 【壁面】	改修前	不明	(前回改修) 無し
	改修後	アルミ製【新設】	

※共通事項

- 1、改修前欄内【〇〇】表示は今回改修内容を示す
- 2、シート防水絶縁固定金物：免震性ディスク仕様

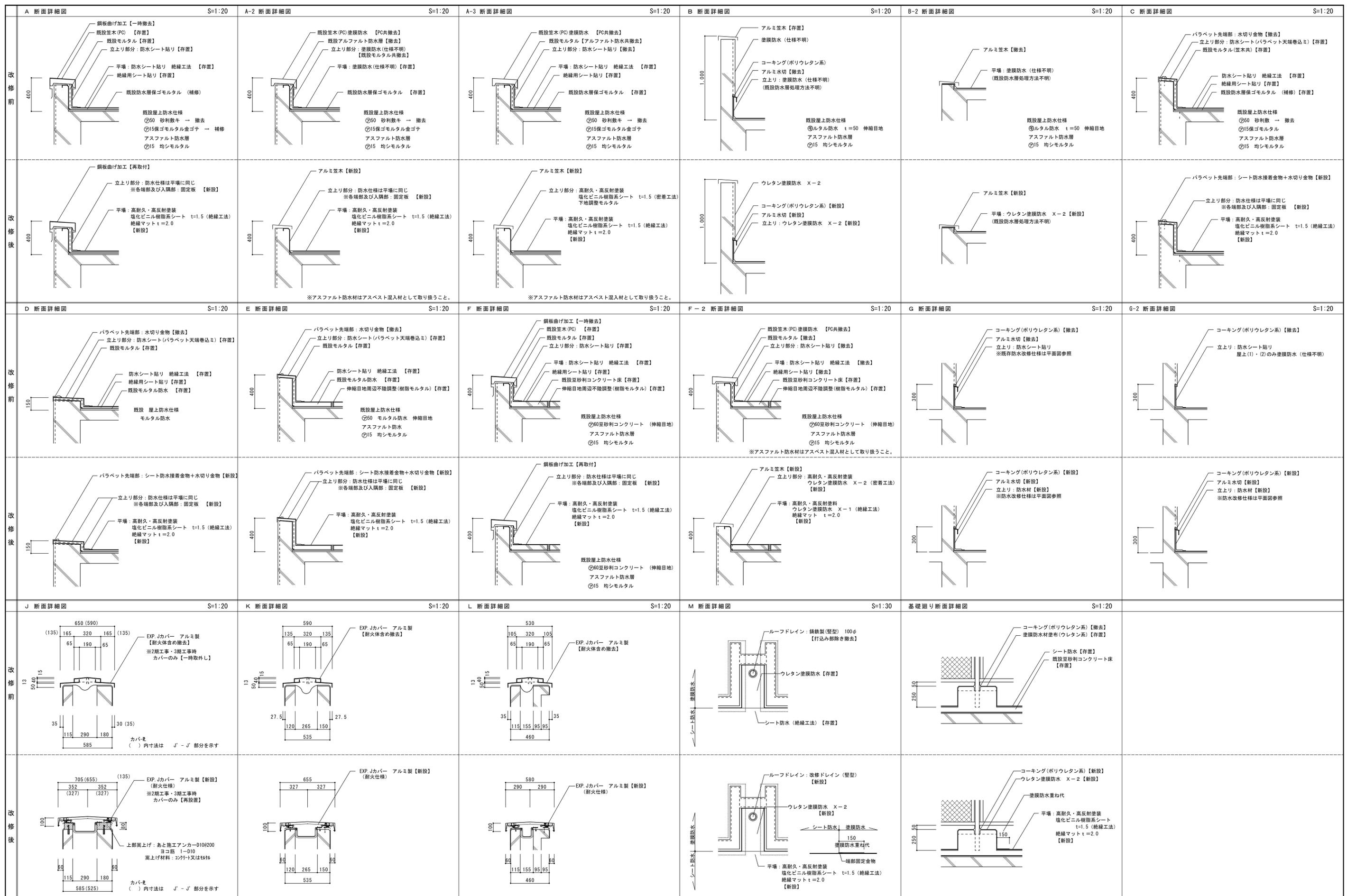
株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号 17-137	日付 2018年3月
設計部長 横 園	担当 製 園

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】

設計図

図面名 北棟 屋上(1)・(1-2) 防水改修平面図	図面種別 A
縮尺 S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号 40



図面名	部分詳細図(防水、屋根関連)
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:20・30(A3版 50%縮小)

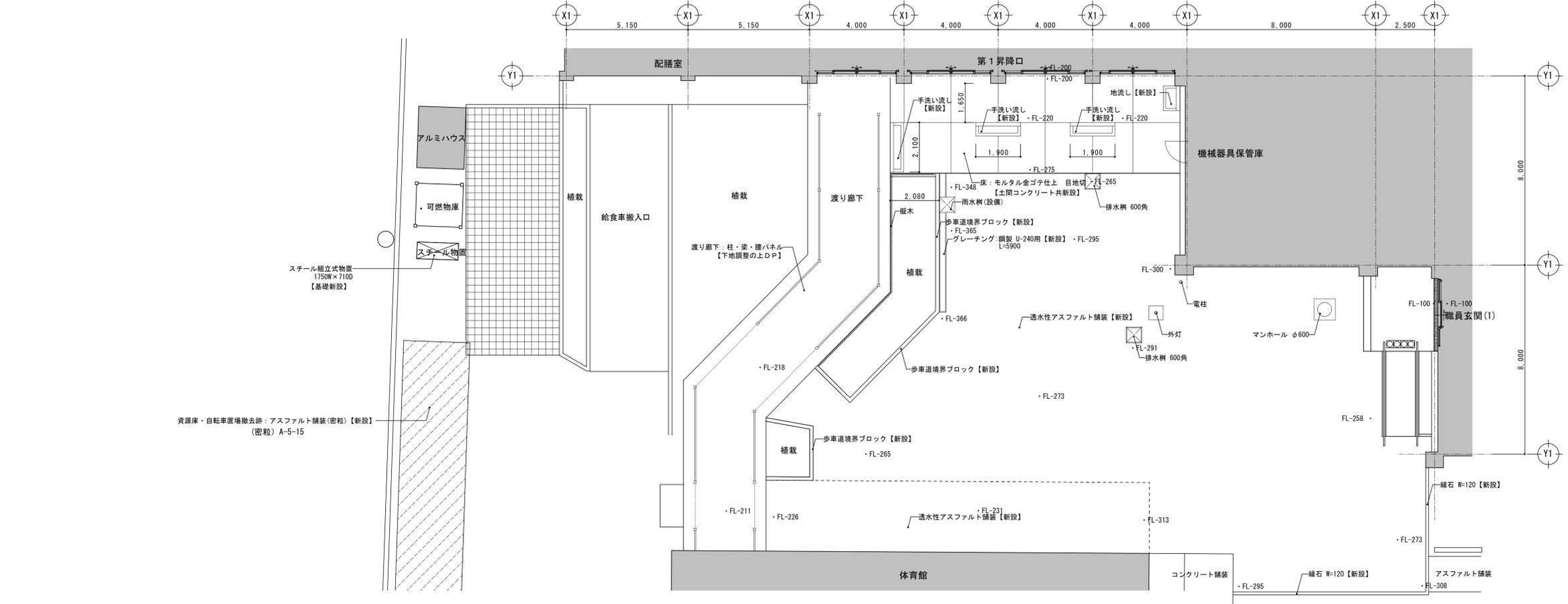
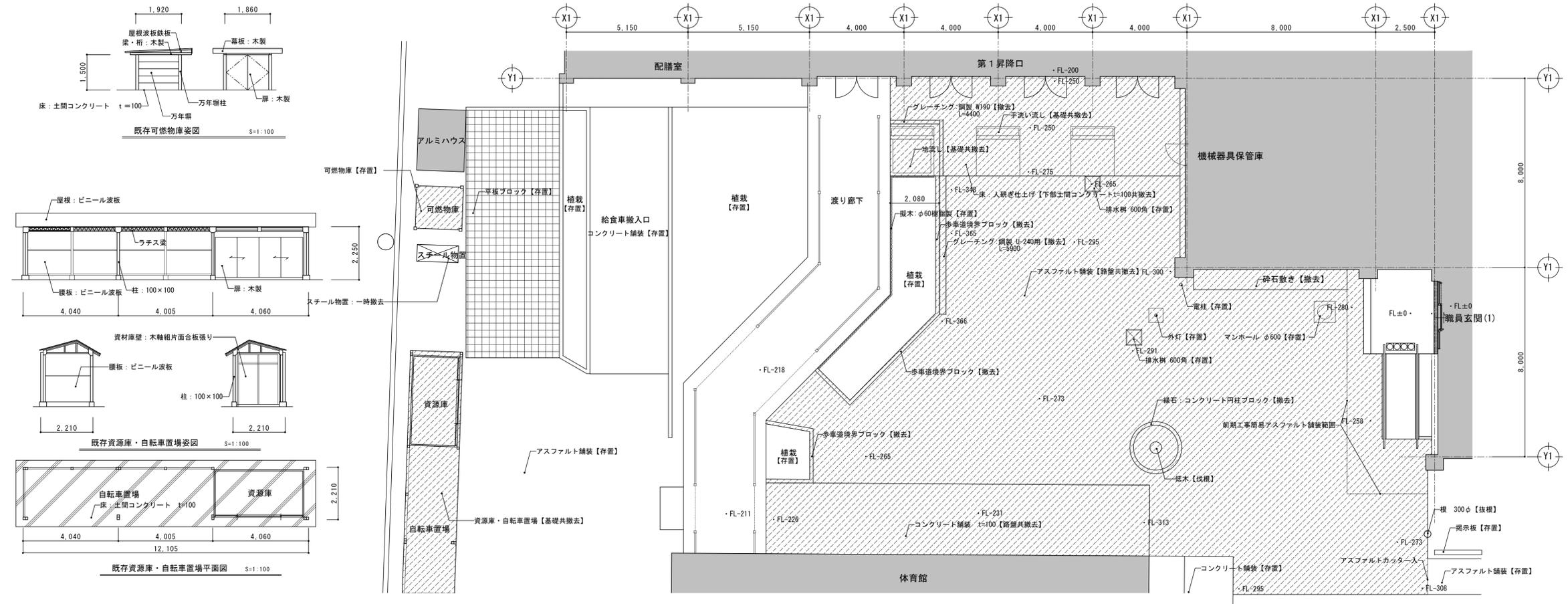

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 登録(11) 183
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	図面	2018年3月
設計部長	橋岡	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

図面名	部分詳細図(防水、屋根関連)
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:20・30(A3版 50%縮小)
ページ	41

改修前	煙突廻り詳細図 TYPE-a (普通教室上) S=1:20 <p>北棟 4ヶ W x D 350 x 450 中央棟 4ヶ 410 x 660 南棟 4ヶ 310 x 600</p> <p>笠: 鋼板折り曲げ加工(中央棟のみ) フレキシブルボード t=8.0 AEP ★ 【撤去】</p> <p>煙突: 吹付タイル(E) 【存置】</p> <p>注記) ★アスベスト含有建材を示す</p>	煙突廻り詳細図 TYPE-b (特別教室上) S=1:20 <p>中央棟 2ヶ W x D 830 x 400 南棟 1ヶ 1370 x 450 南棟 2ヶ 610 x 360</p> <p>笠: 鋼板折り曲げ加工(中央棟のみ) フレキシブルボード t=8.0 AEP ★ 【撤去】</p> <p>煙突: 吹付タイル(E) 【存置】</p> <p>注記) ★アスベスト含有建材を示す</p>	煙突廻り詳細図 TYPE-c (屋上(3)) S=1:30 <p>南棟 2ヶ</p> <p>笠: 鋼板折り曲げ加工(中央棟のみ) フレキシブルボード t=8.0 AEP ★ 【撤去】</p> <p>煙突: 吹付タイル(E) 【存置】</p> <p>注記) ★アスベスト含有建材を示す</p>		
	改修後	<p>煙突蓋: ステンレス製 t=1.5</p>	<p>煙突蓋: ステンレス製 t=1.5</p>	<p>煙突蓋: ステンレス製 t=1.5</p>	
改修前	PH階段廻り詳細図 (北棟) S=1:30 <p>手摺: スチール製 【存置】</p> <p>階段: スチール製 【撤去】</p>	廊下DS廻り詳細図 (中央棟・南棟) S=1:20 <p>コンクリートブロック 【撤去】</p>			
	改修後	<p>手摺: スチール製 下地調整の上SOP</p> <p>階段: スチール製 【新設】 ササ材: 200x50x6.0 踏板: 鋼板 t=6.0</p> <p>基礎: コンクリート製 【新設】 (配筋: タテ・ヨコ D10 #150)</p> <p>緩衝マット</p>	<p>※鋼材は全て錆び止め塗装を行う事</p>		
改修前	腰壁詳細図 ① S=1:10 <p>窓枠: 木製 OP</p> <p>壁: モルタル金ゴテ下地 VP</p> <p>巾木: モルタル金ゴテ下地 VP</p>	腰壁詳細図 ② S=1:10 <p>壁: モルタル金ゴテ下地 VP</p> <p>巾木: モルタル金ゴテ下地 VP</p>	腰壁詳細図 ③ S=1:10 <p>生徒用ロッカー: 木製 【撤去】</p>		
	改修後	<p>窓枠: 下地調整の上 EP</p> <p>見切り枠: 杉(上小節) 自然塗料(透明)</p> <p>腰壁: 杉(上小節) t=12.0 自然塗料(透明) ※一部準不燃仕様</p> <p>木調織下地</p> <p>巾木: 杉(上小節) H=60 自然塗料(透明)</p>	<p>シーリング材充填</p> <p>見切り枠: 杉(上小節) 自然塗料(透明)</p> <p>腰壁: 杉(上小節) t=12.0 透明自然塗料 ※一部準不燃仕様</p> <p>木調織下地</p> <p>巾木: 杉(上小節) H=60 自然塗料(透明)</p>	<p>見切り枠: 杉(上小節) 自然塗料(透明)</p> <p>腰壁: 杉(上小節) t=12.0 自然塗料(透明) ※一部準不燃仕様</p> <p>木調織下地</p> <p>巾木: 杉(上小節) H=60 自然塗料(透明)</p> <p>床ロッカー撤去跡: モルタル金ゴテ下地 ビニル床シート t=2.0</p>	

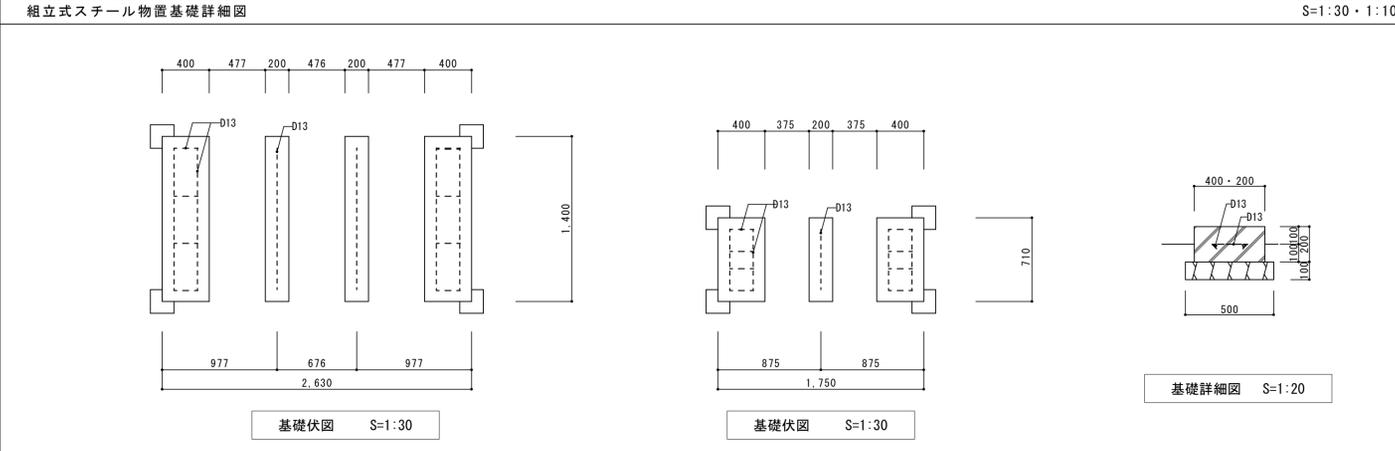
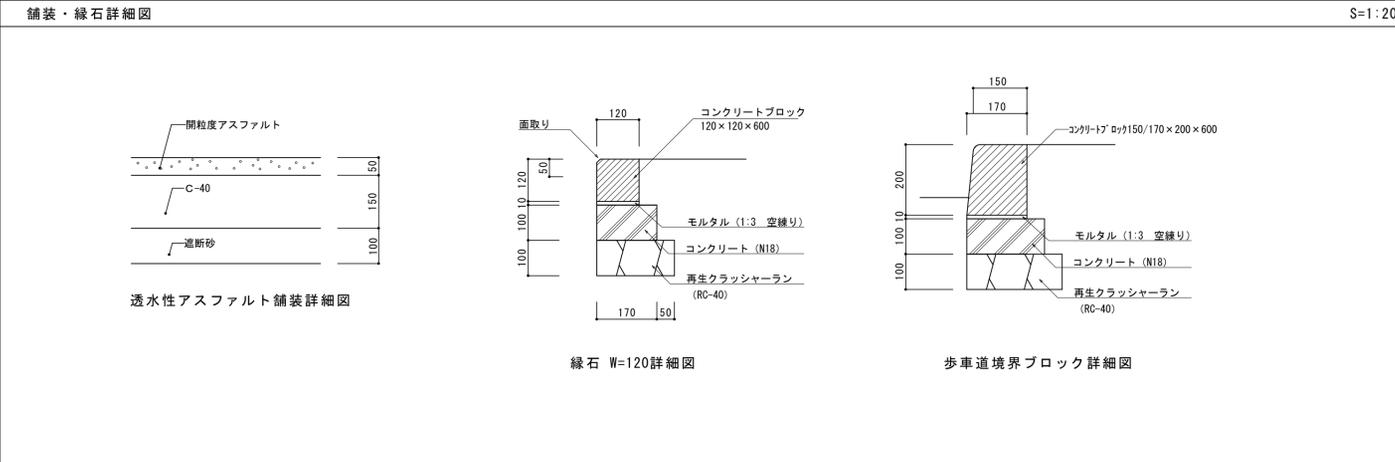
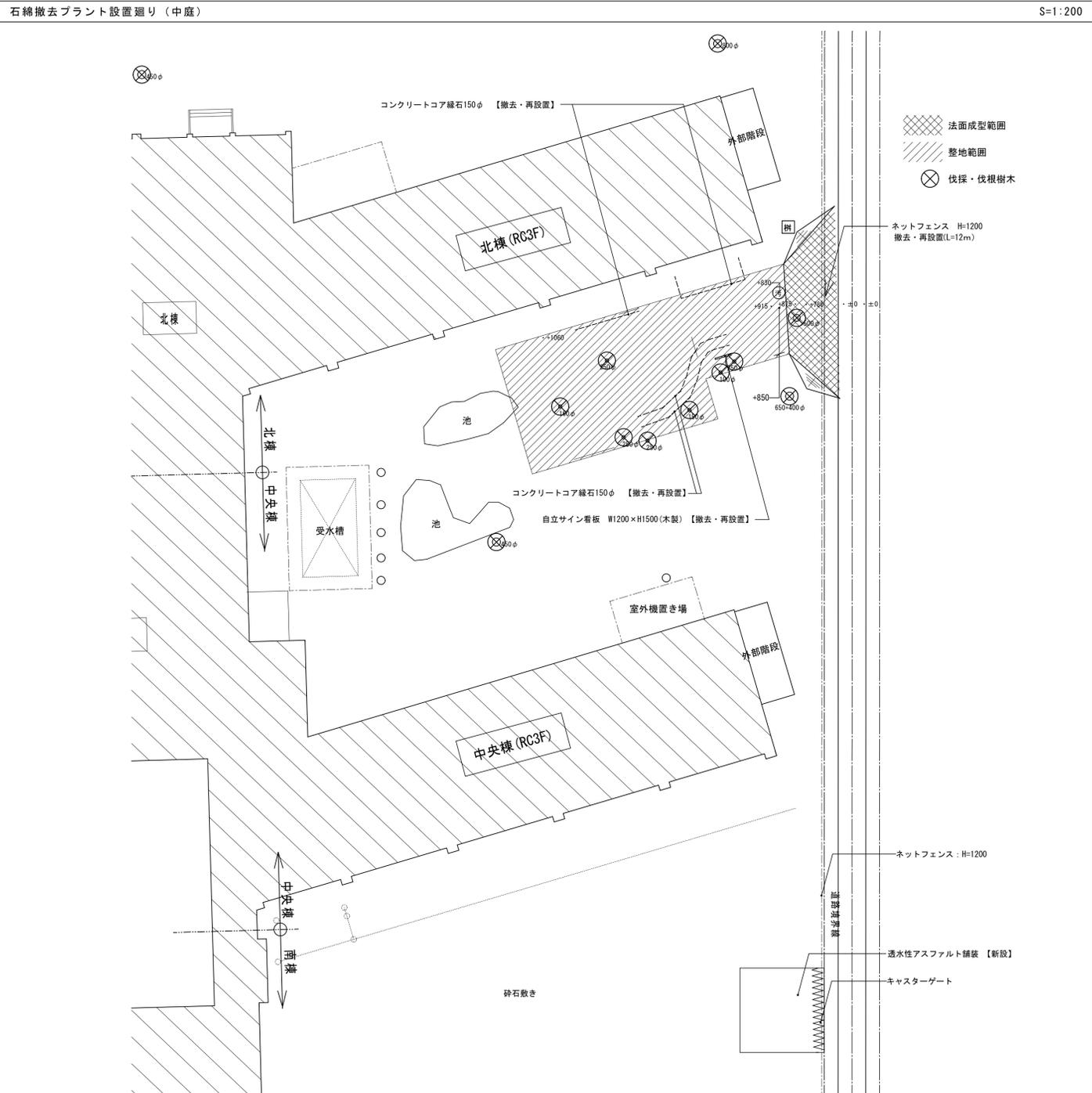
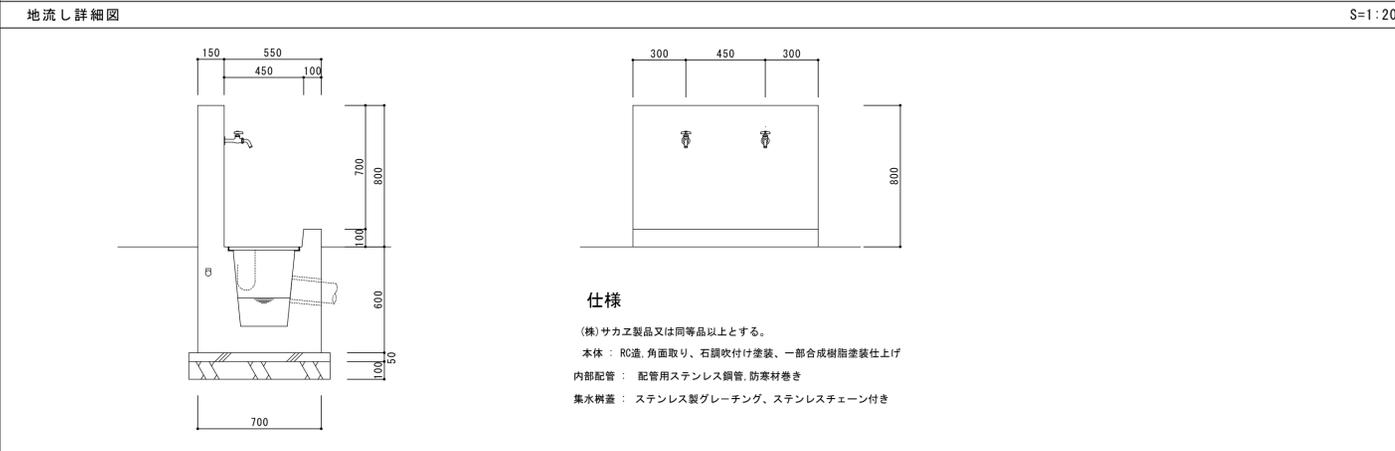
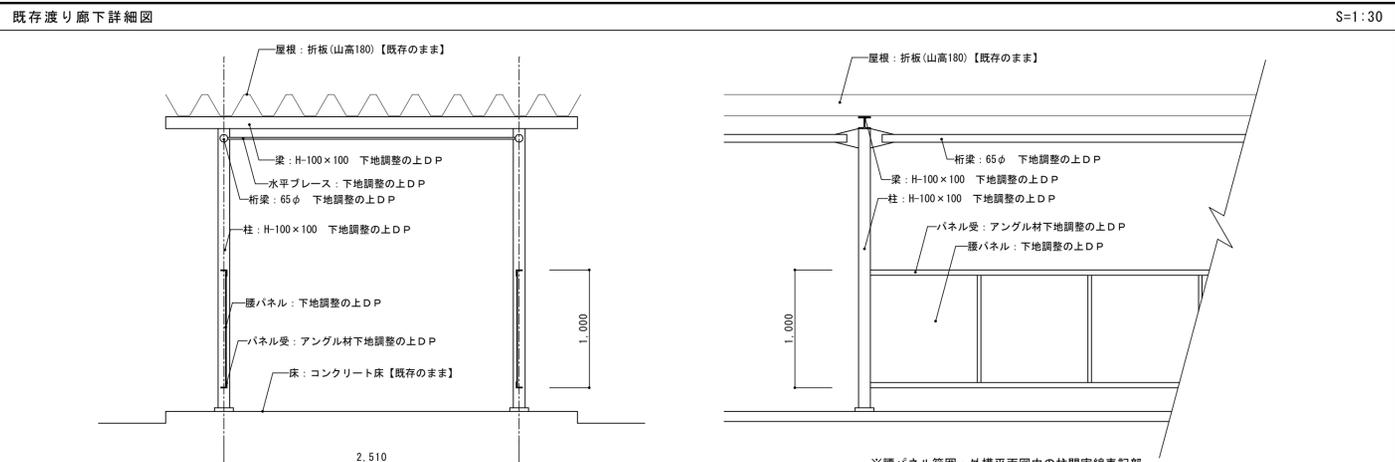
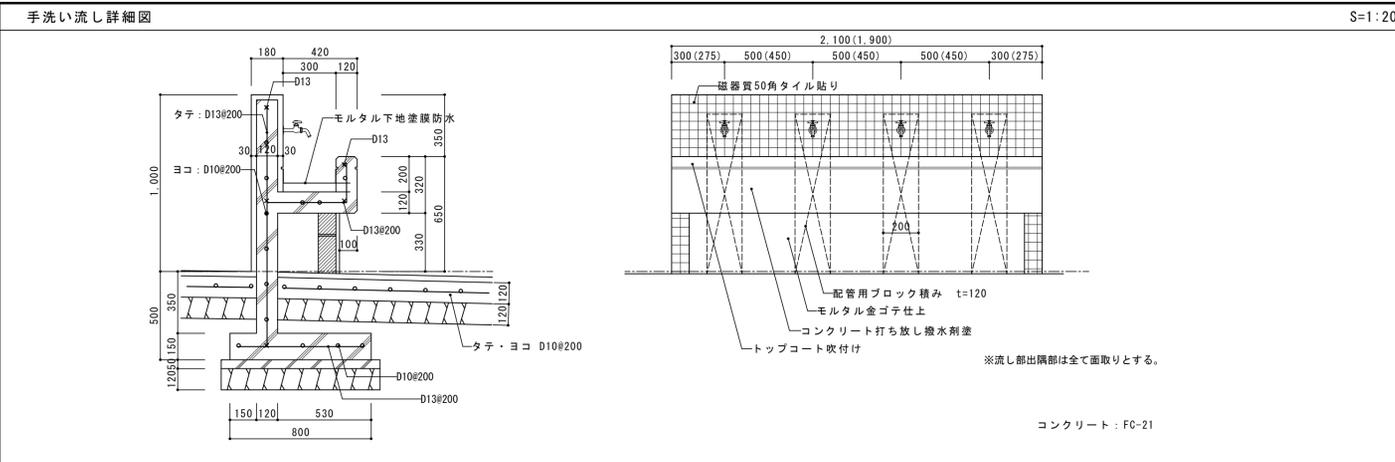


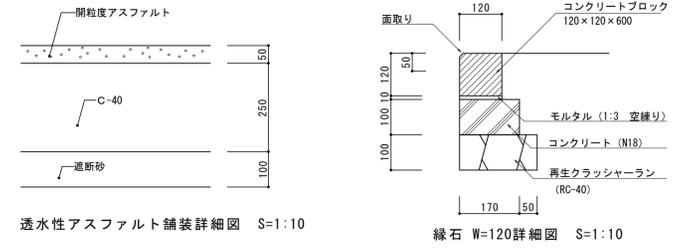
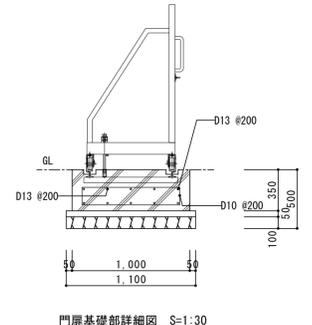
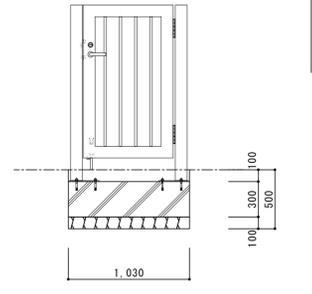
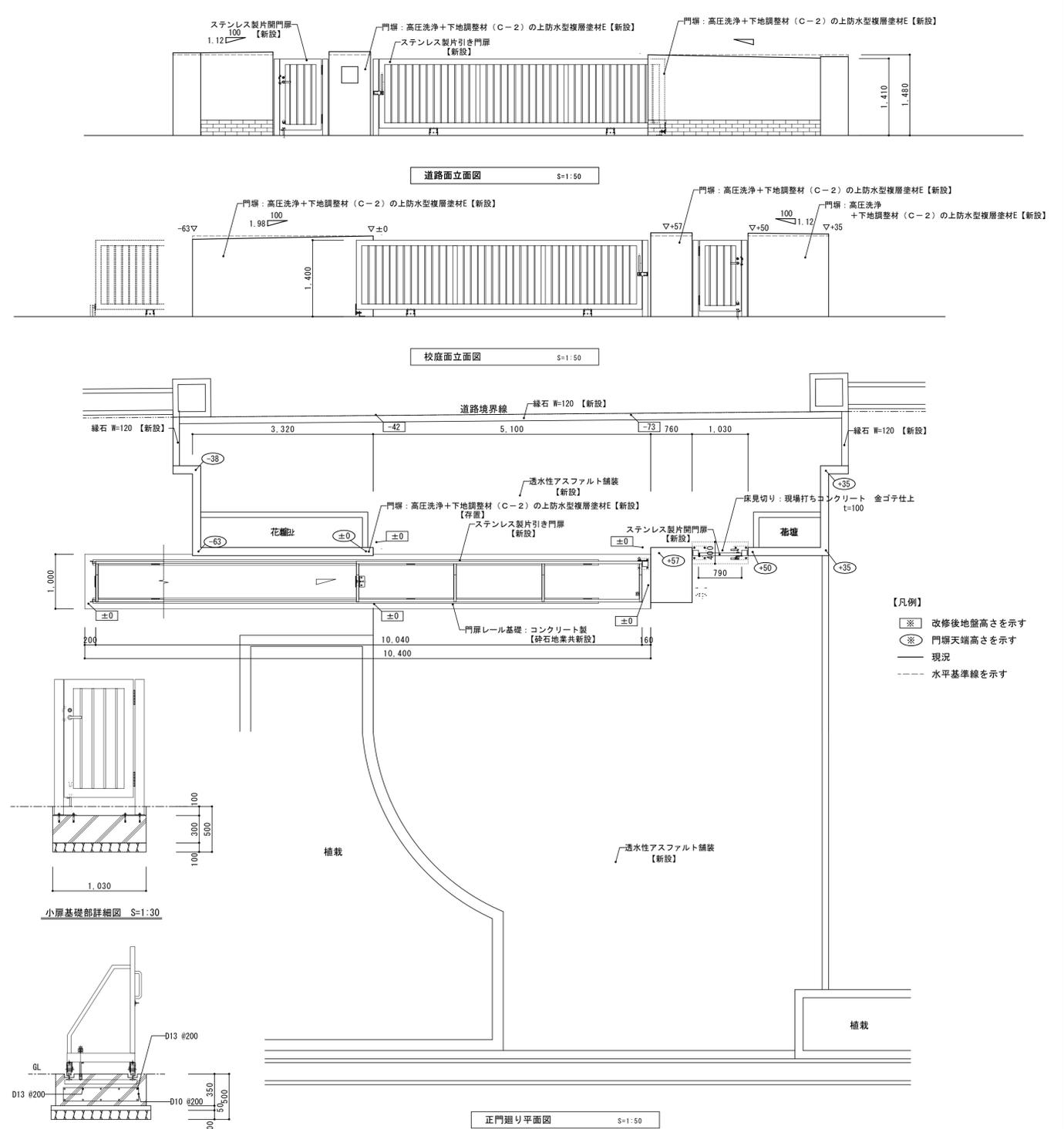
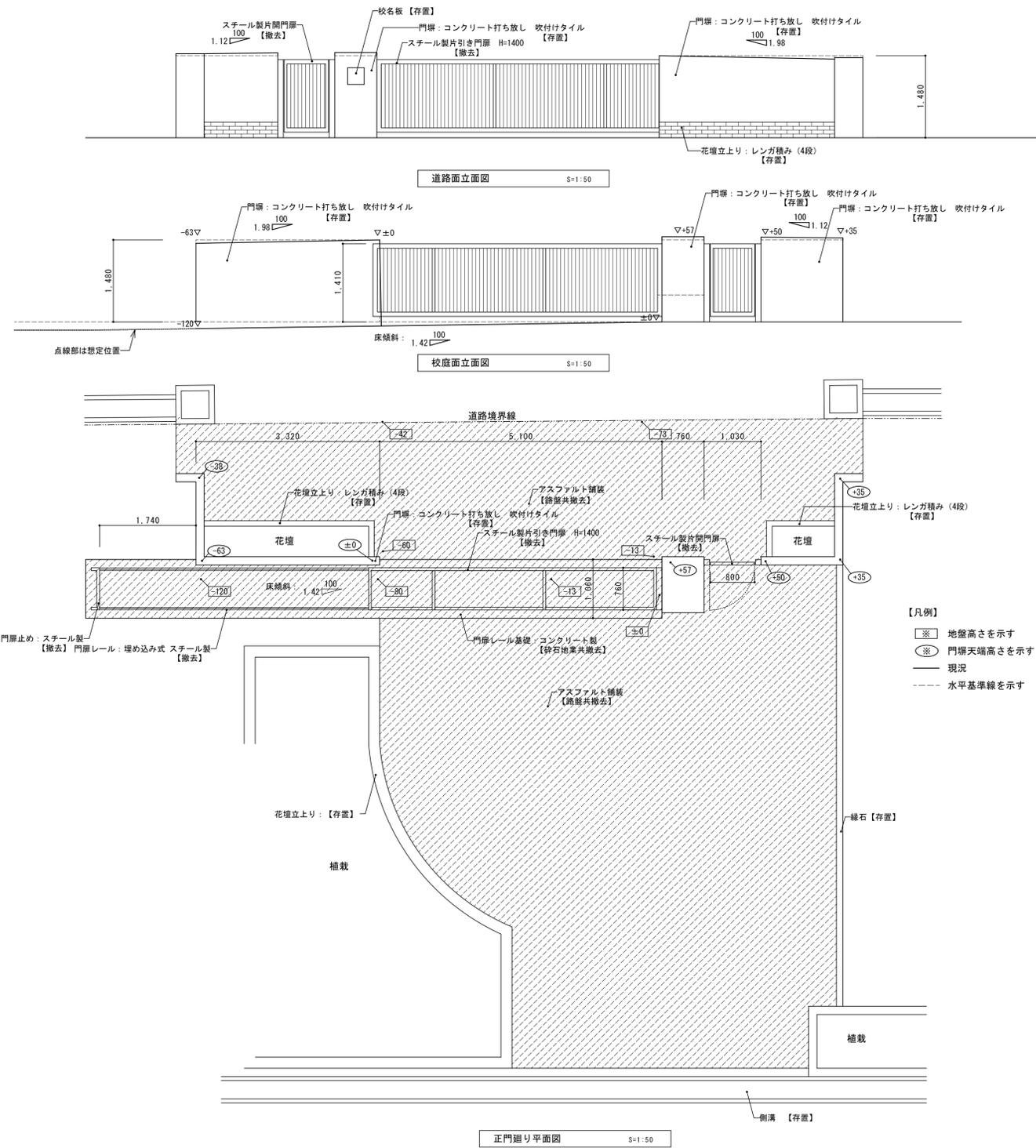

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

図面番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横岡	担当	製図

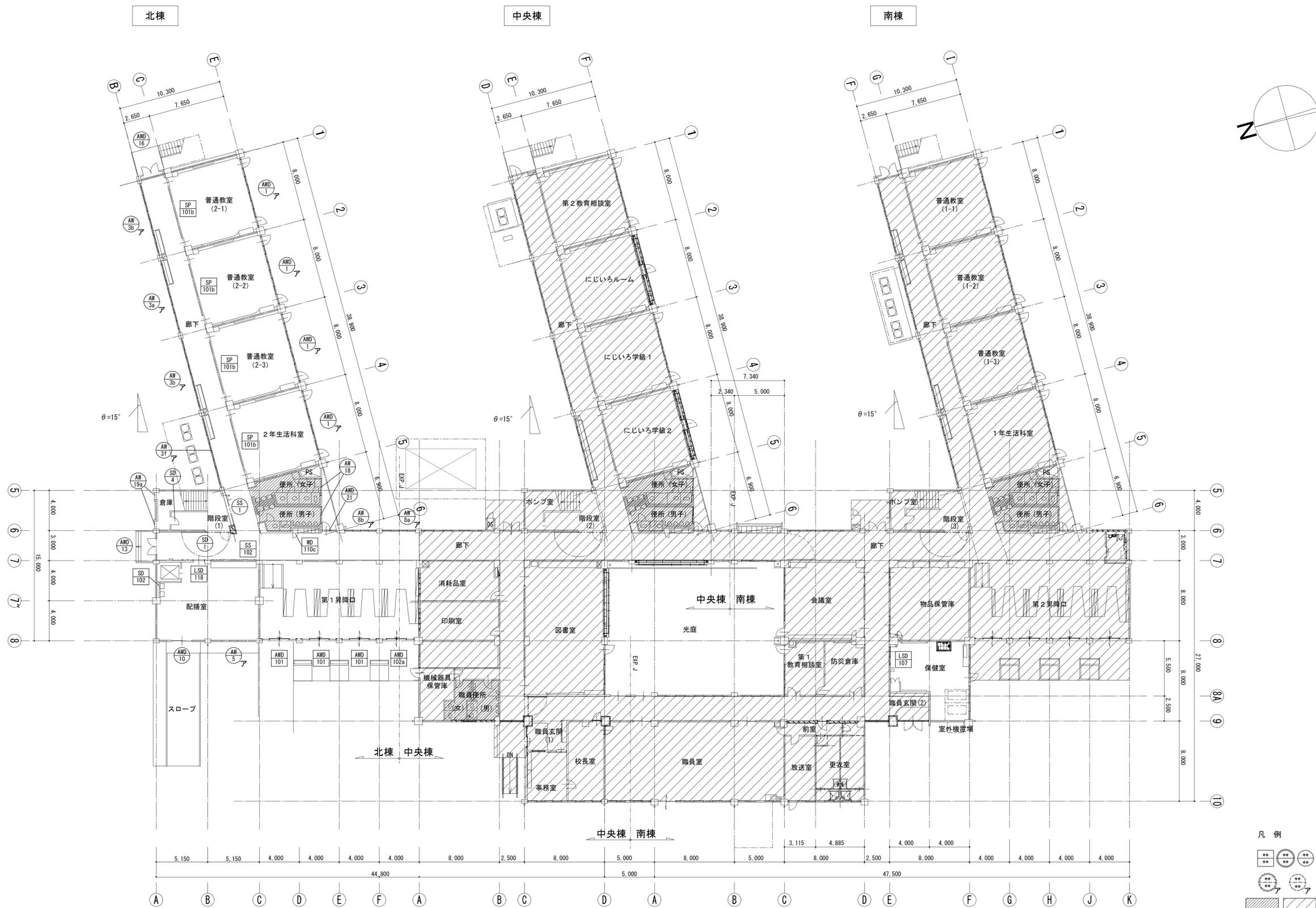
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図
 図面名 外構図(1)

図面種類	A
図面番号	43
縮尺	S=図示(A3版 50%縮小)





《台車式引戸仕様》
 鋼材はステンレス製とし、見え掛り部はヘアライン仕上げとする。
 (打掛金具・取手・落とし棒・全開時ストッパー・レールを除く)
 打掛金具および取手は#400研磨仕上げとする。落とし棒は電解研磨仕上げとする。
 全開時ストッパー、レールはSS400錆止め塗装仕上げとする。
 《小扉仕様》
 ステンレス見え掛り部は、ヘアライン仕上げとする。
 (シリンドー錠・蝶番・落とし棒を除く)
 普通鋼材は、錆止めの塗装仕上げとする。
 落とし棒は電解研磨仕上げとする。
 ※(一社)日本公園施設業協会団体賠償責任保険加入品。



1階平面図 S=1/200

- 凡例
- ** ** ** 建具記号
 - ** ** ** 建具記号右下の「ア」は、網戸新設の建具を示す
 - 改修範囲外を示す



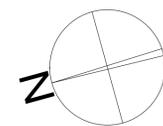
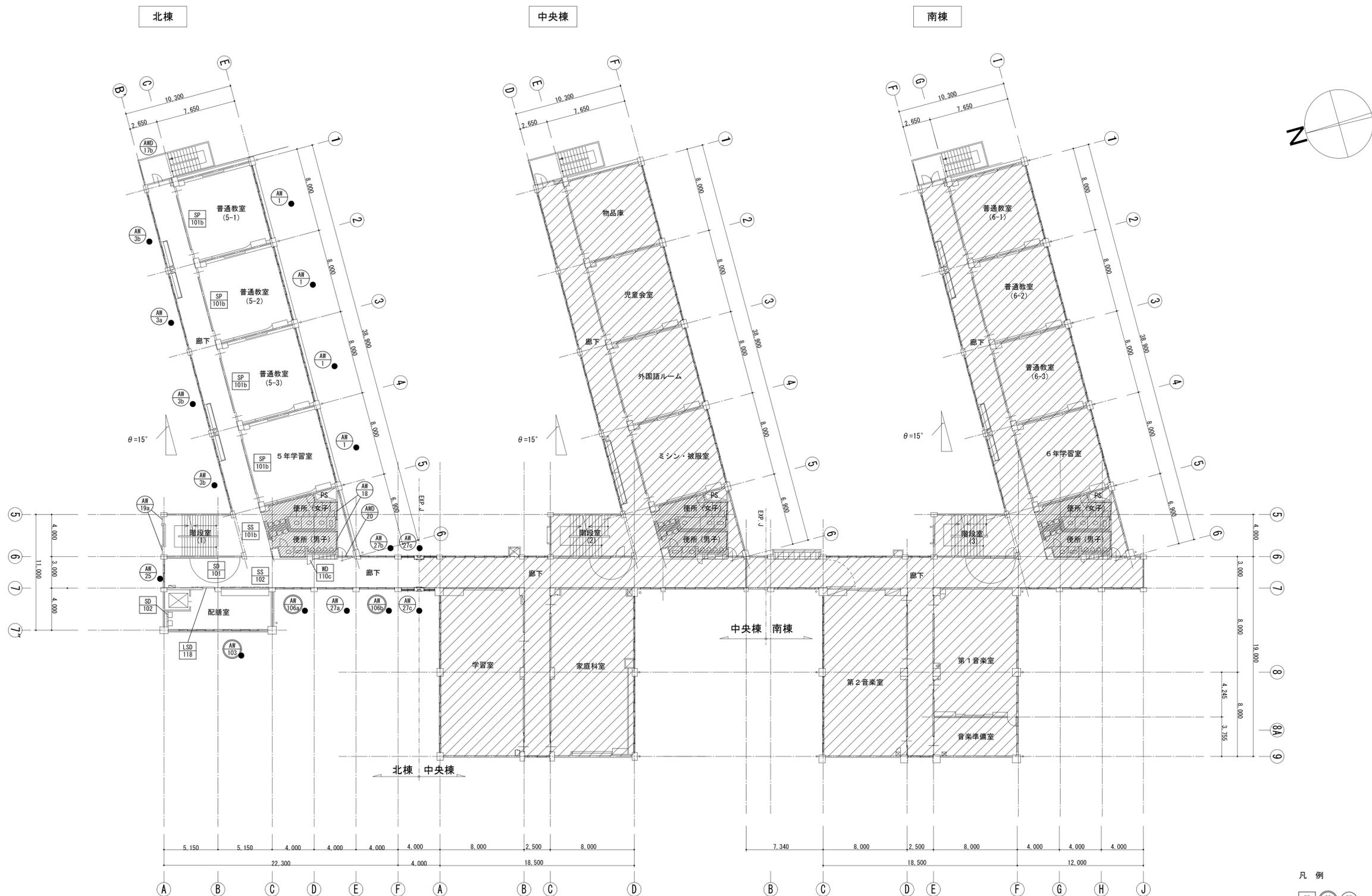
開口制限金物新設数量表
【第3期工事 2階】

建具名	建具数量	箇所/建具	設置数量
AW 1	4	4	16
AW 3a	1	4	4
AW 3b	3	4	12
AW 25	1	1	1
AW 27c	1	2	2
AW 27b	1	4	4
計			39

※外側建具は固定とする。

- 凡例
- 建具記号
 - 建具記号右下の「A」は、網戸新設の建具を示す
 - 建具記号右下の「●」は、開口制限金物新設の建具を示す
 - 改修範囲外を示す

2階平面図 S=1/200



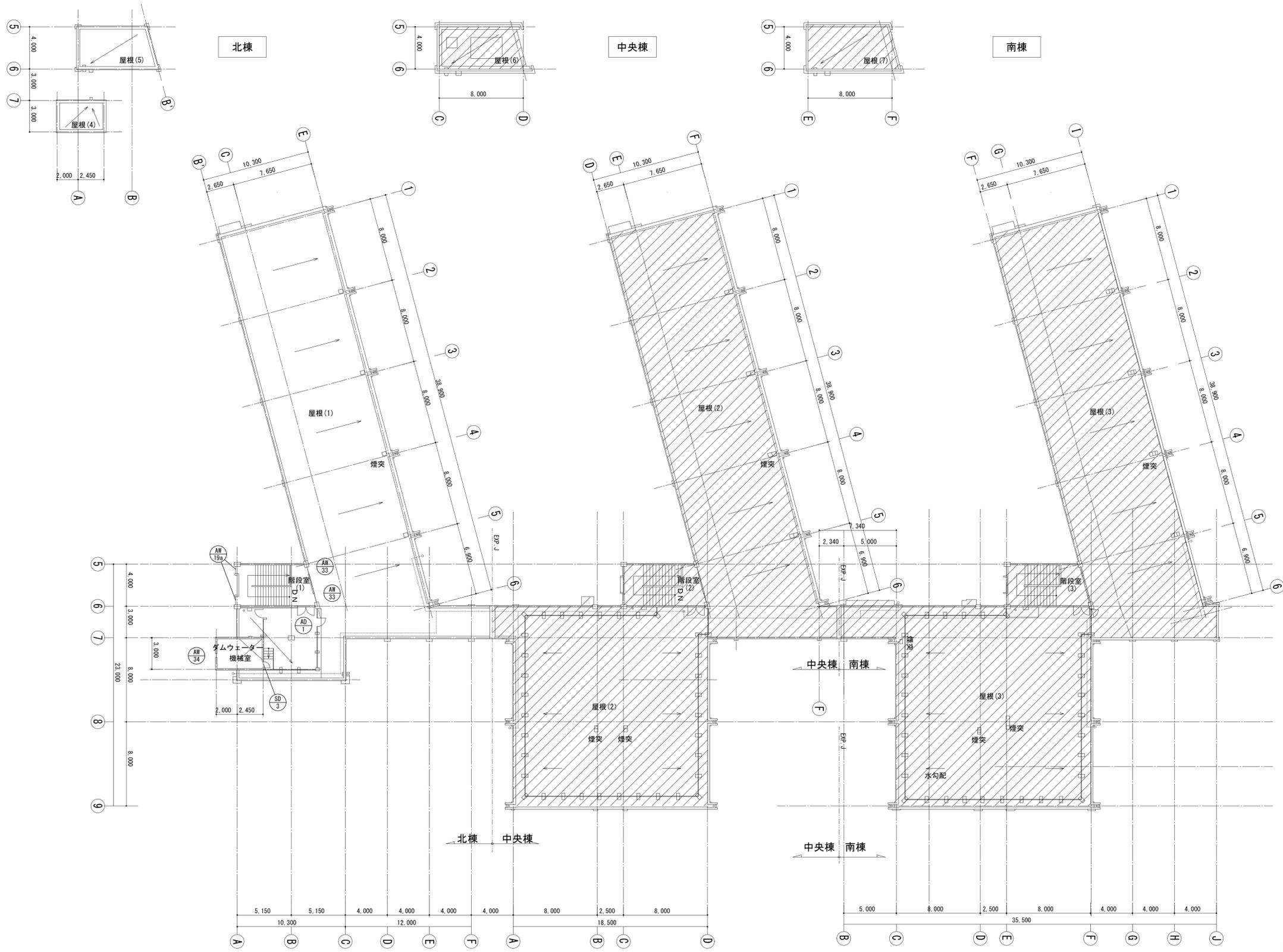
開口制限金物新設数量表
【第3期工事 3階】

建具名	建具数量	箇所/建具	設置数量
AW 1	4	4	16
AW 3a	1	4	4
AW 3b	3	4	12
AW 25	1	1	1
AW 103	1	4	4
AW 106a	1	2	2
AW 106b	1	2	2
AW 27a	1	4	4
AW 27c	2	2	4
AW 27b	1	4	4
計			53

※外側建具は固定とする。

- 凡例
- 建具記号
 - 建具記号右下の「ア」は、網戸新設の建具を示す
 - 建具記号右下の「●」は、開口制限金物新設の建具を示す
 - 改修範囲外を示す

3階平面図 S=1/200



- 凡例
- 建具記号
 - 建具記号右下の「ア」は、網戸新設の建具を示す
 - 改修範囲外を示す

R・PH階平面図 S=1/200


株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横園	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図
 図面名

図面種類	A
図面番号	49
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)

改修前	記号・材料・形式	AWD101 両袖FIX ランマ引違い 引分けドア	AWD102a 両袖FIX ランマ引違い 引分けドア		
	姿図				
	位置・数量	第1昇降口 3	第1昇降口 1		
	仕上・見込	7mm アルミ 70	7mm アルミ 70		
	ガラス	トウメイ t3 (下段:7mmシールド、網入ガラス t6.8)	トウメイ t3 (下段:7mmシールド)		
金物	引手、フロッピング、フラス落し、シリコン錠、附属金物	引手、フロッピング、フラス落し、シリコン錠、附属金物			
備考					
改修後	記号・材料・形式	AWD101 両袖・ランマFIX(外部側) + 引分けハングドア(室内側)	AWD102a 両袖・ランマFIX(外部側) + 引分けハングドア(室内側)		
	姿図				
	位置・数量	第1昇降口 3	第1昇降口 1		
	仕上・見込	7mm アルミ 70+100	7mm アルミ 70+100		
	ガラス	学校用強化ガラス t4	学校用強化ガラス t4		
金物	ハングレール、取手:SUSφ25、シリコン錠、戸先ゴム、戸当り、附属金物	ハングレール、取手:SUSφ25、シリコン錠、戸先ゴム、戸当り、附属金物			
備考					
改修前	記号・材料・形式	SS101b SS101c 煙感連動 防煙防火シャッター(手動式)	SD101 煙感連動 潜戸付自閉式防火戸(180度開閉)	SD102 片開き点検扉	
	姿図				
	位置・数量	階段室(1) SS-101b:1・SS-101c:1	階段室(1) 2	1~3F 配膳室 3	
	仕上・見込	スチール 錆止めの上 EP	スチール EP 扉:40(枠:100)	スチール OP 40	
	金物	SUSガイドレール、座板、シャッターケース:スチール EP、附属金物	オートヒンジ(防火戸用)、ケースハンドル、附属金物	丁番、ロック錠、附属金物	
備考	障害物感知装置、電気式手動閉鎖装置	随時閉鎖式特定防火設備(遮煙)、感知器連動装置			
改修後	記号・材料・形式	SS101b SS101c 煙感連動 防煙防火シャッター(手動式)(レール加工法)	SS102 軽量ワイドシャッター(電動式)	SD101 煙感連動 潜戸付自閉式防火戸(180度開閉)	SD102 片開き点検扉
	姿図				
	位置・数量	階段室(1) SS-101b:1・SS-101c:1	1~3F 配膳室 3	階段室(1) 2	1~3F 配膳室 3
	仕上・見込	スチール 錆止めの上 EP	スチール 錆止めの上 EP	スチール EP 扉:40(枠:100)	スチール EP 40
	金物	SUSガイドレール、座板、シャッターケース:スチール EP、附属金物	SUSガイドレール、座板、附属金物	オートヒンジ(防火戸用)、ケースハンドル、附属金物	丁番、ロック錠、附属金物
備考	障害物感知装置、電気式手動閉鎖装置、特定防火設備(遮煙)	障害物感知装置、錠前(スイッチボックス用)	随時閉鎖式特定防火設備(遮煙)、感知器連動装置		



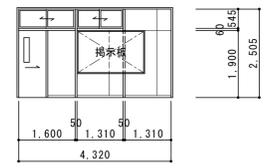
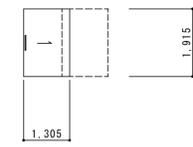
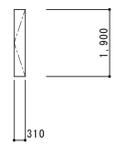
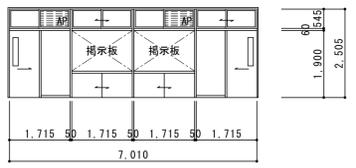
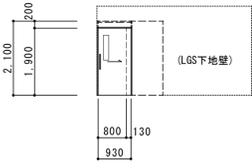
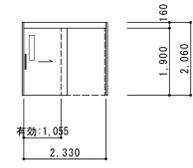
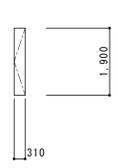
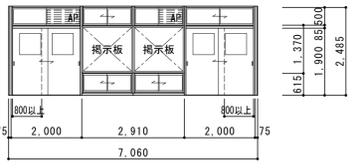
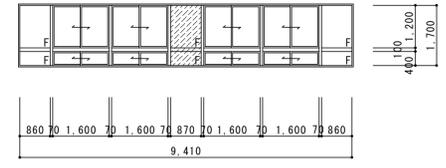
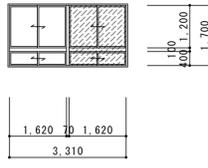
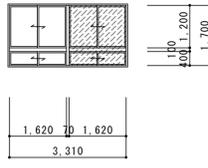
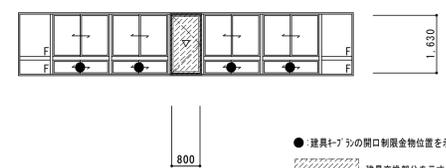
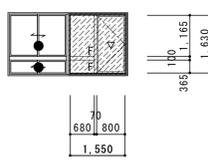
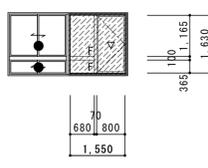
株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号 17-137 設計: 2018年3月
 設計部長 松田 担当 製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】

設計図

図面名	建具表(1) <<AWD・SS・SD>>	図面種別	A
縮尺	S=1:100 (A3版 50%縮小)	図面番号	50

改修前	記号・材料・形式	LSD107 ワン引違い 片引きドア付 木製ハレーション	LSD118 片引きドア	WD110c 片開き扉	SP101b ワン・地窓引違い 片引きドア付 木製ハレーション
	姿図	LSD-101~106 欠番 LSD-108~117 欠番 		WD-101~109 欠番 	
	位置・数量	保健室 1	1~3F 配膳室 3	(1~3F 廊下) 掃除用具入れ 3	普通教室、2年生活科室、4・5年学習室 12
	仕上・見込	木製 OP 120	合板 EP 36	合板 EP(裏面:素地) 27	木製 OP 120
	ガラス	トワイ t3			トワイ t3 (一部 7&Mハ 緑)
金物	戸車、彫込引手、枠締り錠	SUS引き戸レール、取手:SUS、附属金物	丁番、取手、ローレット	戸車、彫込引手、枠締り錠	
備考	掲示板(廊下側 片面)			掲示板(室内側・廊下側 両面)	
改修後	記号・材料・形式	LSD107 片引きハガードア(壁内蔵タイプ)	LSD118 片引きハガードア(外付タイプ)	WD110c 片開き扉	SP101b ワン・地窓引違い 片引きドア付 スチールハレーション
	姿図	LSD-101~106 欠番 LSD-108~117 欠番 		WD-101~109 欠番 	
	位置・数量	保健室 1	1~3F 配膳室 3	(1~3F 廊下) 掃除用具入れ 3	普通教室、2年生活科室、4・5年学習室 12
	仕上・見込	軽量鋼板 焼付(木目近似色) 扉:40(枠:170)	軽量鋼板 焼付 枠:300・扉:40	合板 EP(裏面:素地) 27	垂鉛付軽鋼板 焼付 80
	ガラス	学校用強化ガラス t4	学校用強化ガラス t4		学校用強化ガラス t4 (一部 7&Mハ 緑)
金物	ハガードレール、取手:SUSφ25、引き戸錠、戸先ゴム、戸当り、附属金物	ハガードレール、取手:SUSφ25、引き戸錠、戸先ゴム、戸当り、附属金物	丁番、取手、ローレット	SUS引き戸レール、SUS彫込引手、引き戸錠、戸先ゴム、戸当り、壁面エンドカバー、附属金物	
備考				掲示板(室内側・廊下側 両面):7&M枠、ベニヤ下地 掲示板加工貼(掲示板下不燃間仕切対応仕様)	
改修前	記号・材料・形式	AW103 両袖・中央FIX 2段引違い連窓		AW106a AW106b 2段引違い連窓	
	姿図	AW-101~102 欠番 	AW-104・105 欠番 		
	位置・数量	3F 配膳室 1	3F 廊下 1	AW-106a:1・AW-106b:1	
	仕上・見込	7&M 7&Mナイト 60	7&M 7&Mナイト 60	7&M 7&Mナイト 60	
	ガラス	トワイ t3	トワイ t3	トワイ t3	
金物	附属金物	附属金物	附属金物		
備考			※106bは、左右反転		
改修後	記号・材料・形式	AW103 両袖・中央FIX 2段引違い連窓+片開き窓(カハ-工法)		AW106a AW106b 2段引違い連窓+片開き窓(カハ-工法)	
	姿図	AW-101~102 欠番 	AW-104・105 欠番 		
	位置・数量	3F 配膳室 1	3F 廊下 1	AW-106a:1・AW-106b:1	
	仕上・見込	新設サッシ:7&M 7&Mナイト 70	新設サッシ:7&M 7&Mナイト 70	新設サッシ:7&M 7&Mナイト 70	
	ガラス	新設サッシ:学校用強化ガラス t4、既存サッシ:学校用強化ガラス t4	新設サッシ:学校用強化ガラス t4、既存サッシ:学校用強化ガラス t4	新設サッシ:学校用強化ガラス t4、既存サッシ:学校用強化ガラス t4	
金物	新設サッシ:附属金物、既存サッシ:戸車・クレットの交換	新設サッシ:附属金物、既存サッシ:戸車・クレットの交換	新設サッシ:附属金物、既存サッシ:戸車・クレットの交換		
備考	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ハドルのみ)	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ハドルのみ)	新設サッシ:非常用進入口に代わる開口部(外部ハドルのみ)		

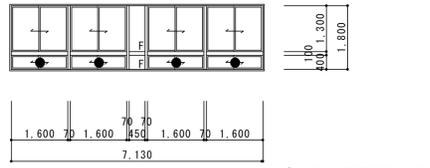
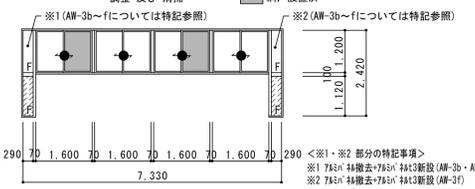
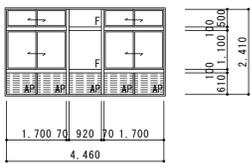
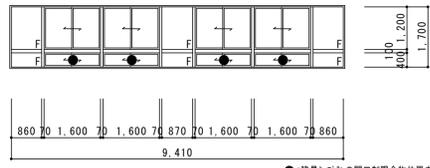
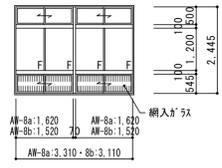
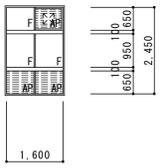
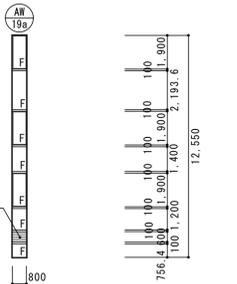
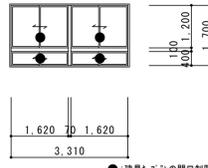
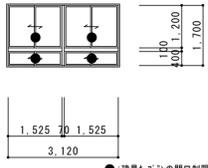
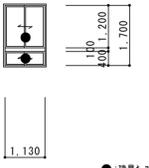
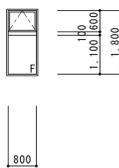
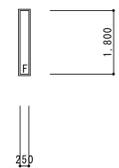
図面名	建具表(2) <<LSD・WD・SP・AW>>
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:100(A3版 50%縮小)

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

設計者: 松園 担当: 松園
 17-137 2018年3月

図面名	建具表(2) <<LSD・WD・SP・AW>>
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:100(A3版 50%縮小)

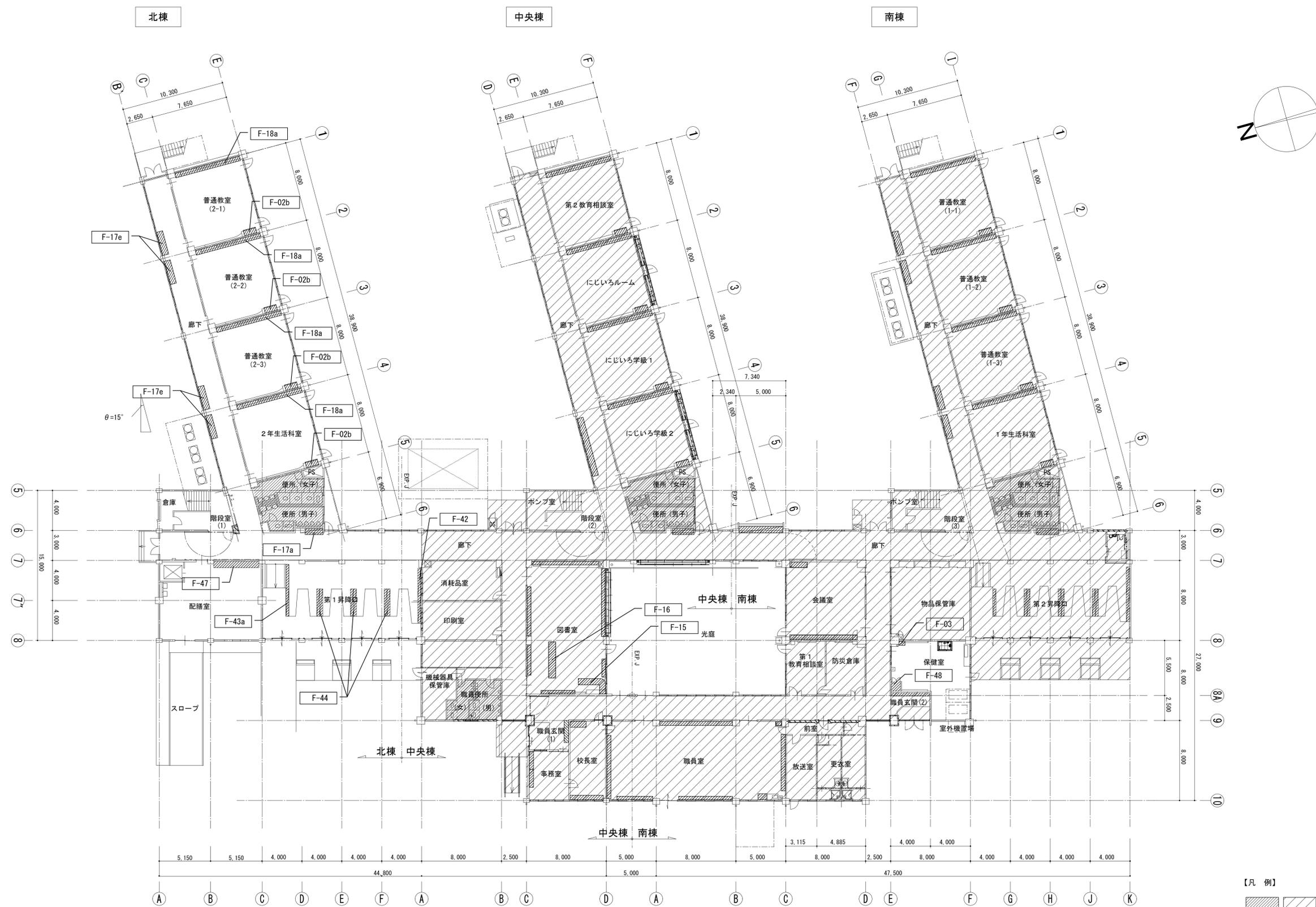
図面名	建具表(2) <<LSD・WD・SP・AW>>
図面種別	A
図面番号	
縮尺	S=1:100(A3版 50%縮小)

<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-1 中央FIX 左右2段引違い連窓</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・戸車とクレットの交換 ・調整 及び 清掃  <p>AW-2 欠番</p>	<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-3a AW-3b AW-3f 両袖FIX 引違い連窓</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・網入ガラス t6.8 を、7&#228;n 枠 t3 に交換する(図中の斜線部分) ・戸車とクレットの交換 ・網戸(レール共)の新設(2&#228;所) ※網戸設置建具は建具トブラ参照 ・調整 及び 清掃  <p>AW-4 欠番</p>	<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-5 中央・腰FIX 左右2段引違い窓</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・7&#228;n 枠部分のガラス t4 へ交換 ・戸車とクレットの交換 ・網戸(レール共)の新設 ・調整 及び 清掃  <p>1F 配膳室 1</p> <p>(既存:7&#228;m 7&#228;マイト) 60</p> <p>(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存 腰部分:7&#228;n 枠) ガラス t4 へ交換 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換、網戸(レール共)の新設</p>	
<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-6 両袖・中央FIX 2段引違い連窓</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・戸車とクレットの交換 ・調整 及び 清掃  <p>AW-7 欠番</p>	<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-8a AW-8b 上下引違い FIX連窓</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・網入ガラス t6.8 部分をガラス t4 へ交換 ・戸車とクレットの交換 ・網戸(レール共)の新設 ・調整 及び 清掃  <p>AW-9~17 欠番</p>	<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-18 3段FIX窓</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整 及び 清掃  <p>1F 廊下 AW-8a:1・AW-8b:1 60</p> <p>(既存:7&#228;m 7&#228;マイト) 60</p> <p>(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存 腰部分:網入トワイガラス t6.8) 既存ガラス利用部分 ガラス t4 へ交換 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換、網戸(レール共)の新設</p> <p>2F 配膳室 1</p> <p>(既存:7&#228;m 7&#228;マイト) 60</p> <p>(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存 腰部分:附属金物) 戸車・クレットの交換</p>	
<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-19a 横軸回転窓+FIX窓+ガラリ</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガラス t4 へ交換 ・調整 及び 清掃  <p>AW-20~24 欠番</p>	<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-25 両袖・腰FIX 2段引違い窓</p>	<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-26 2段引違い連窓</p>	<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-27a AW-27b AW-27c 2段引違い連窓</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整 及び 清掃  <p>2、3F 廊下 2</p> <p>(既存:7&#228;m 7&#228;マイト) 60</p> <p>(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 へ交換 (既存 腰部分:7&#228;n 枠) 既存7&#228;n 枠利用部分 ガラス t4 へ交換 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p>  <p>2、3F 廊下 4</p> <p>(既存:7&#228;m 7&#228;マイト) 60</p> <p>(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 へ交換 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p>  <p>2、3F 廊下 2</p> <p>(既存:7&#228;m 7&#228;マイト) 60</p> <p>(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 へ交換 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p> <p>2、3F 廊下 4</p> <p>(既存:7&#228;m 7&#228;マイト) 70</p> <p>(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 へ交換 (既存:附属金物) 戸車・クレットの交換</p> <p>(既存:学校用強化ガラス t4) (既存:附属金物)</p>	
<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-27d~32 上部突出しFIX窓</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トワイ t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・クレットの交換 ・調整 及び 清掃  <p>AW-27d~32 欠番</p>	<p>記号・材料・形式</p> <p>AW-34 2段FIX連窓</p>	<p>改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整 及び 清掃  <p>RF 階段室 2</p> <p>(既存:7&#228;m 7&#228;マイト) 70</p> <p>(既存:トワイ t3) 学校用強化ガラス t4 へ交換 (既存:附属金物) クレットの交換</p> <p>ガムロータ機械室 1</p> <p>(既存:7&#228;m 7&#228;マイト) 60</p> <p>(既存:網入トワイガラス t6.8) (既存:附属金物)</p>			
<p>株式会社 松下設計</p> <p>一級建築士事務所 登録(11) 183</p> <p>埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103</p> <p>管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)</p>			<p>委任番号 17-137</p> <p>設計部長 松田 裕</p>	<p>目的 2018年3月</p> <p>担当 松田 裕</p> <p>製図 松田 裕</p>	<p>市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】</p> <p>設計図</p>	<p>図面名 建具表(3) <<AW>></p> <p>図面種類 A</p> <p>図面番号</p> <p>縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小)</p> <p>52</p>

記号・材料・形式	AMD1 両袖ランマ付片開きド7	AMD10 両袖FIX ランマ付引分けド7	AMD15 両袖FIX ランマ付両開きド7
改修内容	・枠材 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・7&8 枠部分のガラス t1 交換 ・戸車とクレットの交換 ・網戸(レール共)の新設 ・調整 及び 清掃	・枠材 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・7&8 枠部分のガラス t3 (設備開口加工)新設(図中の斜線部分) ・腰部分7&8 枠のガラス t1 交換 ・戸車とクレットの交換 ・調整 及び 清掃	・枠材 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・7&8 枠部分のガラス t1 交換 ・錠前の交換 ・調整 及び 清掃
位置・数量	普通教室、2年生活科 4	1F 配膳室 1	1F 廊下 1
仕上・見込	(既存:7&8 7&8) 60	(既存:7&8 7&8) 100	(既存:7&8 7&8) 70
ガラス	(既存:枠材 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存 腰部分:7&8 枠) 既存7&8 枠利用部分 ガラス t1 交換	(既存:枠材 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存 腰部分:7&8 枠) 既存7&8 枠利用部分 ガラス t1 交換	(既存:枠材 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存 腰部分:7&8 枠) 既存7&8 枠利用部分 ガラス t1 交換
金物	(既存:附属金物) 戸車・クレットの交換、網戸(レール共)の新設	(既存:附属金物) 戸車・クレットの交換	(既存:附属金物) 錠前の交換
備考			

記号・材料・形式	AMD16 ランマ付両開きド7	AMD17a AMD17b 両袖FIX ランマ付片開きド7	AMD20 AMD21 袖FIX ランマ付片開きド7	AD1 額入両開きド7
改修内容	・枠材 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・7&8 枠部分のガラス t1 交換 ・錠前の交換 ・調整 及び 清掃	・枠材 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・腰部分の枠材 t3 t6.8 又は 7&8 枠部分のガラス t1 交換 ・錠前の交換 ・調整 及び 清掃	・枠材 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・額入枠材 t3 t6.8 部分のガラス t1 交換 ・錠前の交換 ・調整 及び 清掃	・枠材 t3 撤去の上 学校用強化ガラス t4 新設 ・錠前の交換 ・調整 及び 清掃
位置・数量	1F 廊下 1	2、3F 廊下 AWD-17a:1・AWD-17b:1	1~3F 廊下 AWD-20:2・AWD-21:1	階段室(1) 1
仕上・見込	(既存:7&8 7&8) 70	(既存:7&8 7&8) 70	(既存:7&8 7&8) 70	(既存:7&8 7&8) 60
ガラス	(既存:枠材 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存 腰部分:7&8 枠) 既存7&8 枠利用部分 ガラス t1 交換	(既存:枠材 t3・額入枠材 t3 t6.8) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存 腰部分:額入枠材 t3・7&8 枠) 既存利用部分 ガラス t1 交換	(既存:枠材 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存 腰部分:額入枠材 t3 t6.8) 既存7&8 枠利用部分 ガラス t1 交換	(既存:枠材 t3) 学校用強化ガラス t4 に交換 (既存:附属金物) 錠前の交換
金物	(既存:附属金物) 錠前の交換	(既存:附属金物) 錠前の交換	(既存:附属金物) 錠前の交換	(既存:附属金物) 錠前の交換
備考				

記号・材料・形式	SS1 煙感連動 防煙防火シャッター(手動式)	SD1 煙感連動 潜戸付自閉式防火戸(180度開閉)	SD2 欠番	SD3 ガリ付片開きド7	SD4 片開きアングルド7
改修内容	・調整 及び 清掃	・調整 及び 清掃		・扉及び枠 DP塗替 ・調整	・扉及び枠 EP塗替 ・調整
位置・数量	階段室(1) 1	階段室(1) 1		ダムクーラー機械室 1	(階段下)倉庫 1
仕上・見込	スチール 錆止めの上 OP	スチール OP 扉:40(枠:100)		スチール OP 扉:40(枠:66)	スチール OP 扉:40(枠:100)
ガラス					
金物	SUSカーイドレール、座板、シャッターケース:スチール OP、附属金物	オートロック(防火戸用)、ケースノット、附属金物		丁番、握り玉、シリンダ錠、附属金物	丁番、握り玉、シリンダ錠、附属金物
備考	障害物感知装置、電気式手動閉鎖装置				



1階平面図 S=1/200

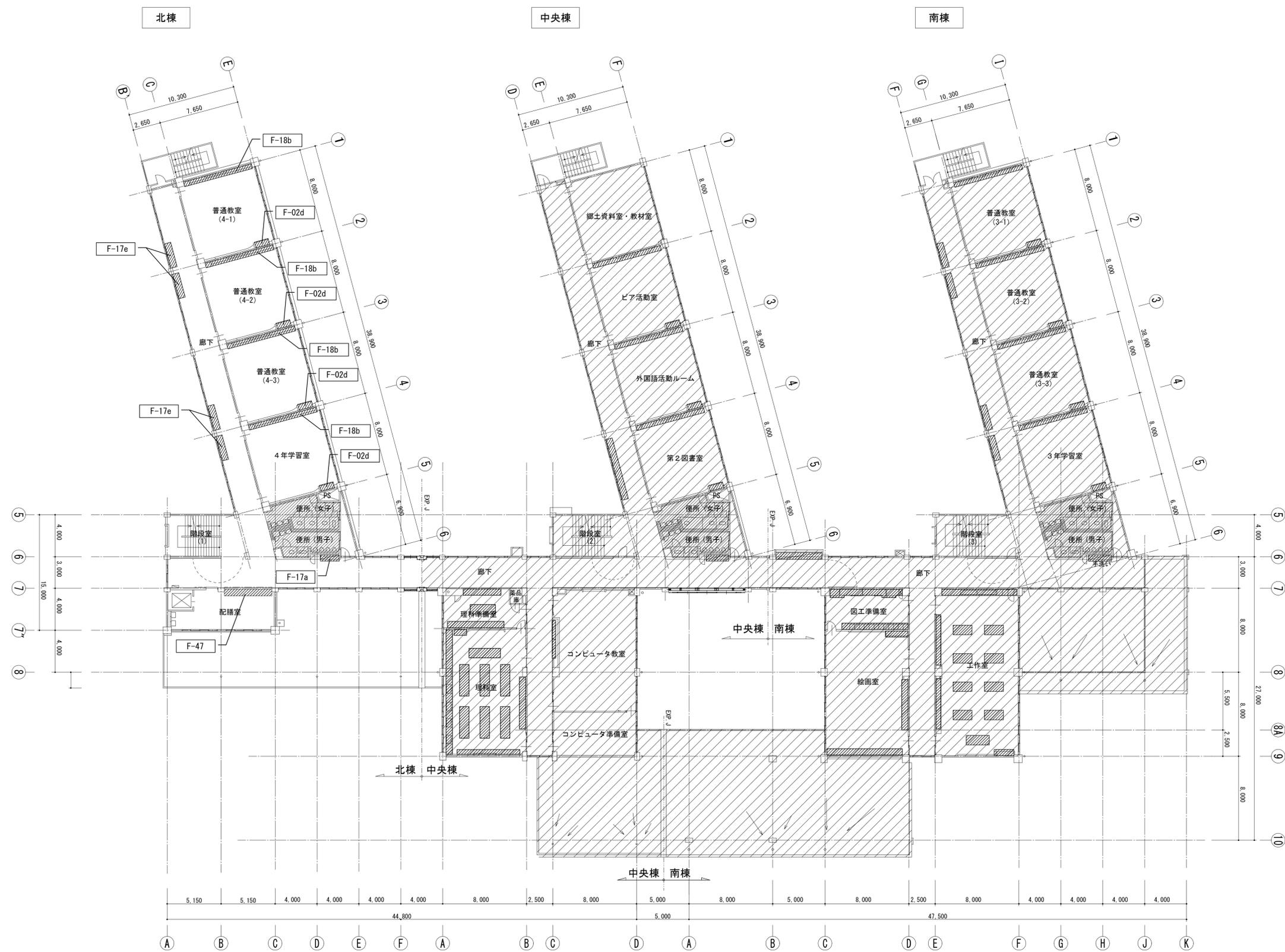
【凡例】
 改修範囲外を示す

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横園	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

図面名	家具キープラン 1階平面図	図面種別	A
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号	54



【凡例】
 改修範囲外を示す

2階平面図 S=1/200

 株式会社 松下設計 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)	委託番号 17-137 設計部長 松園 担当 製図	目的 2018年3月	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】	図面名 家具キープラン 2階平面図	図面種類 A
	設計部 松園	図面番号 55	縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)		



【凡例】
 改修範囲外を示す

3階平面図 S=1/200

 株式会社 松下設計 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103 管理建築士 松下充孝 (一級建築士登録 59420)	委託番号 17-137 設計部長 横園 担当 製図	目的 2018年3月	図面名 家具キープラン 3階平面図 縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面種類 A 図面番号 56
	市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図			

共通仕様

造作家具 共通仕様 「特記なき場合は下記仕様とする」

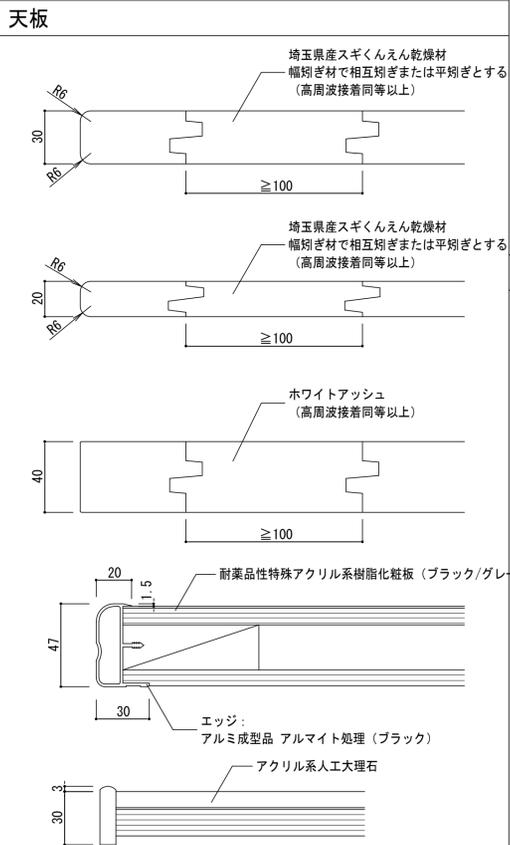
A仕様	
天板	家具図表記とする。
本体・主材	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
扉・引違戸	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料） 框組 扉にガラスが入る時は透明強化ガラス t4mmとする
引手	国産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
棚板	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
側板	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
背板	ポリエステル化粧板
地板	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
支輪・台輪	埼玉県産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
塗装	UC：ウレタン塗装仕上げF☆☆☆☆
接着剤	※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとす。

B仕様	
天板	家具図表記とする。
本体・主材	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
扉・引違戸	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り 扉にガラスが入る時は透明強化ガラス t4mmとする
引手	国産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
棚板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
側板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
背板	ポリエステル化粧板
地板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
台輪	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
接着剤	※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとす。

C仕様	
天板	家具図表記とする。
本体・主材	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
扉・引違戸	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り 扉にガラスが入る時は透明強化ガラス t4mmとする
引手	国産スギくんえん乾燥材（特一等材料）
棚板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
側板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
背板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
地板	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
台輪	ポリエステル化粧板 木口：同色樹脂テープ貼り
接着剤	※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとす。

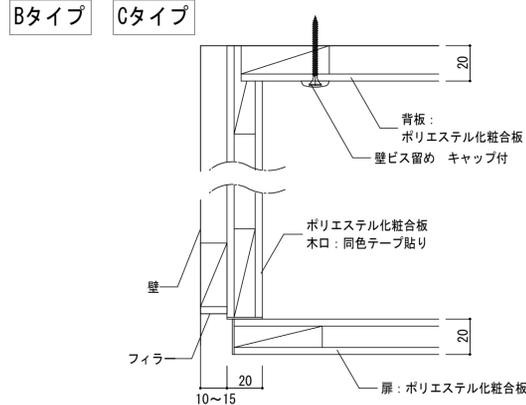
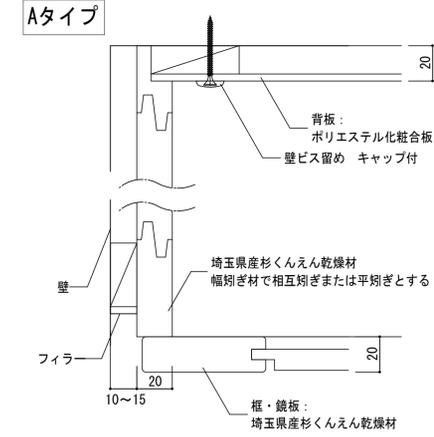
D仕様	
家具図表記とする。	

※ 施工前に家具施工図を作成し監督者に提出、承認を受けた後、製作、施工すること。
 ※ 埼玉県産スギくんえん乾燥材の出荷証明書等は施工前に監督者に提出する。
 ※ 製作については品質確保のためISO9001認定取得の国内工場とする。
 ※ 造作家具の埼玉県産スギ材については、以下の条件を満たすものとする。
 ※ 生木製材からロット番号管理を行い、含水率の推移を記録した乾燥履歴を保管すること。
 ※ 乾燥工程では、全乾重量法に基づいた含水率計測を行うこと。
 ※ 抜けそうな節（抜け節）はあらかじめ除去し、無垢材によって埋め木処理を行うこと。
 ※ 写真で工程を説明できる資料と、埋め木材と乾燥材のサンプルを速やかに提出できること。
 ※ 乾燥工程は品質確保のため、以下の要領によって行われていること。
 ・約40～50℃の中低温のくんえん乾燥にて予備乾燥を行う。
 ・次に約65℃前後で蒸気乾燥炉にて約一週間温度調整し、含水率を10%前後にする。
 ・湿度調整後に養生期間を設けて含水率を12%程度まで戻した後、含水率を保持するためビニールで梱包する。
 ・くんえん乾燥には天然木を乾燥させて発生させた煙を利用すること。
 ※ メーカー選定の際には、仕様通りの実物サンプルを提出し、監督者承認後決定とする。

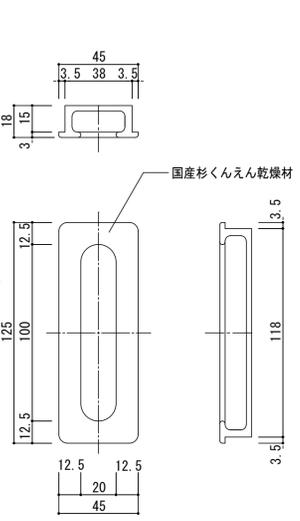


本体

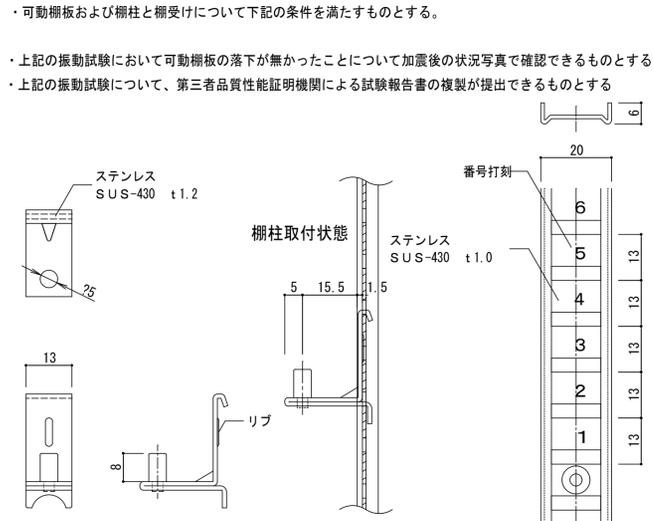
※ 本体各部材の接合に関しては、いたずら防止と強度確保のため、部外者が安易に外せるロックダウン金物の使用は禁止とする。
 ※ 造作家具は危険防止の為、床または壁面に取付・固定すること。
 ※ 本体は、フィラー、支輪の現場加工取付込みとする。



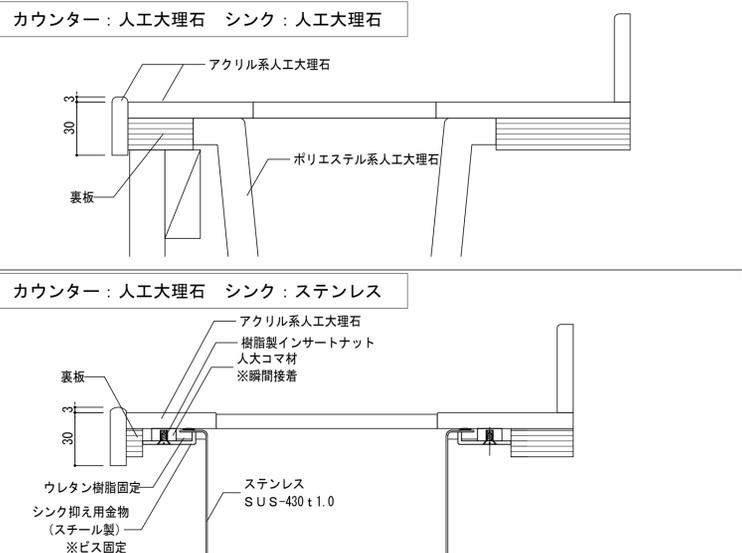
掘り込み引手



ステンレス製耐震棚受・棚柱



水まわり カウンター仕様・形状

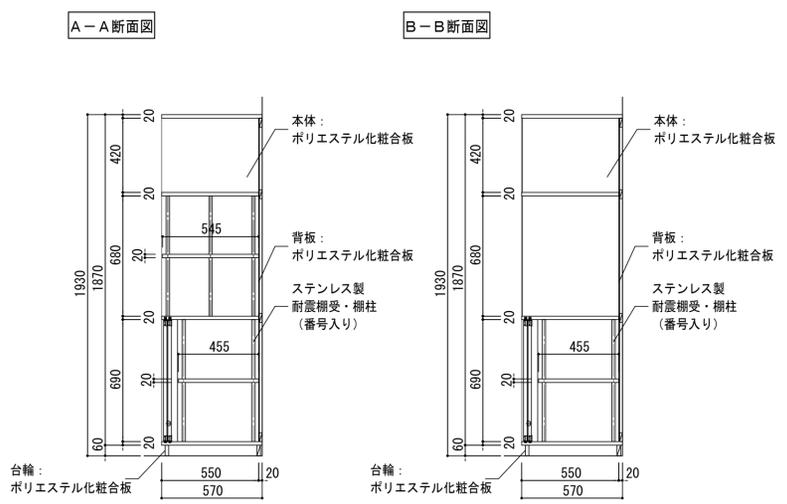
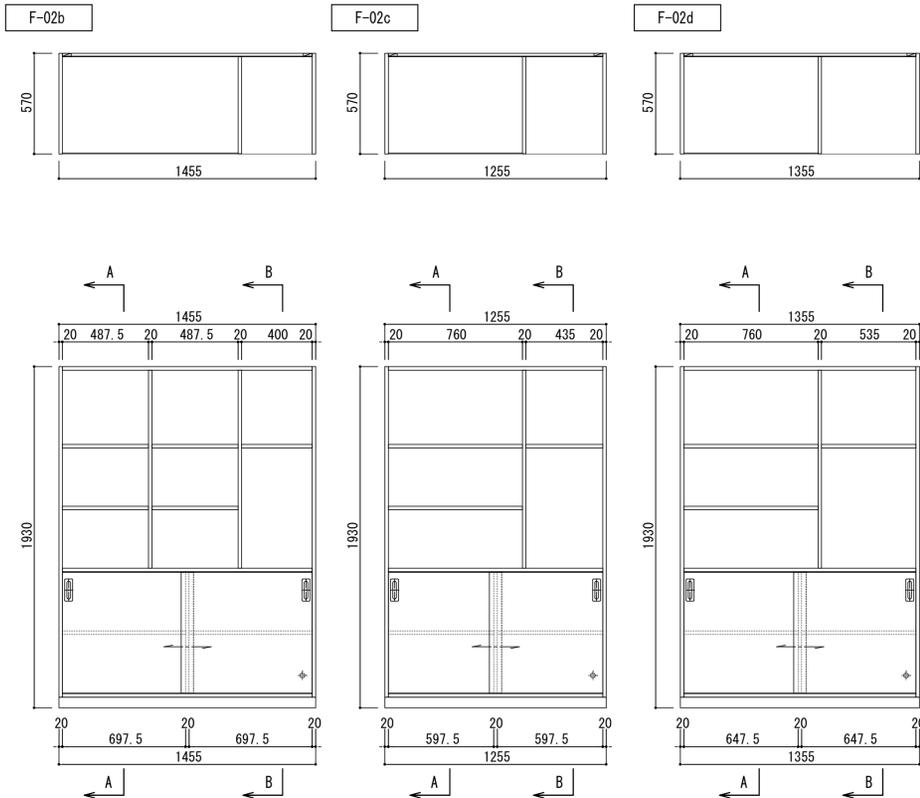


株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 登録 (11) 183
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	検 園	担当	製 園

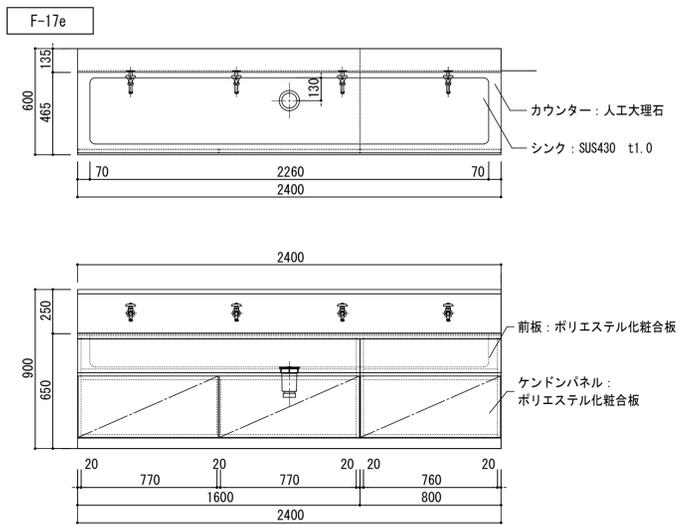
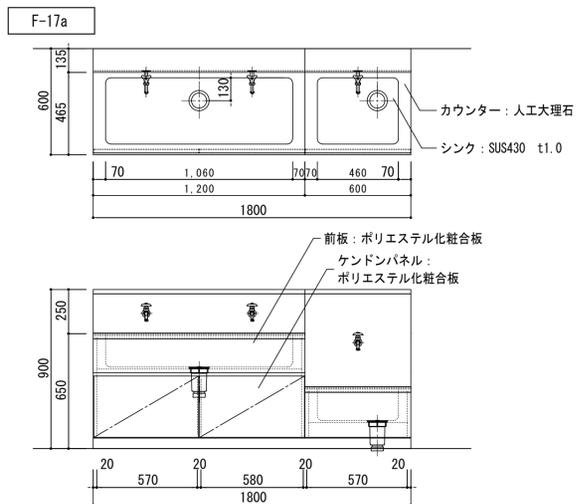
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

図面名	特記仕様書・家具図(1)	図面種別	A
縮尺	S=1:20(A3版 50%縮小)	図面番号	57



家具番号	室名	カ所数	
F-02b	北棟 1階	普通教室 (2-1)	1
		普通教室 (2-2)	1
		普通教室 (2-3)	1
		2年生活科室	1
F-02c	北棟 3階	普通教室 (5-1)	1
		普通教室 (5-2)	1
		普通教室 (5-3)	1
		5年学習室	1
F-02d	北棟 2階	普通教室 (4-1)	1
		普通教室 (4-2)	1
		普通教室 (4-3)	1
		4年学習室	1
合計		12	

共通事項: 背板コンセント用開口2カ所 (位置は電気設備と調整を行う事)

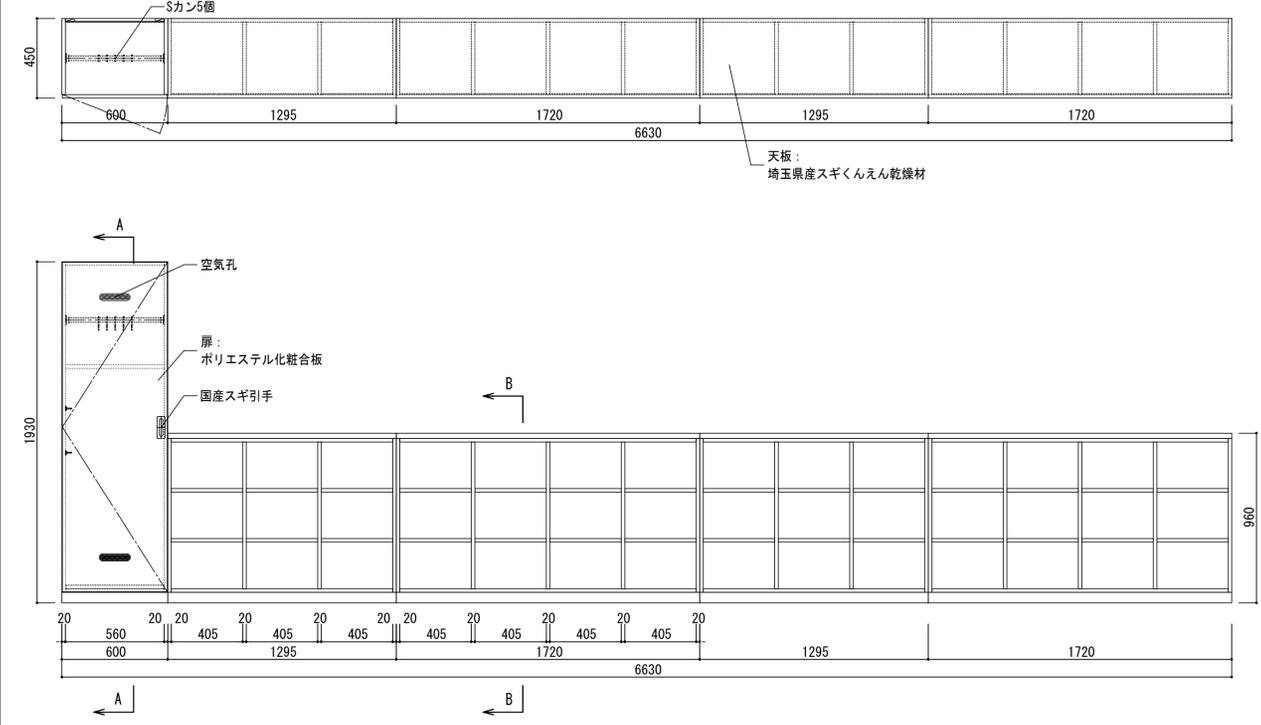


家具番号	室名	カ所数
F-17a	北棟 1階 廊下	1
	北棟 2階 廊下	1
	北棟 3階 廊下	1
F-17e	北棟 1階 普通教室前廊下	4
	北棟 2階 普通教室前廊下	4
	北棟 3階 普通教室前廊下	4
合計		15

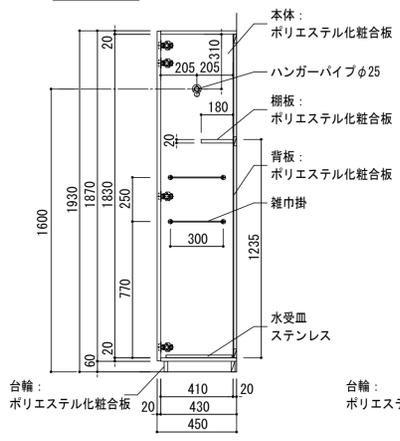
水栓金具・排水トラップ・シール及び接続配管等は家具工事外

家具番号	室名	カ所数
F-18a	普通教室 (2-1)	1
	普通教室 (2-2)	1
	普通教室 (2-3)	1
	2年生活科室	1
F-18b	普通教室 (4-1)	1
	普通教室 (4-2)	1
	普通教室 (4-3)	1
	4年学習室	1
F-18c	普通教室 (5-1)	1
	普通教室 (5-2)	1
	普通教室 (5-3)	1
	5年学習室	1
合計		12

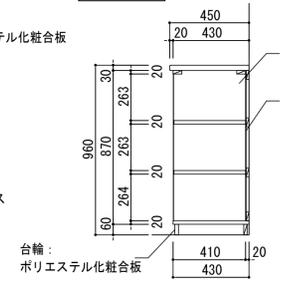
F-18a



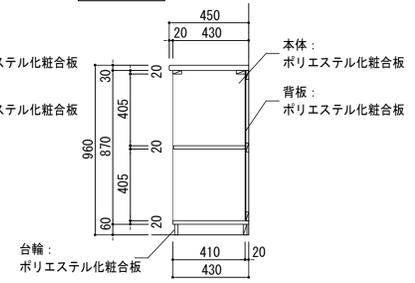
A-A断面図



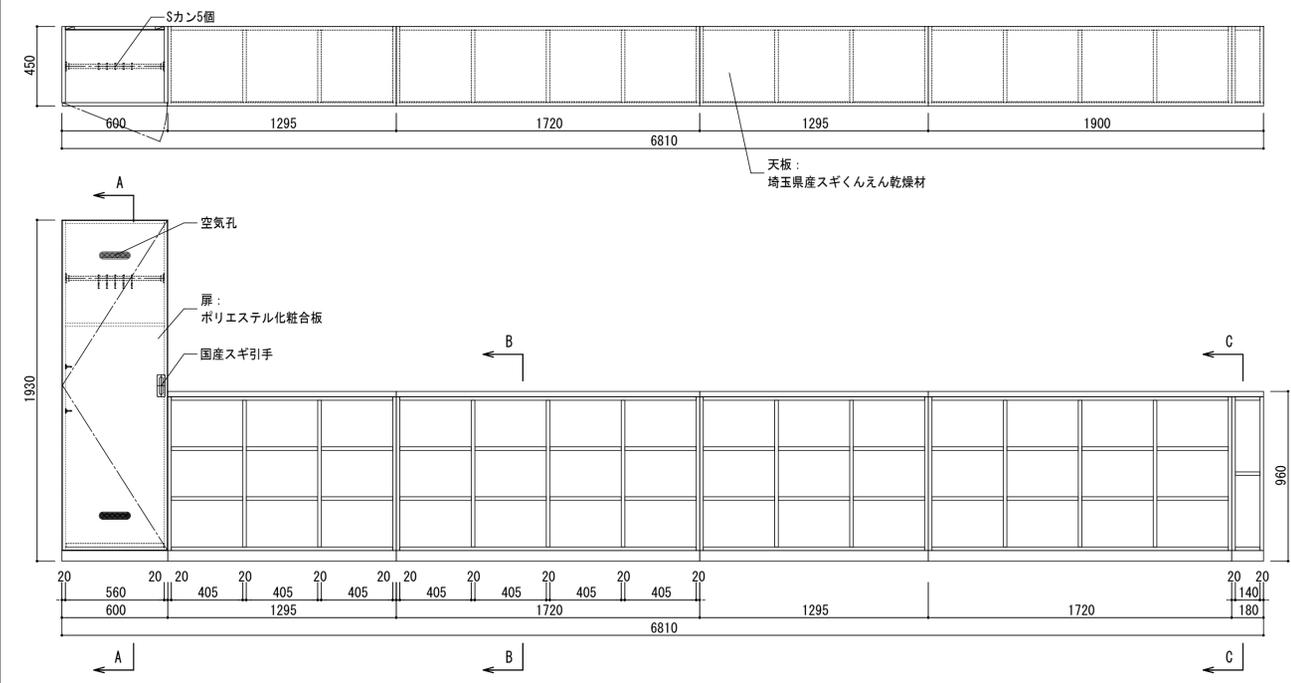
B-B断面図



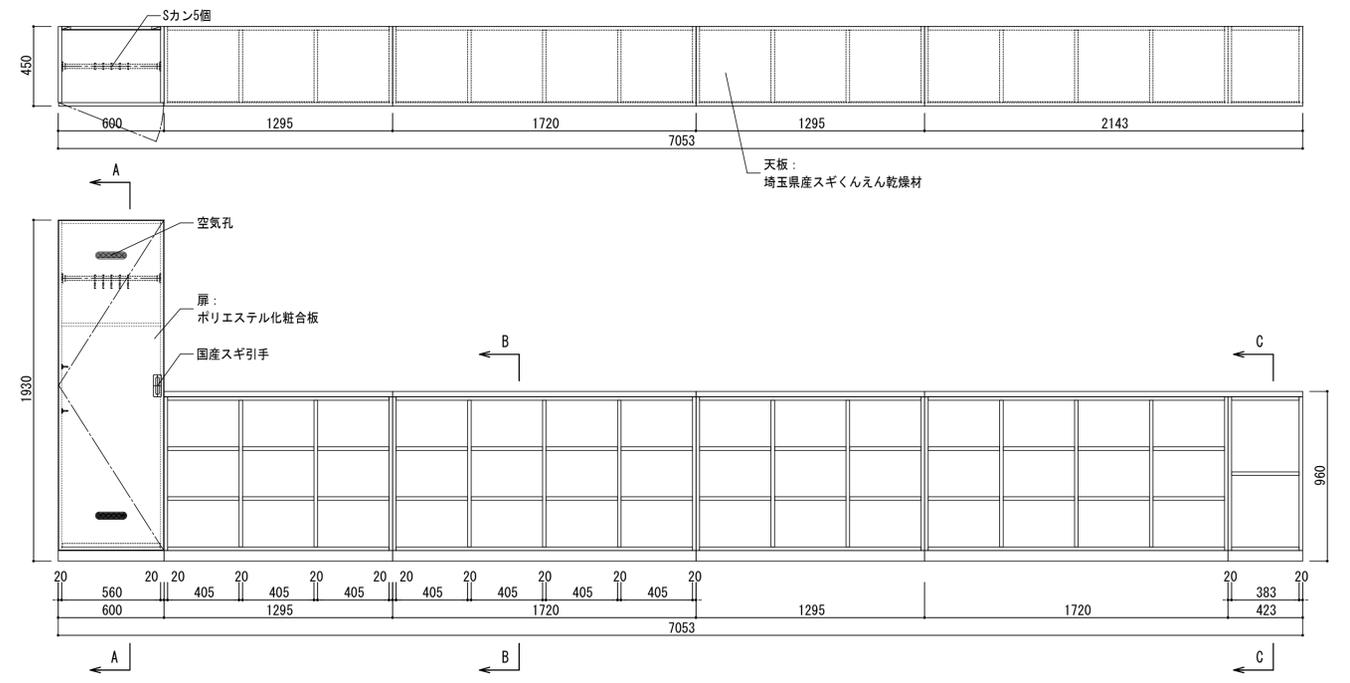
C-C断面図

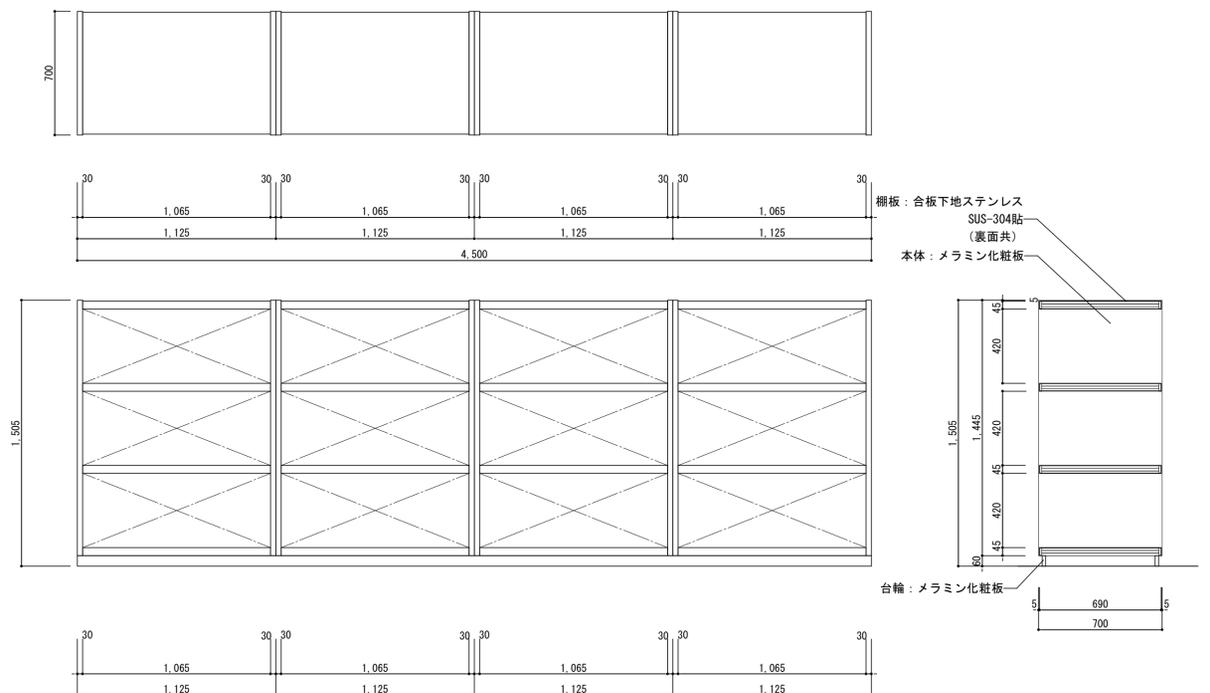
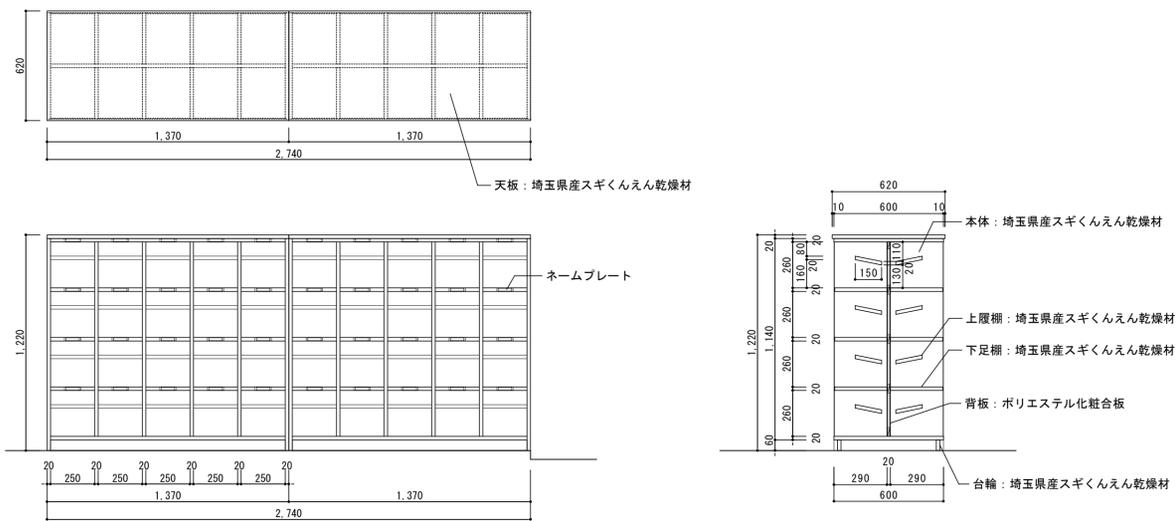
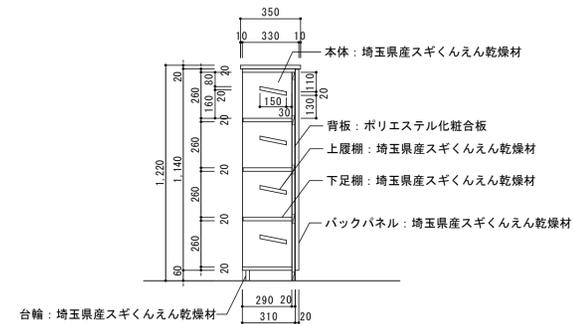
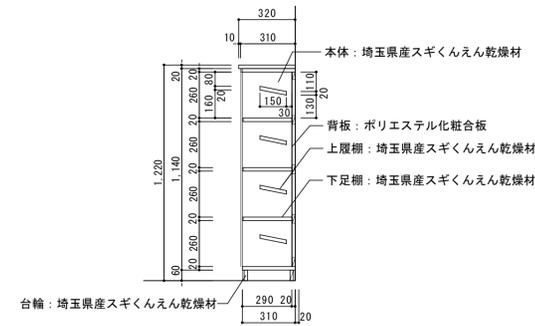
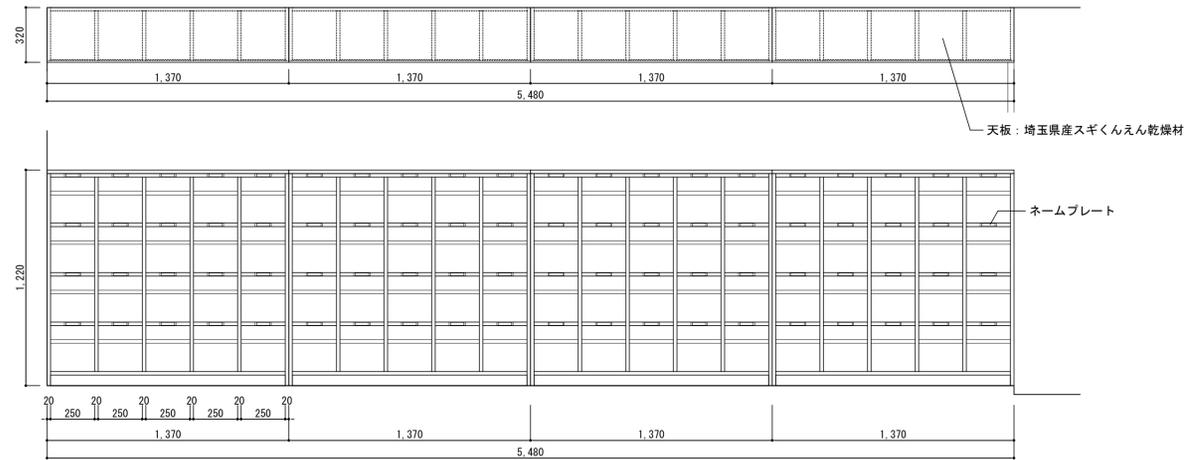


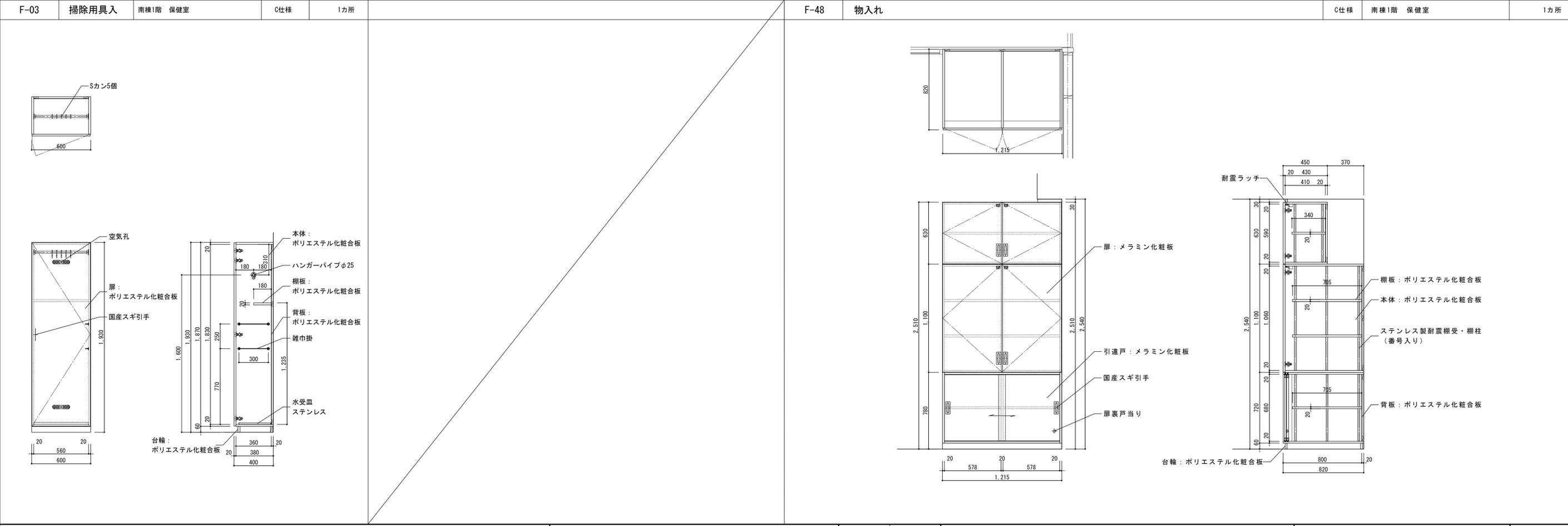
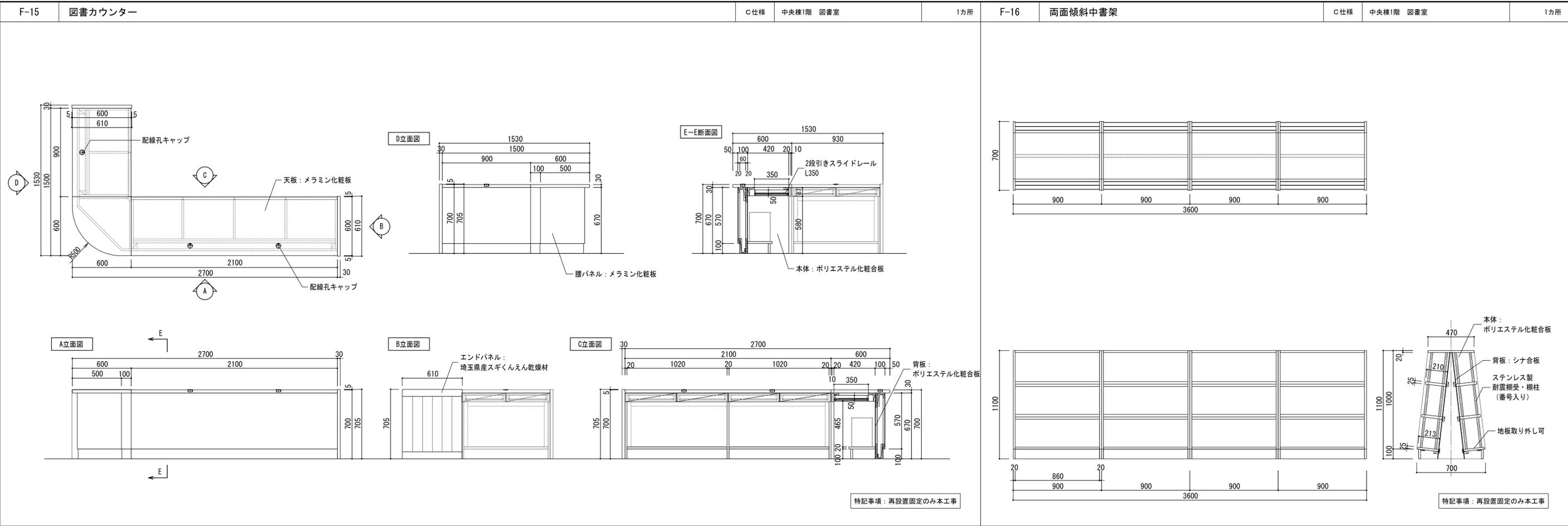
F-18b

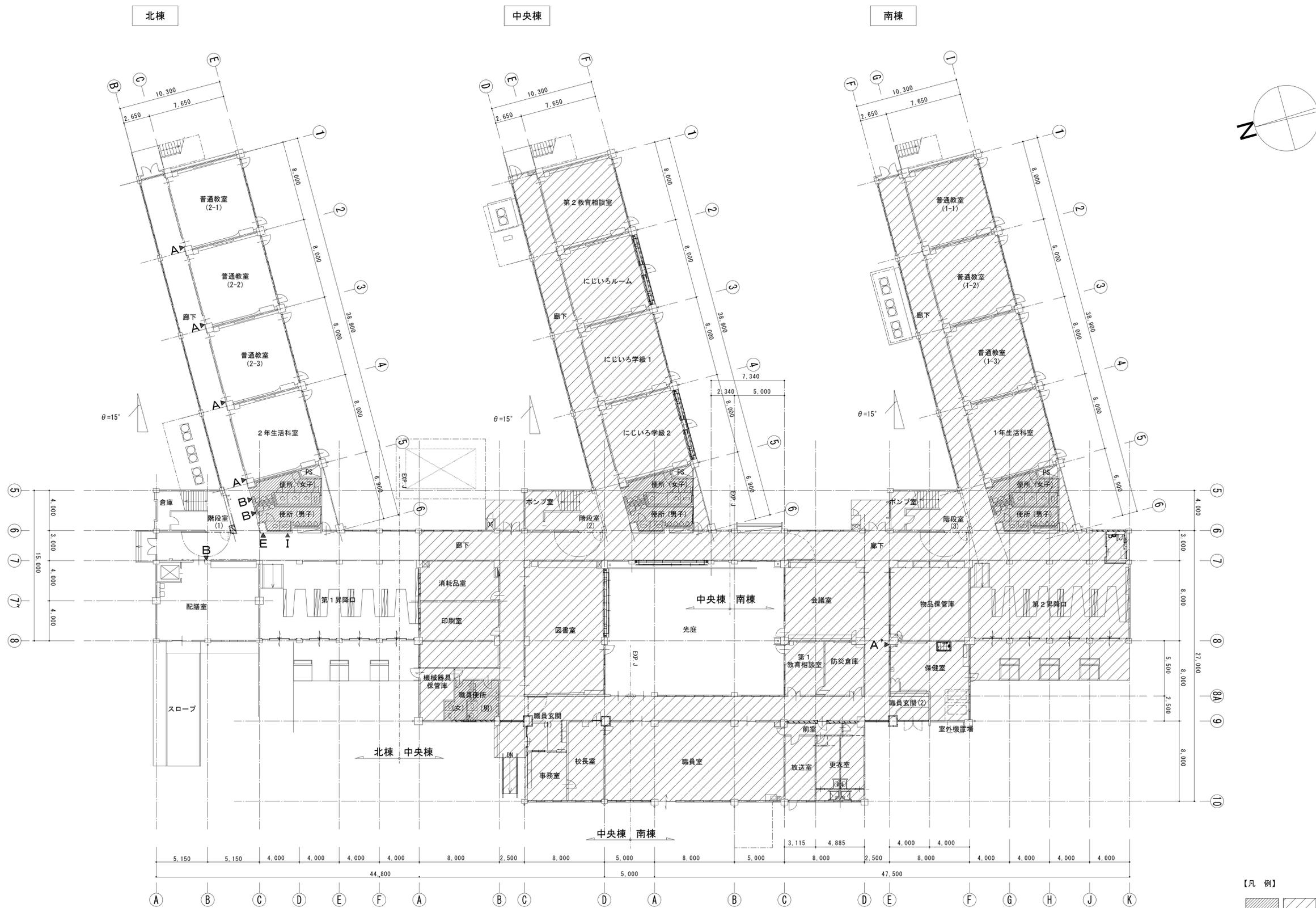


F-18c









1階平面図 S=1/200

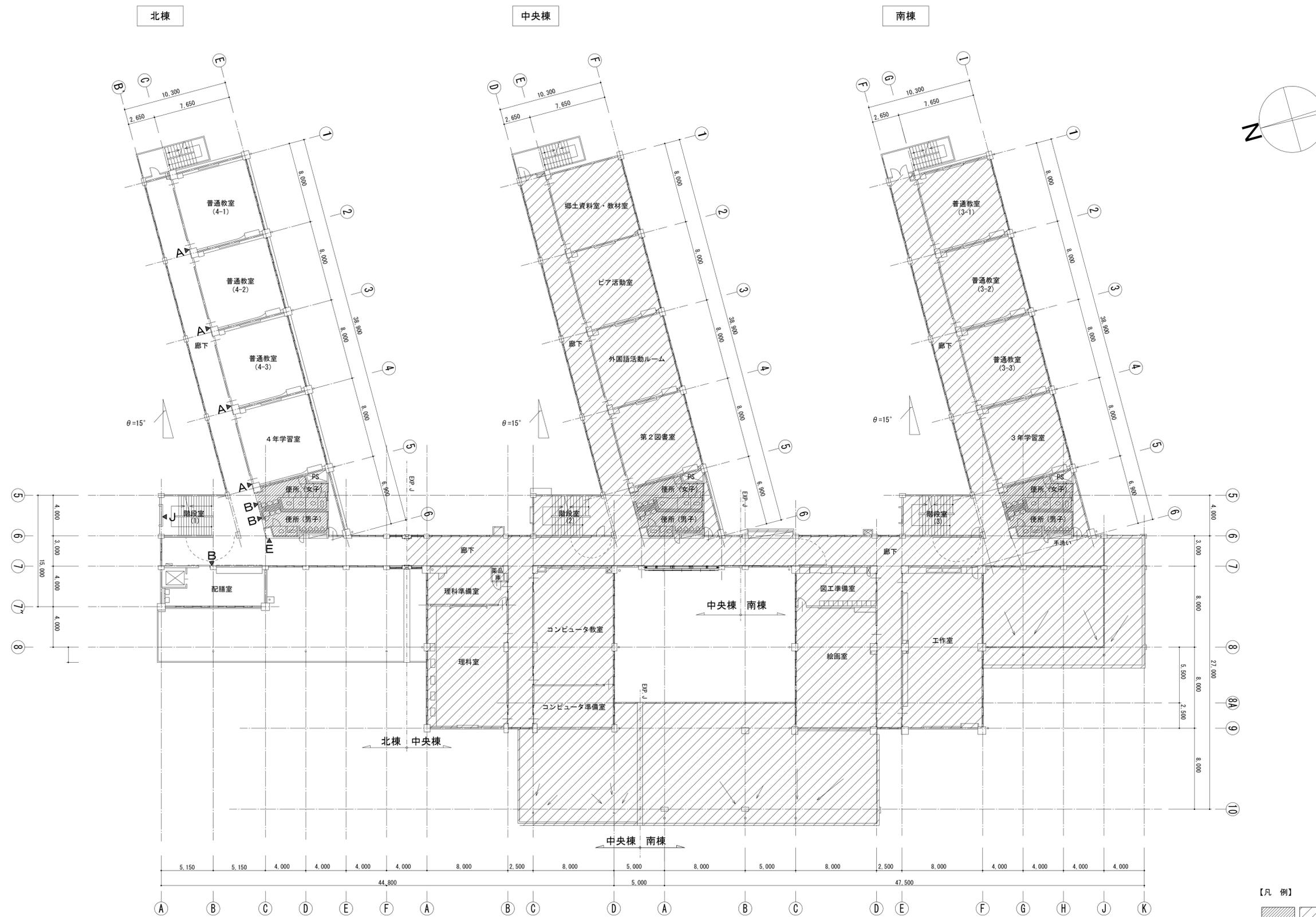
- 【凡例】
- 改修範囲外を示す
 - サイン位置・タイプを示す


株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横岡	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

図面名	サインキープラン 1階平面図	図面種別	A
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号	62



2階平面図 S=1/200

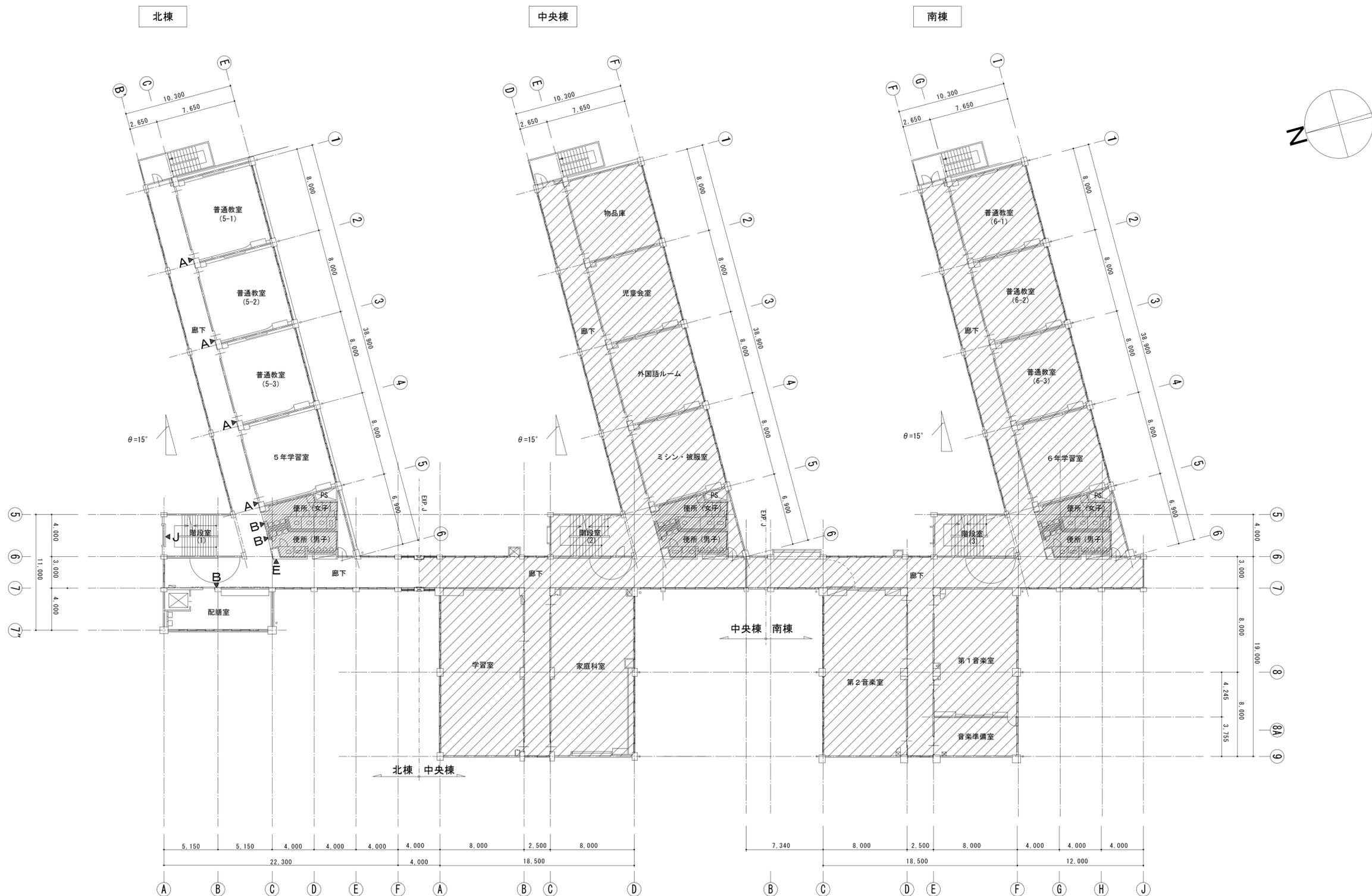
【凡例】
 改修範囲外を示す
 サイン位置・タイプを示す

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	目的	2018年3月
設計部長	松園	担当	松園
		製図	

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

図面名	サインキープラン 2階平面図	図面種別	A
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号	63



3階平面図 S=1/200

- 【凡例】
- 改修範囲外を示す
 - サイン位置・タイプを示す


株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	目的	2018年3月
設計部長	横園	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図

図面名	サインキープラン 3階平面図	図面種別	A
縮尺	S=1:200 (A3版 50%縮小)	図面番号	64

<p>※A' : 保健室前は一時撤去・再取り付け</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>階</th> <th>設置場所</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3 F</td> <td>普通教室 (5-1)、普通教室 (5-2) 普通教室 (5-3)、5年学習室</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>普通教室 (4-1)、普通教室 (4-2) 普通教室 (4-3)、4年学習室</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1 F</td> <td>普通教室 (2-1)、普通教室 (2-2) 普通教室 (2-3)、2年生活科室</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	階	設置場所	数量	3 F	普通教室 (5-1)、普通教室 (5-2) 普通教室 (5-3)、5年学習室	4	普通教室 (4-1)、普通教室 (4-2) 普通教室 (4-3)、4年学習室	4	1 F	普通教室 (2-1)、普通教室 (2-2) 普通教室 (2-3)、2年生活科室	4	合計	12	<p>室名表示(木製) 平付</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>階</th> <th>設置場所</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>便所(男)、便所(女)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>配膳室</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>便所(男)、便所(女)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>配膳室</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>便所(男)、便所(女)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>配膳室</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	階	設置場所	数量	3	便所(男)、便所(女)	3	F	配膳室	3	2	便所(男)、便所(女)	3	F	配膳室	3	1	便所(男)、便所(女)	3	F	配膳室	3	合計		9	
階	設置場所	数量																																					
3 F	普通教室 (5-1)、普通教室 (5-2) 普通教室 (5-3)、5年学習室	4																																					
	普通教室 (4-1)、普通教室 (4-2) 普通教室 (4-3)、4年学習室	4																																					
1 F	普通教室 (2-1)、普通教室 (2-2) 普通教室 (2-3)、2年生活科室	4																																					
	合計	12																																					
階	設置場所	数量																																					
3	便所(男)、便所(女)	3																																					
F	配膳室	3																																					
2	便所(男)、便所(女)	3																																					
F	配膳室	3																																					
1	便所(男)、便所(女)	3																																					
F	配膳室	3																																					
合計		9																																					

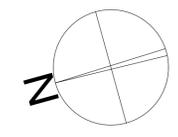
		<p>階数表示 平付</p>
--	--	----------------

		<p>■サイン特記仕様</p> <p>[1] 使用材料</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応) とする。 b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材) c. アクリル : JIS-K-6718 d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304、HL仕上 <p>[2] フォント</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 書体については、U-D新ゴpro「M」を基準とする。 ※ただし、監督員・管理者より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。 <p>[3] ピクトグラム</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 図柄については、原稿を作成し監督員・管理者の承認を受けること。 <p>[4] 取付位置・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。 b. 取付方法については、取付位置の地下などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。 c. 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。 <p>[5] その他</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。 b. サイン計画については、当施設他工事と十分に調整協議をすること。 c. サインについては、塩害対策がなされている材料を使用すること。
--	--	---

北棟

中央棟

南棟



(凡例)

記号	品名
K-1	アルミ枠ホーローグリーン暗線入UD曲面黑板
K-2	アルミ枠ホーローグリーン暗線入上下黑板
K-3	アルミ枠ナノホワイト平面白板
K-4	アルミ枠ビニールクロス掲示板
K-4-2	木枠ビニールクロス掲示板
K-5	木枠(カギ型)ホーローグリーン平面黑板
K-6	木枠(カギ型)ナノホワイト平面白板
K-7	アルミ枠ナノホワイト上下白板



1階平面図 S=1/200

【凡例】

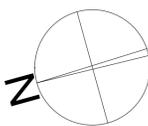



株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号	17-137	日付	2018年3月
設計部長	横園	担当	製図

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】 設計図
 縮尺 S=1:200 (A3版 50%縮小)

図面名	黑板・掲示板キープラン 1階平面図	図面種別	A
図面番号			66

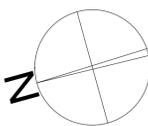


(凡例)

記号	品名
K-1	アルミ枠ホーローグリーン暗線入UD曲面黑板
K-2	アルミ枠ホーローグリーン暗線入上下黑板
K-3	アルミ枠ナノホワイト平面白板
K-4	アルミ枠ビニールクロス掲示板
K-5	木枠(カギ型)ホーローグリーン平面黑板
K-6	木枠(カギ型)ナノホワイト平面白板
K-7	アルミ枠ナノホワイト上下白板

【凡例】
 改修範囲外を示す

2階平面図 S=1/200



(凡例)

記号	品名
K-1	アルミ枠ホーローグリーン暗線入UD曲面黑板
K-2	アルミ枠ホーローグリーン暗線入上下黑板
K-3	アルミ枠ナノホワイト平面白板
K-4	アルミ枠ビニールクロス掲示板
K-5	木枠(カギ型)ホーローグリーン平面黑板
K-6	木枠(カギ型)ナノホワイト平面白板
K-7	アルミ枠ナノホワイト上下白板

【凡例】
 改修範囲外を示す

3階平面図 S=1/200

K-1 アルミ枠ホーローグリーン暗線入り凹曲面黒板

1/4・1/40

階	室名	W X H	数量	備考
1	普通教室・2年生活科	3600X1200	4	
2	普通教室・4年学習室	3600X1200	4	
3	普通教室・5年学習室	3600X1200	4	

※取付高さは標準的な場合を示す。

K-4 アルミ枠ビニールクロス掲示板

K-4-2

階	室名	W X H	数量	備考
1	配膳室	3200X1200	1	
	保健室	2650X1200	1	
		2700X1200	1	
		2500X1200	1	
	廊下	1820X910	1	
2	廊下	1200X900	1	
		3500X1120	1	
	廊下	1200X900	1	

K-5 木枠(カギ型)ホーローグリーン平面黒板

K-6 木枠(カギ型)ナノホワイト平面白板

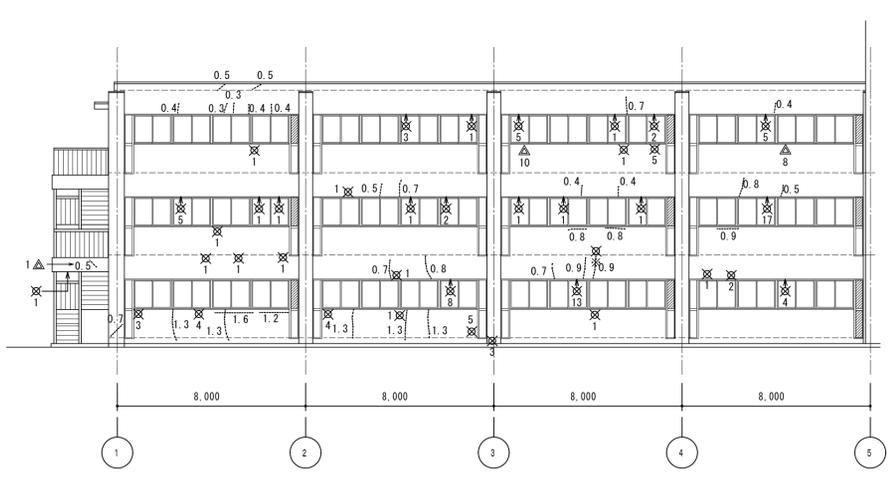
1/4・1/40

階	室名	W X H	数量	備考
1	普通教室・2年生活科	2060X970	4	
2	普通教室・4年学習室	2060X970	4	
3	普通教室・5年学習室	2060X970	4	

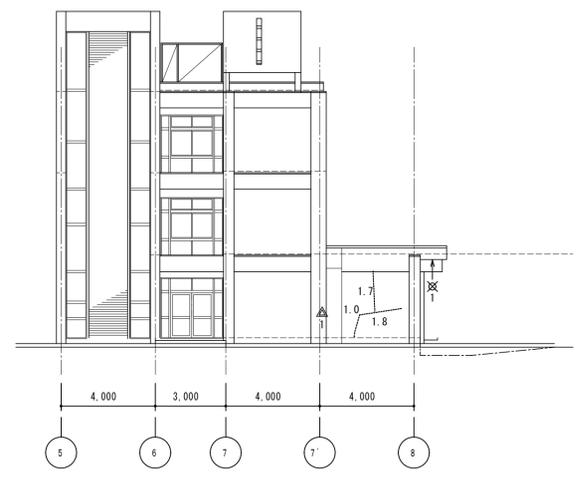
【K-5】

黒板・白板・掲示板 共通仕様

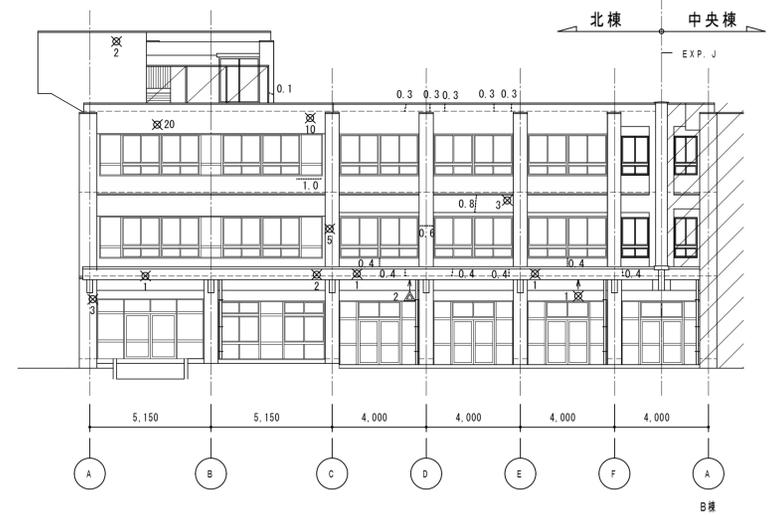
- 黒板・白板・掲示板：黒板・白板・掲示板は黒板JIS規格(JIS S 6007)認定工場で作成する。
- 表面材：黒板・白板の表面材は焼付鋼板を使用する。
板面色については色見本を提出の上決定とする。
掲示板の表面材については見本を提出の上決定とする。
- 粉受：黒板消し・白板用ラーフが横に寝かせた状態で置けるものとする。(有効巾約80mm)
- 取付：取付壁・下地別に施工図を作成し、承認を受けて施工すること。
- その他：環境配慮のため、製作はISO 14001取得企業とする。
品質確保のため、製作はISO 9001取得企業とする。
木材利用促進法に基づき、黒板・白板・掲示板の下地合板は国産杉芯合板 t5.8とする。
製作にあたり、事前に製品の品質証明書および材料と接合の安全データシートを提出し承認を受ける。



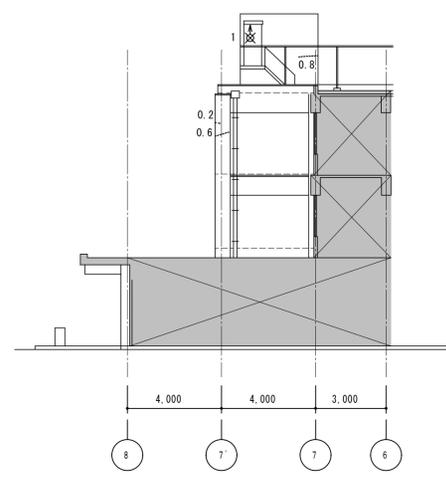
北側立面図1(北棟) S=1:150



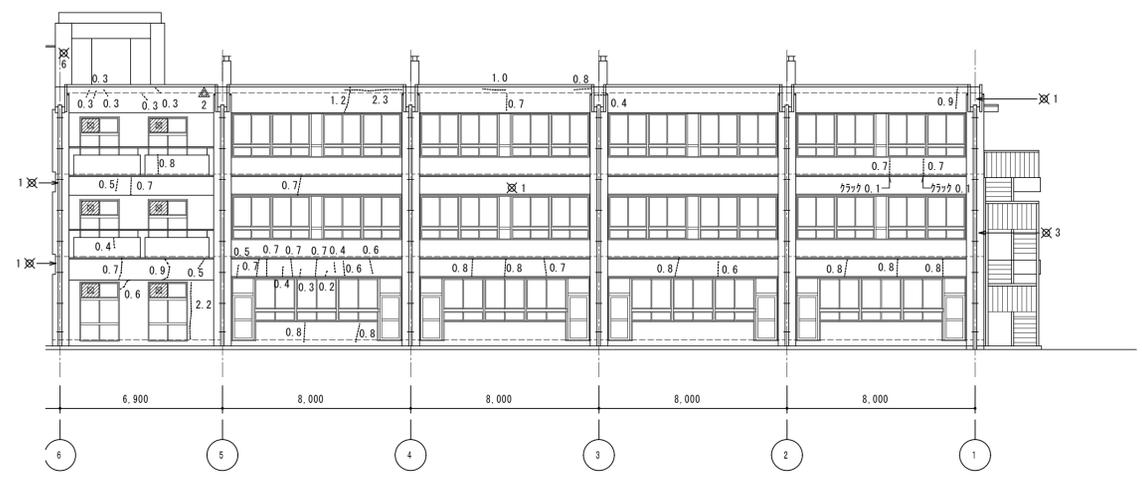
北側立面図2(北棟) S=1:150



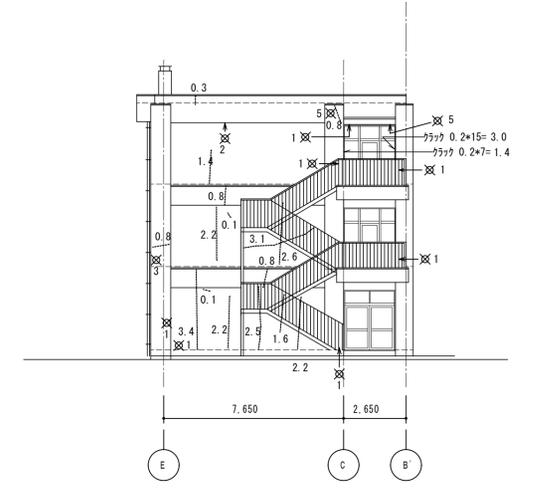
西側立面図1(北棟) S=1:150



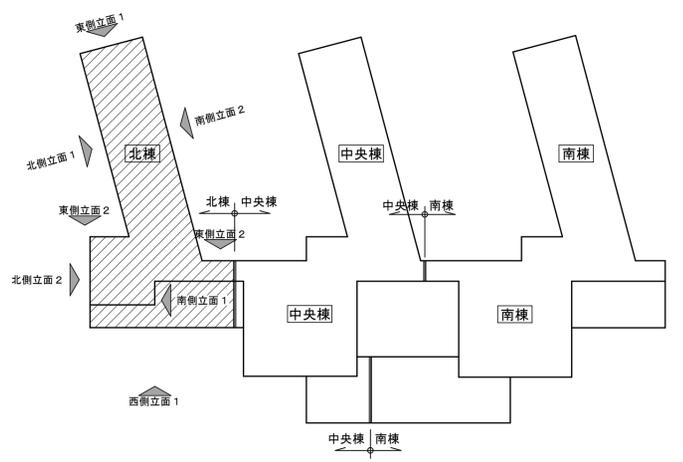
南側立面図1(北棟) S=1:150



南側立面図2(北棟) S=1:150



東側立面図1(北棟) S=1:150



立面キープラン S=1/600

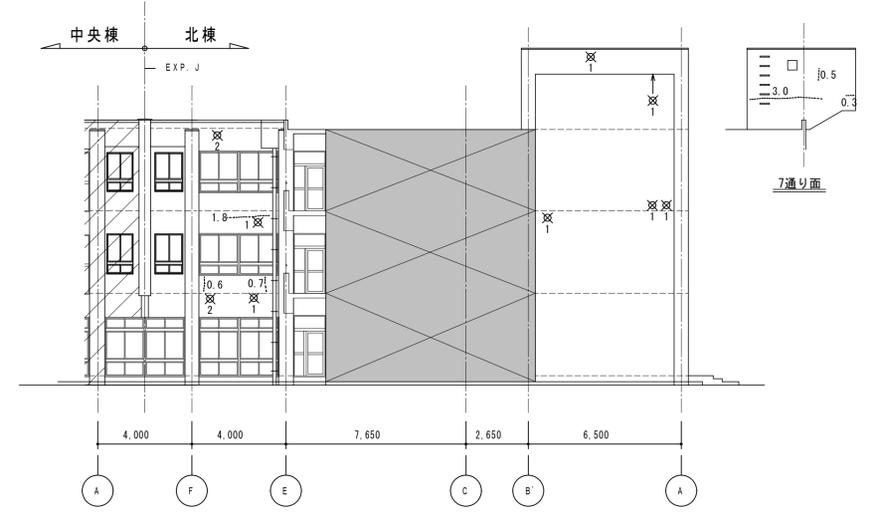
- 【凡例】
- クラック (0.2mm以上)
 - ⊗ 爆裂
 - △ 欠損
 - ▨ 改修範囲外を示す

【劣化数量表】(北棟)

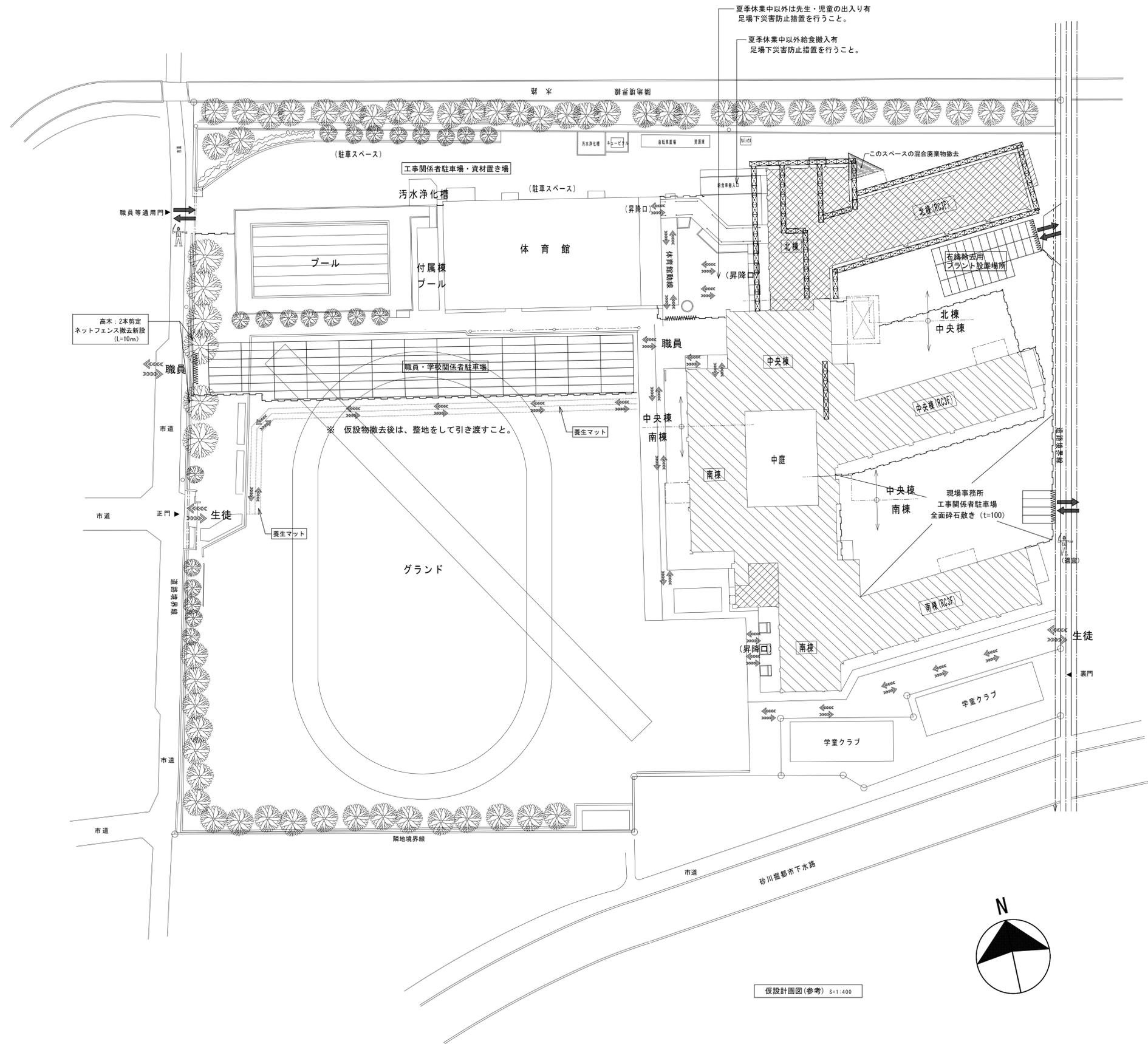
位置	クラック (m)	爆裂 (か所)	欠損 (か所)	備考
1 北側立面図1(北棟)	24.2	110.0	19.0	
2 北側立面図2(北棟)	4.5	1.0	1.0	
3 西側立面図1(北棟)	6.4	49.0	2.0	
4 南側立面図1(北棟)	1.6	1.0	—	
5 南側立面図2(北棟)	31.9	13.0	2.0	
6 東側立面図1(北棟)	29.3	22.0	—	
7 東側立面図2(北棟)	6.9	11.0	—	
合計	104.8	207.0	24.0	
合計数量 × 補正 (1.5)	157.2	311	36	

【特記事項】

- 1) 上記数量は、地上より目視にて確認した数量。
- 2) 上記数量は、ハッチ部(改修範囲外)数量を含んだ数量。
- 3) 劣化状況は施工時に全面調査を行い、補修箇所・工法について監督員と協議を行うこと。

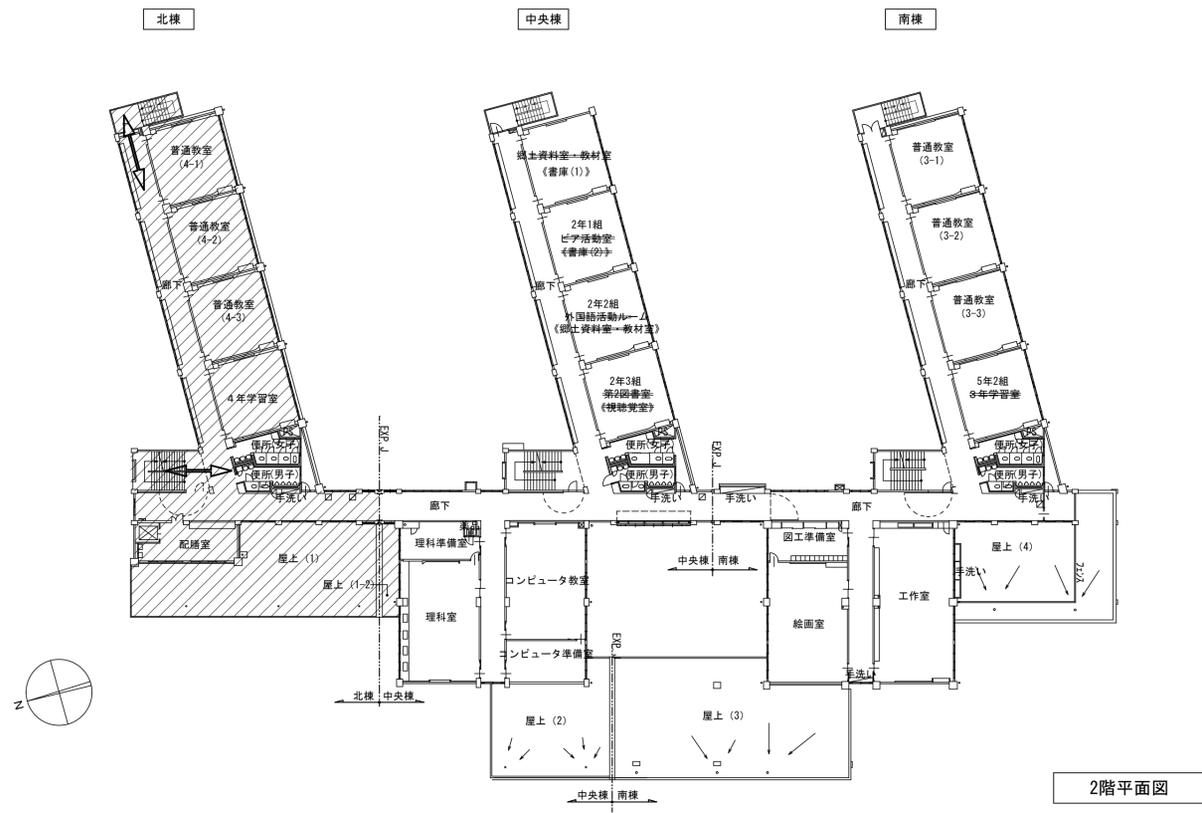


東側立面図2(北棟) S=1:150

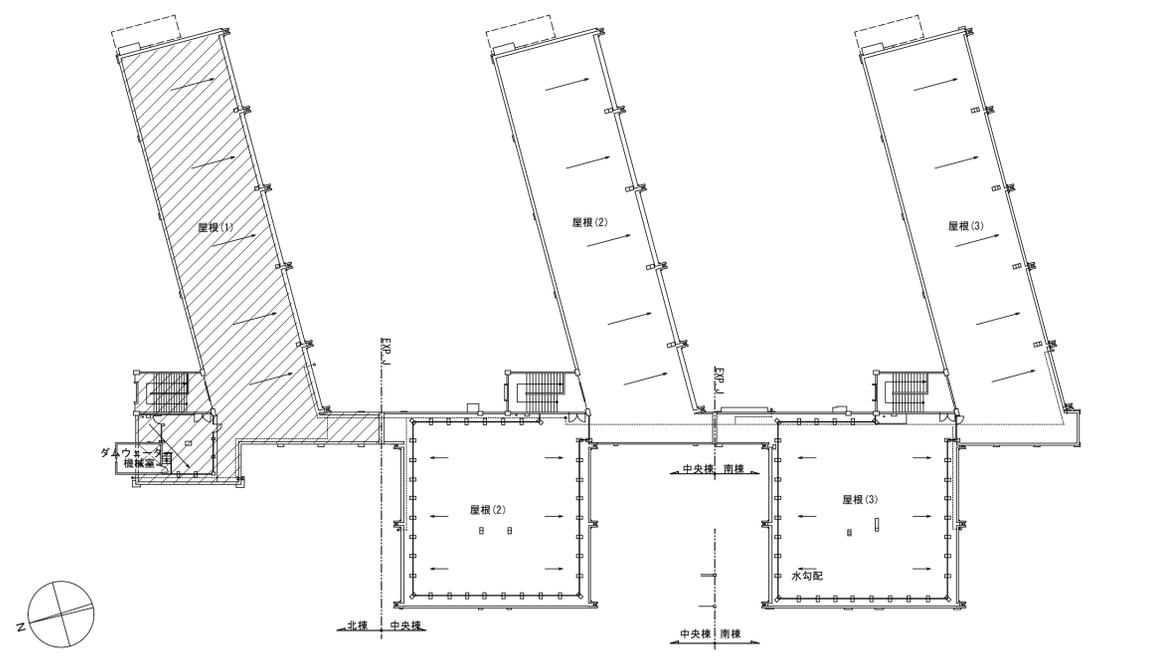


凡 例	
	改修建物を示す
	改修建物範囲を示す
	仮囲い：φ=ド=1800×H=1800
	キャスターゲート W=6000×H=2000
	敷き鉄板T=22
	仮設足場
	生徒・職員動線
	工事車両等の進入口を示す。
	交通誘導員

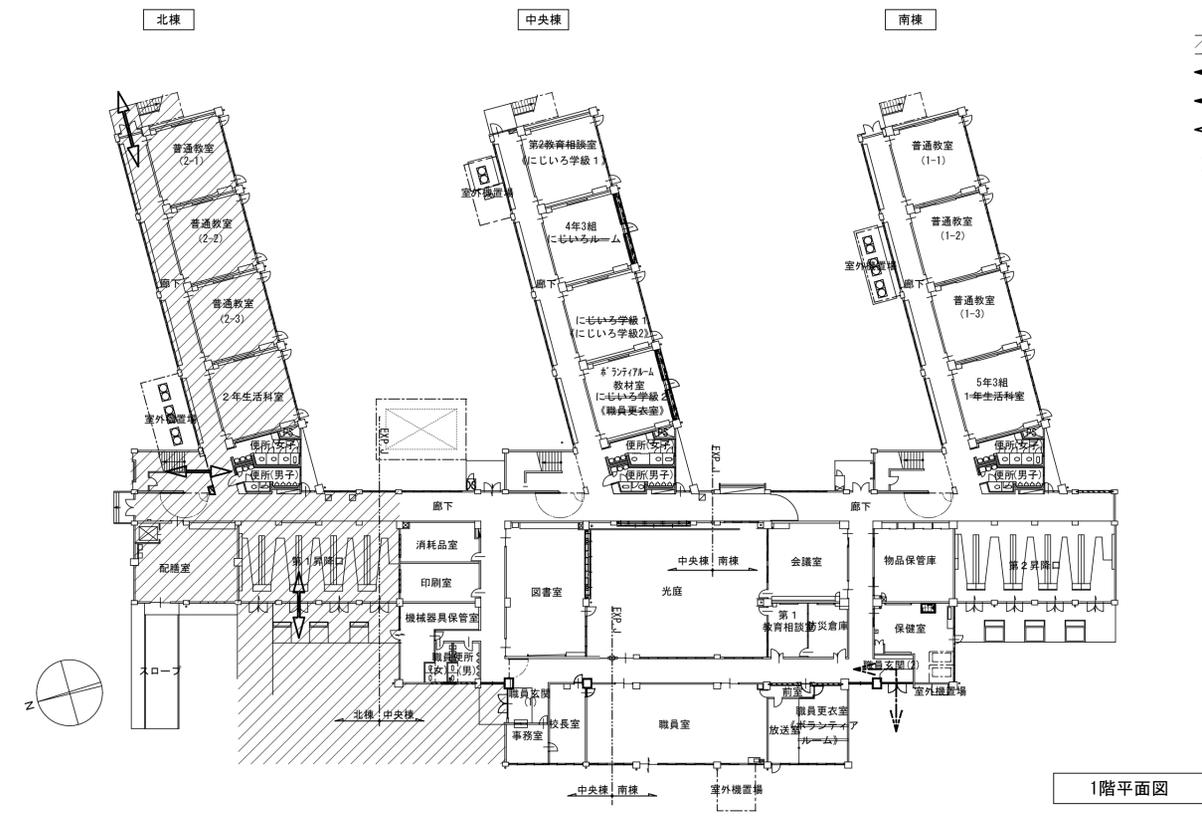




2階平面図

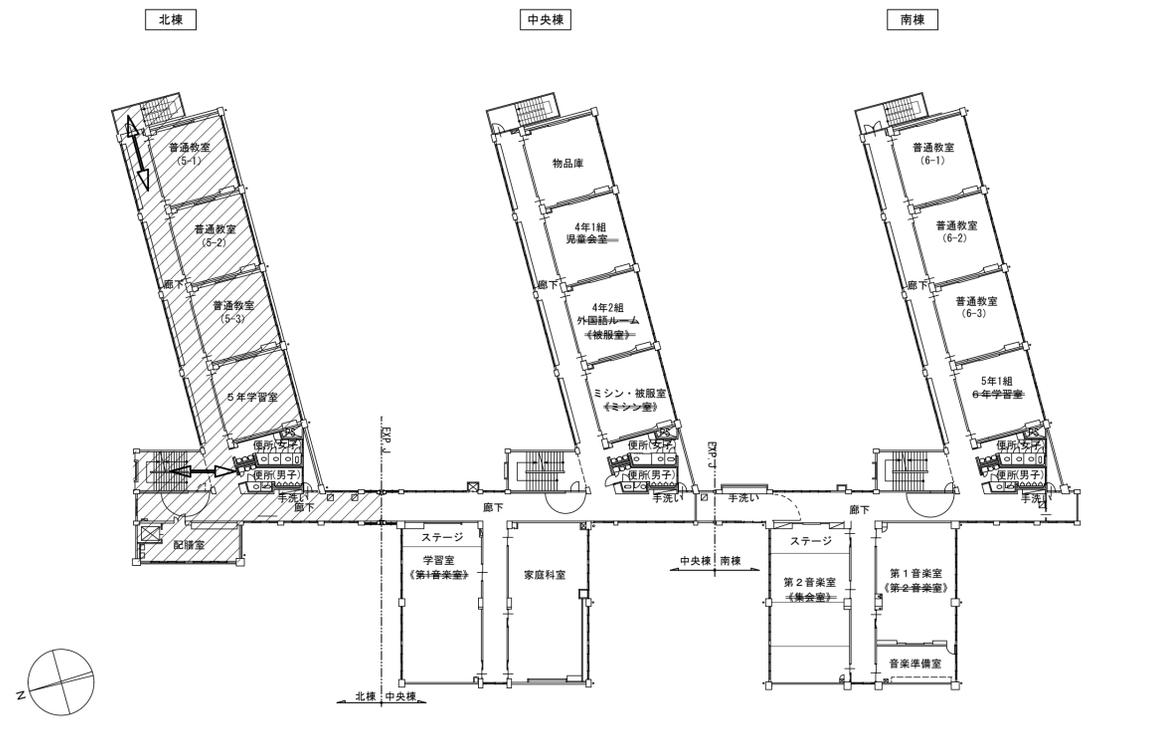


R・PH階平面図



1階平面図

- 【凡例】
- 工事エリアを示す
 - 生徒主動線
 - 教職員主動線
 - 工事関係者主動線
 - (室名)
 - ⊗(番号)



3階平面図

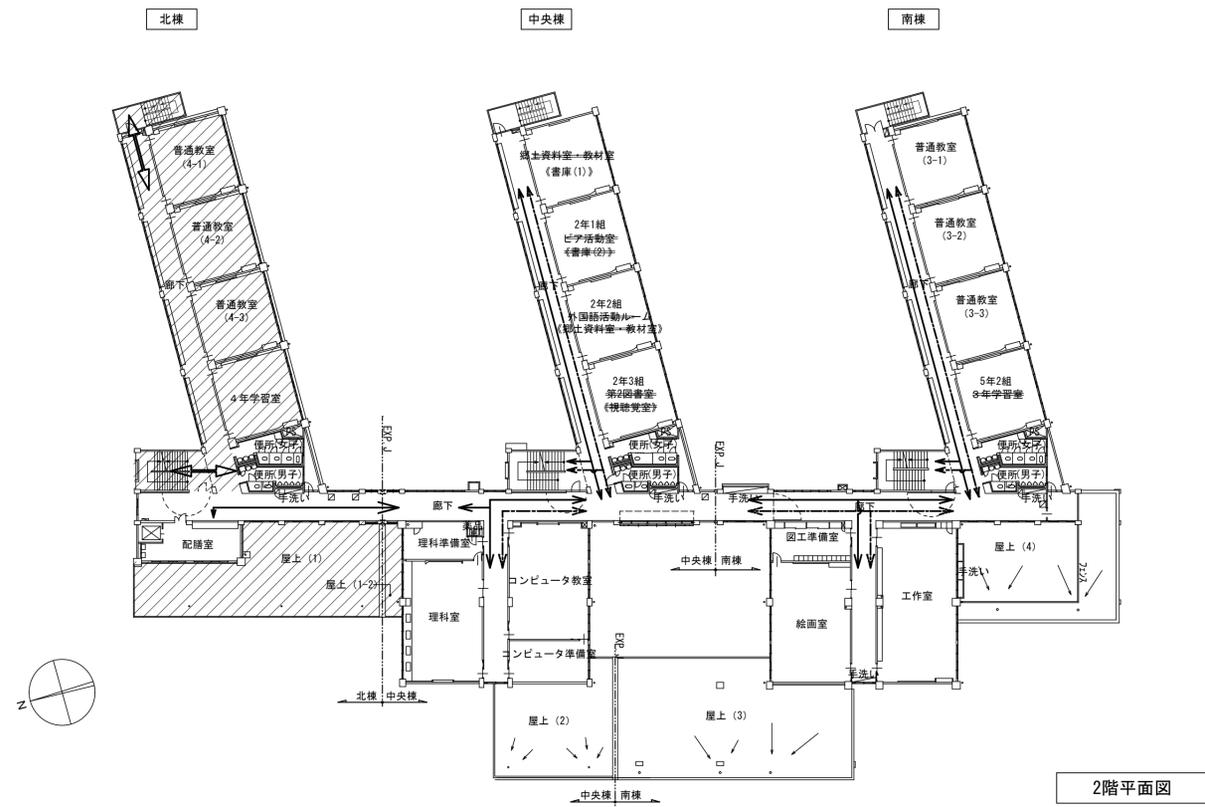

株式会社 松下設計
 一級建築士事務所
 登録 (11) 183
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

委託番号 17-137 設計部長 松園 慎 担当 松園 慎	日付 2018年3月 製図
--	---------------------

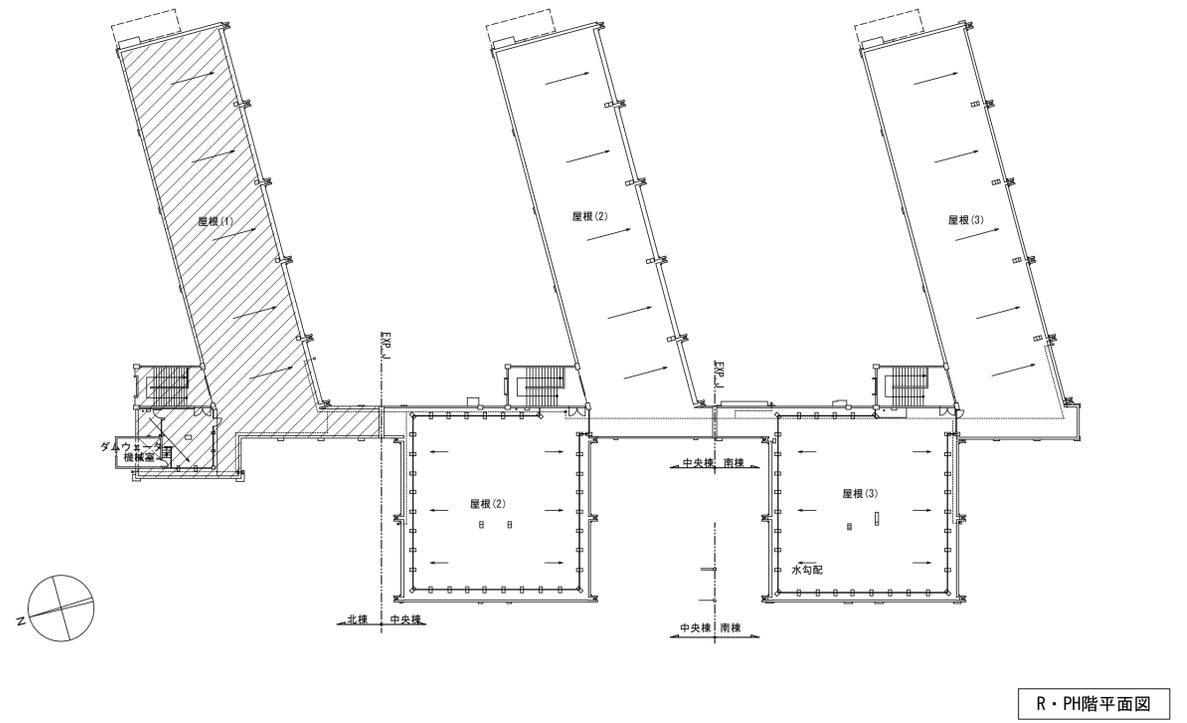
市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】
 設計図

図面名 屋内工事計画図(1)	図面種類 A
縮尺 S=1:350 (A3版 50%縮小)	図面番号 72

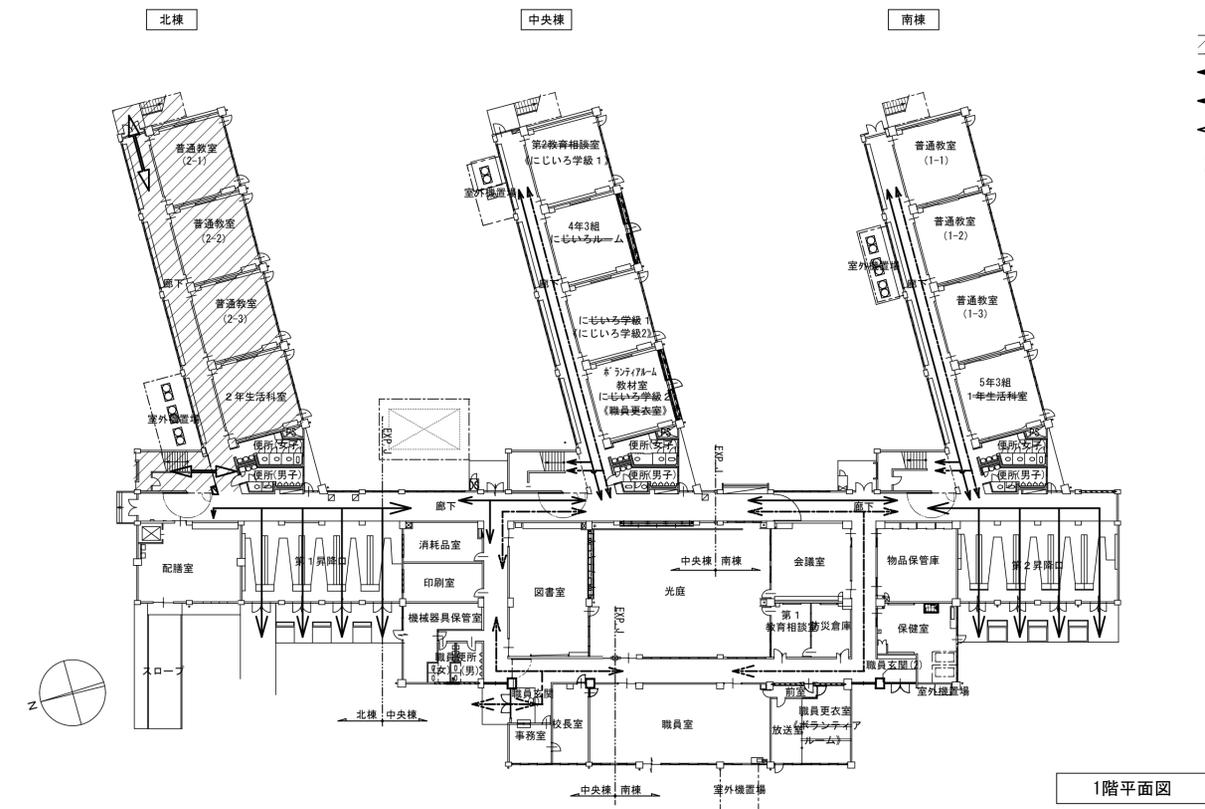
《夏休み期間》



2階平面図

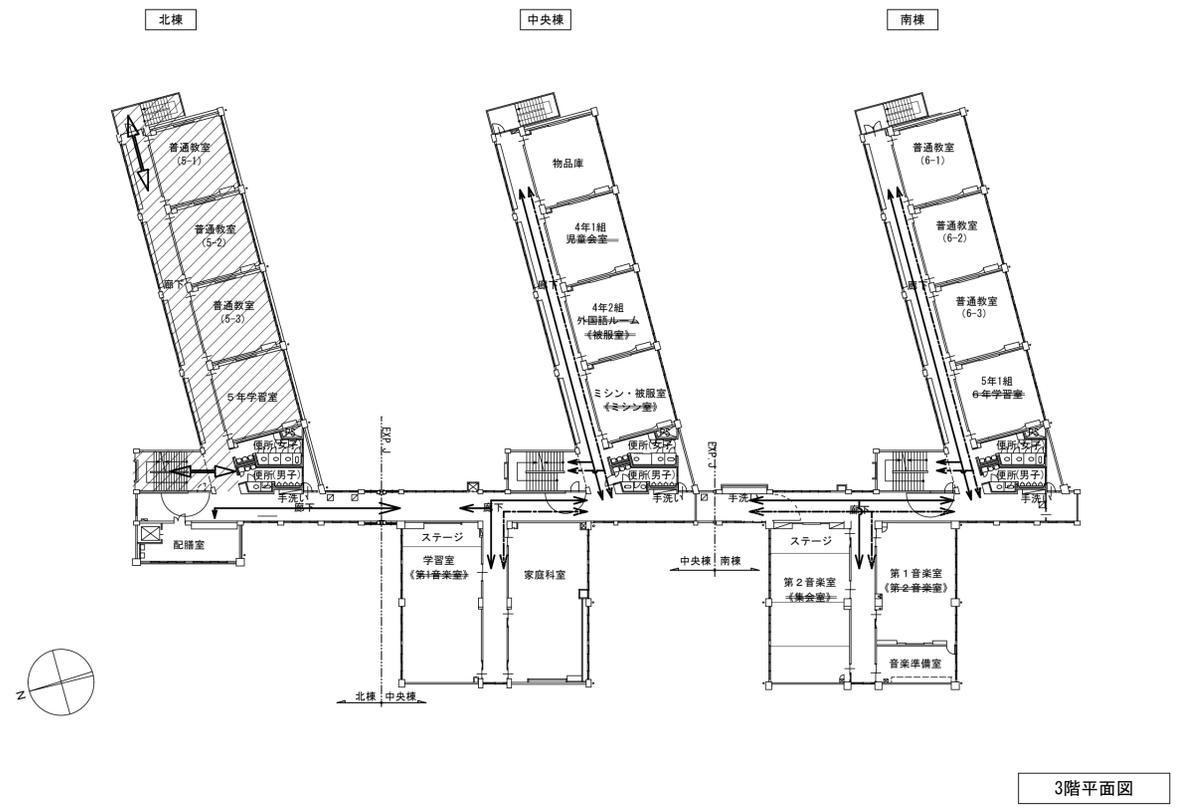


R・PH階平面図

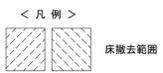
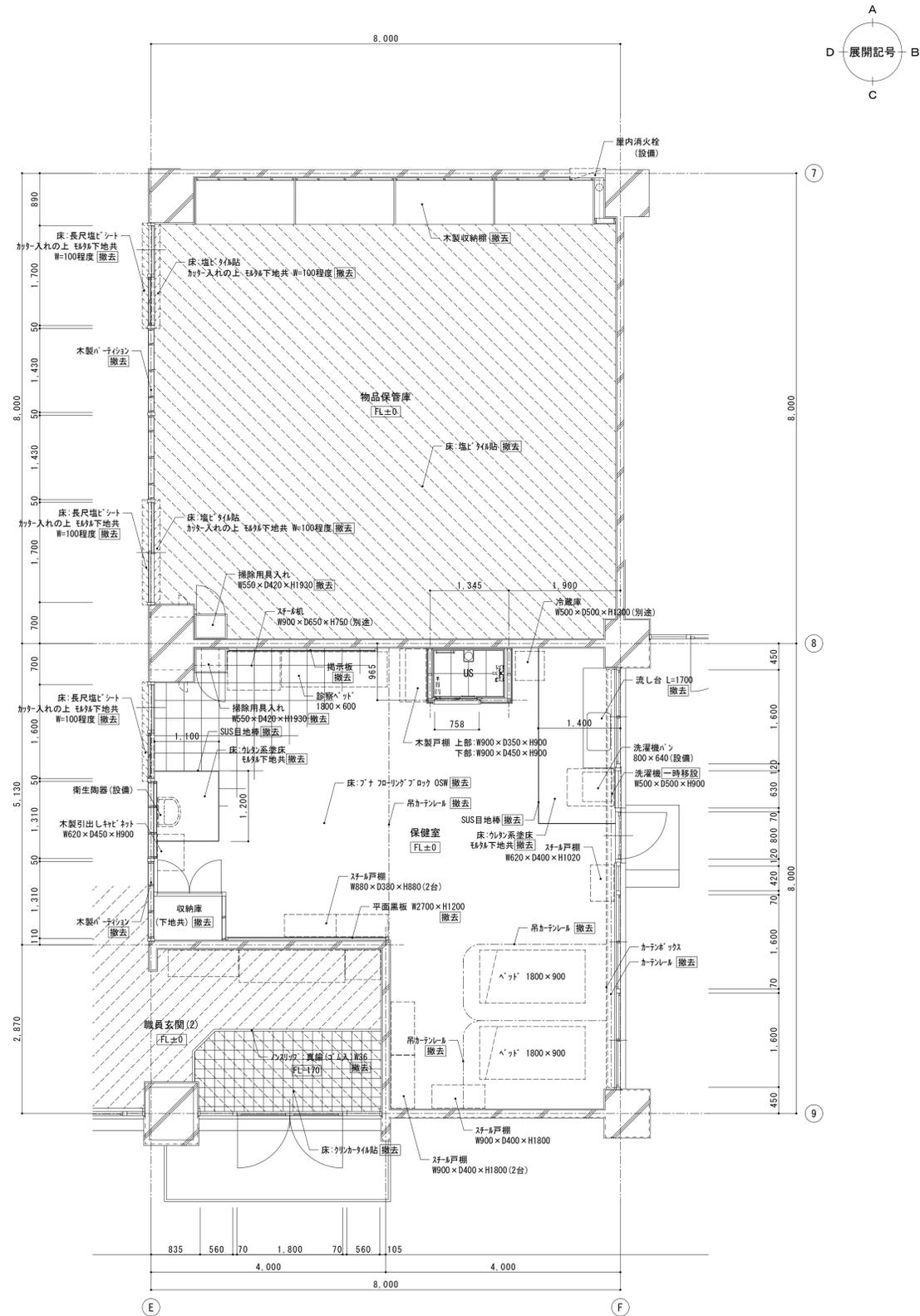


1階平面図

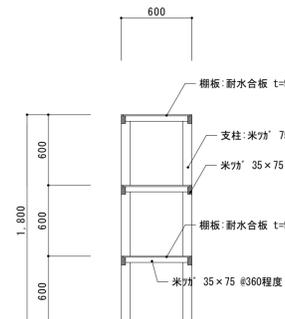
- 【凡例】
- 工事エリアを示す
 - 生徒主動線
 - 教職員主動線
 - 工事関係者主動線
 - (室名)
 - ⊙(番号)



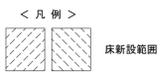
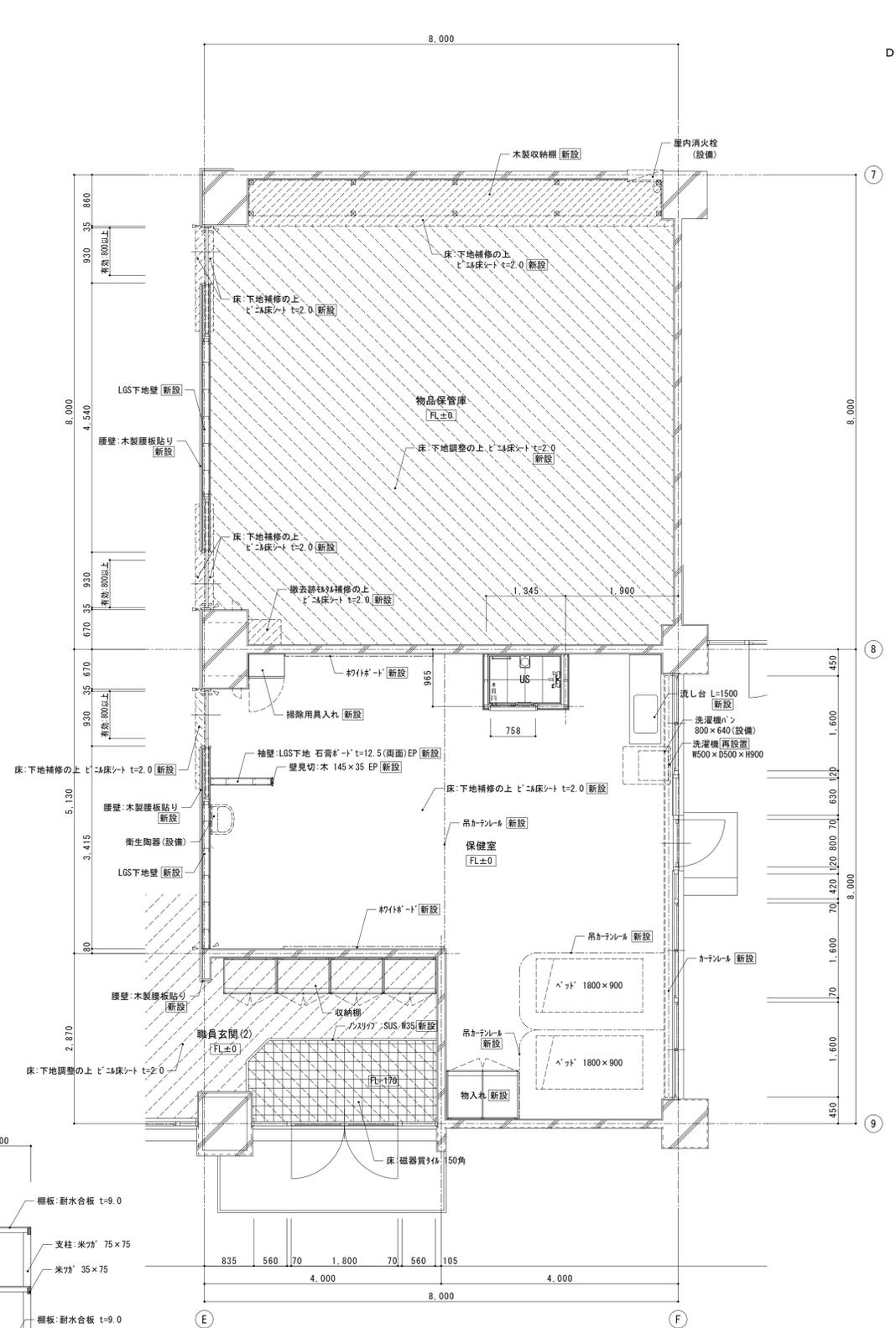
3階平面図



木製収納棚 詳細図 S=1:30



木製収納棚 詳細図 S=1:30



塩ビ補修率=100程度ツラツグ (RC-LGS壁取合等)

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下 充孝 (一級建築士登録 59420)

契約番号	17-137	目的	2018年3月
設計部長	松園 慎	担当	松園 慎
製図			

市立勝瀬小学校大規模改造建築工事【第3期工事】

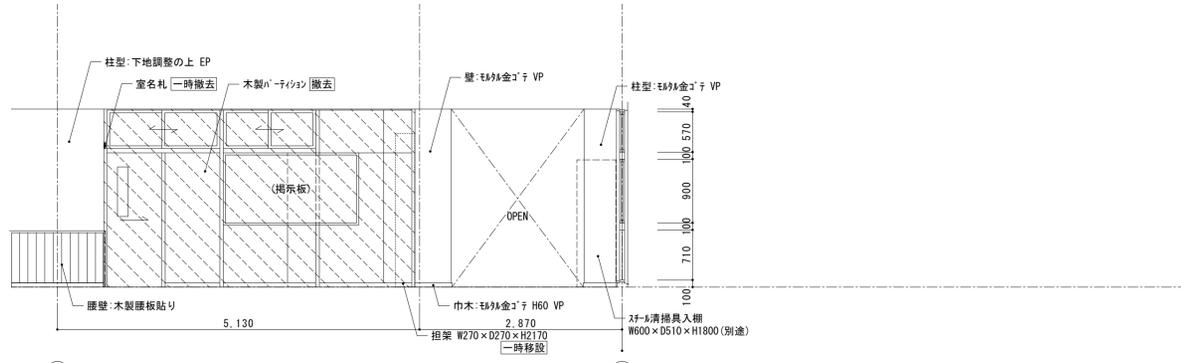
設計図

南棟1階 保健室廻り 平面詳細図 【改修前・後】

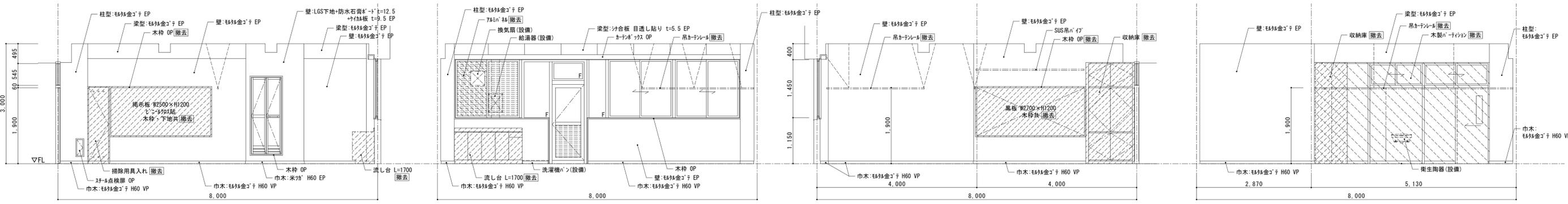
縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小)

図面種類	A
図面番号	74

< 凡例 >
撤去範囲を示す

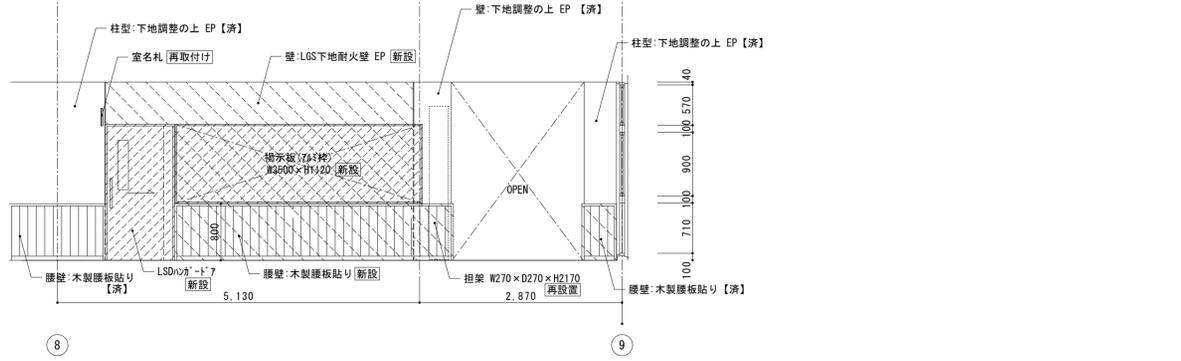


保健室前 B面

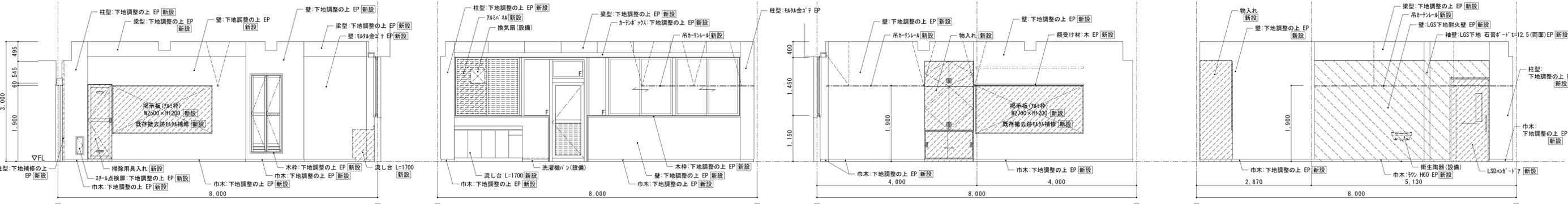


保健室 A面 B面 C面 D面

< 凡例 >
新設範囲を示す



保健室前 B面



保健室 A面 B面 C面 D面

株式会社 松下設計 一級建築士事務所
 埼玉県さいたま市中央区上落合1丁目8番12号
 TEL 048(840)4118(代) FAX 048(840)4103
 管理建築士 松下充孝 (一級建築士登録 59420)

資料番号 17-137 2018年3月
 設計部長 横園 担当 製図

市立勝瀬小学校大規模改築建築工事【第3期工事】 設計図

図面名 南棟1階 保健室廻り 展開図
 図面種類 A
 図面番号
 縮尺 S=1:50 (A3版 50%縮小) 75